

厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業))
令和6年度分担研究報告書

4 種類の ICT 等の導入及び運用段階のコストに関する研究：「各種情報技術等の導入・運用に伴うコストに関するアンケート」調査を用いて

研究代表者 荒井 耕 一橋大学大学院経営管理研究科
研究分担者 阪口 博政 金沢大学人間社会研究域経済学経営学系

研究要旨

本研究班では、ICT 等の導入及び運用コストの回収期間(経営負荷)としての「費用」と労働時間短縮数としての「効果」に基づいて、各種 ICT 等導入の費用対効果を分析することを通じて、医療従事者の業務負担軽減に資する ICT 等の導入を促すことを目的としている。そこで先行研究班での研究等から判明した、まだ十分に導入されておらずかつ労働時間短縮効果の余地が大きいと考えられる 4 種類の ICT 等(電子問診、音声入力、RPA、動画説明)を対象に分析することとし、そのデータ収集の前半として本年度はまず各 ICT 等活用に伴う導入及び運用コストに関わるデータを収集した。全国 8,000 超の病院を対象にアンケート調査を実施し、電子問診 84 病院、音声入力 66 病院、RPA64 病院、動画説明 118 病院の病床規模など多様な属性を持つ病院から、その活用に伴う導入及び運用段階のハード・ソフト関連外部支出及び院内対応各種業務(研修会参加、システム保守、トラブル対応など)の部門(事務・医師・その他医療提供)別人員所要時間などの詳細なデータを収集できた。

また収集できた各 ICT 等の活用に伴うコスト関連データにより、これら ICT 等への業務移管に伴う、導入及び運用段階の外部支出や院内部門別業務所要時間・人件費など、必要コストの構造を可視化することができた。特に、収集データの中央値を用い、また先行研究班の知見による職種別時給単価により院内対応業務所要時間を人件費に変換することで、各 ICT 等の活用に伴う典型的な総コストも把握した。具体的には、電子問診の活用には、導入段階で約 205 万円(外部支出 188.5 万円、院内人件費 16.8 万円)、運用段階で年間約 259 万円(外部支出 152 万円、院内人件費 106.9 万円)かかり、耐用年数は 5 年で総コスト約 1,500 万円、年次換算 300 万円かかっていた。また音声入力には、導入で約 112 万円(外部支出 110 万円、院内人件費 1.5 万円)、運用で年間 11.5 万円(外部支出 5 万円、院内人件費 6.5 万円)かかり、5 年の耐用年数で総コスト約 169 万円、年次換算約 34 万円かかっていた。さらに RPA には、導入で約 40 万円(外部支出 30 万円、院内人件費 9.9 万円)、運用で年間約 102 万円(外部支出 100 万円、院内人件費 2.2 万円)かかり、7 年の耐用年数で総コスト約 755 万円、年次換算約 108 万円かかっていた。動画説明には、導入で約 12 万円(外部支出 10 万円、院内人件費 2.2 万円)、運用で年間約 0.4 万円(外部支出 0 万円、院内人件費 0.4 万円)かかり、5 年の耐用年数で総コスト約 14.4 万円、年次換算約 3 万円かかっていた。

A. 研究目的

2024 年 4 月より医師の働き方改革の新制度が施行されたが、その一方で医療機関のその他の職員の働き方改革への期待や人手不足の傾向も指摘されている。そのため厚生労働省の下で本研究班では、各種 ICT・ロボット（以下、ICT 等）の導入による医療従事者の業務負担軽減（労働時間短縮）を図るべく、各種 ICT 等の費用対効果について研究を進めている。より具体的には、ICT 等の導入及び運用コストの回収期間（経営負荷）としての「費用」と労働時間短縮数としての「効果」に基づいて、各種 ICT 等導入の費用対効果を分析することを通じて、業務負担軽減に資する ICT 等の導入を促すことを目的としている。各種 ICT 等の導入により短縮する医療従事者の労働時間（効果）と、発生する ICT 等活用コストと労働時間短縮から得られる人件費節約額による ICT 等投資の回収期間（経営上の負荷）を明確にすることで、医療機関の経営層に経営上より有利な ICT 等から積極的に取り組んでもらうことができ、医療従事者の労働時間の短縮につながると考えられる。

そこで労働時間短縮効果の余地が大きいと考えられる後述の 4 種類の ICT 等を対象として経営負荷と労働時間短縮効果を分析することとし、そのデータ収集の前半として、本年度はまず 4 種類の各 ICT 等活用に伴う導入及び運用コストに関わるデータを収集することとした。

そのために、4 種類の ICT 等ごとに、活用に伴うハード・ソフト関連の導入コストや院内での導入対応人員、ハード・ソフト関連の運用コスト、運用業務対応人員に関する諸データを収集することを目的として、全国の病院を対象にアンケート調査を実施した。

B. 研究方法

対象となる労働時間短縮効果の余地が大きいと考えられる ICT 等については、先行した研究班において令和 5 年度に実施した、各種 ICT 等に関する導入状況と病院情報部門担当者が意識する労働時間短縮への貢献度についての調査結果等を活用して優先的に分析対象とすべきものを明確にした（荒井・阪口・平木，2024）。具体的には、労働時間短縮効果が大きいと病院情報担当者が考えつつも、まだ導入率が高くなく今後の導入余地が大きいために追加的な労働時間短縮効果が見込まれる ICT 等であり、かつ、本研究班での事前の病院インタビュー調査から、費用対効果分析においてその測定が必須である ICT 等導入による労働時間短縮数を把握しやすいと判明した、4 種類の ICT 等を明確にした。この 4 種類の ICT 等は、電子（AI 含む）問診システム（以下、電子問診）、音声入力システム（以下、音声入力）、Robotic Process Automation（以下、RPA）、動画による患者への説明システム（以下、動画説明）である。そしてこれら 4 種類の ICT 等を対象として、本年度は、導入・運用に伴う詳細なコストを、全国 8,073 の病院へのアンケート調査により把握することにした。

実際の質問項目として、まず 4 種類の ICT 等別に導入の有無を調査し、導入している場合には、そのシステム名称、主たる管理部門/利用部門を把握した上で、①ハード・ソフト関連（総額と、サーバー関連、ネットワーク関連、システム等接続工事、タブレット等、ソフト・アプリ関連の内訳、ならびに想定耐用年数等）の導入コスト、②院内での導入対応人員（説明会・研修会参加業務とそれ以外の業務の別に、事務部門・医師部門・その他医療提供部門の各部門での業務所要時間）、③ハード・ソフト関連（総額と、サーバー保

守関連、タブレット保守等、ソフト・アプリ関連利用料の内訳)の運用コスト、④運用業務対応人員(事務部門・医師部門・その他医療提供部門の各部門でのシステム保守、トラブル対応、その他業務の所要時間)に関する質問(データ収集)をした。

郵送で事務部長宛へ調査依頼を行い、Webアンケートフォームから回答の回収を行った。厚生労働省作成の調査協力依頼書、研究班(荒井班)作成の調査協力依頼書、Web回答のための実施要項の3点を郵送した(資料1)。

調査期間は2024年11月18日～2024年12月27日(実施要項上は12月16日まで)とし、期限内に回答できなかったものに関しては、2025年1月10日まで受け付けた。また、2024年12月4日時点で回答を確認できなかった7,192病院を対象に督促はがきを郵送した。

調査対象機関からの調査に関する質疑に対しては、実施要項に連絡先メールアドレスを記載して対応した。なお、調査内容に関する質疑でFAQに記載のないものについては、随時、研究班代表者が回答内容について対応した。

回答にあたって医療機関内の複数部署が回答にかかわる可能性も高いことから、Webフォームのトップページに調査票のPDFファイル(資料1)のリンクを貼り、調査票ファイルをダウンロードし、印刷できるようにした。併せて、Webフォームのトップページに、調査に関する「よくある質問と回答」をまとめたPDFファイル(資料1)のリンクを貼り、回答者が必要に応じてFAQファイルをダウンロードし、印刷できるようにした。

有効回答データの処理に際して、設問単位で調査趣旨とは異なる異常値等を除外し、その上でさらに収集目的に則しながら外れ値

除去前と除去後のデータセットを用いて集計・分析した。

(倫理面への配慮)

本研究に当たっては、個人に関する情報を収集していない。研究班全体としての研究計画については、一橋大学の倫理審査委員会の審査・承認を受け実施した(承認日:2024年10月9日、承認番号:2024C019号)。

C. 研究結果

本アンケート調査からは、電子問診、音声入力、RPA、動画説明の4種類のICT等の費用対効果を分析するための、個別医療機関における各ICT等の活用に伴う導入及び運用コストに関する諸データが収集された。また副産物として、病院界におけるこの4種類のICT等活用に伴うコストの実態も明らかとなったため、本報告書ではその主要な部分を紹介する。詳細は、資料2を参照されたい。

(1)費用対効果分析のためのデータ収集

全国8,073の病院を対象としたアンケート調査において、1,403病院から回答を得たが、有効回答は1,151病院であった。回答率は17.4%で、有効回答率は14.3%であった。

回答病院群の属性を見ると、開設者としては、国(厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等)が61病院(5.3%)、公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等)が261病院(22.7%)、社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等)が4病院(0.3%)、法人(公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、

その他の法人等）が 816 病院（70.9%）、その他が 9 病院（0.8%）であった。なお開設者の公私区分として、国と公的医療機関、社会保険関係団体を合計した広義の公的病院群と、法人とその他を合計した広義の私的病院群に区分した場合、広義の公的病院は 326 病院（28.3%）、広義の私的病院は 825 病院（71.7%）であった。

また回答病院群の総稼働病床数規模は、100 床未満が 385 病院（33.4%）、100 床台が 391 病院（34.0%）、200 床以上 400 床未満が 256 病院（22.2%）、400 床以上 600 床未満が 81 病院（7.0%）、600 床以上が 38 病院（3.3%）であった。なお、厚生労働省医政局が毎年公表している『病院経営管理指標』における病床種類の構成割合による病院類型に基づいて、総病床数に占める一般病床数の割合が 80%以上である「一般型」の病院群とそれ以外の病院群（以下、非一般型）に区分した場合、一般型が 532 病院（46.2%）、非一般型が 619 病院（53.8%）であった。

さらに、特定労務管理対象医療機関の指定状況に基づく、指定・申請ありの病院が 87 病院（7.6%）、該当せずの病院が 1,064 病院（92.4%）であった。DPC 対応状況に基づく、DPC 対象/準備病院が 382 病院（33.2%）、該当せずの病院が 769 病院（66.8%）であった。救急指定状況に基づく、二次救急指定病院が 481 病院（41.8%）、三次救急指定病院が 70 病院（6.1%）、それ以外の病院が 600 病院（52.1%）であった。

有効回答 1,151 病院のうち、電子問診は 84 病院（7.3%）、音声入力 66 病院（5.7%）、RPA は 64 病院（5.6%）、動画説明は 118 病院（10.3%）がすでに導入していた。4 種類の ICT 等すべてについて、広義の私的病院よりも広義の公的病院の方が、総稼働病床数規模がより大きな病院の方が、非一般型よりも

一般型の病院の方が、特定労務管理対象医療機関の指定・申請ありの病院の方が、DPC 対象/準備病院の方が、二次救急指定病院やそれ以外の病院よりも三次救急指定病院の方が、有意に導入率が高かった（詳細は資料 2 参照）。

これら 4 種類の各 ICT 等をすでに導入している各病院から、その導入している ICT 等について、導入段階及び運用段階のハード・ソフト関連コストと院内での部門別の対応人員コスト関連（業務所要時間数）についての回答を得た。より具体的には、①ハード・ソフト関連の導入コストとして、総額と、サーバー関連、ネットワーク関連、システム等接続工事、タブレット等、ソフト・アプリ関連の内訳、ならびに想定耐用年数等のデータを得た。また、②院内での導入対応人員のコストに関連して、説明会・研修会参加業務（内訳として参加人数、1 回の時間数、参加回数）とそれ以外の業務の別に、事務部門・医師部門・その他医療提供部門の各部門での業務所要時間のデータを収集した。さらに、③ハード・ソフト関連の運用コストとして、総額と、サーバー保守関連、タブレット保守等、ソフト・アプリ関連利用料の内訳のデータを得た。加えて、④院内での運用業務対応人員のコストに関連して、事務部門・医師部門・その他医療提供部門の各部門でのシステム保守、トラブル対応、その他業務別の所要時間（内訳として対応人数、1 回の時間数、対応回数）のデータを回答いただいた。ただし一部の項目については必須回答項目としていないため、4 種類の各 ICT 等をすでに導入していると回答した各病院から、上記のすべての項目についてのデータを収集できているわけではない。

4 種類の ICT 等ごとの病院属性別の回答数は表 1 のとおりであり、どの ICT 等種類につ

いても、多様な属性の病院から活用に伴うコスト関連のデータを収集することができた。

なお詳細を記した資料 2 には、主要な調査項目については外れ値除去前後の両数値を記載している。以下では、実態把握の観点から、基本的には外れ値除去前の値を提示する。ただし、病院属性に基づいた比較のみ、統計検定を用いる必要があるため外れ値除去後の値で分析した。

(2) 電子問診の活用に伴うコストの実態

電子問診の主たる管理部門としては、「情報部門」が 69.0% で非常に多いが、その他に「医事課」(17.9%) や「診療部門」(9.5%)、「看護部」(8.3%)「診療支援系事務」(8.3%)なども少なからず見られた。

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 万円 (16.3%)、1~100 万円 (23.8%)、101~200 万円 (17.5%)、201~500 万円 (13.8%)、501~1,000 万円 (11.3%)、1,001 万円以上 (17.5%) であった。また中央値は、188.5 万円であった。

広義の公的病院・私的病院の区分、一般型・非一般型区分、特定労務管理対象医療機関の指定/申請の有無区分、DPC 対象/準備病院か否か区分、総稼働病床数 3 区分、二次救急・三次救急・それ以外区分の 6 種類の属性の観点から、病院属性区分間に有意な差が見られるか分析したところ、開設者の公私区分、DPC 対象/準備病院か否か区分、総稼働病床数区分には平均値に有意差が見られた。広義の公的病院の方が、DPC 対象/準備病院の方が、総稼働病床数規模が大きい方が、総額が大きい傾向が見られた (表 2)。

②院内での導入対応人員コスト関連

導入段階における説明会・研修会参加業務とそれ以外の業務に関する事務部門の所要

時間数合計は、10 時間以下 (17.9%)、11~20 時間 (17.9%)、21~30 時間 (16.7%)、31~50 時間 (13.1%)、51~100 時間 (13.1%)、101~200 時間 (10.7%)、201~300 時間 (4.8%)、301 時間以上 (6.0%) であった。また中央値は、30 時間であった。

また導入段階の両業務に関する医師部門の所要時間数合計は、0 時間 (21.4%)、1~10 時間以下 (27.4%)、11~20 時間 (19.0%)、21~30 時間 (10.7%)、31~100 時間 (10.7%)、101~200 時間 (8.3%)、201 時間以上 (2.4%) であった。また中央値は、11 時間であった。

さらに、その他医療提供部門の所要時間数合計は、0 時間 (14.3%)、1~10 時間 (19.0%)、11~20 時間 (19.0%)、21~30 時間 (10.7%)、31~50 時間 (10.7%)、51~100 時間 (10.7%)、101~200 時間 (6.0%)、201 時間以上 (9.5%) であった。また中央値は、19 時間であった。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額の構成割合は、0 万円 (9.5%)、1~50 万円 (15.5%)、51~100 万円 (9.5%)、101~200 万円 (35.7%)、201~300 万円 (7.1%)、301 万円以上 (22.6%) であった。また中央値は、152 万円であった。

なお各種病院属性からの区分による有意差は確認されなかった。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

運用段階におけるシステム保守、トラブル対応、その他業務に関する事務部門の年間所要時間数合計についての無回答を除いた場合の所要時間数区分別の構成割合は、10 時間以下 (18.5%)、11~20 時間 (10.8%)、21~50 時間 (12.3%)、51~100 時間 (9.2%)、101~200 時間 (12.3%)、201~500 時間 (12.3%)、501~2,000 時間 (13.8%)、2,001 時間以上 (10.8%) であった。また中央値は、96 時間であった。

また運用段階のトラブル対応とその他業

務に関する医師部門の年間所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 時間(20.0%)、1～100 時間(24.0%)、101～300 時間(20.0%)、301～1,000 時間(12.0%)、1,001～2,000 時間(12.0%)、2,001 時間以上(12.0%)であった。また中央値は、104 時間であった。

さらに、その他医療提供部門の年間所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、10 時間以下(17.1%)、11～100 時間(22.0%)、101～300 時間(19.5%)、301～1,000 時間(19.5%)、1,001～2,000 時間(9.8%)、2,001 時間以上(12.2%)であった。また中央値は、120 時間であった。

(3) 音声入力の利用に伴うコストの実態

音声入力の主たる利用部門としては、「放射線科」が 43.9%で一番多いが、その他に「診療部門」(34.8%)、「看護部」(18.2%)、「情報部門」(15.2%)なども少なからず見られた。

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 万円(7.7%)、1～100 万円(41.5%)、101～200 万円(15.4%)、201～500 万円(10.8%)、501～1,000 万円(9.2%)、1,001 万円以上(15.4%)であった。また中央値は、110 万円であった。

開設者の公私区分、DPC 対象/準備病院か否か区分、救急指定の二次・三次・それ以外区分、総稼働病床数区分には、平均値に有意差が見られた。広義の公的病院の方が、DPC 対象/準備病院の方が、二次・三次救急病院の方が、200 床以上 400 床未満の中規模病院の方が、総額が大きい傾向が見られた(表2)。

②院内での導入対応人員コスト関連

導入段階における説明会・研修会参加業務とそれ以外の業務に関する事務部門の所要

時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 時間(40.0%)、1～10 時間(35.4%)、11～20 時間(9.2%)、21～30 時間(4.6%)、31～50 時間(3.1%)、51～100 時間(1.5%)、101 時間以上(6.2%)であった。また中央値は、2 時間であった。

また導入段階の両業務に関する医師部門の所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 時間(46.2%)、1～10 時間以下(33.8%)、11～20 時間(7.7%)、21 時間以上(12.3%)であった。また中央値は、2 時間であった。

さらに、その他医療提供部門の所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 時間(55.4%)、1～10 時間(20.0%)、11～20 時間(7.7%)、21～50 時間(4.6%)、51～100 時間(4.6%)、101 時間以上(7.7%)であった。また中央値は、0 時間であった。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 万円(41.5%)、1～50 万円(29.2%)、51～100 万円(12.3%)、101～200 万円(6.2%)、201～300 万円(1.5%)、301 万円以上(9.2%)であった。また中央値は、5 万円であった。

救急指定の二次・三次・それ以外区分には平均値に有意差が見られ、二次・三次救急病院の方が、総額が大きい傾向が見られた(表2)。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

運用段階におけるシステム保守、トラブル対応、その他業務に関する事務部門の年間所要時間数合計についての無回答を除いた場合の所要時間数区分別の構成割合は、0 時間(13.3%)、1～10 時間(33.3%)、11～20 時間(6.7%)、21～50 時間(13.3%)、51～100 時間(13.3%)、101 時間以上(20.0%)であった。また中央値は、12 時間であった。

また運用段階のトラブル対応とその他業務に関する医師部門の年間所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 時間(40.0%)、1～20 時間(20.0%)、21～200 時間(0.0%)、201～300 時間(10.0%)、301～400 時間(10.0%)、401 時間以上(20.0%)であった。また中央値は、6.5 時間であった。

さらに、その他医療提供部門の年間所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 時間(18.2%)、1～10 時間(36.4%)、11～100 時間(9.1%)、101～200 時間(18.2%)、201 時間以上(18.2%)であった。また中央値は、2 時間であった。

(4) RPA の活用に伴うコストの実態

RPA の主たる利用部門としては、「情報部門」が 57.8%で一番多いが、その他に「医事課」(20.3%)、「総務課」(15.6%)、「看護部」(12.5%)なども少なからず見られた。また、活用病院におけるシナリオ(ロボット・ボット)数の構成割合は、1～5(59.4%)、6～10(12.5%)、11～20(9.4%)、21～30(9.4%)、31 以上(9.4%)であり、中央値は3であった。

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額の構成割合は、0 万円(46.9%)、1～100 万円(18.8%)、101～200 万円(10.9%)、201～500 万円(14.1%)、501～1,000 万円(3.1%)、1,001 万円以上(6.3%)であった。また中央値は、30 万円であった。

特定労務管理対象医療機関の指定/申請あり・該当せず区分には、平均値に有意差が見られた。特定労務管理対象病院の方が、総額が小さい傾向が見られた(表2)。

②院内での導入対応人員コスト関連

導入段階における事務部門の所要時間数合計についての構成割合は、0 時間(9.4%)、1～10 時間(15.6%)、11～20 時間(9.4%)、

21～50 時間(15.6%)、51～100 時間(15.6%)、101～200 時間(18.8%)、201～500 時間(6.3%)、501 時間以上(9.4%)であった。また中央値は、49.5 時間であった。

また導入段階の医師部門の所要時間数合計についての構成割合は、0 時間(85.9%)、1～10 時間以下(12.5%)、11 時間以上(1.6%)であった。また中央値は、0 時間であった。

さらに、その他医療提供部門の所要時間数合計についての構成割合は、0 時間(54.7%)、1～10 時間以下(9.4%)、11～20 時間(14.1%)、21～30 時間(4.7%)、31～50 時間(7.8%)、51～100 時間(1.6%)、101～200 時間(3.1%)、201 時間以上(4.7%)であった。また中央値は、0 時間であった。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額についての無回答を除いた場合の構成割合は、0 万円(15.9%)、1～50 万円(18.8%)、51～100 万円(22.2%)、101～200 万円(33.3%)、201～300 万円(11.1%)、301 万円以上(3.2%)であった。また中央値は、100 万円であった。

なお各種病院属性からの区分による有意差は確認されなかった。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

運用段階における事務部門の所要時間数合計についての構成割合は、0 時間(23.4%)、1～10 時間(26.6%)、11～20 時間(9.4%)、21～50 時間(21.9%)、51～100 時間(9.4%)、101 時間以上(9.4%)であった。また中央値は、11 時間であった。

また運用段階の医師部門の所要時間数合計についての構成割合は、0 時間(93.8%)、1～10 時間(4.7%)、11～20 時間(1.6%)、21 時間以上(0.0%)であった。また中央値は、0 時間であった。

さらに、その他医療提供部門の所要時間数

合計についての構成割合は、0時間(73.4%)、1～5時間(10.9%)、6～10時間(6.3%)、11～50時間(4.7%)、51～100時間(0.0%)、101時間以上(4.7%)であった。また中央値は、0時間であった。

(5) 動画説明の活用に伴うコストの実態

動画説明の主たる利用部門としては、「看護部」が32.2%で一番多いが、その他に「情報部門」(20.3%)、「診療部門」(11.9%)なども少なからず見られた。また、活用病院における動画数の構成割合は、1(35.6%)、2～3(23.7%)、4～5(13.6%)、6～10(16.1%)、11以上(11.0%)であり、中央値は3であった。

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額の構成割合は、0万円(34.7%)、1～10万円(20.3%)、11～30万円(13.6%)、31～100万円(16.1%)、101～300万円(7.6%)、301万円以上(7.6%)であった。また中央値は、10万円であった。

開設者の公私区分には、平均値に有意差が見られ、広義の私的病院の方が、総額が大きい傾向が見られた(表2)。

②院内での導入対応人員コスト関連

導入段階における事務部門の所要時間数合計についての構成割合は、0時間(27.1%)、1～5時間(24.6%)、6～10時間(21.2%)、11～50時間(21.2%)、51～100時間(2.5%)、101時間以上(3.4%)であった。また中央値は、5時間であった。

また導入段階の医師部門の所要時間数合計についての構成割合は、0時間(71.2%)、1～5時間(13.6%)、6～10時間(6.8%)、11～50時間(6.8%)、51～100時間(0.0%)、101時間以上(1.7%)であった。また中央値は、0時間であった。

さらに、その他医療提供部門の所要時間数

合計についての構成割合は、0時間(27.1%)、1～5時間(26.3%)、6～10時間(16.1%)、11～50時間(22.0%)、51～100時間(3.4%)、101時間以上(5.1%)であった。また中央値は、5時間であった。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額の構成割合は、0万円(61.9%)、1～10万円(14.4%)、11～30万円(6.8%)、31～100万円(2.5%)、101～300万円(7.6%)、301万円以上(6.8%)であった。また中央値は、0万円であった。

総稼働病床数区分には平均値に有意差が見られ、200床以上400床未満の中規模病院の方が、総額が小さい傾向が見られた(表2)。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

運用段階における事務部門の所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0時間(40.5%)、1～5時間(31.9%)、6～10時間(12.1%)、11～50時間(11.2%)、51～100時間(3.4%)、101時間以上(0.9%)であった。また中央値は、1時間であった。

また運用段階の医師部門の所要時間数合計についての構成割合は、0時間(82.2%)、1～5時間(11.9%)、6～10時間(3.4%)、11～50時間(1.7%)、51時間以上(0.8%)であった。また中央値は、0時間であった。

さらに、その他医療提供部門の所要時間数合計についての無回答を除いた場合の構成割合は、0時間(46.2%)、1～5時間(24.8%)、6～10時間(15.4%)、11～50時間(10.3%)、51～100時間(1.7%)、101時間以上(1.7%)であった。また中央値は、1時間であった。

D. 考察

(1) 費用対効果分析のためのデータ収集

研究班において主要な分析対象とした4種類のICT等について、それぞれ電子問診は84病院、音声入力66病院、RPAは64病

院、動画説明は 118 病院から、活用に伴うコスト関連データを収集することができた。また 4 種類の ICT 等ごとのデータ収集できた病院は、開設主体の公私区分、総稼働病床数規模区分、病床種類の一般型・非一般型区分、特定労務管理対象医療機関の指定/申請あり・該当せず区分、DPC 対象/準備病院・該当せず区分、二次救急指定病院・三次救急指定病院・それ以外区分、のいずれの観点からも多様な病院で構成されていた。そのため、来年度における 4 種類の ICT 等ごとの費用対効果分析を実施するうえで、分析対象病院の多様性の観点から妥当なデータ収集ができた。

(2) 電子問診の活用に伴うコストの実態

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額は、200 万円までで過半を占め、500 万円までで 7 割弱を占めていた。しかし病院による大きなばらつきが見られた。その背景の 1 つには、有意差の見られた病院の病床規模や、広義の公的病院か私的病院か、DPC 対象/準備病院か否か、といった病院属性の違いが考えられる。

また 0 万円と回答した病院が一定程度見られたが、電子カルテシステムに電子問診のソフト・機能が最初から標準的に組み込まれていて、それを活用することにしたために、特に新たに追加でコストが発生しなかったということであると推察される。

②院内での導入対応人員コスト関連

事務部門の導入対応所要時間は、30 時間までで過半を占め、100 時間までで 8 割弱を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。一方、医師部門の所要時間は、10 時間まででほぼ半数を占め、30 時間までで 8 割弱を占めていて、事務部門と比べると病院によるばらつきは小さい。また医師部門につ

いては、事務部門と異なり、導入対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院も 2 割強見られた。その他医療提供部門の所要時間は、20 時間までで過半を占め、30 時間までで 6 割強、100 時間までで約 85%を占めていた。また医師部門ほどの割合ではないものの、事務部門とは異なり、導入対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院も 14%程度見られた。

また各部門の中央値からは、事務部門(30 時間)、その他医療提供部門(19 時間)、医師部門(11 時間)の順に、導入対応により多く時間を取られていることがわかる(表 3)。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額は、200 万円までで 7 割を占めていたが、病院による大きなばらつきも見られた。また各種病院属性による違いはないようであった。なお 0 万円と回答した病院も見られたが、電子カルテに最初から標準的に組み込まれていたものを活用したために、新たなコストが発生しなかったと推察される。

またハード・ソフト関連の導入コスト(188.5 万円)と運用コスト(152 万円)を中央値で比較すると、導入段階でのコストの方が大きかった(表 3)。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

事務部門の年間運用対応所要時間は、100 時間までで過半を占め、500 時間までで 75%を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。一方、医師部門の所要時間は、100 時間まででは 44%に止まり、1,000 時間までで 76%を占めていて、事務部門よりも病院によるばらつきが大きい。また事務部門と異なり、運用対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院も 2 割見られた。その他医療提供部門の所要時間は、100 時間まででは 39%に止まり、1,000 時間までで 78%を占めていて、やはり病院によるばらつきが

大きい。

また各部門の中央値からは、その他医療提供部門(120 時間)、医師部門(104 時間)、事務部門(96 時間)の順に、運用対応により多くの時間を取られていることがわかる(表3)。

さらに導入対応時間と運用対応時間を中央値で比べると、どの部門においても、導入対応よりも運用対応の方が多くの時間を取られていた。また導入対応では事務部門が一番多くの時間を費やしていた一方、運用対応では事務部門が一番少なく時間を費やしていた。導入段階と運用段階の対応時間合計では、その他医療提供部門(139 時間)、事務部門(126 時間)、医師部門(115 時間)の順に時間が取られていた。

⑤中央値で見る総コスト

導入段階及び運用段階のハード・ソフト関連コスト及び対応人員所要時間には病院によりばらつきが見られるものの、各外部支出及び院内所要時間の中央値を活用することで、また院内各部門所要時間を人件費に変換することで、最後に電子問診の活用に伴う典型的な総コストについて考察する。

まず、導入段階及び運用段階の病院内各部門(事務部門・医師部門・その他医療提供部門)での対応業務により費やしている所要時間を、先行した研究班で用いた職種別の時給単価を利用して、院内各部門の人件費に換算した(表3)。その上で、各部門人件費を合計して、導入段階と運用段階の院内対応人件費合計をそれぞれ求め、さらに導入段階と運用段階のハード・ソフト関連の外部支出と合算することで、導入段階と運用段階の総コストを算出した。表3に示したように、導入段階では16.8万円の院内対応人件費がかかり、ハード・ソフト関連の外部支出と合わせると導入段階で205.3万円が必要となっていた。一方、運用段階では106.9万円の院内対応人

件費が発生しており、外部支出と合わせると運用段階で年間258.9万円かかっていた。

加えて、本調査では、サーバー関連、ネットワーク関連、タブレット等の想定耐用年数と買い取りの場合のソフト・アプリ関連の再購入までの年数についても把握している(資料2)。そこで各機器等の想定耐用年数等の中央値を利用し、耐用年数等が一番短かった機器等の耐用年数等に基づいて、耐用年数期間全体としての導入及び運用の総コストを算出するとともに、年次換算の総コストも算出した(表3)。5年の耐用年数期間全体としての総コストは1,499.9万円であり、年次換算総コストは300万円であった。

つまり電子問診の活用には、典型的には、導入段階で約205万円、運用段階で年間約259万円かかり、耐用年数期間は5年で総コストとして約1,500万円必要で、年次換算300万円かかっていた。

(3) 音声入力の利用に伴うコストの実態

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額は、200万円までで約65%を占め、500万円までで約75%を占めていた。しかし病院による大きなばらつきが見られた。その背景の1つには、病院の病床規模や、広義の公的病院か私的病院か、DPC対象/準備病院か否か、二次・三次救急病院か否かといった病院属性の違いが考えられる。

②院内での導入対応人員コスト関連

事務部門の導入対応所要時間は、病院によりある程度ばらつきが見られたが、そもそもまったく時間を取られなかった病院が4割見られ、10時間までで約75%を占め、20時間までで約85%を占めていた。医師部門の所要時間もほぼ同様であり、まったく時間を取られなかった病院が約46%見られ、10時間までで80%を占め、20時間までで約88%

を占めていた。その他医療提供部門の所要時間も類似した状況であったが、そもそもまったく時間を取られなかった病院が約 55%を占めており、10 時間までで約 75%を占め、20 時間までで約 83%を占めていた。導入対応のためにまったく時間が必要でなかった病院の割合に着目した場合、その他医療提供部門、医師部門、事務部門の順に多かった。

また各部門の中央値からも、どの部門であっても、導入対応にはあまり時間を取られないことがわかる（表 3）。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額は、50 万円までで 7 割を占めていたが、病院による大きなばらつきも見られた。その背景の 1 つには、二次・三次救急病院か否かという病院属性の違いが考えられる。また 0 万円と回答した病院も 4 割強見られたが、導入時にソフトを購入する形を採用し、継続的に利用料を支払う形態を採用していないためではないかと推察される。なお、ソフトの導入時購入方式と継続的な利用料支払方式の両者があるとすると、導入コストと運用コストの大小に支払方式によるトレードオフがあると考えられるため、導入段階と運用段階の合計としてのコストを見ることが重要であるといえる。

またハード・ソフト関連の導入コスト（110 万円）と運用コスト（5 万円）を中央値で比較すると、導入段階でのコストの方がはるかに大きかった（表 3）。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

事務部門の所要時間は、20 時間までで過半を占め、100 時間までで 80%を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。医師部門の所要時間は、20 時間まででは 60%を占め、400 時間までで 80%を占めていて、事務部門よりも病院によるばらつきが大きい。その他医療提供部門の所要時間は、10

時間までで過半を占め、200 時間までで 82%を占めていて、やはり病院によるばらつきが大きい。

運用対応のためにまったく時間が必要でなかった病院の割合に着目した場合、医師部門（40%）、その他医療提供部門（約 18%）、事務部門（約 13%）の順に多かった。

また各部門の中央値からは、事務部門（12 時間）、医師部門（6.5 時間）、その他医療提供部門（2 時間）の順に、運用対応により多くの時間を取られていることがわかる（表 3）。

導入対応時間と運用対応時間を中央値で比べると、どの部門においても、導入対応よりも運用対応の方が多くの時間を取られていた。導入段階と運用段階の対応時間合計では、事務部門（14 時間）、医師部門（8.5 時間）、その他医療提供部門（2 時間）の順に時間が取られていた。

⑤中央値で見る総コスト

導入段階及び運用段階のハード・ソフト関連の外部支出及び院内での対応人員所要時間の中央値を活用することで、また院内各部門所要時間を人件費に変換することで、音声入力の活用に伴う典型的な総コストについて考察する。

まず、導入段階及び運用段階の病院内各部門での対応業務により費やしている所要時間を、先行した研究班で用いた職種別の時給単価を利用して、院内各部門の人件費に換算した（表 3）。表 3 に示したように、導入段階では 1.5 万円の院内対応人件費がかかり、ハード・ソフト関連の外部支出と合わせると導入段階で 111.5 万円が必要となっていた。一方、運用段階では 6.5 万円の院内対応人件費が発生しており、外部支出と合わせると運用段階で年間 11.5 万円かかっていた。

加えて、サーバー関連、ネットワーク関連、音声入力デバイス等、ソフト・アプリ関連の

想定耐用年数等の中央値を利用し、耐用年数等が一番短かった機器等の耐用年数等に基づいて、耐用年数期間全体としての導入及び運用の総コストを算出するとともに、年次換算の総コストも算出した（表 3）。5 年の耐用年数期間全体としての総コストは 169.1 万円であり、年次換算総コストは 33.8 万円であった。

つまり音声入力の利用には、典型的には、導入段階で約 112 万円、運用段階で年間 11.5 万円かかり、耐用年数期間は 5 年で総コストとして約 169 万円必要で、年次換算約 34 万円かかっていた。

（４）RPA の活用に伴うコストの実態

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額は、100 万円までで約 66%を占め、200 万円までで約 77%を占めていた。しかし病院による大きなばらつきが見られた。その背景の 1 つには、特定労務管理対象医療機関か否かといった病院属性の違いも考えられる。

また 0 万円と回答した病院が半数近く見られたが、追加的なハードが必要でないことも多い中、ソフトも初期コストなしで年次利用料だけである（ソフトの初期設定なども年次利用料に組み込まれている）ため、導入コストとしては特にコストが発生しなかったということであると推察される。

②院内での導入対応人員コスト関連

事務部門の導入対応所要時間は、50 時間までで半数を占め、200 時間までで約 84%を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。一方、医師部門の所要時間は、事務部門とかなり異なり、導入対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院が約 86%も見られた。その他医療提供部門の所要時間も、20 時間までで 8 割弱を占め、医師部門ほどの割合ではないものの、事務部門と

はかなり異なり、導入対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院が約 55%見られた。

また各部門の中央値からは、事務部門（49.5 時間）が専ら導入対応をし、医師部門（0 時間）とその他医療提供部門（0 時間）は導入対応に特に時間を取られていないことがわかる（表 3）。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額は、100 万円までで約 57%を占め、200 万円までで約 86%を占めていたが、病院によるばらつきもある程度見られた。また 0 万円と回答した病院も約 16%見られたが、導入時にソフトを購入する形を採用し、継続的に利用料を支払う形態を採用していないためではないかと推察される。なおソフトの支払方式の違いは、導入コストと運用コストの大小にトレードオフをもたらすと考えられるため、導入段階と運用段階の合計としてのコストを見ることが重要である。

またハード・ソフト関連の導入コスト（30 万円）と運用コスト（100 万円）を中央値と比較すると、運用段階でのコストの方が大きかった（表 3）。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

事務部門の運用対応所要時間は、10 時間までで半数を占め、50 時間までで 8 割強を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。一方、医師部門の所要時間は、事務部門と大きく異なり、運用対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院が 9 割超にも及んでいた。その他医療提供部門の所要時間も同様に、医師部門ほどではないものの事務部門と大きく異なり、運用対応にまったく時間を取られなかった病院が 7 割強も見られた。

運用対応のためにまったく時間が必要でなかった病院の割合に着目した場合、医師部

門(約 94%)、その他医療提供部門(約 73%)、事務部門(約 23%)の順に多かった。

また各部門の中央値からは、事務部門(11 時間)が専ら運用対応に当たり、医師部門(0 時間)やその他医療提供部門(0 時間)は運用対応にまったく時間を取られていないことがわかる(表 3)。

さらに導入対応時間と運用対応時間を中央値で比べると、医師部門とその他医療提供部門はどちらも 0 時間で違いがないが、事務部門では、運用対応よりも導入対応の方が多くの時間を取られていた。

⑤中央値で見る総コスト

導入段階及び運用段階のハード・ソフト関連の外部支出及び院内での対応人員所要時間の中央値を活用することで、また院内各部門所要時間を人件費に変換することで、RPA の活用に伴う典型的な総コストについて考察する。

まず、導入段階及び運用段階の病院内各部門での対応業務により費やしている所要時間を、先行した研究班で用いた職種別の時給単価を利用して、院内各部門の人件費に換算した(表 3)。表 3 に示したように、導入段階では 9.9 万円の院内対応人件費がかかり、ハード・ソフト関連の外部支出と合わせると導入段階で 39.9 万円が必要となっていた。一方、運用段階では 2.2 万円の院内対応人件費が発生しており、外部支出と合わせると運用段階で年間 102.2 万円かかっていた。

加えて、サーバー関連、ネットワーク関連、新規 PC 関連、ソフト・アプリ関連の想定耐用年数等の中央値を利用し、機器等の耐用年数等に基づいて、耐用年数期間全体としての導入及び運用の総コストを算出するとともに、年次換算の総コストも算出した(表 3)。7 年の耐用年数期間全体としての総コストは 755.4 万円であり、年次換算総コストは

107.9 万円であった。

つまり RPA の活用には、典型的には、導入段階で約 40 万円、運用段階で年間約 102 万円かかり、耐用年数期間は 7 年で総コストとして約 755 万円必要で、年次換算約 108 万円かかっていた。

(5) 動画説明の活用に伴うコストの実態

①ハード・ソフト関連の導入コスト

総額は、30 万円までで約 69%を占め、100 万円までで約 85%を占めていた。しかし病院による大きなばらつきが見られた。その背景の 1 つには、開設者が広義の公的病院か私的病院かという病院属性の違いも考えられる。また 0 万円と回答した病院が一定程度見られたが、既存のハード(タブレット等)を活用し、ソフト(動画コンテンツ)は自前で作成した(あるいは無料コンテンツを利用した)ために、特に新たに追加でコストが発生しなかったということであると推察される。

②院内での導入対応人員コスト関連

事務部門の導入対応所要時間は、5 時間までで過半を占め、10 時間までで 7 割強を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。一方、医師部門の所要時間は、事務部門と大きく異なり、導入対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院も 7 割強見られた。その他医療提供部門の所要時間は、5 時間までで過半を占め、10 時間までで 7 割弱を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。

また各部門の中央値からは、事務部門(5 時間)とその他医療提供部門(5 時間)は同程度に導入対応に時間を取られているが、医師部門(0 時間)はまったく時間を取られていないことがわかる(表 3)。

③ハード・ソフト関連の運用コスト

総額は、10 万円までで約 76%を占めてい

たが、病院による大きなばらつきが見られた。その背景の1つには、総稼働病床数規模という病院属性の違いも考えられる。また0万円と回答した病院が6割を超えて見られたが、コンテンツを一度作成したらその後は通常コストがかからない(コンテンツ利用料という形態を取らなければ)という動画説明の特徴が表れていると考えられる。

④院内での運用業務対応人員コスト関連

事務部門の運用対応所要時間は、5時間までで7割強を占めていたが、病院により大きなばらつきが見られた。一方、医師部門の所要時間は、運用対応にまったく所要時間が発生しないで済んだ病院が8割強見られた。その他医療提供部門の所要時間は、5時間までで7割強を占めていたが、やはり病院によるばらつきが大きい。

運用対応のためにまったく時間が必要でなかった病院の割合に着目した場合、医師部門(約82%)、その他医療提供部門(約46%)、事務部門(約41%)の順に多かった。

また各部門の中央値からは、どの部門も運用対応にあまり時間を取られていないことがわかる(表3)。さらに導入対応時間と運用対応時間を中央値で比べると、どちらも0時間であった医師部門以外の部門では、運用対応よりも導入対応の方が多くの時間を取られていた。

⑤中央値で見る総コスト

導入段階及び運用段階のハード・ソフト関連の外部支出及び院内での対応人員所要時間の中央値を活用することで、また院内各部門所要時間を人件費に変換することで、画像説明の活用に伴う典型的な総コストについて考察する。

まず、導入段階及び運用段階の病院内各部門での対応業務により費やしている所要時間を、先行した研究班で用いた職種別の時給

単価を利用して、院内各部門の人件費に換算した(表3)。表3に示したように、導入段階では2.2万円の院内対応人件費がかかり、ハード・ソフト関連の外部支出と合わせると導入段階で12.2万円が必要となっていた。一方、運用段階では0.4万円の院内対応人件費が発生しており、外部支出と合わせると運用段階で年間0.4万円かかっていた。

加えて、タブレット等とソフト・アプリ関連の想定耐用年数等の中央値を利用し、機器等の耐用年数等に基づいて、耐用年数期間全体としての導入及び運用の総コストを算出するとともに、年次換算の総コストも算出した(表3)。5年の耐用年数期間全体としての総コストは14.4万円であり、年次換算総コストは2.9万円であった。

つまり動画説明の活用には、典型的には、導入段階で約12万円、運用段階で年間約0.4万円かかり、耐用年数期間は5年で総コストとして約14.4万円必要で、年次換算約3万円かかっていた。

E. 結論

全国8,000超の病院を対象にアンケート調査を実施し、電子問診、音声入力、RPA、動画説明の4種類のICT等に関して、それぞれを活用している多様な属性を持つ病院から、その活用に伴う導入及び運用コストについての詳細なデータを収集することができた。すなわち、令和7年度に収集する予定のICT等による医療従事者の労働時間短縮数のデータと組み合わせてこれら4種類のICT等への業務移管の費用対効果を分析するうえで、分析対象病院の多様性の観点から妥当なコスト関連データを収集することができた。

加えて、本年度収集できた各ICT等の活用に伴う各種コスト関連データにより、これら4種類のICT等への業務移管に伴う、ハード

やソフトのコスト、保守コスト、導入準備や運用に伴う院内の人件費など、必要コストの構造を可視化することができた。

参考文献

荒井耕・阪口博政・平木秀輔(2024)「医療従事者の労働時間短縮が期待される ICT 等の導入・管理状況と情報担当部門の時短効果意識に関する研究:「タスクシフトと ICT・ロボット化に関するアンケート」調査を用いて」厚生労働行政推進調査事業費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)『タスクシフトによる医師労働時間短縮効果と医療機関経営上の影響に関する研究』令和5年度分担研究報告書. https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202301005A-buntan6.pdf

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表

該当無し

2. 学会発表

該当無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し

表 1 4 種類の ICT 等ごとの病院属性別の導入回答病院数

導入回答病院数	電子問診	音声入力	RPA	動画説明
合計	84	66	64	118
【開設主体】				
広義の公的病院	39	32	35	65
広義の私的病院	45	34	29	53
【総稼働病床数】				
200床未満	34	21	15	50
200床以上400床未満	20	16	19	26
400床以上	30	29	30	42
【稼働病床数タイプ】				
一般	63	51	56	90
非一般	21	15	8	28
【特定労務管理対象医療機関の指定】				
指定・申請あり	26	25	22	28
該当せず	58	41	42	90
【DPC対応状況について】				
DPC対象／準備病院	60	52	55	84
該当せず	24	14	9	34
【救急指定病院について】				
二次救急指定病院	51	40	35	58
三次救急指定病院	24	21	22	31
それ以外	9	5	7	29

表 2 4 種類の ICT 等ごとの病院属性別の導入及び運用コスト

各種ICT等の病院属性別 外部支出(万円) (外れ値除去後平均値)	電子問診		音声入力		RPA		動画説明	
	導入段階	運用段階	導入段階	運用段階	導入段階	運用段階	導入段階	運用段階
【開設主体】								
広義の公的病院	334.9	135.7	255.5	25.2	64.3	92.9	13.0	2.1
広義の私的病院	178.7	119.4	134.0	26.2	68.7	100.4	31.3	2.2
【総稼働病床数】								
200床未満	144.8	137.9	98.8	20.8	49.4	91.6	14.3	2.8
200床以上400床未満	270.4	128.7	334.8	31.5	109.0	106.2	21.6	0.2
400床以上	344.8	113.9	190.0	25.3	46.4	91.9	29.3	2.4
【稼働病床数タイプ】								
一般	277.4	118.9	210.1	25.2	68.3	93.3	23.6	2.0
非一般	179.9	152.6	153.4	27.4	51.4	114.8	13.6	2.4
【特定労務管理対象医療機関の指定】								
指定・申請あり	277.1	110.6	247.8	29.9	32.3	110.5	26.3	1.6
該当せず	242.9	135.0	170.8	23.1	83.6	88.2	19.5	2.3
【DPC対応状況について】								
DPC対象／準備病院	292.9	128.3	225.0	28.6	66.4	95.9	23.6	2.0
該当せず	139.2	122.2	93.9	14.6	65.0	97.6	15.7	2.2
【救急指定病院について】								
二次救急指定病院	225.3	130.1	209.2	26.8	88.2	98.3	20.7	2.2
三次救急指定病院	331.8	121.2	202.2	28.2	45.3	95.5	29.0	2.3
それ以外	163.3	122.5	66.5	4.0	28.6	88.7	14.4	1.8

表3 中央値に基づく導入・運用段階の外部支出・院内人件費と耐用期間総コスト・年次換算総コスト

ICT等別コスト（中央値）		電子問診		音声入力		RPA		動画説明	
導入 段階	外部支出(万円)	188.5		110.0		30.0		10.0	
	院内人件費	所要時間	コスト換算	所要時間	コスト換算	所要時間	コスト換算	所要時間	コスト換算
	事務部門	30	6.0	2	0.4	49.5	9.9	5	1.0
	医師部門	11	6.2	2	1.1	0	0	0	0
	その他医療提供部門*	19	4.6	0	0	0	0	5	1.2
	合計(万円)	16.8		1.5		9.9		2.2	
	導入総コスト(万円)	205.3		111.5		39.9		12.2	
運用 段階	年次外部支出(万円)	152.0		5.0		100.0		0	
	年次院内人件費	所要時間	コスト換算	所要時間	コスト換算	所要時間	コスト換算	所要時間	コスト換算
	事務部門	96	19.3	12	2.4	11	2.2	1	0.2
	医師部門	104	58.5	6.5	3.7	0	0	0	0
	その他医療提供部門*	120	29.1	2	0.4	0	0	1	0.2
	合計(万円)	106.9		6.5		2.2		0.4	
	年次運用総コスト(万円)	258.9		11.5		102.2		0.4	
耐用年数期間総コスト(万円)		5年	1,499.9	5年	169.1	7年	755.4	5年	14.4
年次換算総コスト(万円)		300.0		33.8		107.9		2.9	
耐用年 数及び 再購入 までの 年数**	サーバー関連	6年		7年		7年		-	
	ネットワーク関連	6年		7年		-		-	
	入力及び出力等機器	5年	タブレット等	5年	音声入力デバイス	7年	新規PC関連	5年	タブレット等
	ソフト・アプリ関連	7年		7年		7年		5年	

*対応する主たる職種を想定して、電子問診と動画説明には看護職員単価、音声入力には医療技術員単価を適用

**耐用年数0年と回答した異常値と、ソフト・アプリ関連では加えて1年と回答(年間利用料に相当)した値を除去後の中央値

導入及び運用対応のための院内人件費算出に際する各職種別の時給単価は、本研究班に先行した下記研究班で用いた単価を活用した。

荒井耕・阪口博政・平木秀輔(2024a)「タスクシフトに伴う医師及び他職種の業務時間変化の把握と費用(経営負荷)対効果(労働時間短縮)に関する研究:「タスクシフトに伴う業務時間の変化に関するアンケート」調査を用いて」厚生労働行政推進調査事業費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)『タスクシフトによる医師労働時間短縮効果と医療機関経営上の影響に関する研究』令和5年度分担研究報告書。

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202301005A-buntan4.pdf

なお職種別の単価推計に関する詳細は、以下の当研究班令和3年度総括研究報告書を参照されたい。

荒井耕(2022)「タスクシフトによる医師労働時間短縮効果と医療機関経営上の影響に関する研究」厚生労働行政推進調査事業費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)『タスクシフトによる医師労働時間短縮効果と医療機関経営上の影響に関する研究』令和3年度総括研究報告書。

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202101012A-sokatsu.pdf

事 務 連 絡
令和 6 年 11 月 15 日

各 研究協力医療機関 事務部長 殿

厚生労働省医政局医事課

「各種情報技術等の導入・運用に伴うコストに関するアンケート」
に対するご協力をお願いについて（協力依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 6 年度の厚生労働科学研究費補助金事業において、下記の研究を行っております。

本研究は、業務効率化に資する各種 ICT・ロボットの導入・運用に関するコストを把握し、今後の医療機関における勤務環境改善支援策等を検討するために、貴重なデータとなるものです。

ついては、研究班からの調査へのご回答にご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

研 究 名：医療機関における情報技術等への業務移管による医療従事者の労働時間短縮効果と経営上の負荷に基づく費用対効果の検証研究
(令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）)

研究代表者：一橋大学大学院経営管理研究科教授 荒井 耕

調査内容等：データ収集調査票のとおり

各種情報技術等の導入・運用に伴うコストに関する

アンケート（ご協力のお願い）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、各種 ICT・ロボットの導入・運用に伴うコストに関するアンケートを実施させて頂きたく存じます。

2024 年 4 月より医師の働き方改革の新制度が施行されましたが、その一方で医療機関のその他の職員の働き方改革への期待や人手不足の傾向も指摘されています。

そこで本研究班では、厚生労働省医政局のもとで各種 ICT・ロボットの導入による改善を図るべくその費用及び効果について、つまり ICT・ロボットの導入・運用に関するコストと医療従事者の労働時間短縮について研究を進めております。

つきましては、今後の導入が期待される各種技術について、利用状況とその導入・運用に関するコストについて伺いたく、協力をお願いしたいと存じます。

本調査のデータは、個別の医療施設が特定される形で公表を行うことはありません。調査結果は、国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。また、本調査にご協力されない場合でも、貴施設の不利益となることはございません。なお、本研究は、一橋大学倫理審査委員会の審査・承認を得て実施いたします。（承認日：令和 6 年 10 月 9 日、承認番号：2024C019）

多忙のところ誠に恐縮ですが、ぜひ本調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

令和 6 年 11 月吉日

令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業
「医療機関における情報技術等への業務移管による医療従事者の労働時間短縮効果と
経営上の負荷に基づく費用対効果の検証研究」
研究代表者 荒井耕（一橋大学大学院経営管理研究科 教授）

- ご回答方法、調査期間等につきましては、実施要領（別紙）をご参照ください。
- 本調査への参加は、調査へのご回答をもって同意とさせていただきます。なお、回答後の撤回はできません。

※本紙に記載のログイン用 ID、パスワードはログイン時に必要になります。紛失しないようご注意ください。

「各種情報技術等の導入・運用に伴うコストに関するアンケート」 実施要領

本調査の回答は、インターネットから **12月16日23時59分まで** にお願いたします。

- インターネットが使えるパソコンをご用意ください。スマートフォンでも回答可能です。
- データは暗号化して送信されるため、安心してご利用いただけます。
- 各ページの設問をよく読み、回答を入力してください。画面下部の「次へ」ボタンをクリックすると回答内容が保存され、次のページに進みます。
- すべての設問を回答完了後に表示される確認画面にて回答内容を「送信」しますと、回答内容の修正ができません。修正をする場合は、回答内容を送信する前にページ下部の「戻る」で該当の設問に戻って修正をおこなってください。※ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

回答画面へのアクセスの方法

インターネット閲覧用のブラウザを起動し、下記の URL にアクセスしてください。

調査専用 HP (URL) : <https://en.surece.co.jp/gijutsucost2024/>

ログイン用 ID (半角英数) : ABCD123

ログイン用パスワード (半角英数) : ABCD123

ブラウザの アドレスバー に以下の URL (Web アドレス) を入力してください。
スマートフォンの場合は QR コードでも回答画面へアクセスできます。

URL	https://en.surece.co.jp/gijutsucost2024/
-----	---



URL (Web アドレス) をブラウザの アドレスバー に入力してください。
アドレスバーは画面の上部にあります。お使いのブラウザによって表示が異なる場合があります。

※
検索ボックスに入力しても回答画面に
アクセスできません。

利用できるパソコン環境

- **注意事項** : JavaScript および Cookie を有効にしてください。
- **推奨ブラウザ** : Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome (いずれも最新版)
- **推奨 OS** : Windows10

下記の画面が表示されます。

回答画面のほかに、調査票 PDF のダウンロードや、よくある質問の確認ができます。

ICT・ロボットアンケート調査

実施期間
・締め切りは、**2024年12月16日(月) 23時59分**です。

ご回答前に調査内容をご確認いただけます。数日以上の調査や院内での回覧等
する際は下のリンクからご確認ください。
[調査票 \(PDF版\)](#)

また、よくある質問と回答はこちらからご確認ください
[FAQ \(PDF版\)](#)

期日までにご回答のほど、
ご協力よろしくお願い申し
上げます。

PDF 版の調査票がダウンロードできます。
数日以上の調査や院内での回覧等のため
に、保存・印刷する際はご使用ください。

よくある質問と回答はこち
らから確認できます。

ブラウザは下記の通りです。
[Windows] 「Chrome 最新版」、「Firefox 最新版」、「Microsoft Edge 最新版」
[MacOS] 「Chrome 最新版」、「Firefox 最新版」、「Safari 最新版」
[Android] 「Chrome 最新版」
[iOS] 「Safari 最新版」 「Chrome 最新版」

- ・ オンライン回答は途中保存が可能です。中断される場合はそのまま画面を開いてください。
最後に「次へ」ボタンを押したページまでの回答は保存されています。再開する場合は回答用ペ
ージへ再度アクセスしログインしてください。
- ・ 回答が正常に反映されない可能性がありますので、回答中はブラウザの「戻る」ボタンを使用し
ないでください。
- ・ 回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
- ・ JavaScriptを有効にしてください。
- ・ アンケートには選択式の設問（[単一選択]と[複数選択]）、および入力式の設問（[文字入力]と
[数字入力]）があります。
単一選択
複数の選択肢の中から1つだけしか選択できない選択方式です。
選択肢がラジオボタン（○）で表示されます。
複数選択
いくつでも選択できる方式です。選択肢がチェックボックス（□）で表示されます。
- ・ 下の「ログイン画面」リンクをクリックし、アンケート画面に進んでください。

『ICT・ロボットアンケート調査』
「ログイン画面」

<問い合わせ先>
株式会社サーベイリサーチセンター
gijutsucost2024@surece.co.jp

こちらから回答画面に遷移します。
遷移したら、表面記載のログイン用 ID と
ログイン用パスワードを入力してください。

よくある質問と回答

I 調査内容・対象

Q1-1 この調査は何のために行う調査なのか。

A： 本調査では、各種 ICT・ロボットの導入による労務改善を図るために、その費用及び効果、つまり ICT・ロボットの導入・運用に関するコストと医療従事者の労働時間短縮について調査するものです。

Q1-2 どの機関がこの調査を実施しているのか。

A： 本調査は、厚生労働省医政局医事課との連携の下、令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金による「医療機関における情報技術等への業務移管による医療従事者の労働時間短縮効果と経営上の負荷に基づく費用対効果の検証研究」班（研究代表者 荒井耕（一橋大学））が実施しているものです。

Q1-3 どのような医療機関が調査の対象となっているのか。

A： 国内のすべての病院を対象としています。

Q1-4 回答内容の秘密は守られるか。

A： 本調査で入手したいかなる情報も本調査の目的以外に使用することはありません。ご回答いただいたすべての情報は研究班（研究代表者 荒井耕（一橋大学））によって厳重に保管されます。

Q1-5 調査結果はどのように使われ公表されるのか。

A： 本調査結果は、病院における情報技術等への業務移管による政策を検討・立案する目的で、厚生労働省との連携の下で研究班（研究代表者 荒井耕（一橋大学））にて分析を行い、分析結果を公表することがあります。

いかなる場合においても、病院名が特定される形での公表はありません。

Q1-6 回答義務はあるのか。

A： 義務ではありませんが、病院における情報技術を通じた業務移管の現状や改善のための施策検討・実施のため、本調査へのご協力をお願いいたします。

II 各種システム全般に関わる質問 （導入されているシステム）

Q2-1-1 使っている ICT・ロボットとして、複数の部門が異なるメーカーのものを利用し

ている場合、どのように入力すればよいか。

A： 今回の調査では、利用しているカテゴリー（電子問診システム、音声入力システム、RPA、動画等による患者への説明）ごとに、合計してご入力ください。

Q2-1-2 近々、システムを導入予定で準備を進めている。この場合、導入ありとするか、なしとするか。

A： 2025年3月までに導入が見込まれるのであれば、導入ありとしてお答えください。その際、まだ確定していない導入のためのコストや、運用段階のコストについては、見込み額（想定額）をご記載ください。

（導入費用・運用費用）

Q2-2-1 電子カルテ等の一部として納入されているので、単独のシステムとして導入したわけではない。導入費用や保守費用はどのように回答すればよいか。

A： 該当するシステムに相当する分については、抽出可能であれば該当する部分の金額をお答えください。例えば、見積書上で各種の内訳の合計額から一括して値引きしている場合などは、値引き分を按分して該当部分についてお答えください。

Q2-2-2 「院内調整業務」とはどこまで含むのか。

A： 該当システムの導入・運用に関わるものを、計測可能な範囲でお答えください。たとえば、仕様・運用を決めるための委員会や、導入を決めた会議体なども、計測可能であれば含めてお答えください。

Q2-2-3 運用費用に関して、導入後1年は保守費用が掛からないが、その場合はゼロでよいか。

A： このケースの場合は、該当期間経過後の通常費用が見込まれる場合の費用をお答えください。まだ正式契約前などで確定していない場合、想定している金額をお答えください。

Ⅲ 個別システムに関わる設問

（電子問診システム）

Q3-1-1 電子カルテと一括して導入したため、該当システムの切り分けが難しい。

A： 導入時の見積書などを参照し、可能な範囲で該当システムに関わるものをお答えください。各種システムの標準価格などに一括して割引が入っている場合、標準価格の金額で按分した金額などで問題ありません。

（音声入力システム）

Q3-2-1 電子カルテと一括して導入したため、該当システムの切り分けが難しい。

A： 導入時の見積書などを参照し、可能な範囲で該当システムに関わるものをお答えください。各種システムの標準価格などに一括して割引が入っている場合、標準価格の金額で按分した金額などで問題ありません。

（動画等による患者への説明の情報技術）

Q3-4-1 調査は人的負担を軽減するためのものと推察されるが、動画を利用するすべてのシステムを記載する必要があるのか。

A： 本調査では、業務時間の短縮による医療従事者の負担軽減につながる、動画による患者への説明に関する事例のデータを収集することが目的です。そのため、動画を活用した患者への説明により、その動画が無い場合と比べて業務時間の短縮になっている場合は、今回の調査対象とすべき事例であると考えます。一方で、業務時間の短縮にはつながっていない場合（例えば指導と説明の質を高める効果のみの場合）には、必ずしもご回答いただく必要はありません。

◆以下の空欄に、貴院名・ご回答者様についてご入力ください。

貴院名 _____
所在地 (都道府県) _____ (市区町村) _____
ご回答者様 お役職 _____ お名前 _____
ご連絡先メールアドレス _____

問1 医療機関の概況についてお聞きします。

(1) 開設主体について、以下の属性から該当する開設主体番号(1～5)をお選びください。

開設主体	(参考)
1 国	厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等
2 公的医療機関	都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等
3 社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等
4 法人	公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等
5 その他	

(2) 稼働病床数について、ご入力下さい。また該当する病床がない場合は、「0」(ゼロ)とご入力ください。

総稼働病床数 _____ 床
(内訳)
一般病床数 _____ 床 療養病床数 _____ 床
精神病床数 _____ 床 その他病床数 _____ 床

(3) 特定労務管理対象医療機関の指定について、該当するものをお選びください。

() 指定・申請あり () 該当せず

(4) DPC 対応状況について、該当するものをお選びください。

() DPC 対象／準備病院 () 該当せず

(5) 救急指定病院について、該当するものをお選びください。

() 二次救急指定病院 () 三次救急指定病院
() それ以外

(１) 電子問診システム、(２) 音声入力システム、(３) RPA (Robotic Process Automation)、(４) 動画等による患者への説明の情報技術に関して、①導入有無、②主たる管理(利用)部署、③-1 初期費用(ハード・ソフト関連)、③-2 初期費用(病院側対応人員)、④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)、④-2 運用費用(病院側対応人員)についてお答えください。

① 導入有無について、該当のものに○を選択してください。また導入している場合には、その具体的なシステム名称を記載してください。

システム名称 ()

() 導入なし ⇒ (2)へお進みください。

※ その他の部門については、利用している代表的な3部門までお答えください。

() 情報部門

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

※ ソフト・アプリ等の導入に当たって、**買い切りのソフト・アプリ関連だけ**をご回答ください。(年間ライセンス料・サブスクリプション料のみの場合は、本項目には含めず④-1 でお答えください。)

※ 詳細金額がご不明な場合は、その他に一括して金額をご入力ください。

総額 万円

(内訳)

サーバー関連	万円	想定耐用年数	年
--------	----	--------	---

ネットワーク関連	万円	想定耐用年数	年
----------	----	--------	---

システム等接続工事 万円

タブレット等	_____ 万円	想定耐用年数	_____ 年
ソフト・アプリ関連	_____ 万円	再購入までの年数	_____ 年
その他	(_____)		_____ 万円

③-2 院内での導入対応人員に関して、お答えください。

(i) 説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間についてお答えください。

※ 所要時間・回数等にバラつきがある場合は、平均的なものを想定してご入力ください。

事務部門	(_____)人	×	(_____)時間	×	(_____)回	=	総計(_____)時間
医師部門	(_____)人	×	(_____)時間	×	(_____)回	=	総計(_____)時間
その他医療提供部門	(_____)人	×	(_____)時間	×	(_____)回	=	総計(_____)時間

(ii) 説明会・研修会参加業務以外の業務について、部門ごとにおおよその導入業務時間をご入力ください。

※ システム改修業務、院内調整業務などを想定しています。該当業務のみを行ったと仮定し、おおよその人員・時間・日数の積算したものとしてご推計ください。

事務部門	総計(_____)時間
医師部門	総計(_____)時間
その他医療提供部門	総計(_____)時間

④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額（可能なら内訳）をご入力ください。

※ ハードについては、当情報技術の活用に伴い発生することになった追加的なもののみ対象としてください。

※ 回答に当たっては、“一年当たり”でお答えください。

総額	_____ 万円		
(内訳)			
サーバー保守関連	_____ 万円	タブレット保守等	_____ 万円
ソフト・アプリ関連利用料（ライセンス料・サブスクリプション料）			_____ 万円
その他	_____ 万円		

④-2 運用業務対応人員に関して、所要人員・時間・回数（日・週・月・年の頻度の単位を選択のうえ）をご入力ください。

※ 該当業務のみを行ったと仮定した場合のおおよその人員・時間・回数でご入力ください。

（事務部門）

システム保守 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

トラブル対応 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

その他業務 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

（医師部門）

トラブル対応 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

その他業務 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

（その他医療職部門）

トラブル対応 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

その他業務 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

（2）音声入力システム

① 導入有無について、該当のものに○を選択してください。

() 導入あり ⇒ ②以下の設問にもお答えください。

() 導入なし ⇒ (3)へお進みください。

② 主たる利用部門について、該当のものに○を入力し、情報部門以外の場合はその部門名を記してください。

※ その他の部門については、利用している代表的な3部門までお答えください。

() 情報部門

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額（可能なら内訳）をご入力ください。

※ ハードについては、当情報技術の活用に伴い発生することになった追加的なもののみ対象としてください。

※ ソフト・アプリ等については、**買い切りのソフト・アプリ関連**だけをご回答ください。（年間ライセンス料・サブスクリプション料のみの場合は、本項目には含めず④-1でお答えください。）

総額	_____	万円		
(内訳)				
サーバー関連	_____	万円	想定耐用年数	_____ 年
ネットワーク関連	_____	万円	想定耐用年数	_____ 年
システム等接続工事	_____	万円		
音声入力デバイス等	_____	万円	想定耐用年数	_____ 年
ソフト・アプリ関連	_____	万円	再購入までの年数	_____ 年
その他	(_____)			_____ 万円

③-2 院内での導入対応人員に関して、お答えください。

(i) 説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間についてお答えください。

※ 所要時間・回数等にバラつきがある場合は、平均的なものを想定してご入力ください。

事務部門	(_____)人	×	(_____)時間	×	(_____)回	=	総計(_____)時間
医師部門	(_____)人	×	(_____)時間	×	(_____)回	=	総計(_____)時間
その他医療提供部門	(_____)人	×	(_____)時間	×	(_____)回	=	総計(_____)時間

(ii) 説明会・研修会参加業務以外の業務について、部門ごとにおおよその導入業務時間をご入力ください。

※ システム改修業務、院内調整業務などを想定しています。該当業務のみを行ったと仮定し、おおよその人員・時間・日数の積算したものとしてご推計ください。

事務部門	総計(_____)時間
医師部門	総計(_____)時間
その他医療提供部門	総計(_____)時間

④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額（可能なら内訳）をご入力ください。

※ ハードについては、当情報技術の活用に伴い発生することになった追加的なもののみ対象としてください。

※ 回答に当たっては、“一年当たり”でお答えください。

総額 _____ 万円

（内訳）

サーバー保守関連 _____ 万円 タブレット保守等 _____ 万円

ソフト・アプリ関連利用料（ライセンス料・サブスクリプション料） _____ 万円

その他 _____ 万円

④-2 運用業務対応人員に関して、所要人員・時間・回数（日・週・月・年の頻度の単位を選択のうえ）をご入力ください。

※ 該当業務のみを行ったと仮定した場合のおおよその人員・時間・回数でご入力ください。

（事務部門）

システム保守 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

トラブル対応 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

その他業務 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

（医師部門）

トラブル対応 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

その他業務 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

（その他医療職部門）

トラブル対応 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

その他業務 ()人 × ()時間 × 日・週・月・年 あたり ()回 = 総計()時間

(3) RPA (Robotic Process Automation)

① 導入有無について、該当のものに○を選択し、シナリオ・ロボット・ボット数を入力してください。複数の部門で利用している場合には、病院全体の合計としてのシナリオ・ロボット・ボット数をご入力ください。

() 導入あり

() シナリオ・ロボット・ボット ⇒ ②以下の設問にもお答えください。

() 導入なし ⇒ (4)へお進みください。

② 主たる利用部門について、該当のものに○を入力し、情報部門以外の場合はその部門名を記してください。

※ その他の部門については、利用している代表的な3部門までお答えください。

() 情報部門

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額（可能なら内訳）をご入力ください。

※ ハードについては、当情報技術の活用に伴い発生することになった追加的なもののみ対象としてください。

※ ソフト・アプリ等については、**買い切りのソフト・アプリ関連だけ**をご回答ください。(年間ライセンス料・サブスクリプション料のみの場合は、本項目には含めず④-1でお答えください。)

総額 万円

(内訳)

サーバー関連	万円	想定耐用年数	年

新規 PC 関連	万円	想定耐用年数	年
----------	----	--------	---

ソフト・アプリ関連	万円	再購入までの年数	年
1. 会計ソフト	100	5	5
2. 人事労務ソフト	100	5	5
3. 経理ソフト	100	5	5
4. 顧客管理ソフト	100	5	5
5. 在庫管理ソフト	100	5	5
6. 生産管理ソフト	100	5	5
7. 品質管理ソフト	100	5	5
8. 安全管理ソフト	100	5	5
9. その他	100	5	5
合計	1000	5	5

その他 () 万円

③-2 院内での導入対応人員に関して、お答えください。

(i) 説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間についてお答えください。

※ 所要時間・回数等にバラつきがある場合は、平均的なものを想定してご入力ください。

事務部門 ()人 × ()時間 × ()回 = 総計()時間

医師部門 ()人 × ()時間 × ()回 = 総計()時間

その他医療提供部門 ()人 × ()時間 × ()回 = 総計()時間

(ii) 説明会・研修会参加業務以外の業務について、部門ごとにおおよその導入業務時間をご入力ください。

※ シナリオ・ロボット・ボット作成業務、院内調整業務などを想定しています。該当業務のみを行ったと仮定し、おおよその人員・時間・日数の積算したものとしてご推計ください。

事務部門 総計()時間

医師部門 総計()時間

その他医療提供部門 総計()時間

④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額（可能なら内訳）をご入力ください。

※ ハードについては、当情報技術の活用に伴い発生することになった追加的なもののみ対象としてください。

※ 回答に当たっては、“一年当たり”でお答えください。

総額 _____ 万円
(内訳)

サーバー保守関連 _____ 万円 PC 関連 _____ 万円

ソフト・アプリ関連利用料（ライセンス料・サブスクリプション料） _____ 万円

その他 _____ 万円

④-2 運用業務対応人員に関して、部門ごとのおおよその運用業務時間をご入力ください。

※ シナリオ・ロボット・ボット保守業務、院内調整業務などを想定しています。該当業務のみを行ったと仮定し、おおよその人員・時間・日数の積算したものとしてご推計ください。

事務部門 総計()時間

医師部門 総計()時間

その他医療提供部門 総計()時間

(4) 動画等による患者への説明

① 導入有無について、該当のものに○を選択し、導入している場合は動画数を入力してください。

() 導入あり

() 動画 ⇒ ②以下の設問にもお答えください。

() 導入なし ⇒ (終了)

② 主たる利用部門について、該当のものに○を入力し、情報部門以外の場合はその部門名を記してください。

※ その他の部門については、利用している代表的な3部門までお答えください。

() 情報部門

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

() その他の部門 (部門名 :)

③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)に関して、総額(可能なら内訳)をご入力ください。

※ ソフト・アプリ等については、買い切りのソフト・アプリ関連だけをご回答ください。(年間ライセンス料・サブスクリプション料のみの場合は、本項目には含めず④-1でお答えください。)

総額 _____ 万円

(内訳)

タブレット関連 _____ 万円 想定耐用年数 _____ 年

ソフト・アプリ関連 _____ 万円 再購入までの年数 _____ 年

その他 () _____ 万円

③-2 院内での導入対応人員に関して、部門ごとにおおよその導入業務時間をご入力ください。

※ 動画作成・編集業務、院内調整業務などを想定しています。該当業務のみを行ったと仮定し、おおよその人員・時間・日数の積算したものとしてご推計ください。

事務部門 総計()時間

医師部門 総計()時間

その他医療提供部門 総計()時間

④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額（可能なら内訳）をご入力ください。

※ ハードについては、当情報技術の活用に伴い発生することになった追加的なもののみ対象としてください。

※ 回答に当たっては、“一年当たり”でお答えください。

総額 _____ 万円

（内訳）

タブレット保守関連 _____ 万円

ソフト・アプリ関連利用料（ライセンス料・サブスクリプション料） _____ 万円

その他 _____ 万円

④-2 運用業務（改訂作業など）対応人員に関して、部門ごとのおおよその運用業務時間をご入力ください。

※ 動画改訂業務、院内調整業務などを想定しています。該当業務のみを行ったと仮定し、おおよその人員・時間・日数の積算したものとしてご推計ください。

※ 回答に当たっては、“一年当たり”でお答えください。

事務部門 _____ 総計(_____)時間

医師部門 _____ 総計(_____)時間

その他医療提供部門 _____ 総計(_____)時間

ご協力ありがとうございました。

資料 2

「各種情報技術等の導入・運用に伴うコストに関するアンケート」

調査結果報告書

目次

1. 調査概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査方法・調査期間	1
1-3 調査対象機関、回答数、有効回答数、有効回収率	1
2. 調査対象機関の属性	2
2-1 問1(1)開設主体	2
2-2-1 問1(2)総稼動病床数 5区分	2
2-2-2 問1(2)総稼動病床数 3区分	2
2-2-3 問1(2)総稼動病床数 一般型・非一般型	2
2-2-4 問1(2)総稼動病床数 一般型・療養型・精神型・ケアミックス型	3
2-3 問1(3)特定労務管理対象医療機関の指定について	3
2-4 問1(4)DPC対応状況について	3
2-5 問1(5)救急指定病院について	3
3. 調査結果詳細	4
＜結果の見方＞	4
1)留意点	4
2)クロス集計結果のチャート選定条件	4
3-1 単純集計結果(1)	5
3-1-1 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)①導入有無について	5
3-1-2 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)②主たる管理部門について	5
3-1-3 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)	6
3-1-4 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)	6
3-1-5 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用	7
3-1-6 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数	7
3-1-7 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用	8
3-1-8 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連の想定耐用年数	8
3-1-9 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用	9
3-1-10 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット等費用	9
3-1-11 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット等の想定耐用年数	10
3-1-12 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用	10
3-1-13 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数	11
3-1-14 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	11
3-1-15 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事	

務部門の対応人員	12
3-1-16 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員	12
3-1-17 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員	13
3-1-18 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計	13
3-1-19 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計	14
3-1-20 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計	14
3-1-21 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計	15
3-1-22 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計	15
3-1-23 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計	16
3-1-24 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)	16
3-1-25 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)	17
3-1-26 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)	17
3-1-27 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)	18
3-1-28 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)	18
3-1-29 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)	19
3-1-30 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)	19
3-1-31 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)	20
3-1-32 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用	20
3-1-33 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用	21
3-1-34 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料	21
3-1-35 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	22
3-1-36 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守の有無	22

3-1-37 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応の有無	23
3-1-38 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務の有無	23
3-1-39 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応の有無	24
3-1-40 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務の有無	24
3-1-41 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応の有無	25
3-1-42 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務の有無	25
3-1-43 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)	26
3-1-44 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)	26
3-1-45 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務時間総計(年あたり)	27
3-1-46 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)	27
3-1-47 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務時間総計(年あたり)	28
3-1-48 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)	28
3-1-49 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)	29
3-1-50 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)	29
3-1-51 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)	30
3-1-52 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)	30
3-1-53 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)	31
3-1-54 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)	31
3-1-55 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)	32
3-2 単純集計結果(2)	32
3-2-1 問2(2)音声入力システム①導入有無について	32

3-2-2 問2(2)音声入力システム②主たる利用部門について.....	33
3-2-3 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)	34
3-2-4 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)	34
3-2-5 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用.....	35
3-2-6 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数.....	35
3-2-7 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用	36
3-2-8 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連の想定耐用年数	36
3-2-9 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用	37
3-2-10 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等費用.....	37
3-2-11 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等の想定耐用年数	38
3-2-12 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用	38
3-2-13 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数	39
3-2-14 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	39
3-2-15 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応 人員.....	40
3-2-16 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応 人員.....	40
3-2-17 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供 部門の対応人員.....	41
3-2-18 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要 時間総計.....	41
3-2-19 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要 時間総計.....	42
3-2-20 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供 部門の所要時間総計.....	42
3-2-21 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務 部門の導入業務時間総計.....	43
3-2-22 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師 部門の導入業務時間総計.....	43
3-2-23 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその 他医療提供部門の導入業務時間総計	44
3-2-24 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計 (外れ値除去前).....	44
3-2-25 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計 (外れ値除去前).....	45
3-2-26 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総	

計の合計(外れ値除去前).....	45
3-2-27 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計 (外れ値除去後).....	46
3-2-28 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計 (外れ値除去後).....	46
3-2-29 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総 計の合計(外れ値除去後).....	47
3-2-30 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前).....	47
3-2-31 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後).....	48
3-2-32 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用.....	48
3-2-33 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用.....	49
3-2-34 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料.....	49
3-2-35 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用.....	50
3-2-36 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守の有無.....	50
3-2-37 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応の有無.....	50
3-2-38 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務の有無.....	51
3-2-39 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応の有無.....	51
3-2-40 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務の有無.....	51
3-2-41 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応の有無.....	52
3-2-42 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務の有無.....	52
3-2-43 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守時間総計(年あたり).....	53
3-2-44 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり).....	53
3-2-45 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務時間総計(年あたり).....	54
3-2-46 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり).....	54
3-2-47 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務時間総計(年あたり).....	55
3-2-48 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あた り).....	55
3-2-49 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)	56
3-2-50 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務 時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前).....	56
3-2-51 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合 計(年あたり)(外れ値除去前).....	57
3-2-52 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時 間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前).....	57
3-2-53 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務	

時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)	58
3-2-54 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)	58
3-2-55 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)	59
3-3 単純集計結果(3)	59
3-3-1 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)①導入有無について	59
3-3-2 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)①導入有のシナリオ・ロボット・ボット数	60
3-3-3 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)②主たる利用部門について	60
3-3-4 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前) ...	61
3-3-5 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後) ...	62
3-3-6 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用	62
3-3-7 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数	63
3-3-8 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち新規PC関連費用	63
3-3-9 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)の想定耐用年数	64
3-3-10 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用	64
3-3-11 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数	65
3-3-12 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	65
3-3-13 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員	66
3-3-14 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員	66
3-3-15 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員	67
3-3-16 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計	67
3-3-17 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計	68
3-3-18 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計	68
3-3-19 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参	

加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計	69
3-3-20 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会 参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計	69
3-3-21 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会 参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計	70
3-3-22 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部 門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)	70
3-3-23 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部 門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)	71
3-3-24 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他 医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)	71
3-3-25 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部 門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)	72
3-3-26 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部 門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)	72
3-3-27 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他 医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)	73
3-3-28 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前).73	
3-3-29 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後).74	
3-3-30 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連 費用.....	74
3-3-31 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちPC関連費用....	75
3-3-32 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連 利用料.....	75
3-3-33 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	76
3-3-34 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間 総計(外れ値除去前).....	76
3-3-35 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間 総計(外れ値除去後).....	77
3-3-36 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間 総計(外れ値除去前).....	77
3-3-37 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間 総計(外れ値除去後).....	78
3-3-38 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運 用業務時間総計(外れ値除去前).....	78
3-3-39 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運	

用業務時間総計(外れ値除去後)	79
3-4 単純集計結果(4)	79
3-4-1 問2(4)動画等による患者への説明①導入有無について	79
3-4-2 問2(4)動画等による患者への説明①導入有の場合の動画数について	80
3-4-3 問2(4)動画等による患者への説明② 主たる利用部門について	80
3-4-4 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)	82
3-4-5 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)	82
3-4-6 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット関連費用	83
3-4-7 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット関連の想定耐用年数	83
3-4-8 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用	84
3-4-9 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年 数.....	84
3-4-10 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	85
3-4-11 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する事務部門の導入業務時間総計(外れ値 除去前)	85
3-4-12 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する事務部門の導入業務時間総計(外れ値 除去後)	86
3-4-13 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する医師部門の導入業務時間総計(外れ値 除去前)	86
3-4-14 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する医師部門の導入業務時間総計(外れ値 除去後)	87
3-4-15 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関するその他医療提供部門の導入業務時間 総計(外れ値除去前)	87
3-4-16 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関するその他医療提供部門の導入業務時間 総計(外れ値除去後)	88
3-4-17 問2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)	88
3-4-18 問2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)	89
3-4-19 問2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守関連費用	89
3-4-20 問2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料	90
3-4-21 問2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用	90
3-4-22 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計(外れ値除去 前)	91
3-4-23 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計(外れ値除去 後)	91
3-4-24 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計(外れ値除去 前)	92

3-4-25 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)	92
3-4-26 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計(外れ値除去前).....	93
3-4-27 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計(外れ値除去後).....	93
3-5 クロス集計結果	94
3-5-1 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(1)開設主体.....	94
3-5-2 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(1)開設主体	94
3-5-3 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(1)開設主体	94
3-5-4 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(1)開設主体	95
3-5-5 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(1)開設主体.....	95
3-5-6 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(1)開設主体	95
3-5-7 問 2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(1)開設主体.....	96
3-5-8 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数.....	96
3-5-9 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数.....	97
3-5-10 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員の(i)と(ii)のその他医療提供部門総計の合計(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数.....	97
3-5-11 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数.....	98
3-5-12 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数.....	98
3-5-13 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数.....	99
3-5-14 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数	99
3-5-15 問 2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数.....	100
3-5-16 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型.....	100
3-5-17 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型.....	100
3-5-18 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型	101
3-5-19 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型.....	101
3-5-20 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定	101
3-5-21 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定	102

3-5-22 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定	102
3-5-23 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定	102
3-5-24 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定	103
3-5-25 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況	103
3-5-26 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)に総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(4)DPC 対応状況.....	103
3-5-27 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況	104
3-5-28 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(4)DPC 対応状況.....	104
3-5-29 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況.....	104
3-5-30 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況	105
3-5-31 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院	105
3-5-32 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院.....	105
3-5-33 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(5)救急指定病院.....	106
3-5-34 問 2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(5)救急指定病院.....	106
3-5-35 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院	107
3-5-36 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院.....	107
4. 検定結果	108

1. 調査概要

1-1 調査目的

2024 年 4 月より医師の働き方改革の新制度が施行されたが、その一方で医療機関のその他の職員の働き方改革への期待や人手不足の傾向も指摘されている。そのため厚生労働省のもとで本プロジェクト(研究班)では、各種 ICT・ロボットの導入による改善を図るべく、その費用及び効果について、つまり ICT 等の導入・運用に関するコストと医療従事者の労働時間短縮について研究を進めている。

そこで本調査では、医療機関において今後の導入が期待される各種情報技術等について、医療機関へアンケートを実施し、利用状況とその導入・運用に関するコストについて把握することを目的としている。

1-2 調査方法・調査期間

(1) アンケートの準備

アンケート調査は、WEB 回答(オンライン回答)方式とし、医療機関内の複数部署が回答に関わる可能性が高いことから、アンケート調査票の PDF をダウンロードおよび印刷可能な仕組みを取り入れた。また、最終回答内容について、院内決裁に回す場合も想定されることから、WEB 上で確認画面を保存し、印刷できるようにする仕組みも取り入れた。

アンケート調査対象である国内の全病院の住所リストを作成し、8,073 病院を対象にアンケート調査を行った。

アンケート調査は令和 6 年 11 月 18 日から令和 7 年 1 月 10 日まで実施した。

(2) 調査対象機関への督促

未回答者に対して、はがきによる督促を行った。令和 6 年 12 月 4 日時点で未回答の 7,192 件を対象とし、令和 6 年 12 月 6 日に発送した。

調査対象機関からの WEB 回答に関する質疑に対応するために、調査協力依頼状に連絡先を記載し、担当者を設けた。なお、調査内容に関する質疑については、研究班側で対応した。

1-3 調査対象機関、回答数、有効回答数、有効回収率

- ・調査対象機関： 全国の病院である 8,073 件
- ・回答数(有効回答以外の回答を含む): 1,403
- ・有効回答数： 1,151
- ・有効回収率： 14.3%

2. 調査対象機関の属性

2-1 問1(1)開設主体

本調査の標本において、「法人」(70.9%)の割合が最も高く、次いで「公的医療機関」(22.7%)、「国」(5.3%)である。「社会保険関係団体」(0.3%)の割合が最も低い。

	標本(n=1,151)	
	件数	%
国	61	5.3
公的医療機関	261	22.7
社会保険関係団体	4	0.3
法人	816	70.9
その他	9	0.8
Total	1,151	100.0

2-2-1 問1(2)総稼動病床数 5区分

本調査の標本において、「100床台(100床以上)」(34.0%)の割合が最も高く、次いで「～100床未満」(33.4%)、「200～399(床)」(22.2%)である。「600～(床)」(3.3%)の割合が最も低い。

	標本(n=1,151)	
	件数	%
～100床未満	385	33.4
100床台(100床以上)	391	34.0
200～399(床)	256	22.2
400～599(床)	81	7.0
600～(床)	38	3.3
Total	1,151	100.0

2-2-2 問1(2)総稼動病床数 3区分

本調査の標本において、「200床未満」(67.4%)の割合が最も高く、次いで「200床以上400床未満」(22.2%)である。「400床以上」(10.3%)の割合が最も低い。

	標本(n=1,151)	
	件数	%
200床未満	776	67.4
200床以上400床未満	256	22.2
400床以上	119	10.3
Total	1,151	100.0

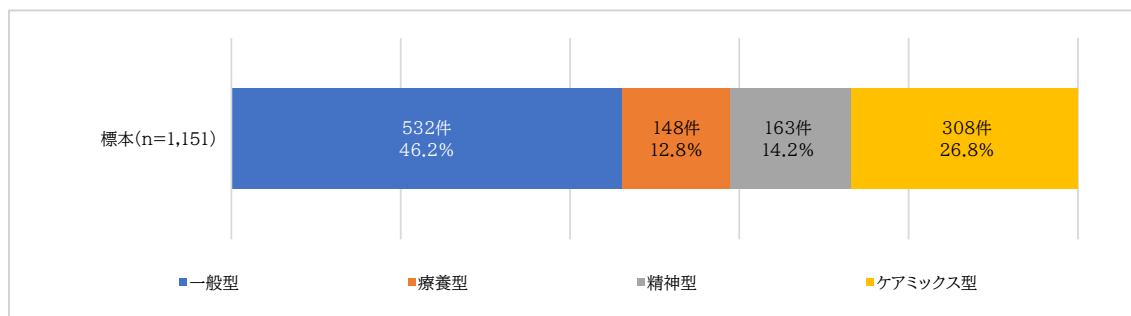
2-2-3 問1(2)総稼動病床数 一般型・非一般型

本調査の標本において、「非一般型」(53.8%)の割合が「一般型」(46.2%)に比べやや高い

	標本(n=1,151)	
	件数	%
一般型	532	46.2
非一般型	619	53.8
Total	1,151	100.0

2-2-4 問1(2)総稼動病床数 一般型・療養型・精神型・ケアミックス型

本調査の標本において、「一般型」(46.2%)の割合が高く、「ケアミックス型」(26.8%)、「精神型」(14.2%)の順となっている。



2-3 問1(3)特定労務管理対象医療機関の指定について

本調査の標本において、「該当せず」(92.4%)の割合が高く、「指定・申請あり」は 7.6%である。

	標本(n=1,151)	
	件数	%
指定・申請あり	87	7.6
該当せず	1,064	92.4
Total	1,151	100.0

2-4 問1(4)DPC対応状況について

本調査の標本において、「該当せず」(66.8%)の割合が高く、「DPC対象／準備病院」(33.2%)の割合が低い。

	標本(n=1,151)	
	件数	%
DPC対象／準備病院	382	33.2
該当せず	769	66.8
Total	1,151	100.0

2-5 問1(5)救急指定病院について

本調査の標本において、「それ以外」(52.1%)の割合が最も高い。「二次救急指定病院」(41.8%)、「三次救急指定病院」(6.1%)となっている。

	標本(n=1,151)	
	件数	%
二次救急指定病院	481	41.8
三次救急指定病院	70	6.1
それ以外	600	52.1
Total	1,151	100.0

3. 調査結果詳細

<結果の見方>

1) 留意点

- ・回答は各質問の有効回答者数(n)を基礎とした百分率で表示してある。
- ・百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・クロス集計については、分析軸の「無回答(不明)」は掲載を省略している。ただし、複数回答において、各テーブルおよびチャートの「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析軸となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも「全体」の数値とは一致しない。
- ・n 数が 20 未満のものについては積極的に言及していない。
- ・調査結果内の「SA」「MA」「NA」「FA」は以下を指す。

SA:単一回答(ひとつに○)

MA:複数回答(いくつでも○)

NA:数値回答

FA:自由回答

2) クロス集計結果のチャート選定条件

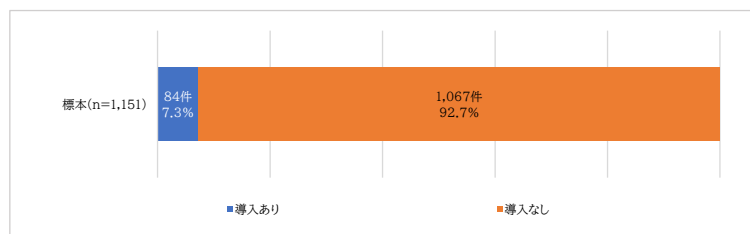
- ・問 2「導入有無」においては χ^2 乗検定により有意水準 10%で有意である。
- ・問 2「導入費用総額」「運用費用総額」においては開設主体別、一般型・非一般型別、特定労務管理対象機関別、DPC 対象別は平均値の差の検定(等分散を過程しない Welch 検定)、病床規模別、救急指定別の 3 区分は 3 群間の分散分析(等分散を過程しない Welch 検定)により、有意水準 10%で有意である。
- ・問 2「導入段階と運用段階の各部門の時間数合計」においては病床規模 3 群間の分散分析(等分散を過程しない Welch 検定)により、有意水準 10%で有意である。
- ・なおクロス集計結果の検定に際しては、以下の方法により外れ値を検出して、外れ値除去後のデータを対象としている。
四分位範囲(IQR)の 1.5 倍を上下限とし、下端(第一四分位数-1.5×IQR)より小さい値や上端(第三四分位数+1.5×IQR)より大きい値を外れ値として扱う方法を採用した。

3-1 単純集計結果(1)

3-1-1 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)①導入有無について

電子問診システム(AI問診含む)について、「導入なし」(92.7%)の割合が高い。

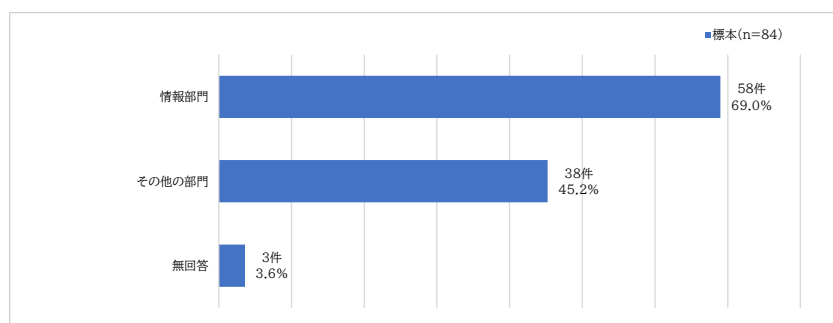
電子問診システム(AI問診含む)①導入有無について



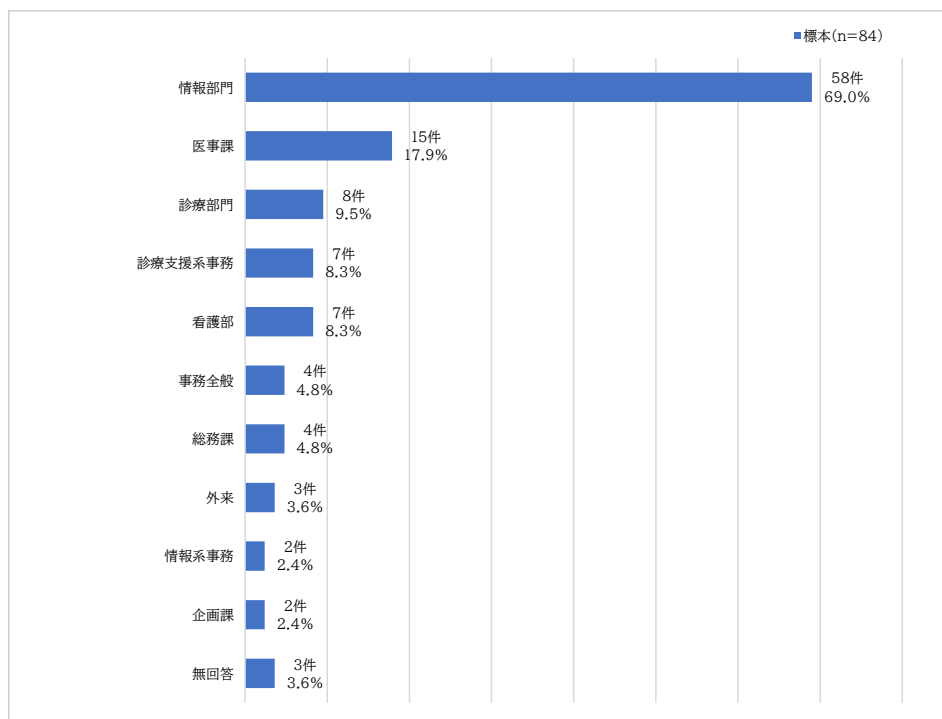
3-1-2 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)②主たる管理部門について

電子問診システム(AI問診含む)について、「情報部門」(69.0%)以外では、「その他の部門」の回答内容のうち、「医事課」や「診療部門」が多かった。

電子問診システム(AI問診含む)②主たる管理部門について



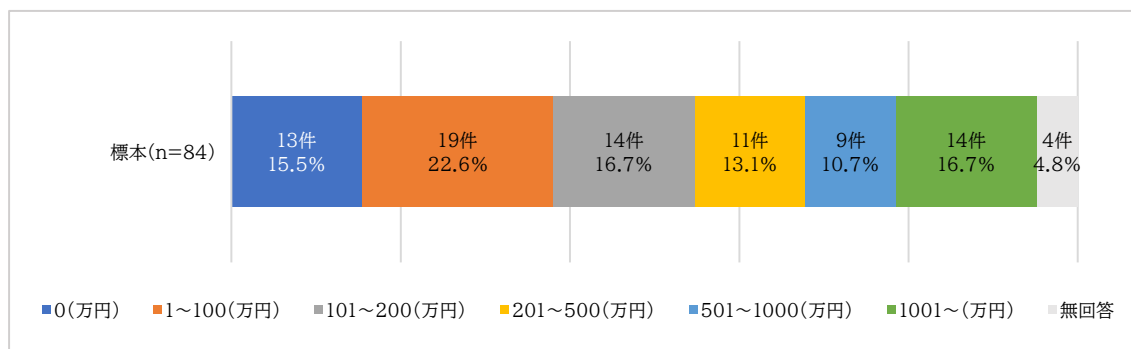
電子問診システム(AI問診含む)②主たる管理部門について(その他部門名含む) ※複数回答



3-1-3 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額 (外れ値除去前)

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)の総額について、「1～100(万円)」(22.6%)の割合が最も高く、次いで「101～200(万円)」(16.7%)、「1001～(万円)」(16.7%)である。「501～1000(万円)」(10.7%)の割合が最も低い。

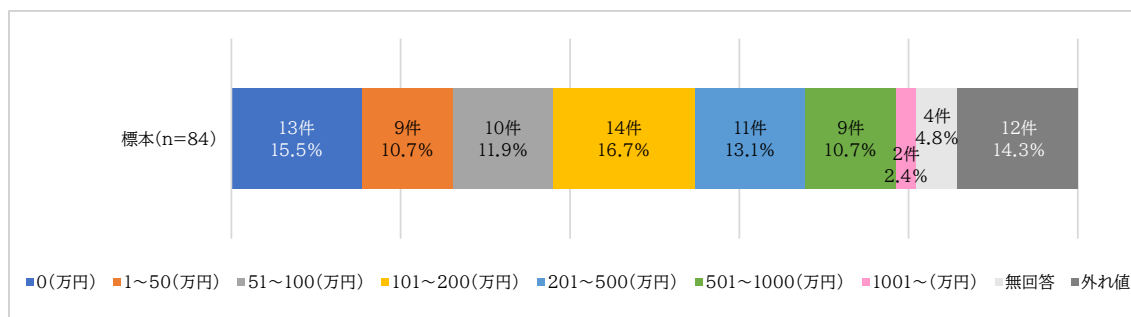
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額
総額__万円 外れ値除去前



3-1-4 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額 (外れ値除去後)

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)総額について、「101～200(万円)」(16.7%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(15.5%)、「201～500(万円)」(13.1%)である。「1001～(万円)」(2.4%)の割合が最も低い。

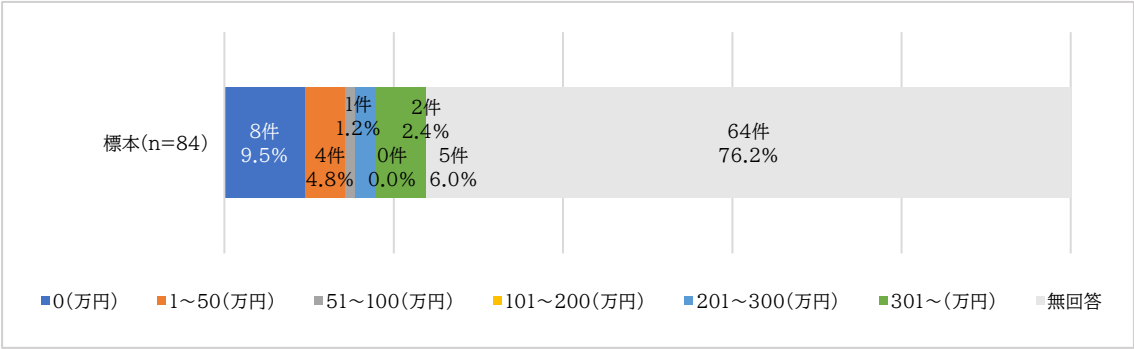
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-1-5 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用について、「0(万円)」(9.5%)の割合が最も高く、次いで「301～(万円)」(6.0%)、「1～50(万円)」(4.8%)である。「51～100(万円)」(1.2%)の割合が最も低い。

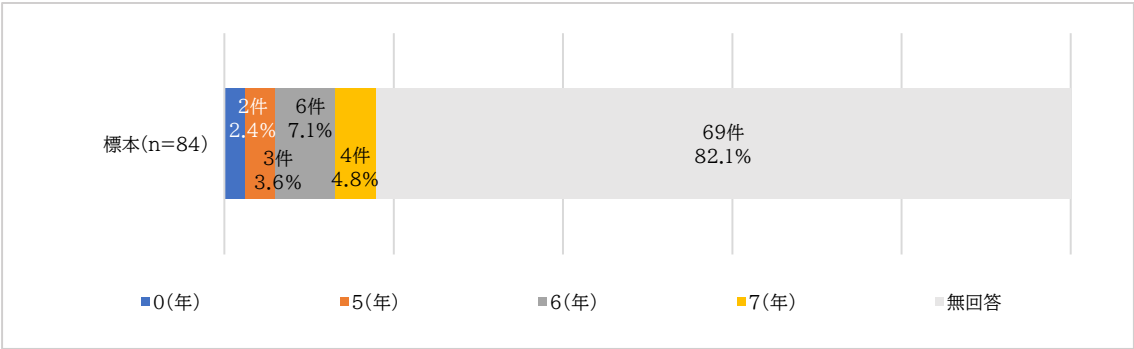
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
サーバー関連費用__万円



3-1-6 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数について、「6(年)」(7.1%)の割合が最も高く、次いで「7(年)」(4.8%)である。「0(年)」(2.4%)の割合が最も低い。

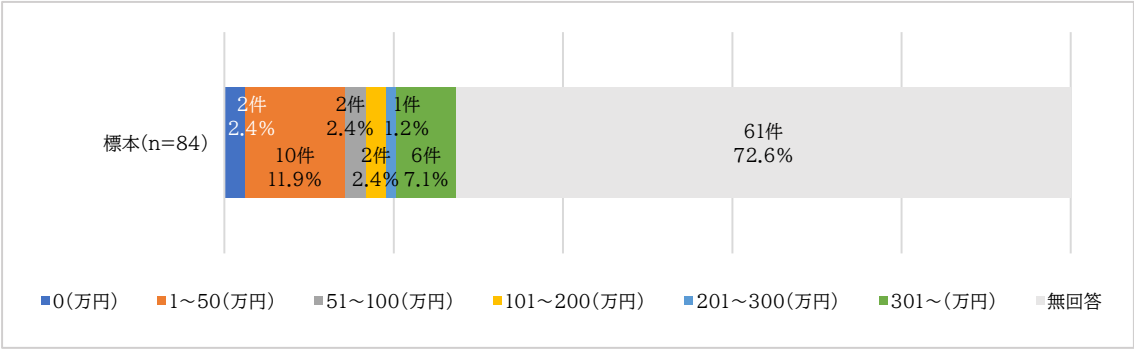
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
サーバー関連の想定耐用年数__年



3-1-7 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用について、「1～50(万円)」(11.9%)の割合が最も高く、次いで「301～(万円)」(7.1%)である。「201～300(万円)」(1.2%)の割合が最も低い。

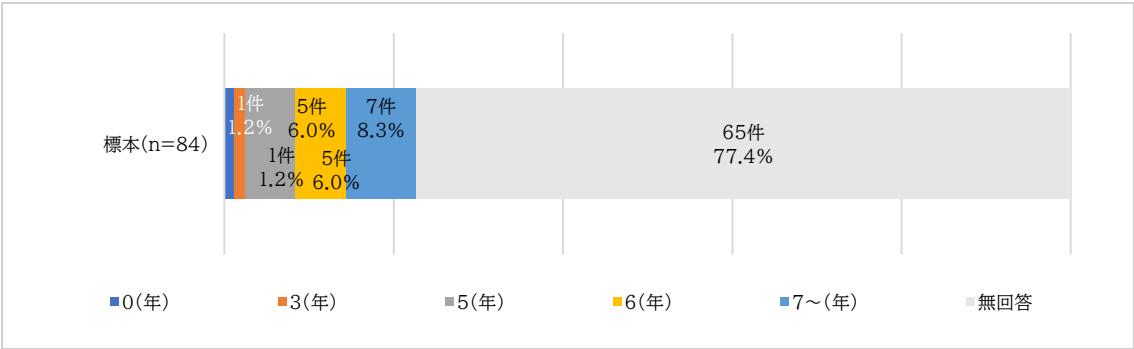
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ネットワーク関連費用__万円



3-1-8 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連の想定耐用年数

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連の想定耐用年数について、「7～(年)」(8.3%)の割合が最も高く、次いで「5(年)」(6.0%)、「6(年)」(6.0%)である。

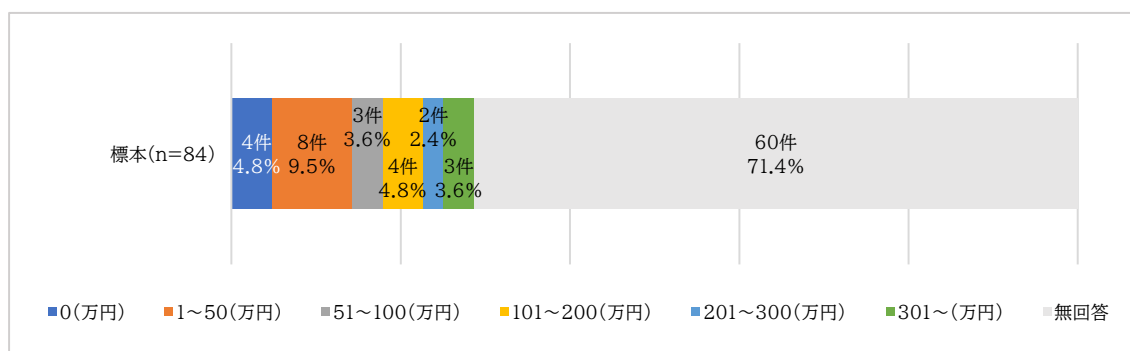
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ネットワーク関連の想定耐用年数__年



3-1-9 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用について、「1～50(万円)」(9.5%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(4.8%)、「101～200(万円)」(4.8%)である。「201～300(万円)」(2.4%)の割合が最も低い。

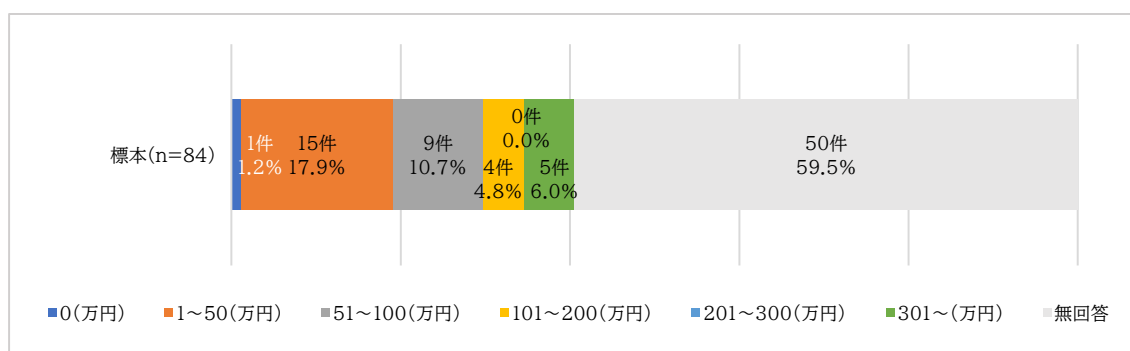
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
システム等接続工事費用__万円



3-1-10 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット等費用

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット等の費用について、「1～50(万円)」(17.9%)の割合が最も高く、次いで「51～100(万円)」(10.7%)、「301～(万円)」(6.0%)である。「0(万円)」(1.2%)の割合が最も低い。

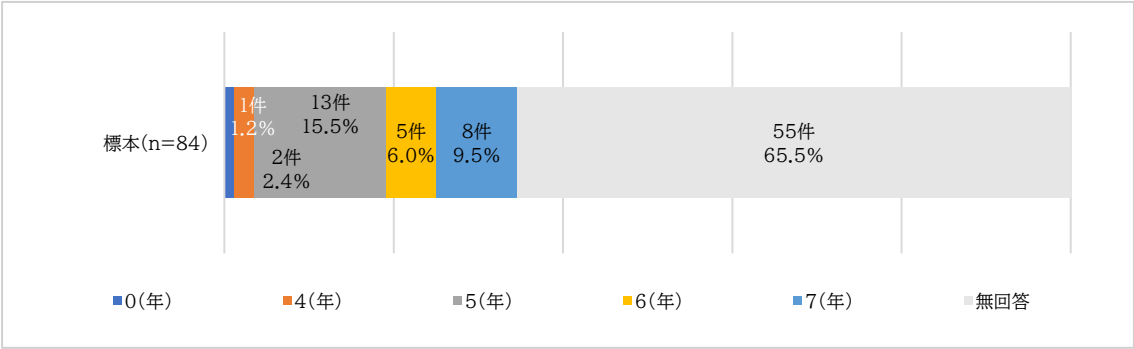
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
タブレット等費用__万円



3-1-11 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット等の想定耐用年数

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット等の想定耐用年数について、「5(年)」(15.5%)の割合が最も高く、次いで「7(年)」(9.5%)である。「0(年)」(1.2%)の割合が最も低い。

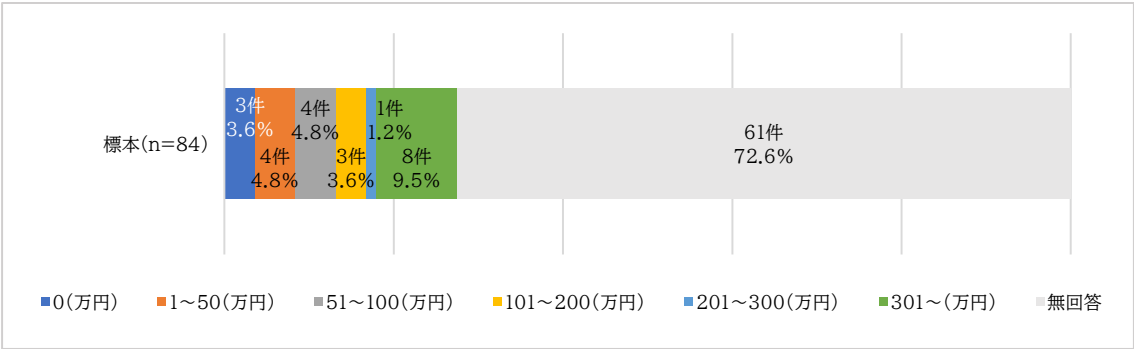
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
タブレット等の想定耐用年数__年



3-1-12 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の費用について、「301～(万円)」(9.5%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(4.8%)、「51～100(万円)」(4.8%)である。「201～300(万円)」(1.2%)の割合が最も低い。

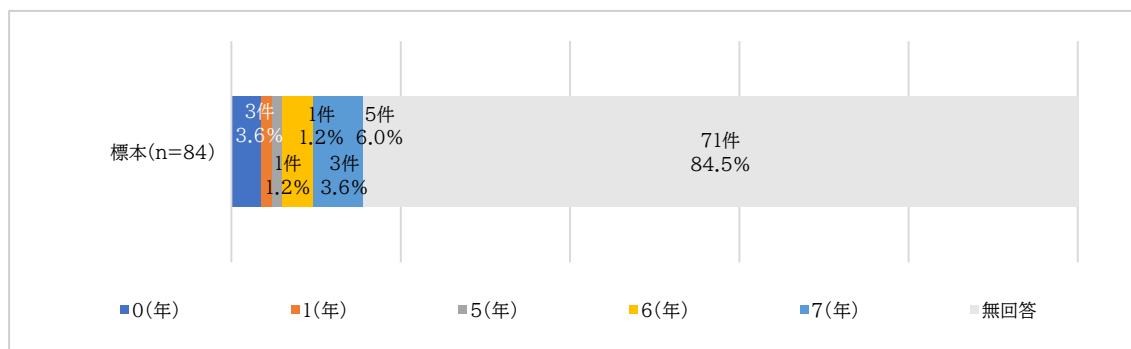
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連費用__万円



3-1-13 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数について、「7(年)」(6.0%)の割合が最も高く、次いで「0(年)」(3.6%)、「6(年)」(3.6%)である。

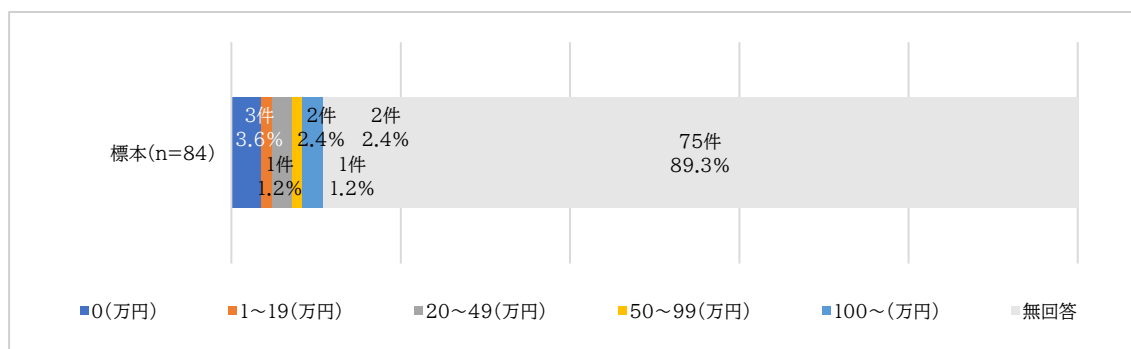
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連の再購入までの年数__年



3-1-14 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用

電子問診システム(AI問診含む)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他の費用について、「0(万円)」(3.6%)の割合が最も高く、次いで「20~49(万円)」(2.4%)、「100~(万円)」(2.4%)である。

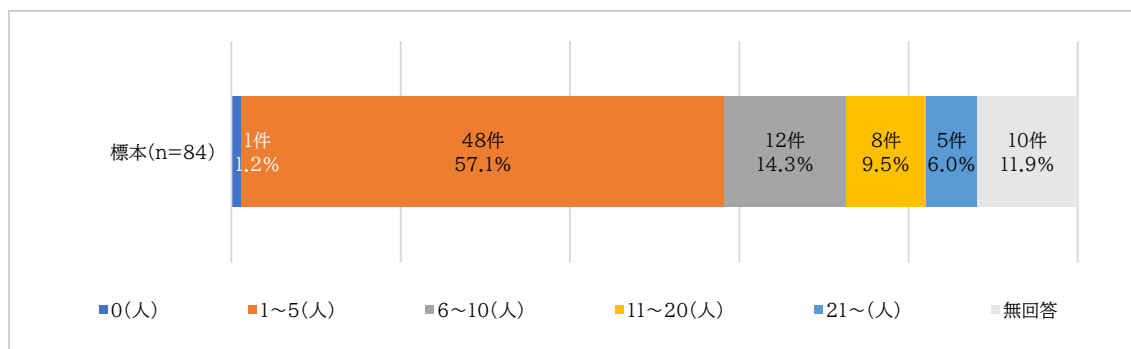
電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
その他費用__万円



3-1-15 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員について、「1～5(人)」(57.1%)の割合が最も高く、次いで「6～10(人)」(14.3%)、「11～20(人)」(9.5%)である。「0(人)」(1.2%)の割合が最も低い。

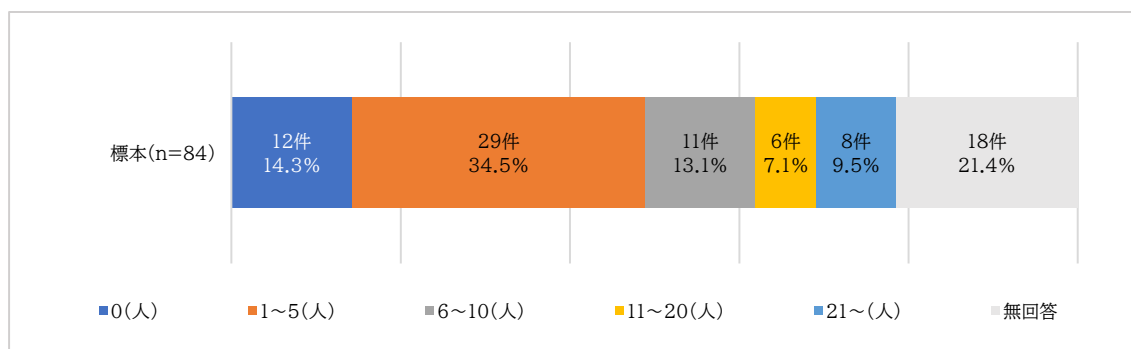
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間について事務部門__人



3-1-16 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員について、「1～5(人)」(34.5%)の割合が最も高く、次いで「0(人)」(14.3%)、「6～10(人)」(13.1%)である。「11～20(人)」(7.1%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間について医師部門__人

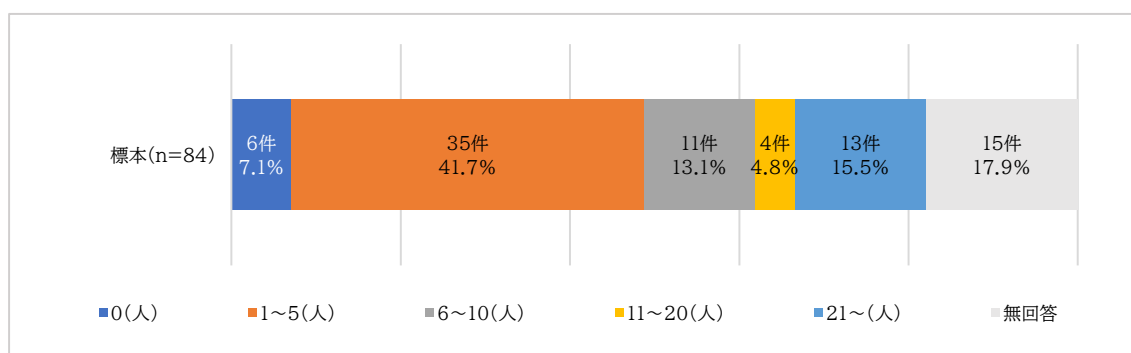


3-1-17 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員について、「1～5(人)」(41.7%)の割合が最も高く、次いで「21～(人)」(15.5%)、「6～10(人)」(13.1%)である。「11～20(人)」(4.8%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員

(i)説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間についてその他医療提供部門__人

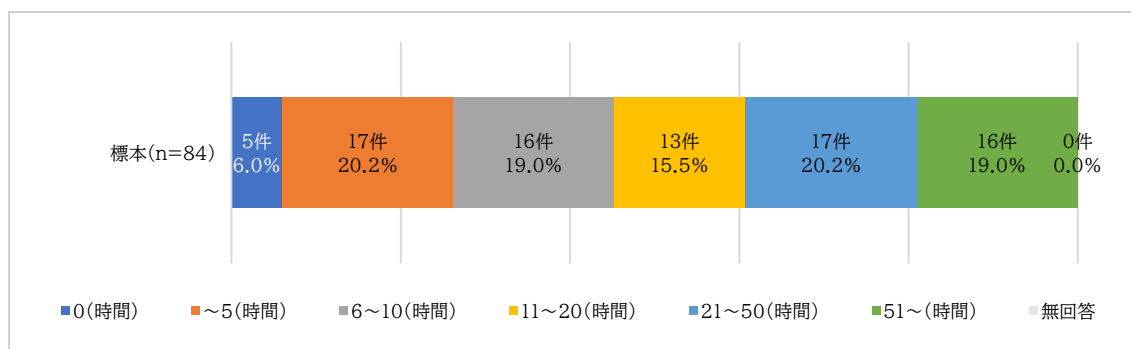


3-1-18 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間の総計について、「～5(時間)」(20.2%)、「21～50(時間)」(20.2%)の割合が高く、次いで「6～10(時間)」(19.0%)、「51～(時間)」(19.0%)である。「0(時間)」(6.0%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員

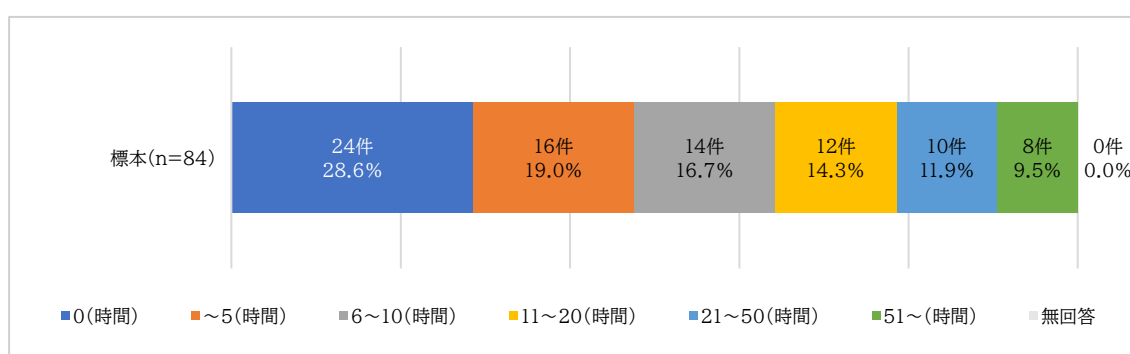
(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間__総計



3-1-19 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間の総計について、「0(時間)」(28.6%)の割合が最も高く、次いで「～5(時間)」(19.0%)、「6～10(時間)」(16.7%)である。「51～(時間)」(9.5%)の割合が最も低い。

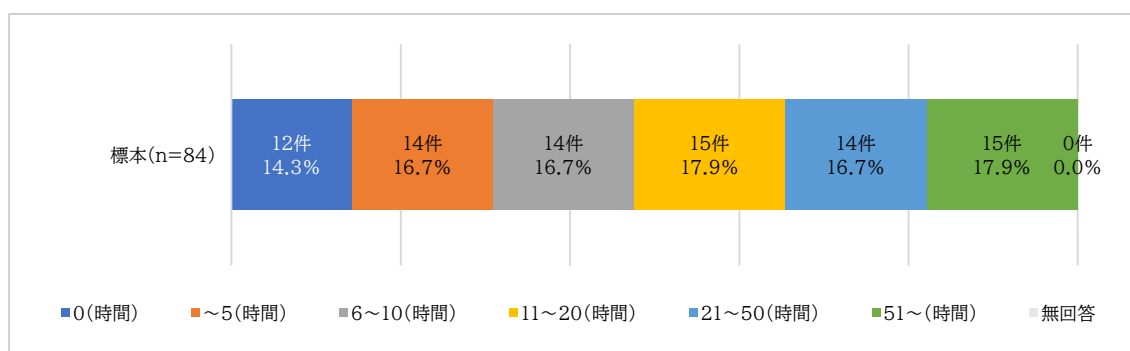
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間_総計



3-1-20 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間の総計について、「11～20(時間)」(17.9%)、「51～(時間)」(17.9%)の割合が高く、次いで「～5(時間)」(16.7%)、「6～10(時間)」(16.7%)、「21～50(時間)」(16.7%)である。「0(時間)」(14.3%)の割合が最も低い。

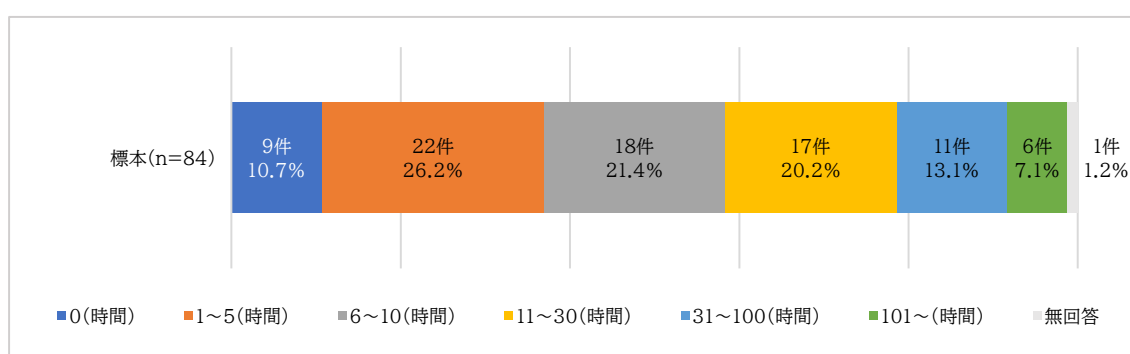
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間_総計



3-1-21 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門のおおよその導入業務時間の総計について、「1～5(時間)」(26.2%)の割合が最も高く、次いで「6～10(時間)」(21.4%)、「11～30(時間)」(20.2%)である。「101～(時間)」(7.1%)の割合が最も低い。

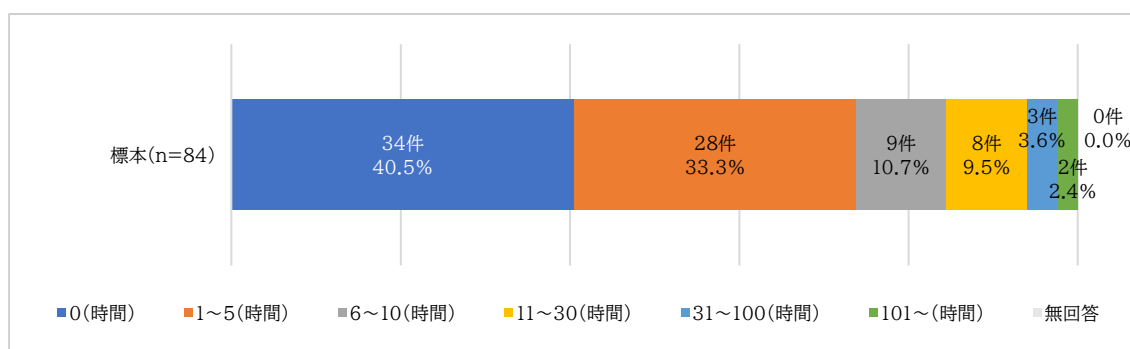
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計__時間



3-1-22 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計

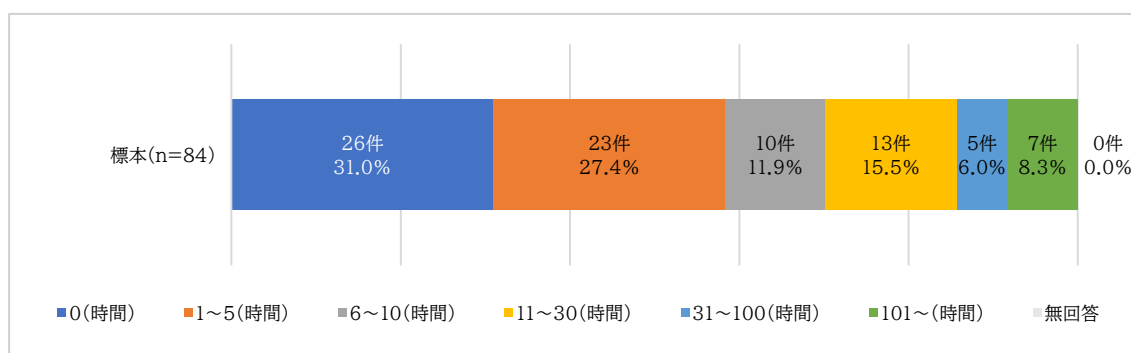
電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門のおおよその導入業務時間の総計について、「0(時間)」(40.5%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(33.3%)、「6～10(時間)」(10.7%)である。「101～(時間)」(2.4%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計__時間



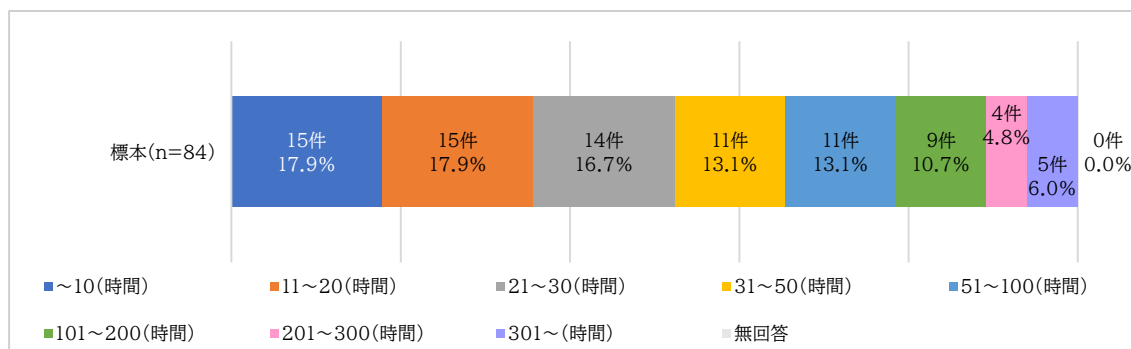
3-1-23 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計
電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門のおおよその導入業務時間の総計について、「0(時間)」(31.0%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(27.4%)、「11～30(時間)」(15.5%)である。「31～100(時間)」(6.0%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計__時間



3-1-24 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)
電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計について、「～10(時間)」(17.9%)、「11～20(時間)」(17.9%)の割合が高く、次いで「21～30(時間)」(16.7%)である。「201～300(時間)」(4.8%)の割合が最も低い。

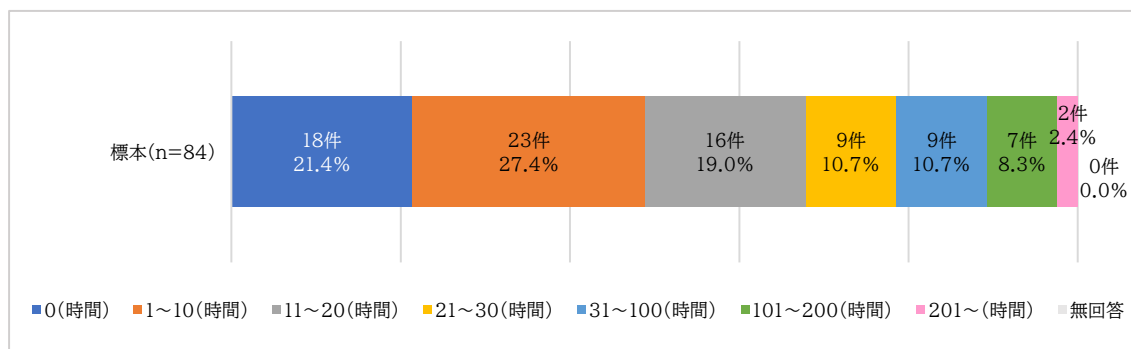
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-1-25 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計について、「1～10(時間)」(27.4%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(21.4%)、「11～20(時間)」(19.0%)である。「201～(時間)」(2.4%)の割合が最も低い。

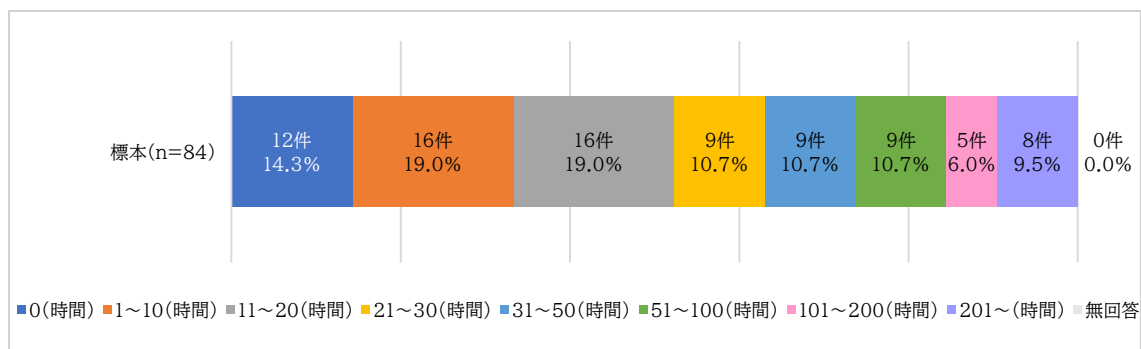
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-1-26 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計について、「1～10(時間)」(19.0%)、「11～20(時間)」(19.0%)の割合が高く、次いで「0(時間)」(14.3%)である。「101～200(時間)」(6.0%)の割合が最も低い。

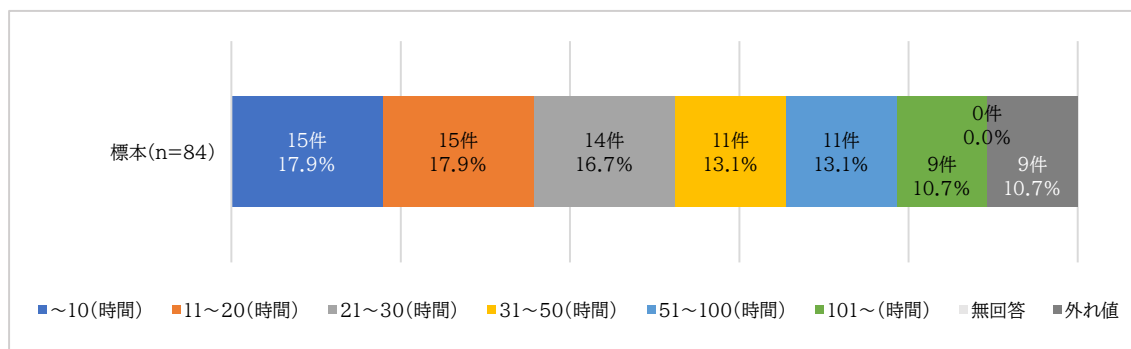
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-1-27 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計について、「～10(時間)」(17.9%)、「11～20(時間)」(17.9%)の割合が高く、次いで「21～30(時間)」(16.7%)である。「101～(時間)」(10.7%)の割合が最も低い。

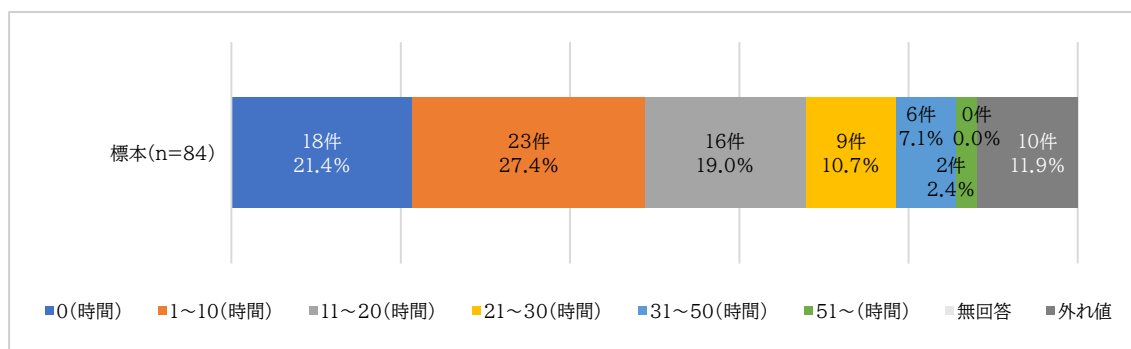
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計 外れ値除去後



3-1-28 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計について、「1～10(時間)」(27.4%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(21.4%)、「11～20(時間)」(19.0%)である。「51～(時間)」(2.4%)の割合が最も低い。

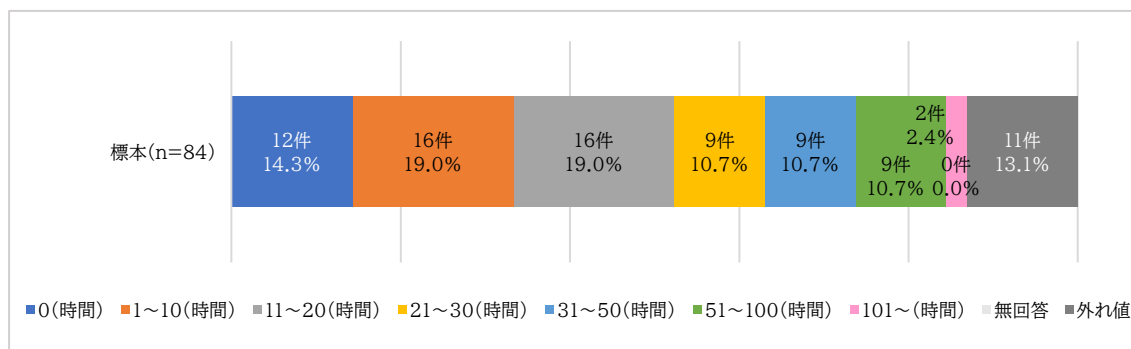
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計 外れ値除去後



3-1-29 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

電子問診システム(AI問診含む)の院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計について、「1～10(時間)」(19.0%)、「11～20(時間)」(19.0%)の割合が高く、次いで「0(時間)」(14.3%)である。「101～(時間)」(2.4%)の割合が最も低い。

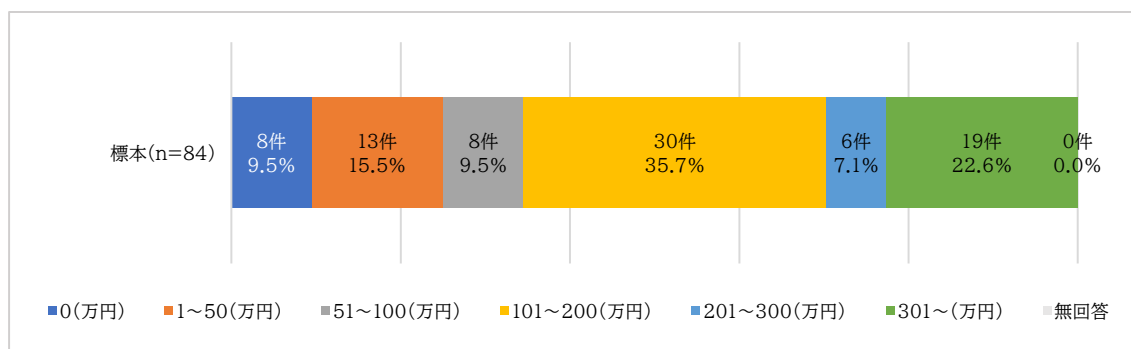
電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計 外れ値除去後



3-1-30 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)

電子問診システム(AI問診含む)の運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「101～200(万円)」(35.7%)の割合が最も高く、次いで「301～(万円)」(22.6%)、「1～50(万円)」(15.5%)である。「201～300(万円)」(7.1%)の割合が最も低い。

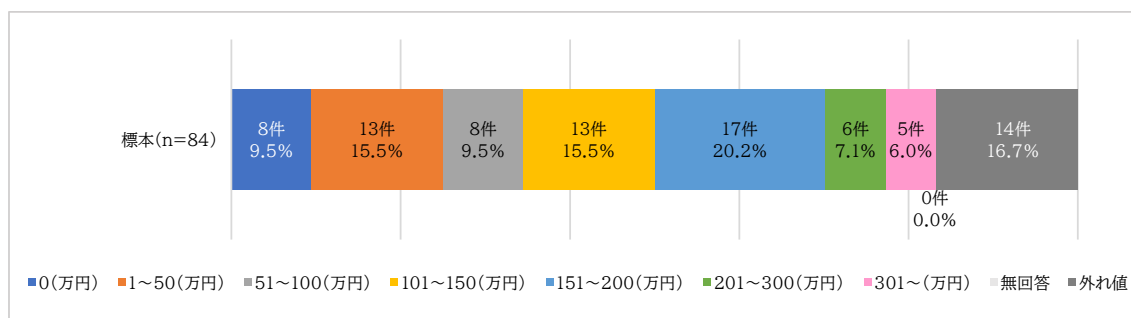
電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去前



3-1-31 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

電子問診システム(AI問診含む)の運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「151～200(万円)」(20.2%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(15.5%)、「101～150(万円)」(15.5%)である。「301～(万円)」(6.0%)の割合が最も低い。

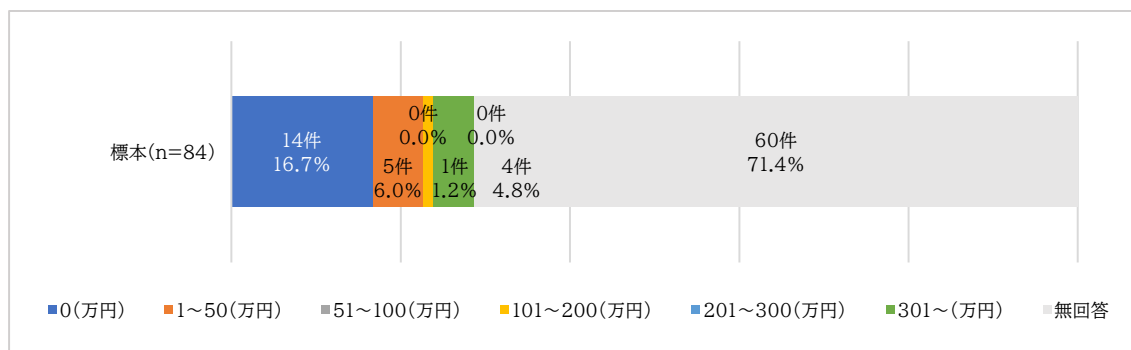
電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-1-32 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用

電子問診システム(AI問診含む)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用について、「0(万円)」(16.7%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(6.0%)である。「101～200(万円)」(1.2%)の割合が最も低い。

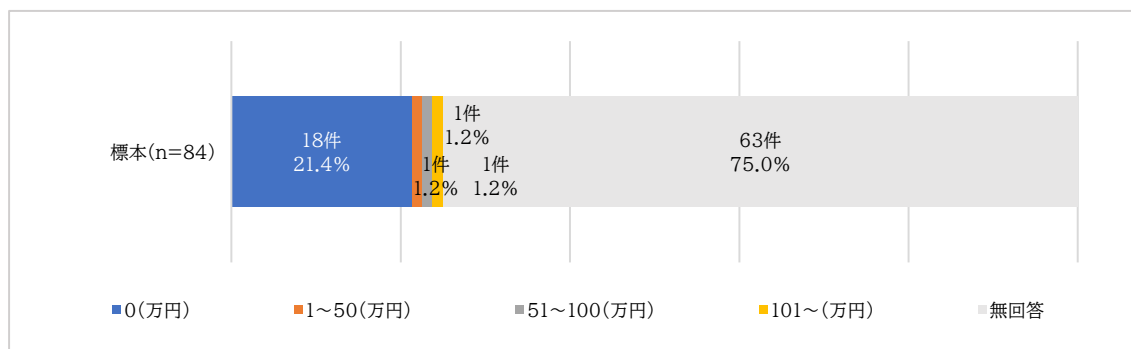
電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうち
サーバー保守関連費用__万円



3-1-33 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用

電子問診システム(AI問診含む)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用について、「0(万円)」(21.4%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(1.2%)、「51～100(万円)」(1.2%)、「101～(万円)」(1.2%)である。

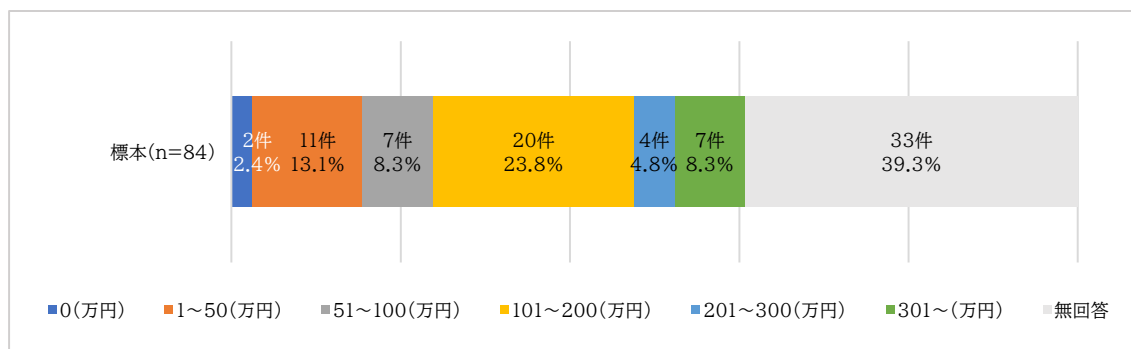
電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうち
タブレット保守等__万円



3-1-34 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料

電子問診システム(AI問診含む)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料について、「101～200(万円)」(23.8%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(13.1%)、「51～100(万円)」(8.3%)、「301～(万円)」(8.3%)である。「0(万円)」(2.4%)の割合が最も低い。

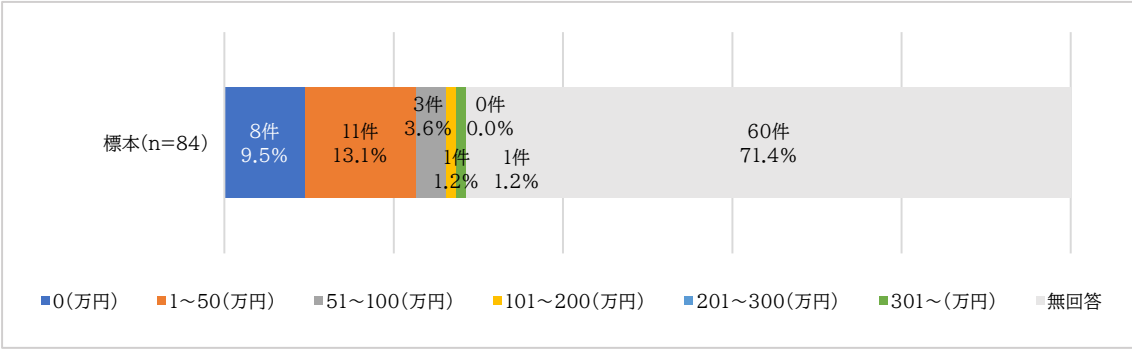
電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうち
ソフト・アプリ関連利用料(ライセンス料・サブスクリプション料)__万円



3-1-35 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用

電子問診システム(AI問診含む)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「1～50(万円)」(13.1%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(9.5%)、「51～100(万円)」(3.6%)である。

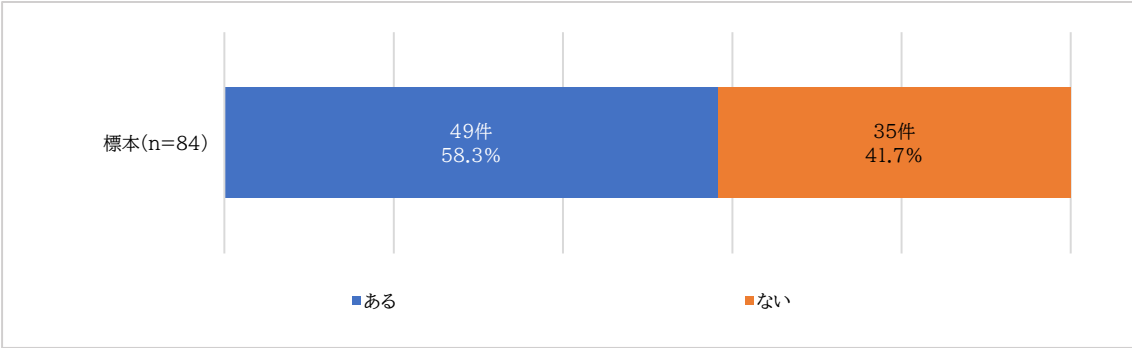
電子問診システム(AI問診含む)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうち
その他費用__万円



3-1-36 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のシステム保守の有無について、「ある」(58.3%)の割合が高い。

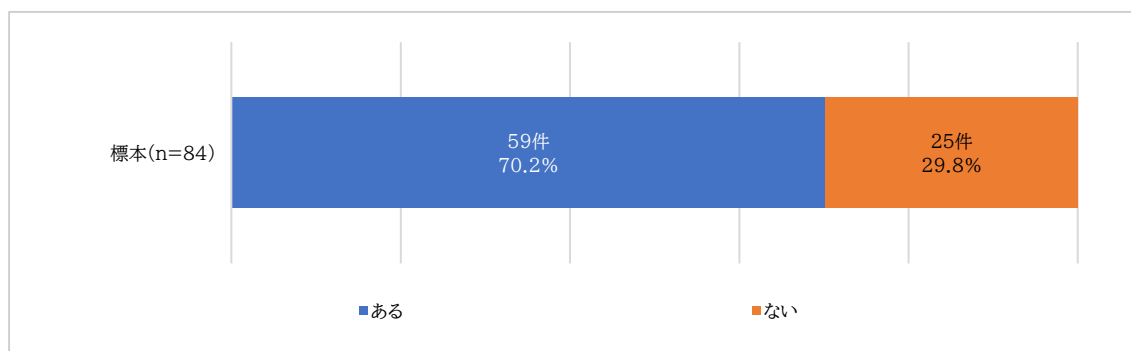
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のシステム保守の有無



3-1-37 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のトラブル対応の有無について、「ある」(70.2%)の割合が高い。

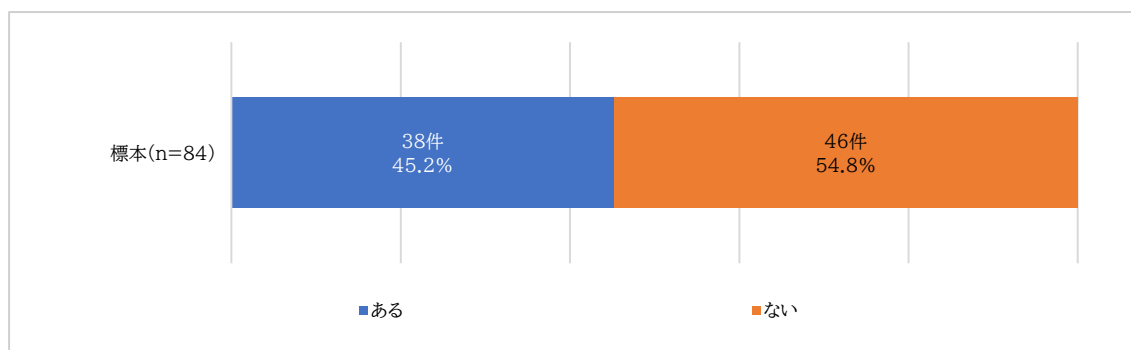
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のトラブル対応の有無



3-1-38 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のその他業務の有無について、「ない」(54.8%)の割合が高い。

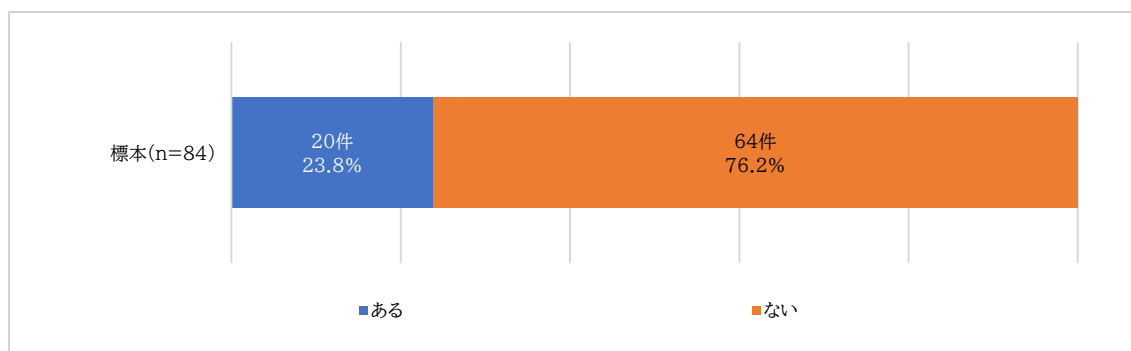
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のその他業務の有無



3-1-39 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として医師部門のトラブル対応の有無について、「ない」(76.2%)の割合が高い。

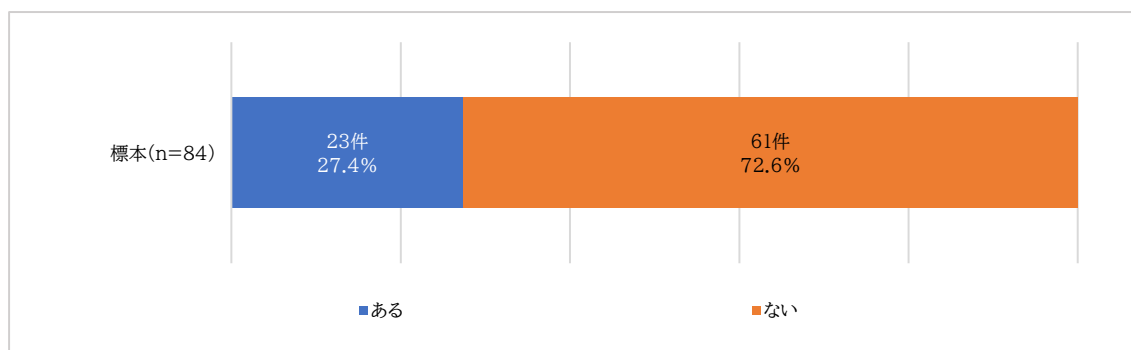
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
医師部門のトラブル対応の有無



3-1-40 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として医師部門のその他業務の有無について、「ない」(72.6%)の割合が高い。

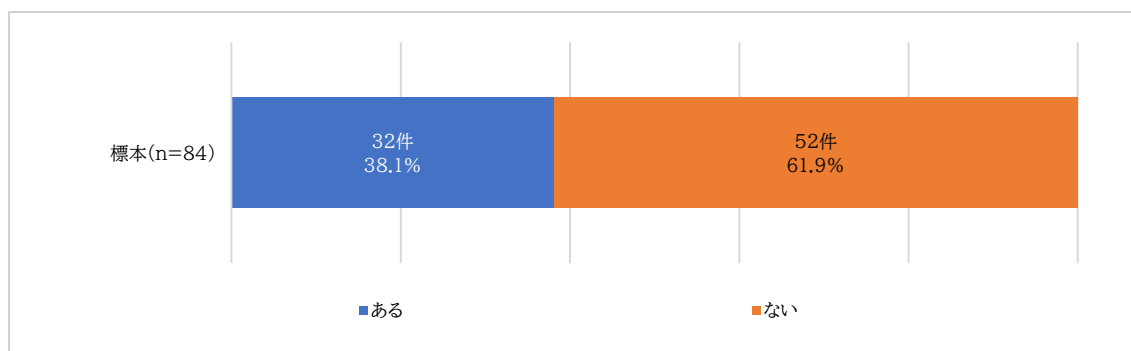
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
医師部門のその他業務の有無



3-1-41 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応としてその他医療職部門のトラブル対応の有無について、「ない」(61.9%)の割合が高い。

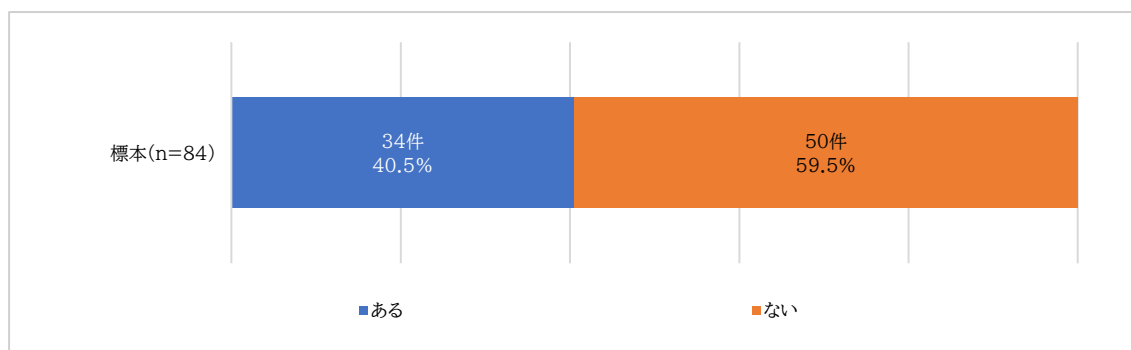
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
その他医療職部門のトラブル対応の有無



3-1-42 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務の有無

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応としてその他医療職部門のその他業務の有無について、「ない」(59.5%)の割合が高い。

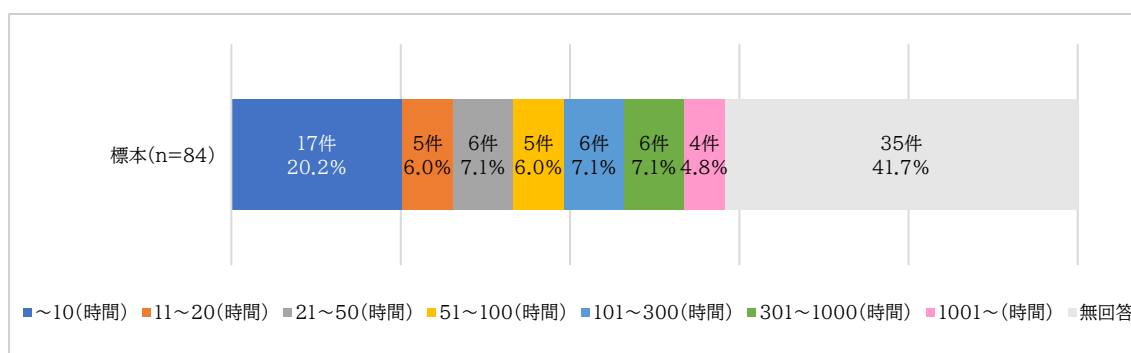
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
その他医療職部門のその他業務の有無



3-1-43 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(20.2%)の割合が最も高く、次いで「21～50(時間)」(7.1%)、「101～300(時間)」(7.1%)、「301～1000(時間)」(7.1%)である。「1001～(時間)」(4.8%)の割合が最も低い。

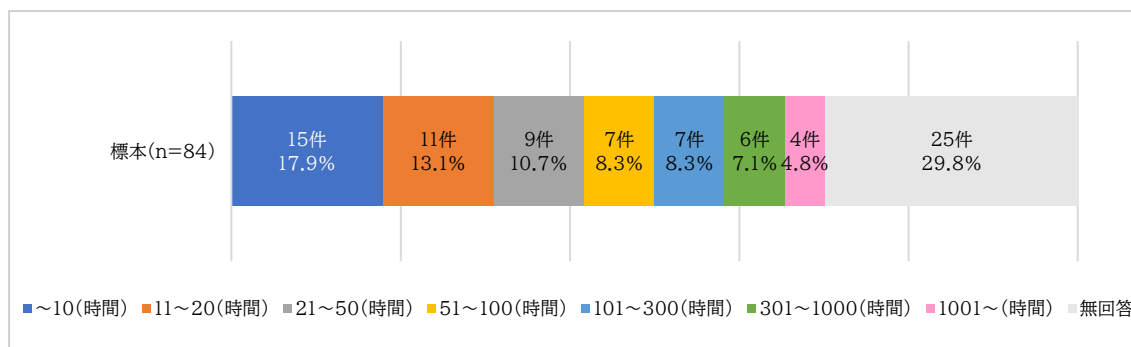
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)



3-1-44 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(17.9%)の割合が最も高く、次いで「11～20(時間)」(13.1%)、「21～50(時間)」(10.7%)である。「1001～(時間)」(4.8%)の割合が最も低い。

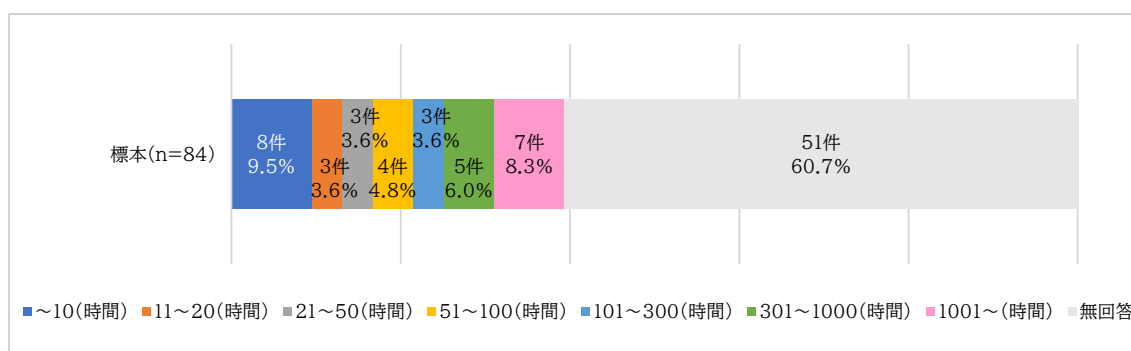
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-1-45 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務時間総計(年あたり)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のその他業務時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(9.5%)の割合が最も高く、次いで「1001～(時間)」(8.3%)、「301～1000(時間)」(6.0%)である。「11～20(時間)」(3.6%)、「21～50(時間)」(3.6%)、「101～300(時間)」(3.6%)の割合が低い。

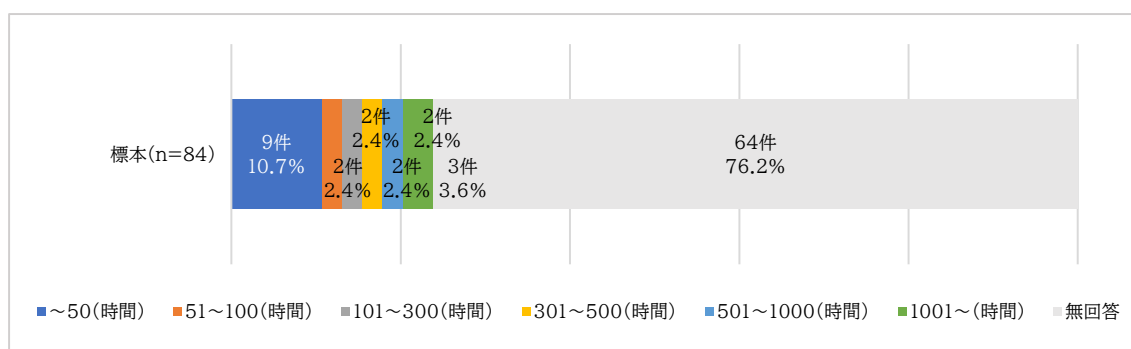
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のその他業務時間総計(年あたり)



3-1-46 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)について、「～50(時間)」(10.7%)の割合が最も高く、次いで「1001～(時間)」(3.6%)である。「51～100(時間)」(2.4%)、「101～300(時間)」(2.4%)、「301～500(時間)」(2.4%)、「501～1000(時間)」(2.4%)の割合が低い。

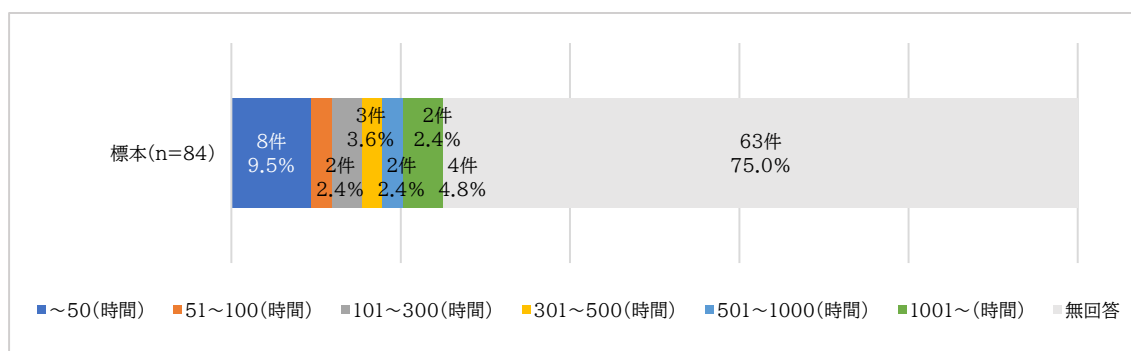
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-1-47 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務時間総計(年あたり)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として医師部門のその他業務時間総計(年あたり)について、「～50(時間)」(9.5%)の割合が最も高く、次いで「1001～(時間)」(4.8%)、「101～300(時間)」(3.6%)である。「51～100(時間)」(2.4%)、「301～500(時間)」(2.4%)、「501～1000(時間)」(2.4%)の割合が低い。

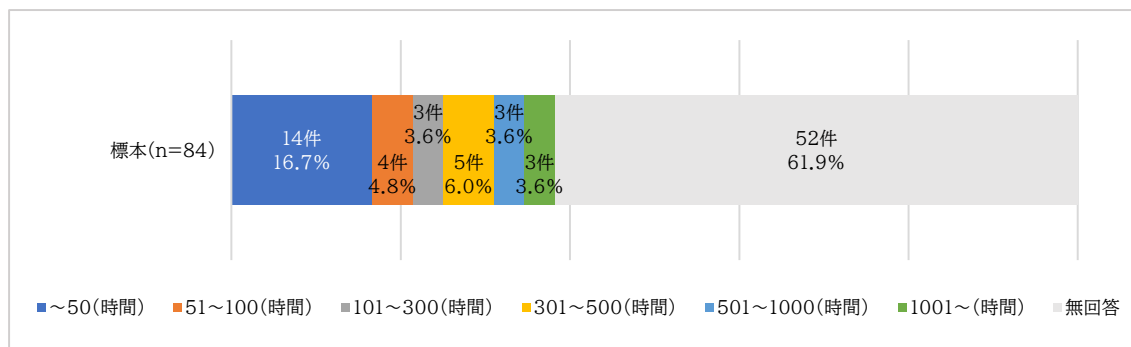
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
医師部門のその他業務時間総計(年あたり)



3-1-48 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応としてその他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)について、「～50(時間)」(16.7%)の割合が最も高く、次いで「301～500(時間)」(6.0%)、「51～100(時間)」(4.8%)である。「101～300(時間)」(3.6%)、「501～1000(時間)」(3.6%)、「1001～(時間)」(3.6%)の割合が低い。

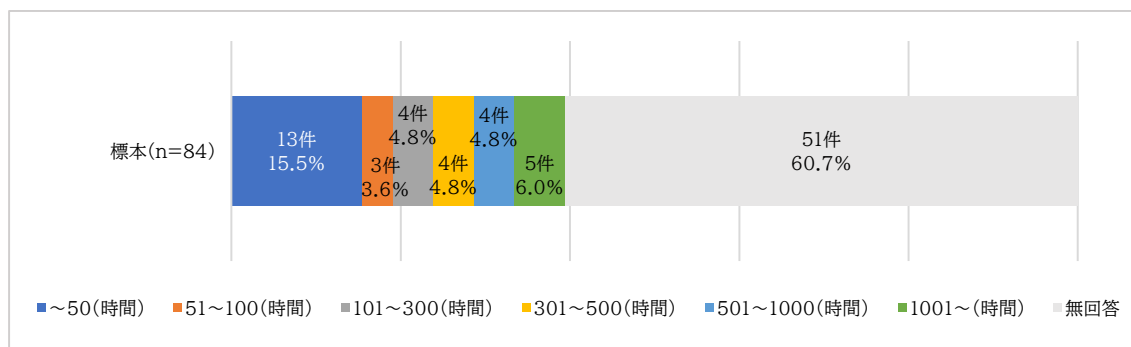
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
その他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-1-49 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)

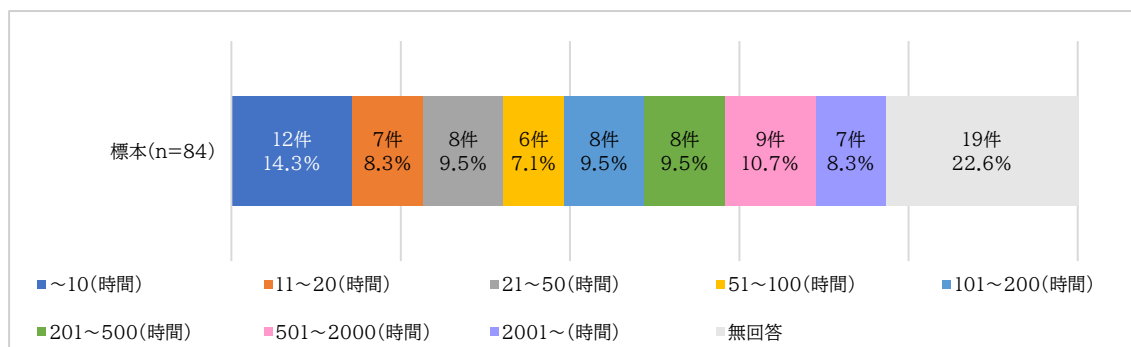
電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応としてその他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)について、「～50(時間)」(15.5%)の割合が最も高く、次いで「1001～(時間)」(6.0%)である。「51～100(時間)」(3.6%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
その他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)



3-1-50 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)
電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「～10(時間)」(14.3%)の割合が最も高く、次いで「501～2000(時間)」(10.7%)、「21～50(時間)」(9.5%)、「101～200(時間)」(9.5%)、「201～500(時間)」(9.5%)である。「51～100(時間)」(7.1%)の割合が最も低い。

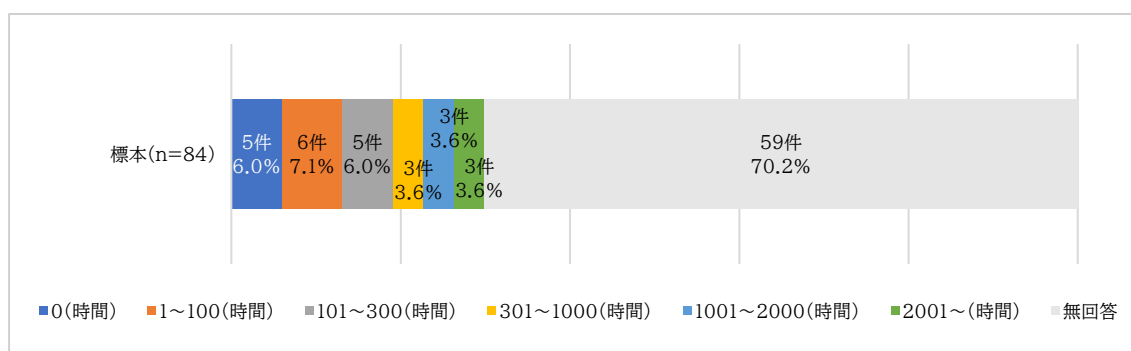
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-1-51 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)

電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「1~100(時間)」(7.1%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(6.0%)、「101~300(時間)」(6.0%)である。「301~1000(時間)」(3.6%)、「1001~2000(時間)」(3.6%)、「2001~(時間)」(3.6%)の割合が低い。

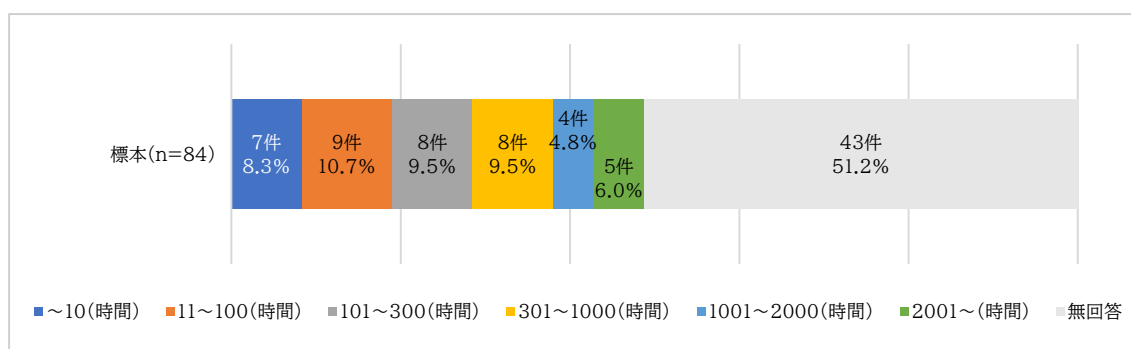
電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-1-52 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)

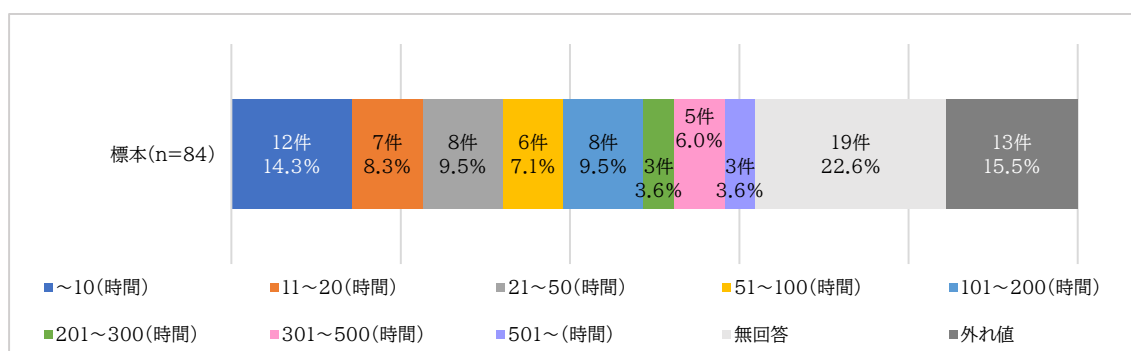
電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応としてその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「11~100(時間)」(10.7%)の割合が最も高く、次いで「101~300(時間)」(9.5%)、「301~1000(時間)」(9.5%)である。「1001~2000(時間)」(4.8%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
その他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計 外れ値除去前



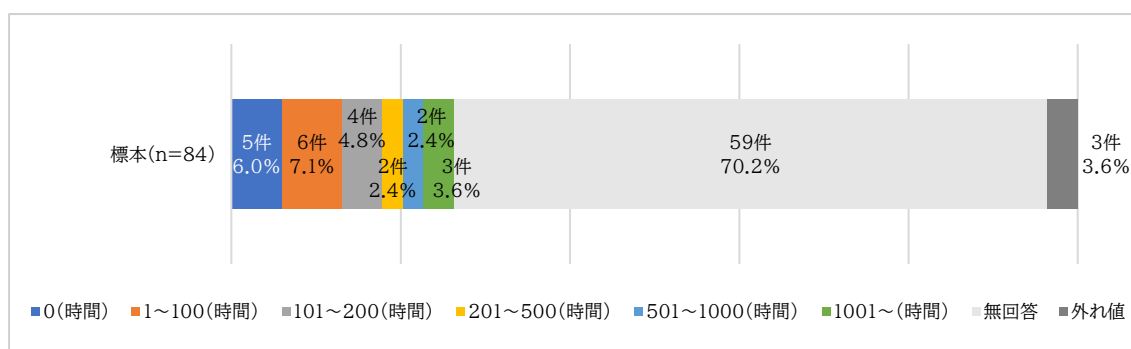
3-1-53 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「～10(時間)」(14.3%)の割合が最も高く、次いで「21～50(時間)」(9.5%)、「101～200(時間)」(9.5%)である。「201～300(時間)」(3.6%)、「501～(時間)」(3.6%)の割合が低い。

電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計 外れ値除去後



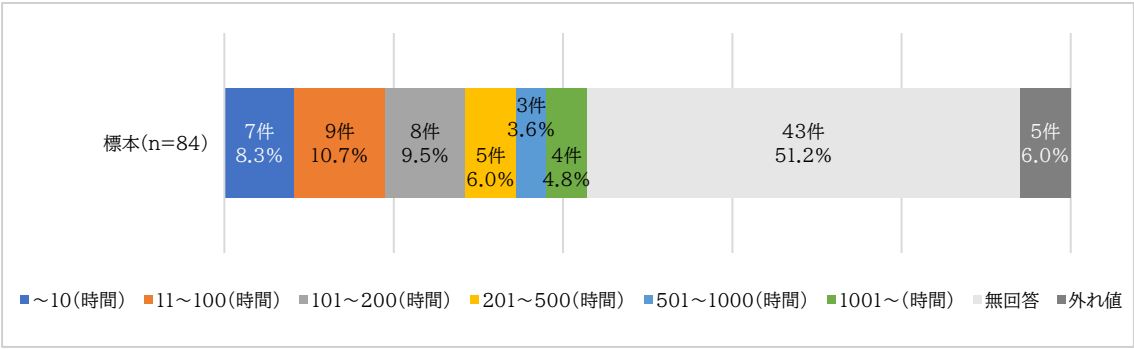
3-1-54 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応として医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「1～100(時間)」(7.1%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(6.0%)、「101～200(時間)」(4.8%)である。「201～500(時間)」(2.4%)、「501～1000(時間)」(2.4%)の割合が低い。

電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計 外れ値除去後



3-1-55 問2(1)電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)電子問診システム(AI問診含む)の運用業務対応としてその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「11～100(時間)」(10.7%)の割合が最も高く、次いで「101～200(時間)」(9.5%)、「～10(時間)」(8.3%)である。「501～1000(時間)」(3.6%)の割合が最も低い。

電子問診システム(AI問診含む)④-2 運用業務対応人員
その他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計 外れ値除去後

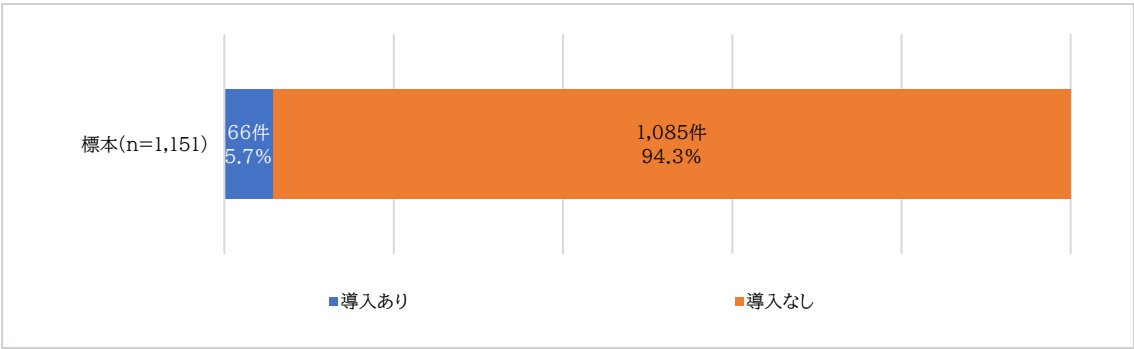


3-2 単純集計結果(2)

3-2-1 問2(2)音声入力システム①導入有無について

音声入力システムの導入有無について、「導入なし」(94.3%)の割合が高い。

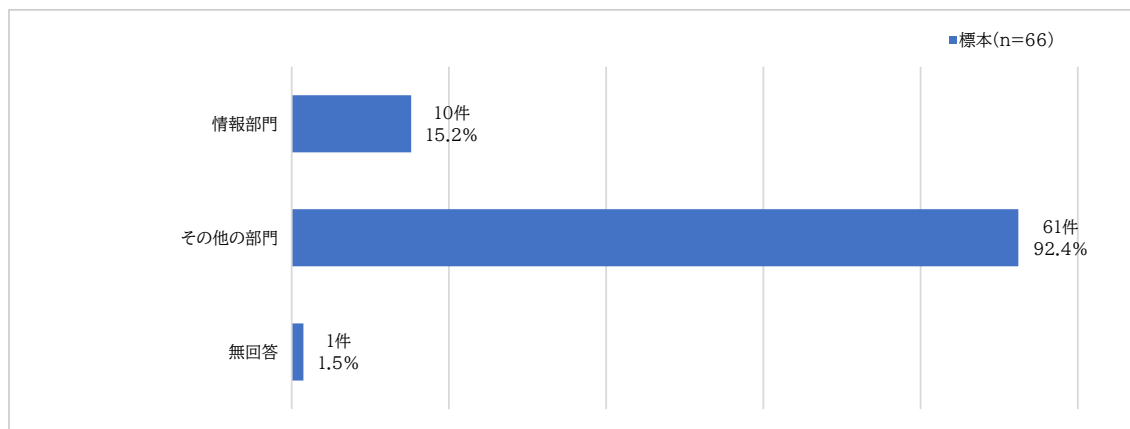
音声入力システム①導入有無について



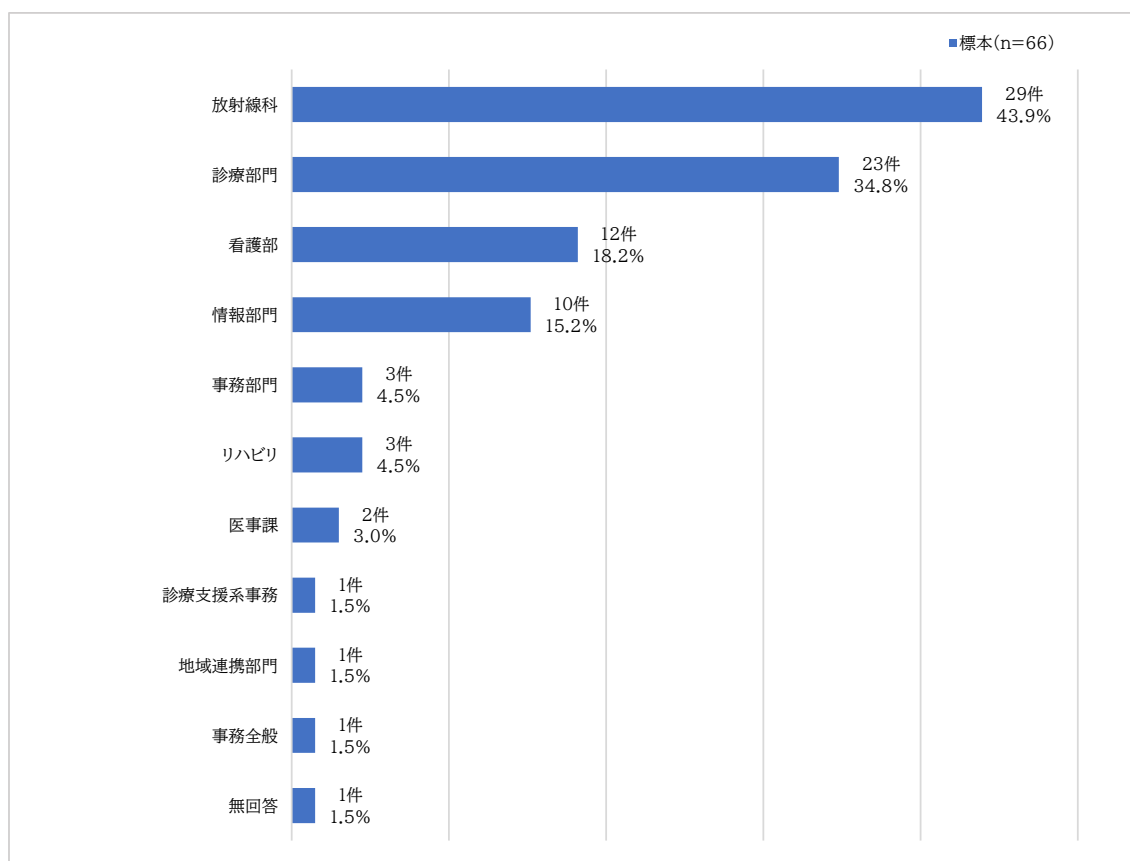
3-2-2 問2(2) 音声入力システム②主たる利用部門について

音声入力システムの主たる利用部門について、「情報部門」(15.2%)以外では、「その他の部門」の回答内容のうち、「放射線科」や「診療部門」が多かった。

音声入力システム②主たる利用部門について



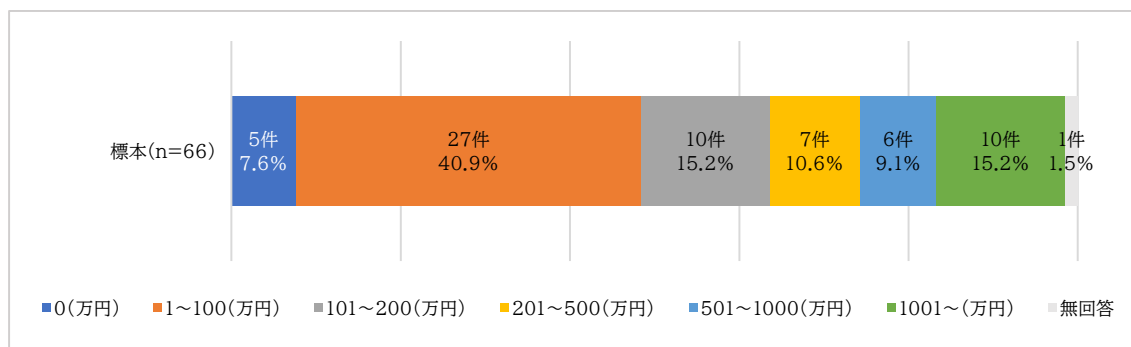
音声入力システム②主たる利用部門について(その他部門名含む) ※複数回答



3-2-3 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)総額について、「1～100(万円)」(40.9%)の割合が最も高く、次いで「101～200(万円)」(15.2%)、「1001～(万円)」(15.2%)である。「0(万円)」(7.6%)の割合が最も低い。

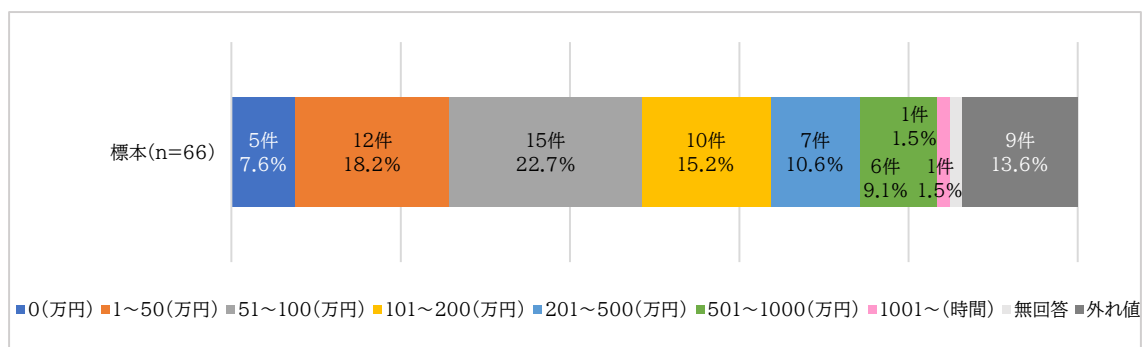
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去前



3-2-4 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)総額について、「51～100(万円)」(22.7%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(18.2%)である。「1001～(時間)」(1.5%)の割合が最も低い。

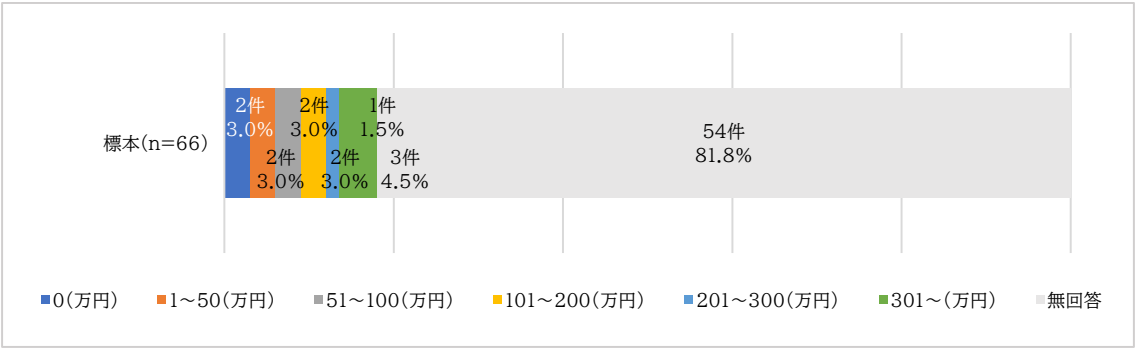
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-2-5 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用について、「301～(万円)」(4.5%)の割合が最も高く、「201～300(万円)」(1.5%)の割合が最も低い。

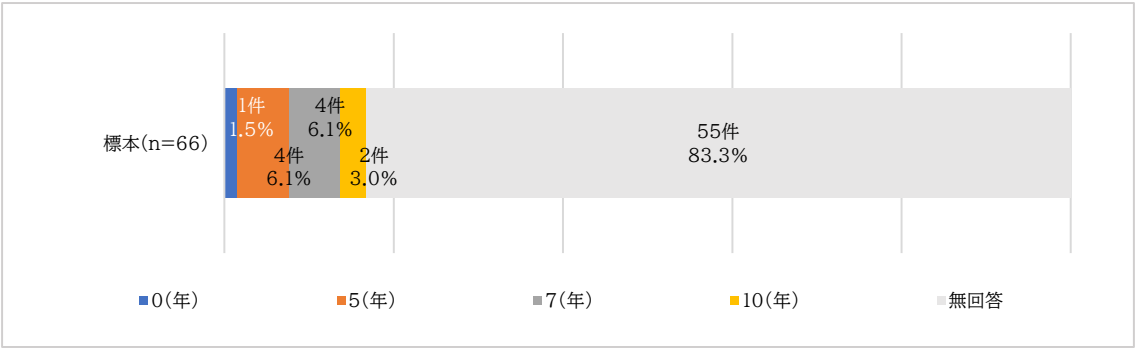
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
サーバー関連__万円



3-2-6 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数について、「5(年)」(6.1%)、「7(年)」(6.1%)の割合が高く、「0(年)」(1.5%)の割合が最も低い。

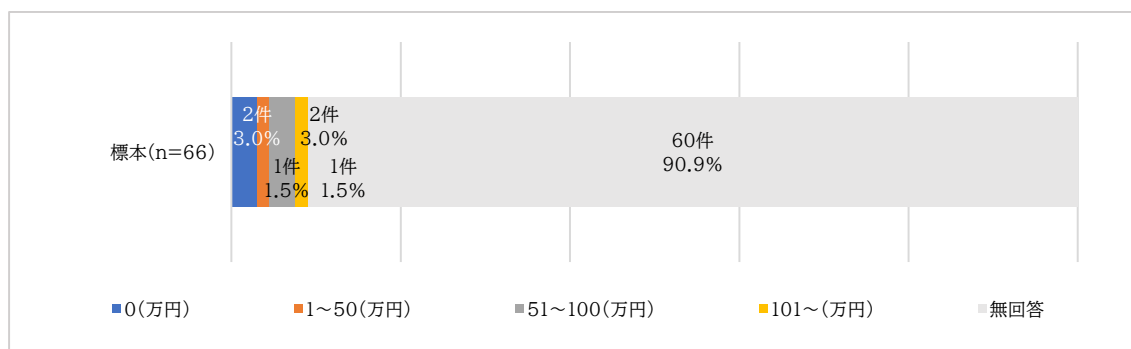
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
サーバー関連の想定耐用年数__年



3-2-7 問2(2) 音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用について、「0(万円)」(3.0%)、「51～100(万円)」(3.0%)の割合が高く、「1～50(万円)」(1.5%)、「101～(万円)」(1.5%)の割合が低い。

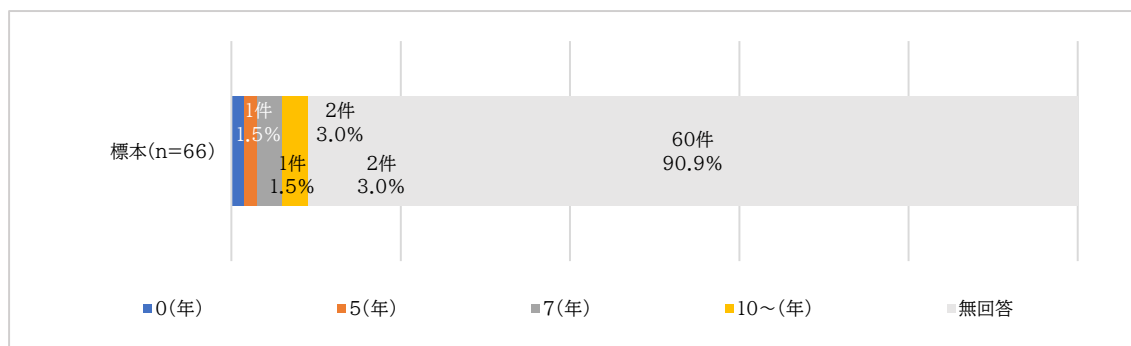
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連費用__万円



3-2-8 問2(2) 音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連の想定耐用年数

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちネットワーク関連の想定耐用年数について、「7(年)」(3.0%)、「10～(年)」(3.0%)の割合が高く、「0(年)」(1.5%)、「5(年)」(1.5%)の割合が低い。

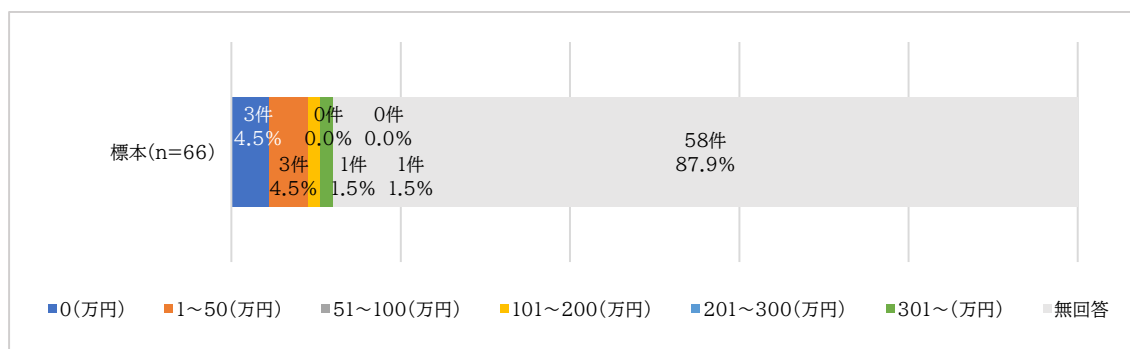
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち
ネットワーク関連の想定耐用年数__年



3-2-9 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用について、「0(万円)」(4.5%)、「1～50(万円)」(4.5%)の割合が高く、「101～200(万円)」(1.5%)、「301～(万円)」(1.5%)の割合が低い。

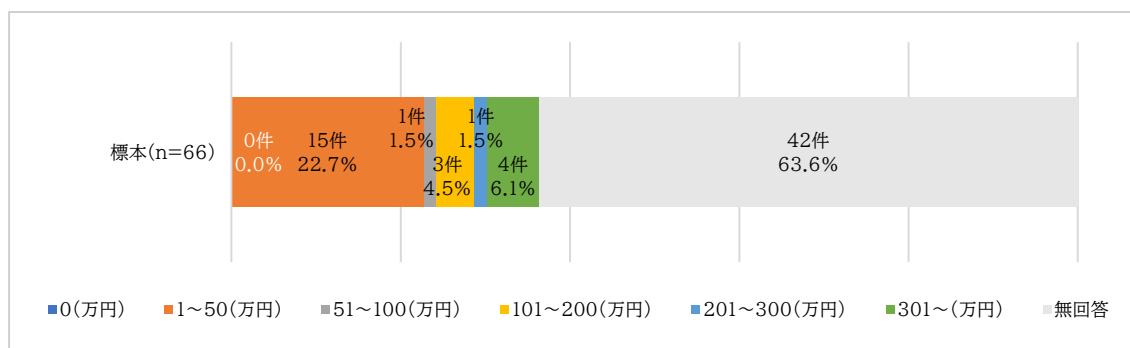
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちシステム等接続工事費用__万円



3-2-10 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等費用

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等費用について、「1～50(万円)」(22.7%)の割合が最も高く、次いで「301～(万円)」(6.1%)である。「51～100(万円)」(1.5%)、「201～300(万円)」(1.5%)の割合が低い。

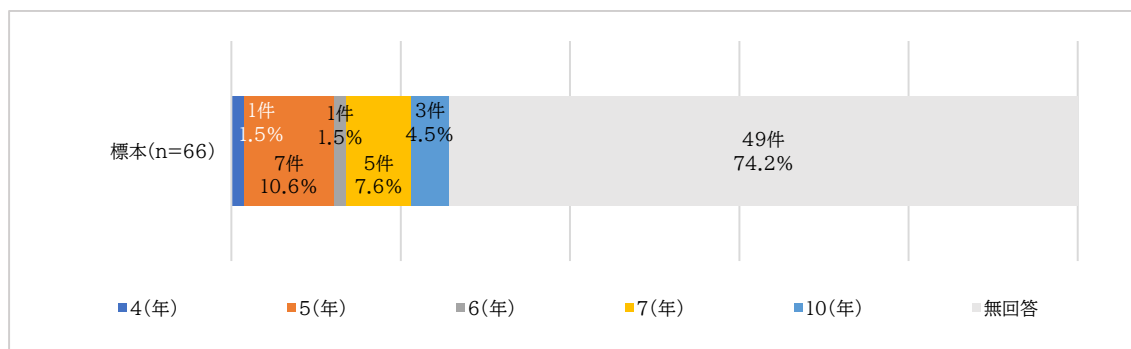
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等費用__万円



3-2-11 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等の想定耐用年数

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうち音声入力デバイス等の想定耐用年数について、「5(年)」(10.6%)の割合が最も高く、次いで「7(年)」(7.6%)、「10(年)」(4.5%)である。

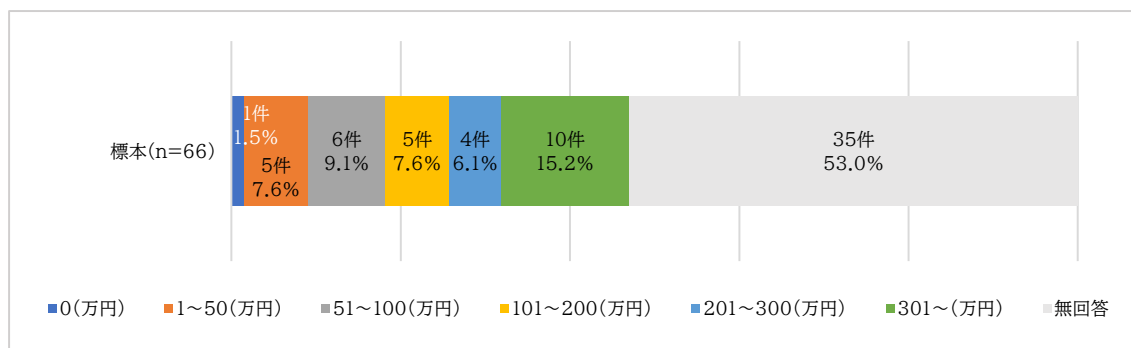
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち
音声入力デバイス等の想定耐用年数__年



3-2-12 問2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用

音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用について、「301～(万円)」(15.2%)の割合が最も高く、次いで「51～100(万円)」(9.1%)、「1～50(万円)」(7.6%)、「101～200(万円)」(7.6%)である。「0(万円)」(1.5%)の割合が最も低い。

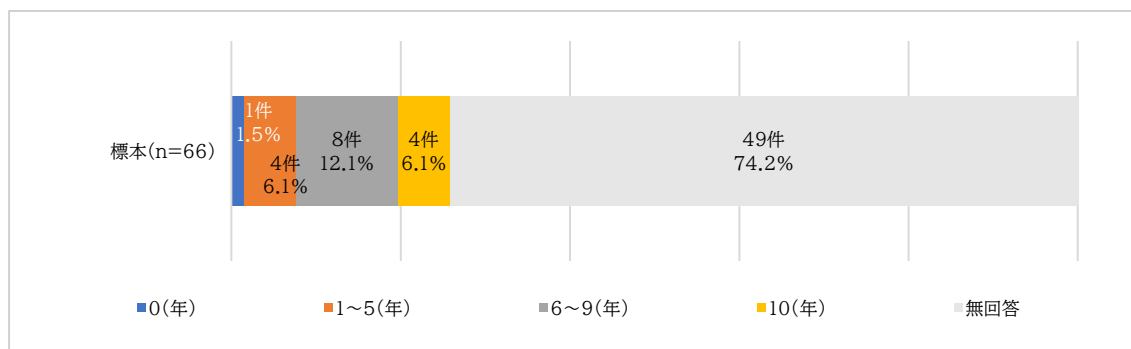
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用__万円



3-2-13 問2(2) 音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数

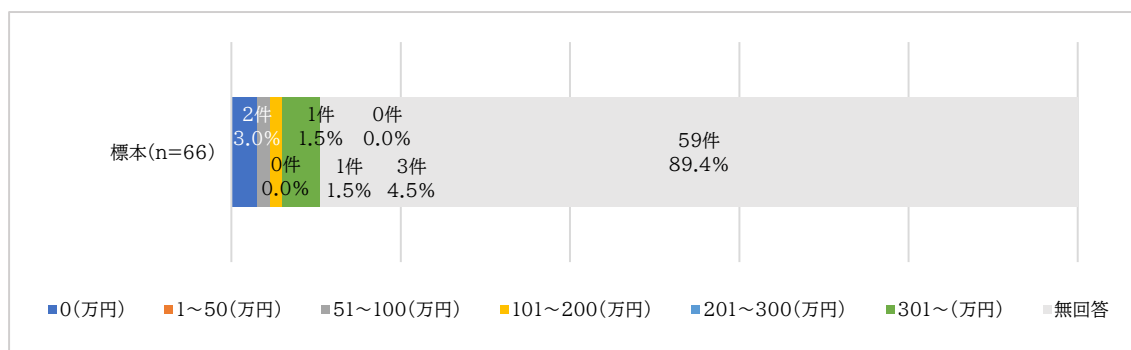
音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数について、「6～9(年)」(12.1%)の割合が最も高く、次いで「1～5(年)」(6.1%)、「10(年)」(6.1%)である。

音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち
ソフト・アプリ関連の再購入までの年数__年



3-2-14 問2(2) 音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用
音声入力システムの導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「301～(万円)」(4.5%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(3.0%)である。「51～100(万円)」(1.5%)、「101～200(万円)」(1.5%)の割合が低い。

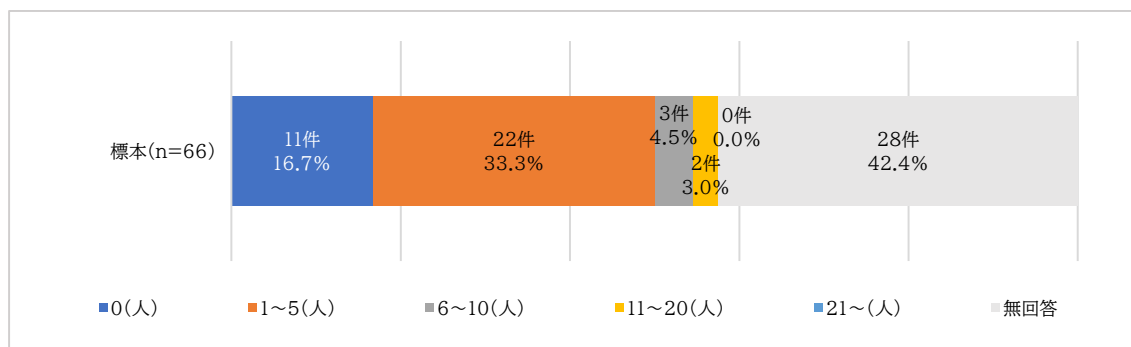
音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用__万円



3-2-15 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員について、「1～5(人)」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「0(人)」(16.7%)である。「11～20(人)」(3.0%)の割合が最も低い。

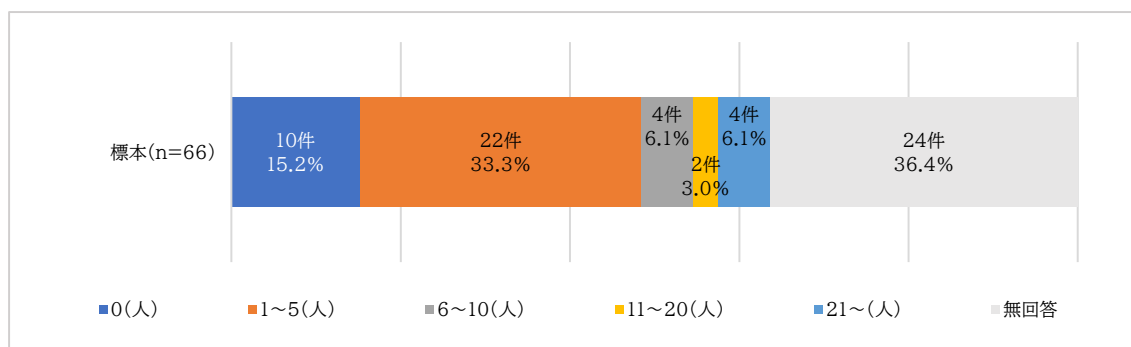
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間について事務部門__人



3-2-16 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員について、「1～5(人)」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「0(人)」(15.2%)である。「11～20(人)」(3.0%)の割合が最も低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間について医師部門__人

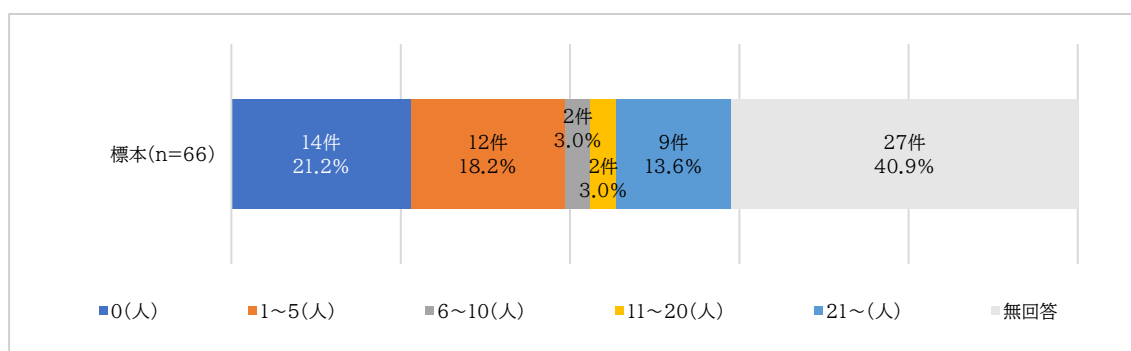


3-2-17 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員について、「0(人)」(21.2%)の割合が最も高く、次いで「1～5(人)」(18.2%)、「21～(人)」(13.6%)である。「6～10(人)」(3.0%)、「11～20(人)」(3.0%)の割合が低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員

(i) 説明会・研修会参加業務として、部門ごとの所要時間についてその他医療提供部門__人

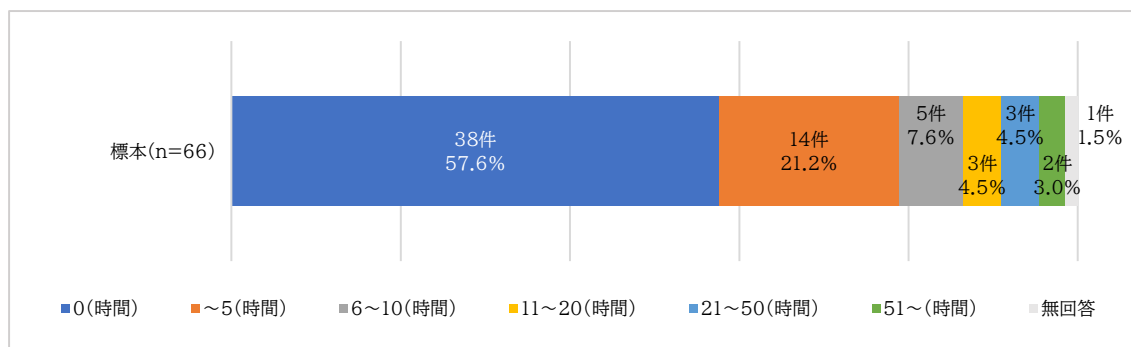


3-2-18 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計について、「0(時間)」(57.6%)の割合が最も高く、次いで「～5(時間)」(21.2%)、「6～10(時間)」(7.6%)である。「51～(時間)」(3.0%)の割合が最も低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員

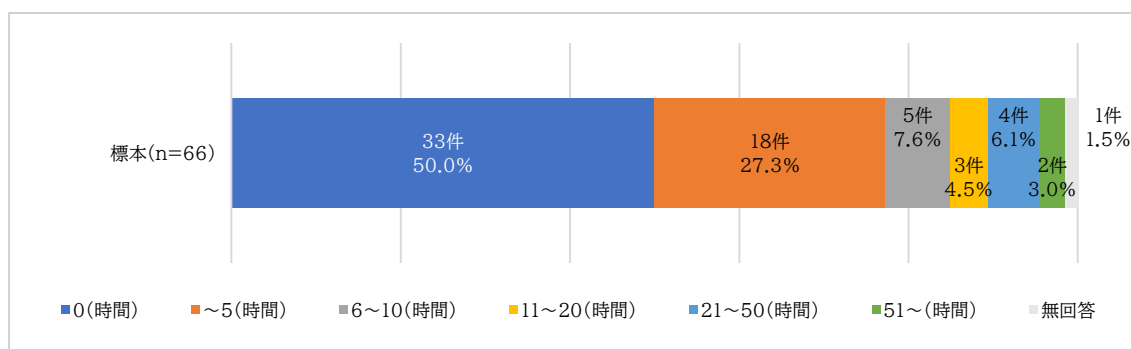
(i) 説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間__総計



3-2-19 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計について、「0(時間)」(50.0%)の割合が最も高く、次いで「～5(時間)」(27.3%)、「6～10(時間)」(7.6%)である。「51～(時間)」(3.0%)の割合が最も低い。

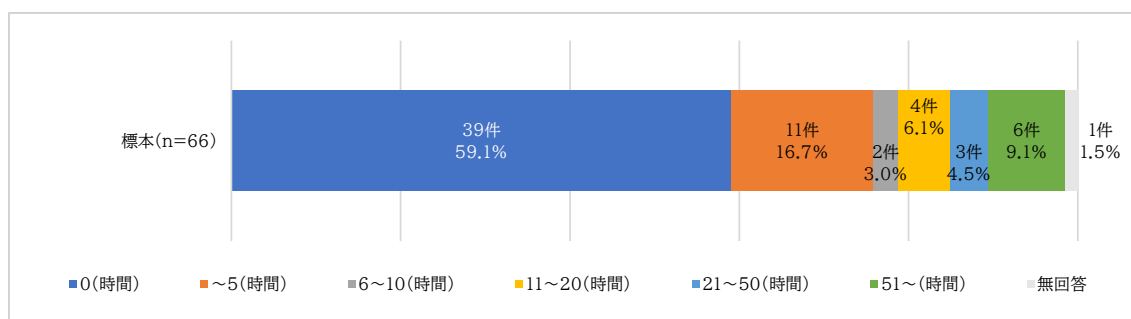
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i) 説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間__総計



3-2-20 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計について、「0(時間)」(59.1%)の割合が最も高く、次いで「～5(時間)」(16.7%)、「51～(時間)」(9.1%)である。「6～10(時間)」(3.0%)の割合が最も低い。

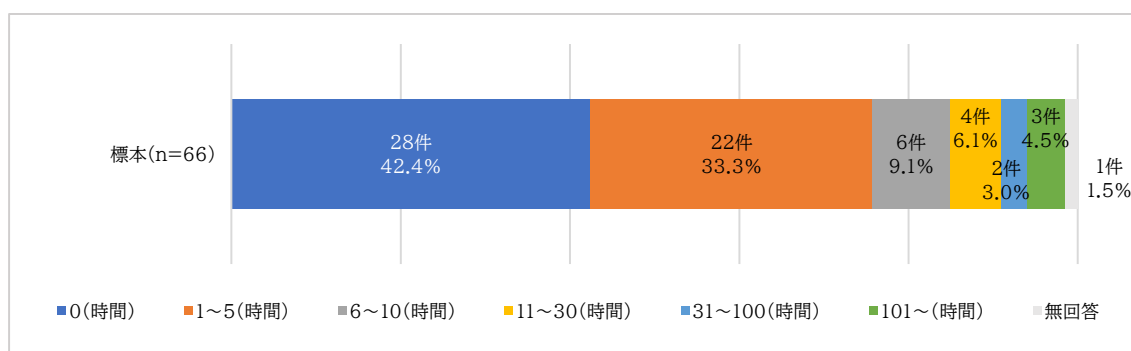
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i) 説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間__総計



3-2-21 問2(2) 音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(42.4%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(33.3%)、「6～10(時間)」(9.1%)である。「31～100(時間)」(3.0%)の割合が最も低い。

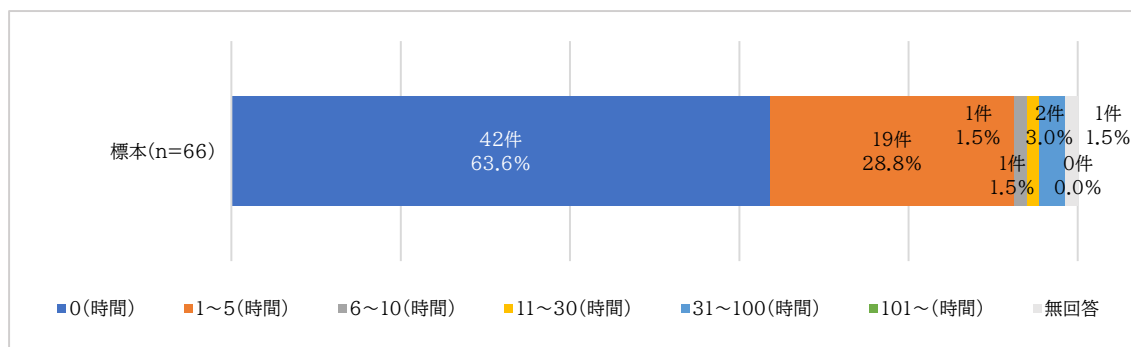
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計__時間



3-2-22 問2(2) 音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(63.6%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(28.8%)である。「6～10(時間)」(1.5%)、「11～30(時間)」(1.5%)の割合が低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計__時間

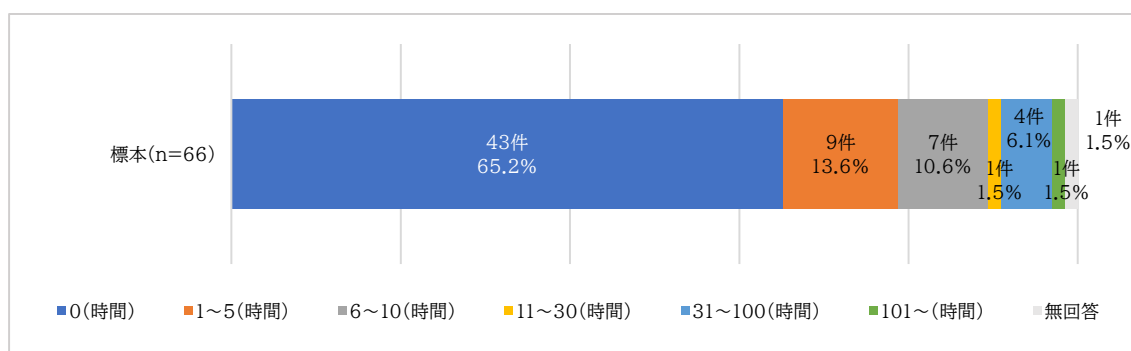


3-2-23 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(65.2%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(13.6%)、「6～10(時間)」(10.6%)である。「11～30(時間)」(1.5%)、「101～(時間)」(1.5%)の割合が低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員

(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計__時間

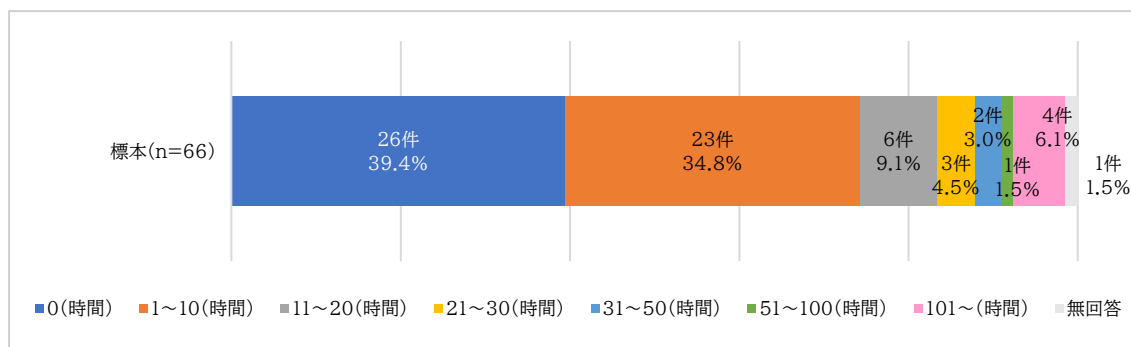


3-2-24 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(39.4%)の割合が最も高く、次いで「1～10(時間)」(34.8%)、「11～20(時間)」(9.1%)である。「51～100(時間)」(1.5%)の割合が最も低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員

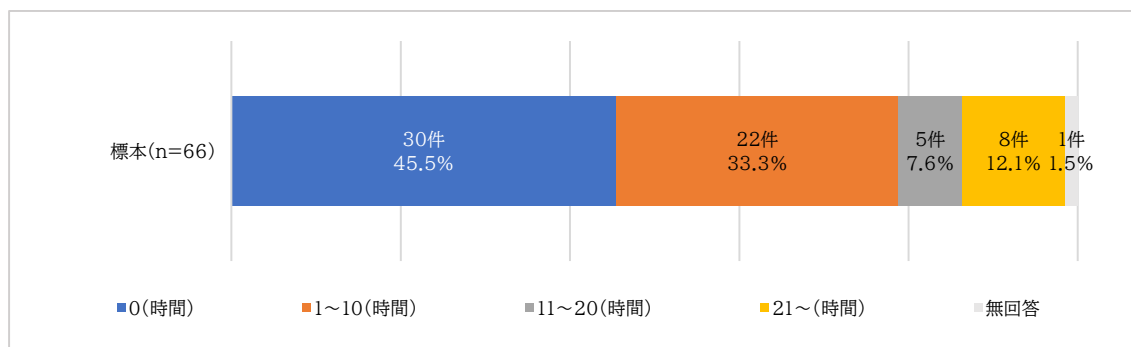
(i)と(ii)の事務部門業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-2-25 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の
医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の
合計について、「0(時間)」(45.5%)の割合が最も高く、次いで「1~10(時間)」(33.3%)であ
る。「11~20(時間)」(7.6%)の割合が最も低い。

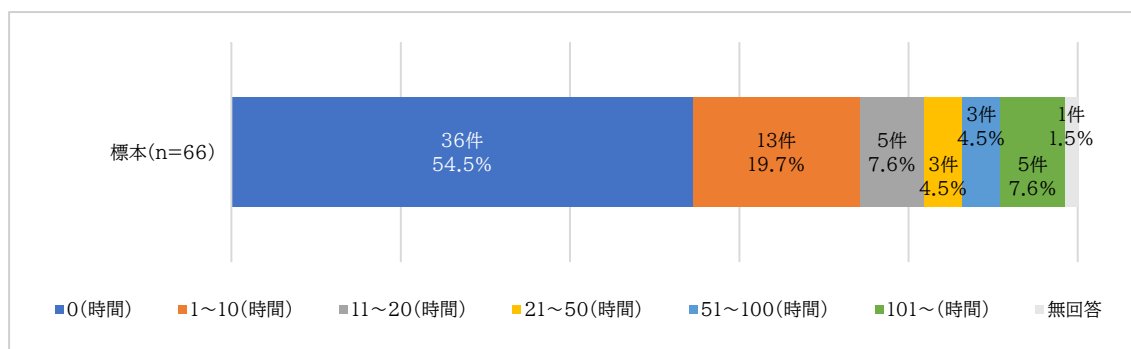
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-2-26 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の
その他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務
時間総計の合計について、「0(時間)」(54.5%)の割合が最も高く、次いで「1~10(時間)」
(19.7%)である。「21~50(時間)」(4.5%)、「51~100(時間)」(4.5%)の割合が低い。

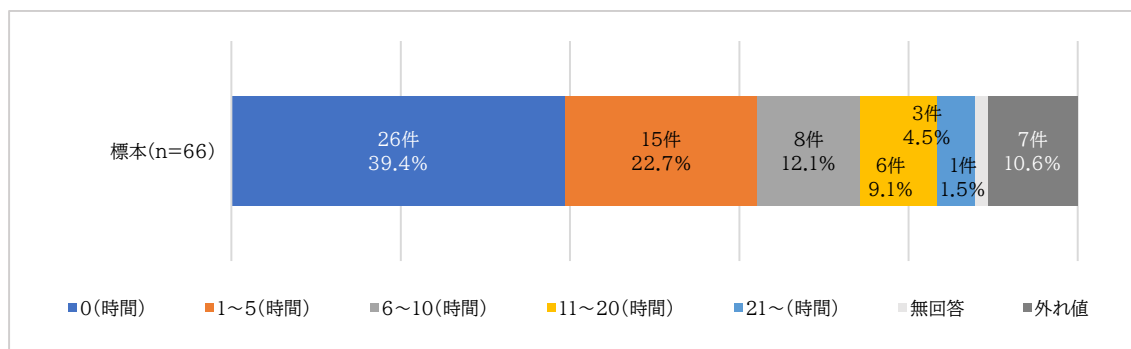
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計 外れ値除去前



3-2-27 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(39.4%)の割合が最も高く、次いで「1~5(時間)」(22.7%)である。「21~(時間)」(4.5%)の割合が最も低い。

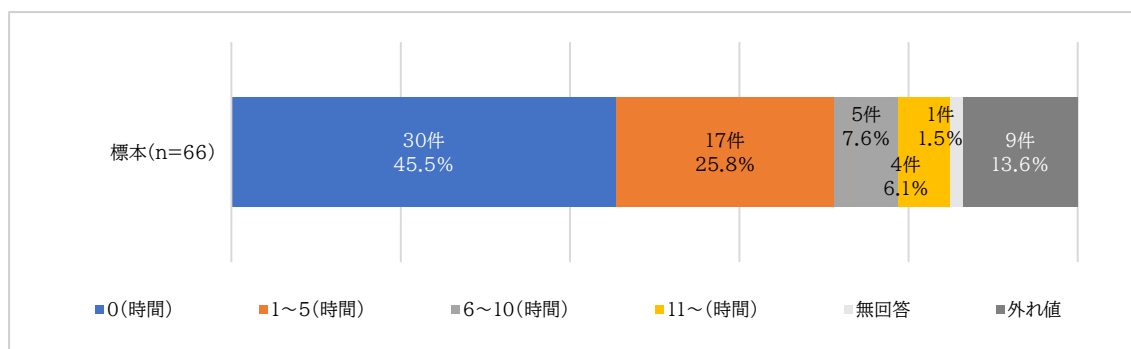
音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計 外れ値除去後



3-2-28 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

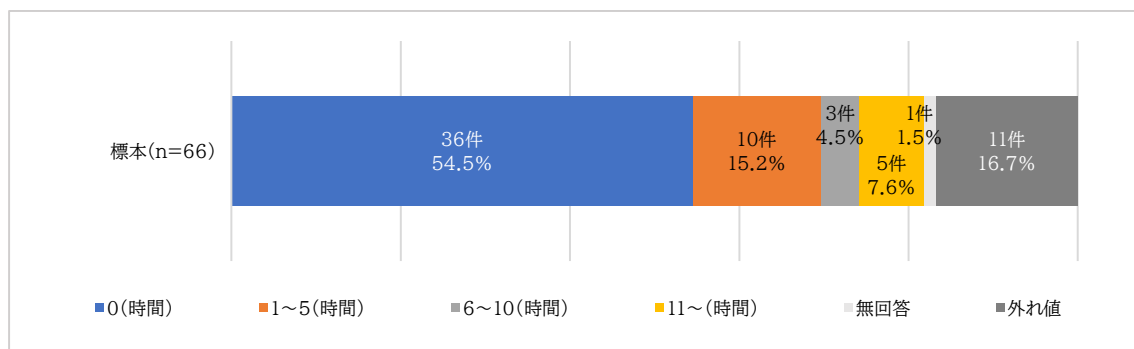
音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(45.5%)の割合が最も高く、次いで「1~5(時間)」(25.8%)である。「11~(時間)」(6.1%)の割合が最も低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計 外れ値除去後



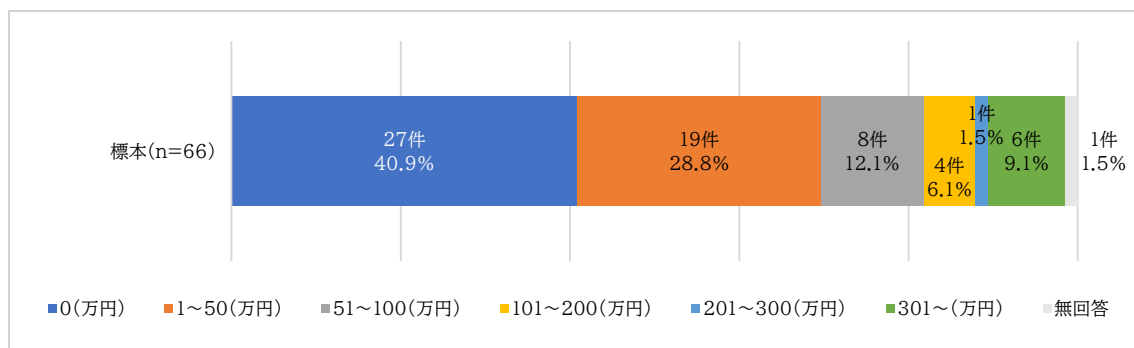
3-2-29 問2(2)音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の
 その他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)
 音声入力システムの院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務
 時間総計の合計について、「0(時間)」(54.5%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」
 (15.2%)である。「6～10(時間)」(4.5%)の割合が最も低い。

音声入力システム③-2 院内での導入対応人員
 (i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計 外れ値除去後



3-2-30 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去
 前)
 音声入力システムの運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「0(万円)」(40.9%)の割合が
 最も高く、次いで「1～50(万円)」(28.8%)、「51～100(万円)」(12.1%)である。「201～300
 (万円)」(1.5%)の割合が最も低い。

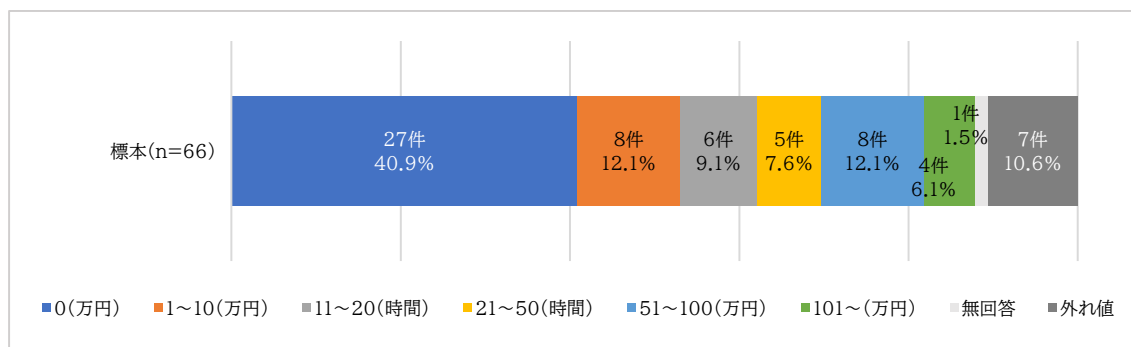
音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額__万円 外れ値除去前



3-2-31 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

音声入力システムの運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「0(万円)」(40.9%)の割合が最も高く、次いで「1～10(万円)」(12.1%)、「51～100(万円)」(12.1%)である。「101～(万円)」(6.1%)の割合が最も低い。

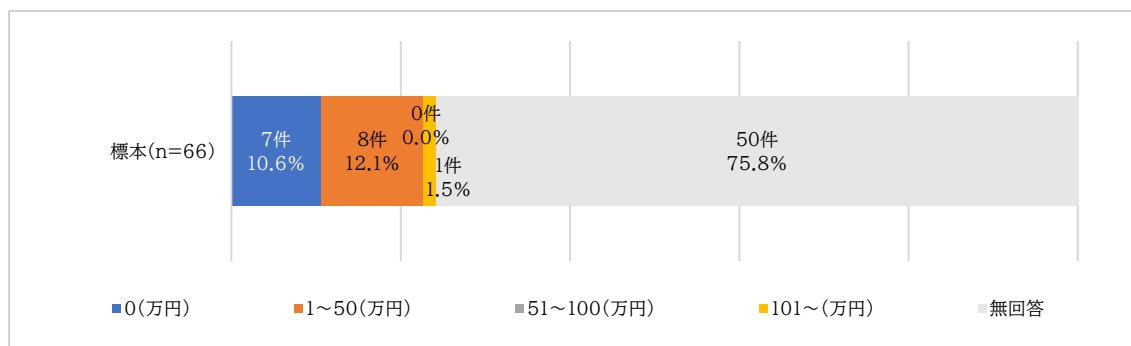
音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-2-32 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用

音声入力システムの運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用について、「1～50(万円)」(12.1%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(10.6%)、「101～(万円)」(1.5%)である。

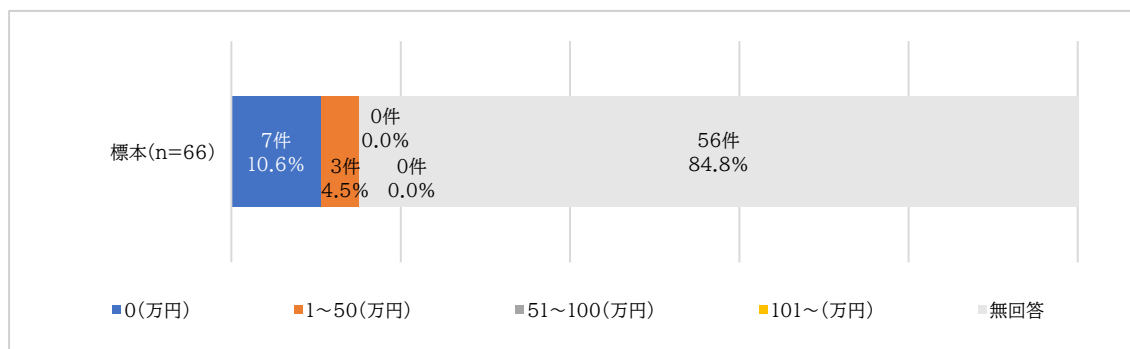
音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用__万円



3-2-33 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用

音声入力システムの運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用について、「0(万円)」(10.6%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(4.5%)である。

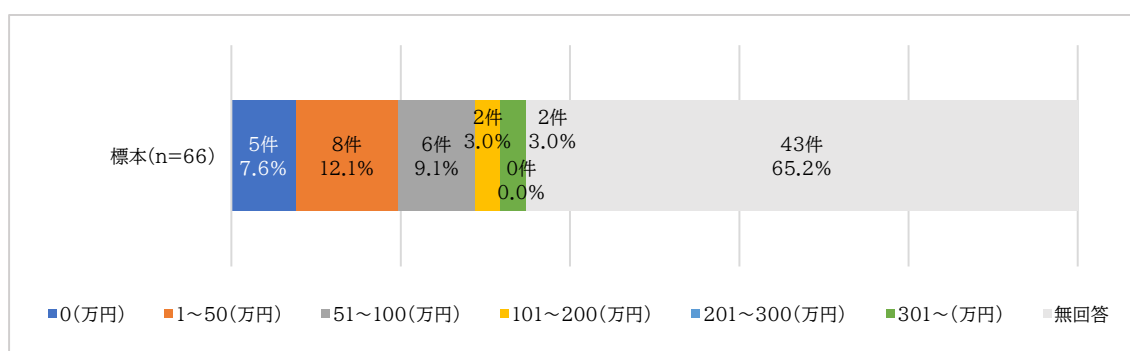
音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守等費用__万円



3-2-34 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料

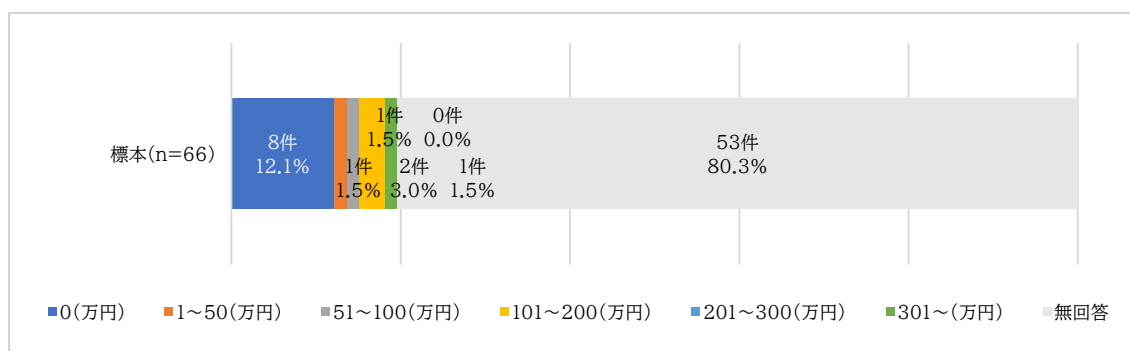
音声入力システムの運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料について、「1～50(万円)」(12.1%)の割合が最も高く、次いで「51～100(万円)」(9.1%)、「0(万円)」(7.6%)である。

音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料(ライセンス料・サブスクリプション料)__万円



3-2-35 問2(2)音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用
音声入力システムの運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「0(万円)」
(12.1%)の割合が最も高く、次いで「101～200(万円)」(3.0%)、「1～50(万円)」(1.5%)、
「51～100(万円)」(1.5%)、「301～(万円)」(1.5%)である。

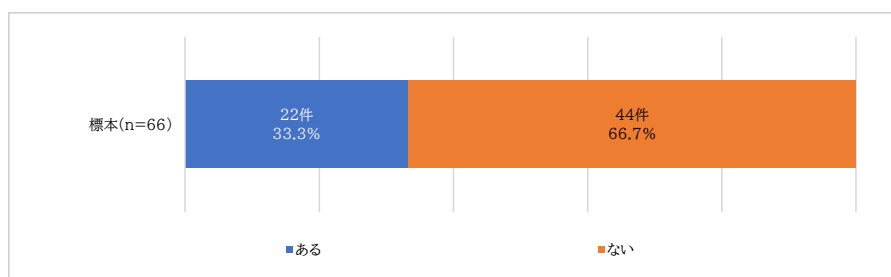
音声入力システム④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用__万円



3-2-36 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守の有無

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のシステム保守の有無について、「ない」
(66.7%)の割合が高い。

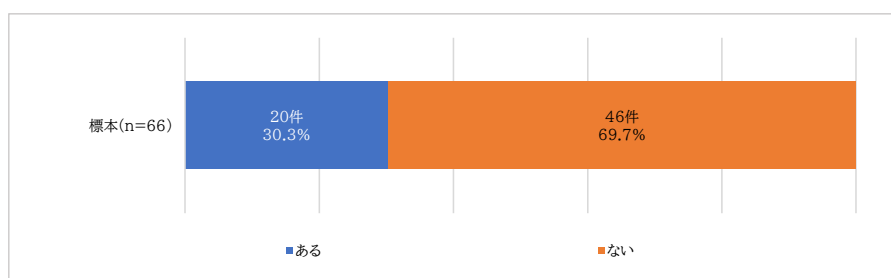
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守の有無



3-2-37 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応の有無

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のトラブル対応の有無について、「ない」
(69.7%)の割合が高い。

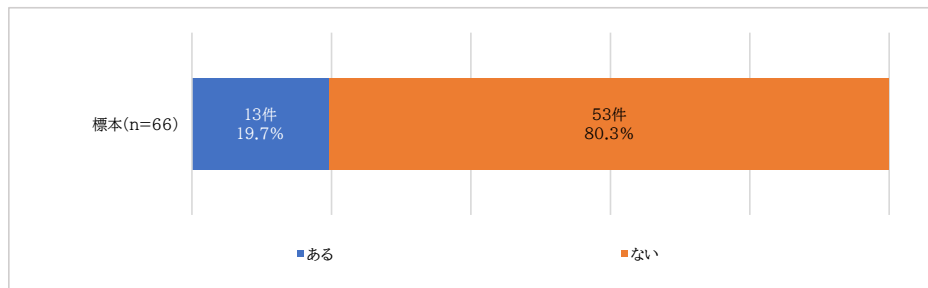
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応の有無



3-2-38 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務の有無

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のその他業務の有無について、「ない」(80.3%)の割合が高い。

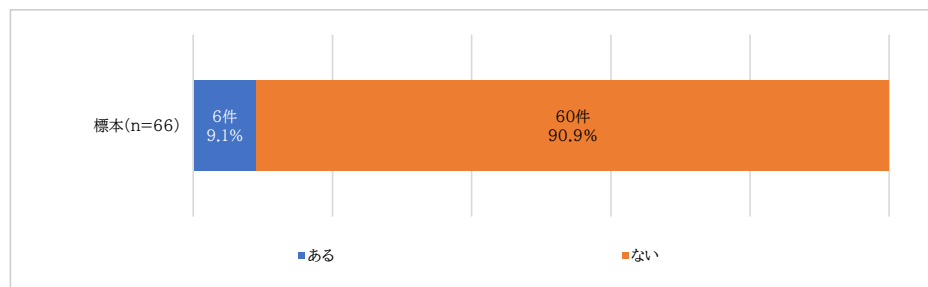
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務の有無



3-2-39 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応の有無

音声入力システムの運用業務対応として医師部門のトラブル対応の有無について、「ない」(90.9%)の割合が高い。

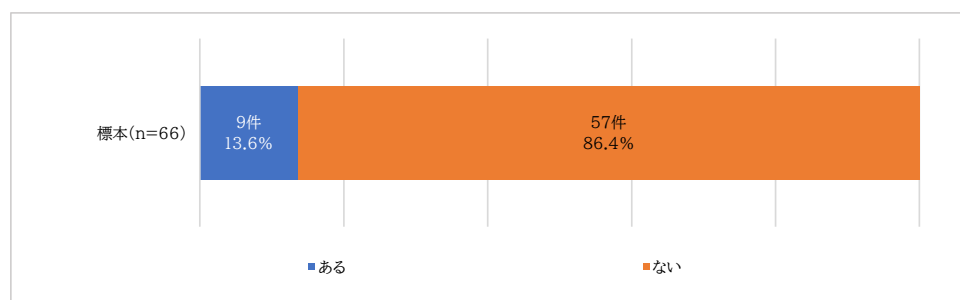
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応の有無



3-2-40 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務の有無

音声入力システムの運用業務対応として医師部門のその他業務の有無について、「ない」(86.4%)の割合が高い。

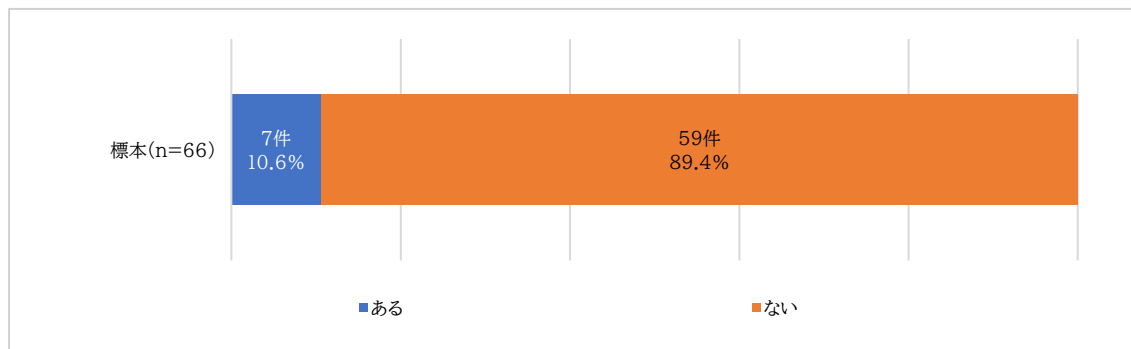
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務の有無



3-2-41 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応の有無

音声入力システムの運用業務対応としてその他医療職部門のトラブル対応の有無について、「ない」(89.4%)の割合が高い。

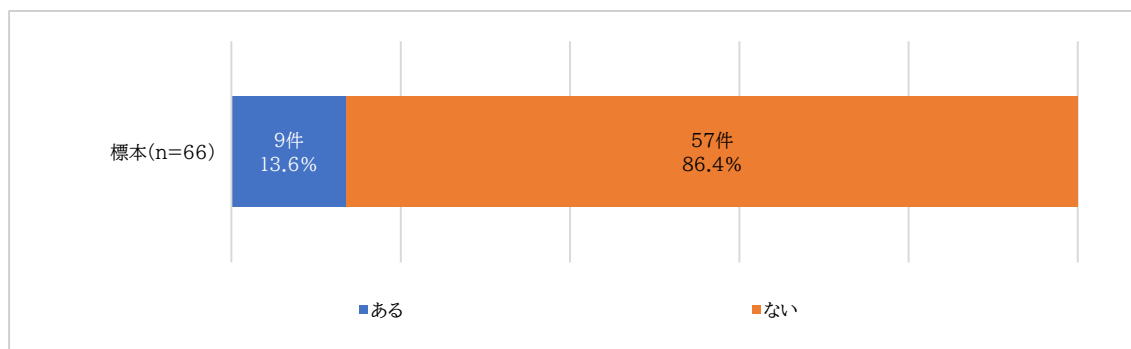
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応の有無



3-2-42 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務の有無

音声入力システムの運用業務対応としてその他医療職部門のその他業務の有無について、「ない」(86.4%)の割合が高い。

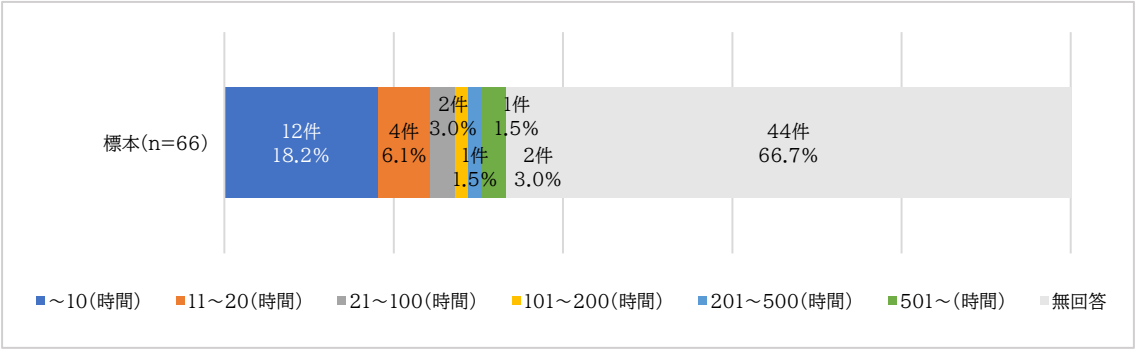
音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務の有無



3-2-43 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(18.2%)の割合が最も高く、次いで「11～20(時間)」(6.1%)である。「101～200(時間)」(1.5%)、「201～500(時間)」(1.5%)の割合が低い。

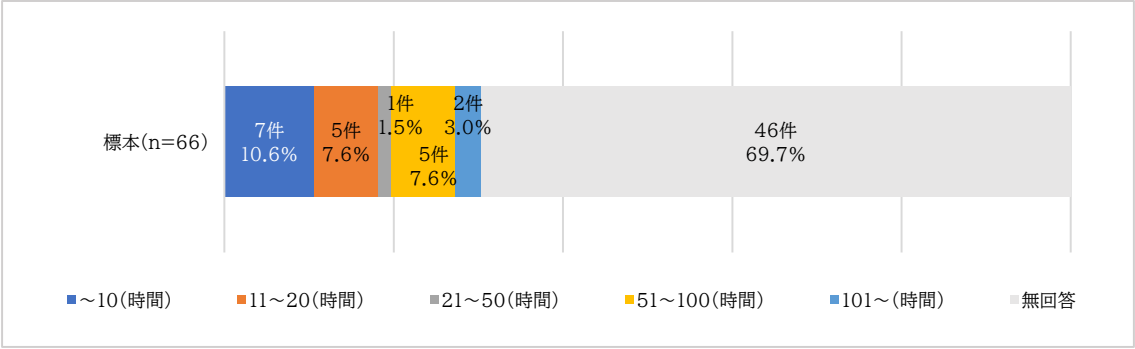
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
事務部門のシステム保守時間総計(年あたり)



3-2-44 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(10.6%)の割合が最も高く、次いで「11～20(時間)」(7.6%)、「51～100(時間)」(7.6%)である。「21～50(時間)」(1.5%)の割合が最も低い。

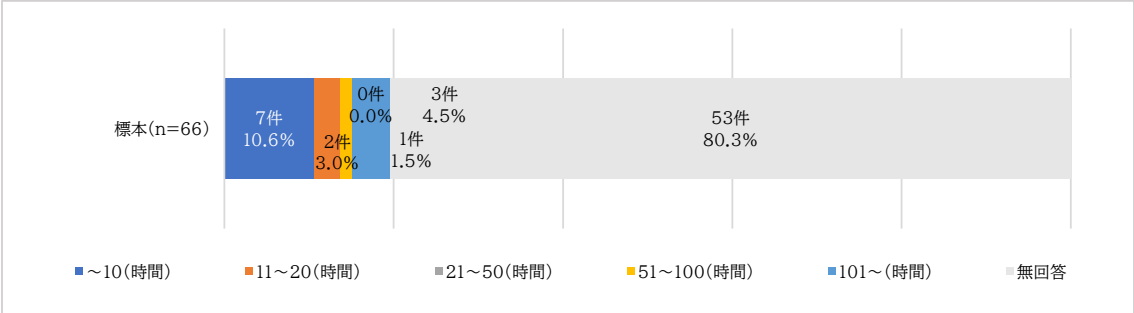
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-2-45 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のその他業務時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のその他業務時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(10.6%)の割合が最も高く、次いで「101～(時間)」(4.5%)、「11～20(時間)」(3.0%)である。

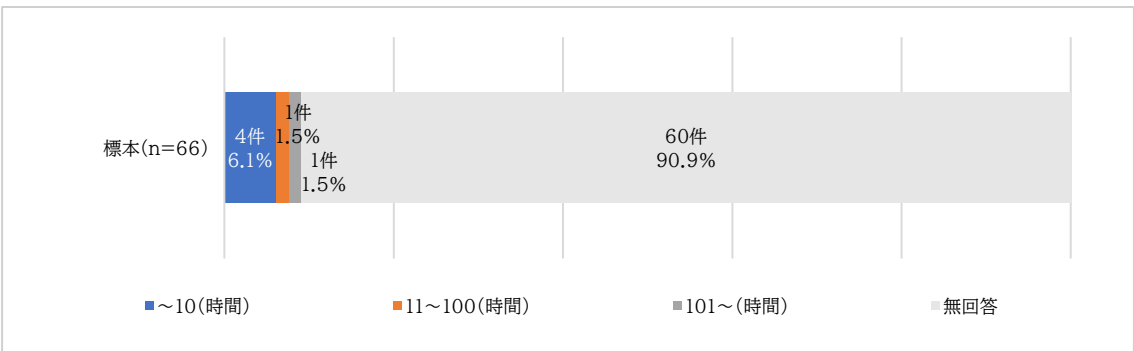
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
事務部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-2-46 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応として医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「11～100(時間)」(1.5%)、「101～(時間)」(1.5%)である。

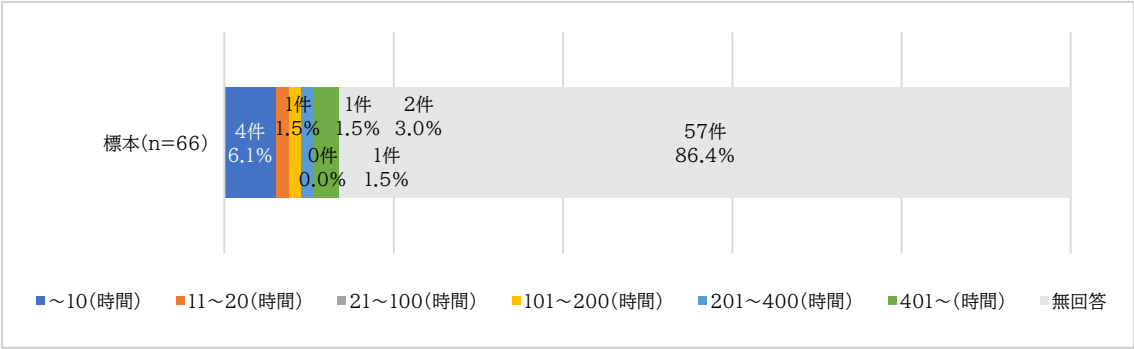
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
医師部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-2-47 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のその他業務時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応として医師部門のその他業務時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「401～(時間)」(3.0%)である。「11～20(時間)」(1.5%)、「101～200(時間)」(1.5%)、「201～400(時間)」(1.5%)の割合が低い。

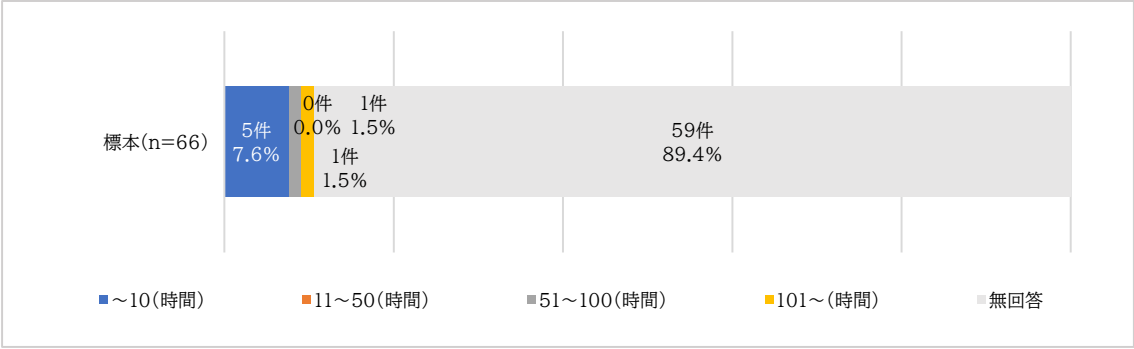
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
医師部門のその他業務時間総計(年あたり)



3-2-48 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応としてその他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(7.6%)の割合が最も高く、次いで「51～100(時間)」(1.5%)、「101～(時間)」(1.5%)である。

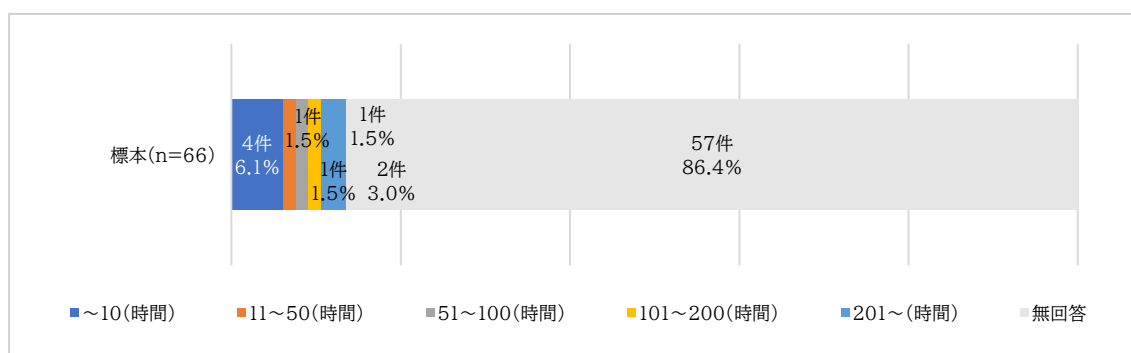
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
その他医療職部門のトラブル対応時間総計(年あたり)



3-2-49 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)

音声入力システムの運用業務対応としてその他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)について、「～10(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「201～(時間)」(3.0%)である。「11～50(時間)」(1.5%)、「51～100(時間)」(1.5%)、「101～200(時間)」(1.5%)の割合が低い。

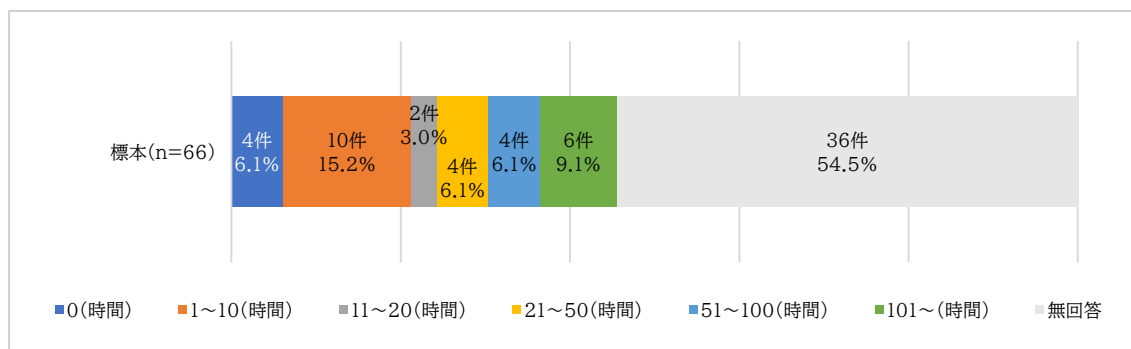
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
その他医療職部門のその他業務時間総計(年あたり)



3-2-50 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「1～10(時間)」(15.2%)の割合が最も高く、次いで「101～(時間)」(9.1%)である。「11～20(時間)」(3.0%)の割合が最も低い。

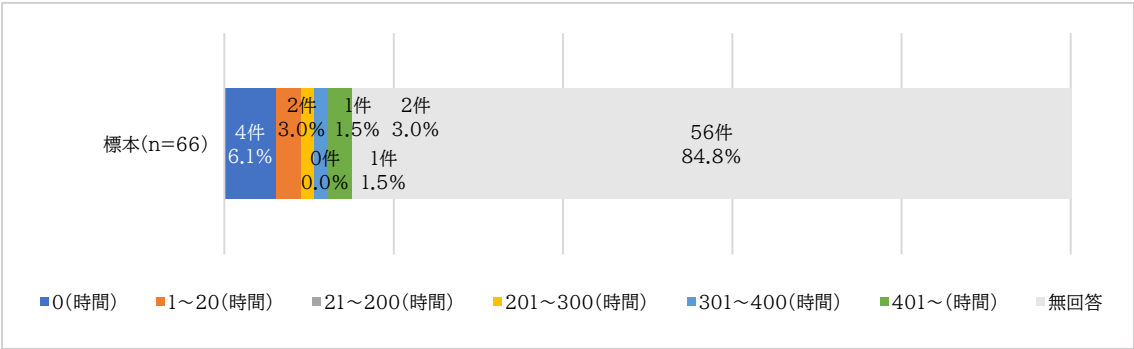
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務の総計の合計 外れ値除去前



3-2-51 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)

音声入力システムの運用業務対応として医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「0(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「1~20(時間)」(3.0%)、「401~(時間)」(3.0%)である。「201~300(時間)」(1.5%)、「301~400(時間)」(1.5%)の割合が低い。

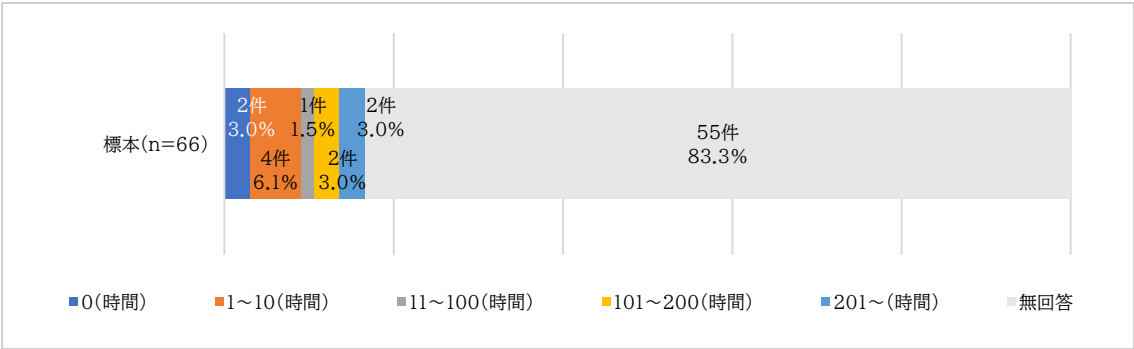
音声入力システム④-2 運用業務対応人員
医師部門のトラブル対応、その他業務の総計の合計 外れ値除去前



3-2-52 問2(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去前)

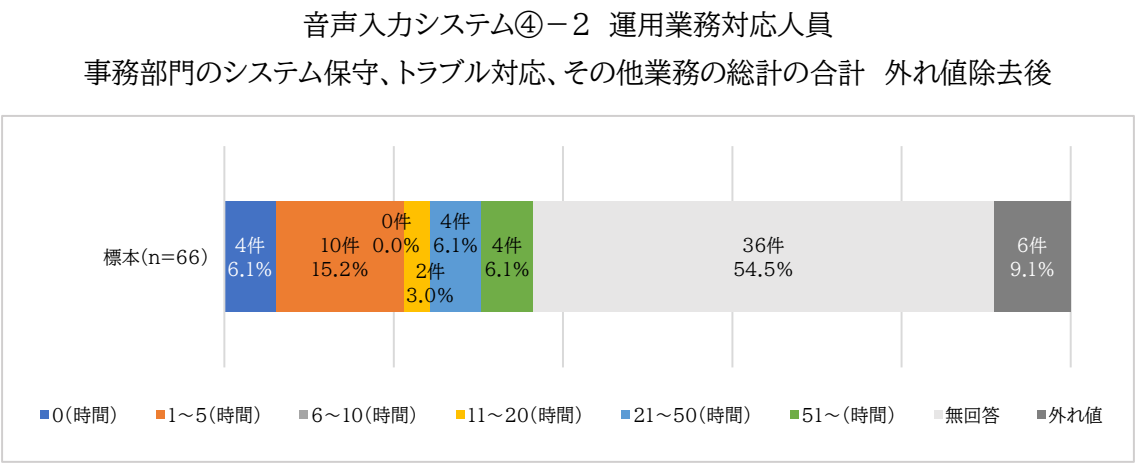
音声入力システムの運用業務対応としてその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「1~10(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(3.0%)、「101~200(時間)」(3.0%)、「201~(時間)」(3.0%)である。「11~100(時間)」(1.5%)の割合が最も低い。

音声入力システム④-2 運用業務対応人員
その他医療提供部門トラブル対応、その他業務の総計の合計 外れ値除去前



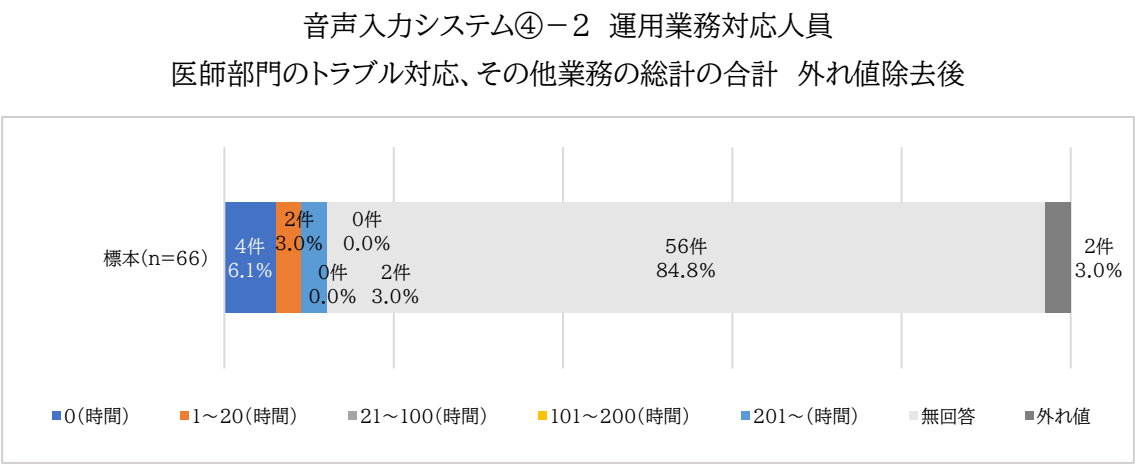
3-2-53 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)

音声入力システムの運用業務対応として事務部門のシステム保守、トラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「1～5(時間)」(15.2%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(6.1%)、「21～50(時間)」(6.1%)、「51～(時間)」(6.1%)である。

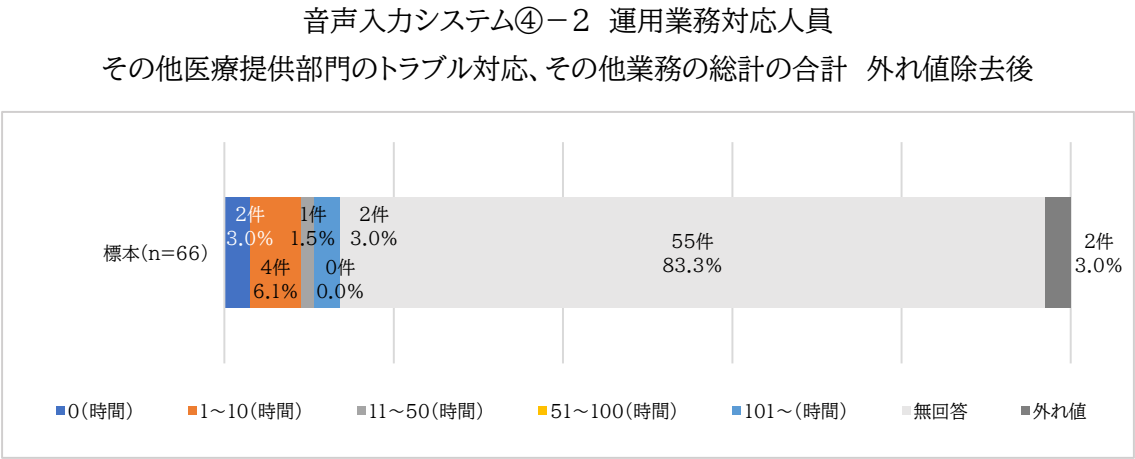


3-2-54 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関する医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)

音声入力システムの運用業務対応として医師部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「0(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「1～20(時間)」(3.0%)、「201～(時間)」(3.0%)である。

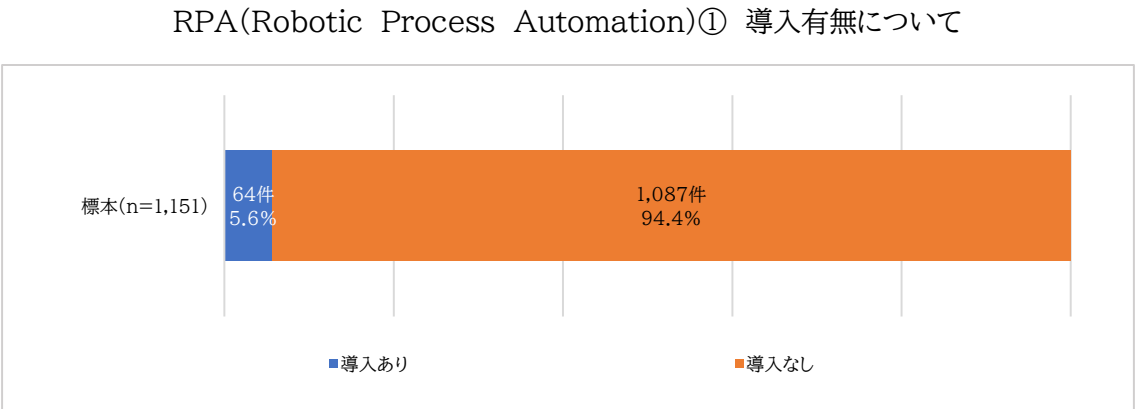


3-2-55 問2(2)音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)(外れ値除去後)
 音声入力システムの運用業務対応としてその他医療提供部門のトラブル対応、その他業務時間総計の合計(年あたり)について、「1～10(時間)」(6.1%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(3.0%)、「101～(時間)」(3.0%)である。



3-3 単純集計結果(3)

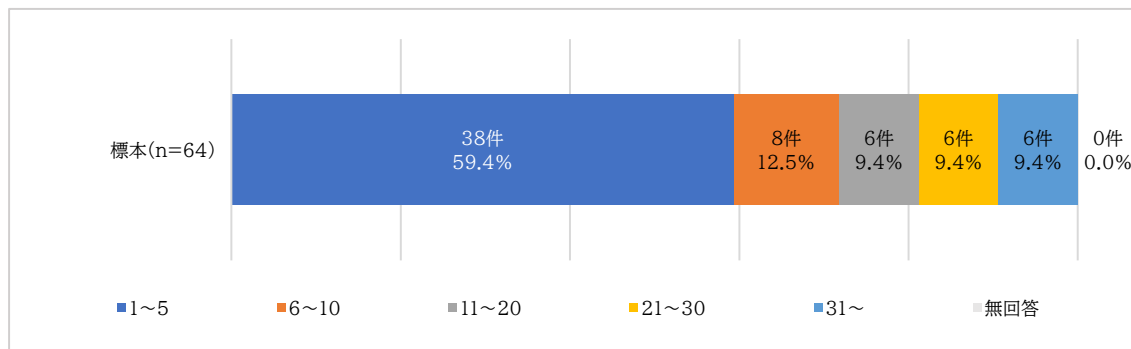
3-3-1 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)①導入有無について
 RPA(Robotic Process Automation)の導入有無について、「導入なし」(94.4%)の割合が高い。



3-3-2 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)①導入有のシナリオ・ロボット・ボット数

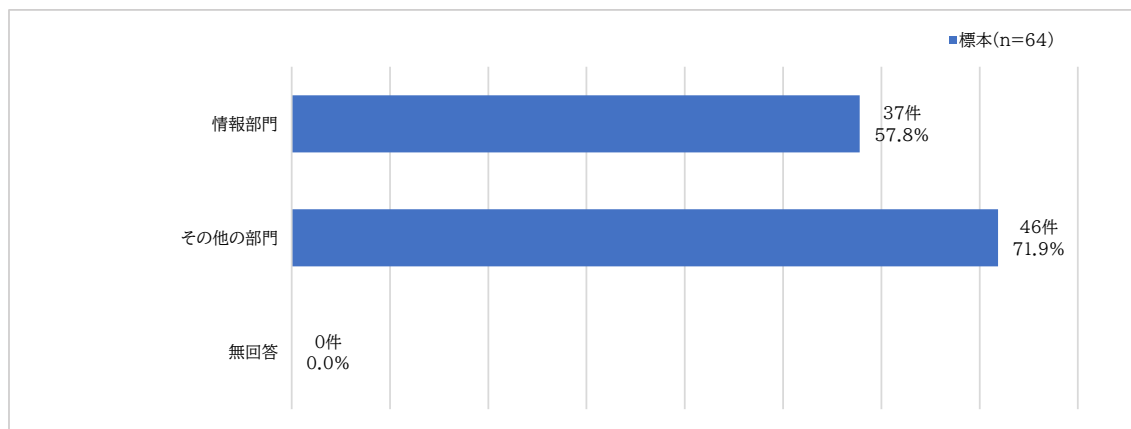
RPA(Robotic Process Automation)を導入有の場合のシナリオ・ロボット・ボット数について、「1～5」(59.4%)の割合が最も高く、次いで「6～10」(12.5%)である。

RPA(Robotic Process Automation)① 導入有のシナリオ・ロボット・ボット数



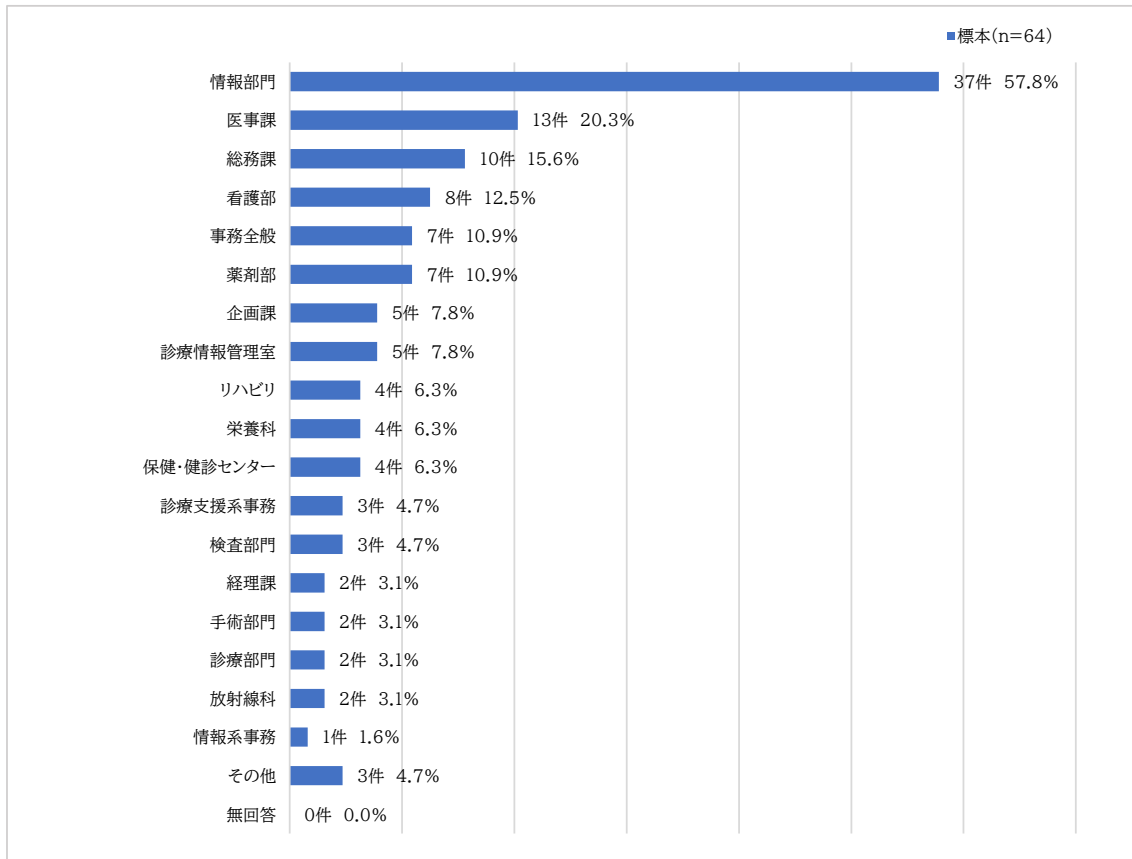
3-3-3 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)②主たる利用部門について
RPA(Robotic Process Automation)の主たる利用部門について、「情報部門」(57.8%)以外では、「その他の部門」の回答内容のうち、「医事科」や「総務課」が多かった。

RPA(Robotic Process Automation)②主たる利用部門について ※複数回答



RPA(Robotic Process Automation)

②主たる利用部門について(その他部門名含む) ※複数回答

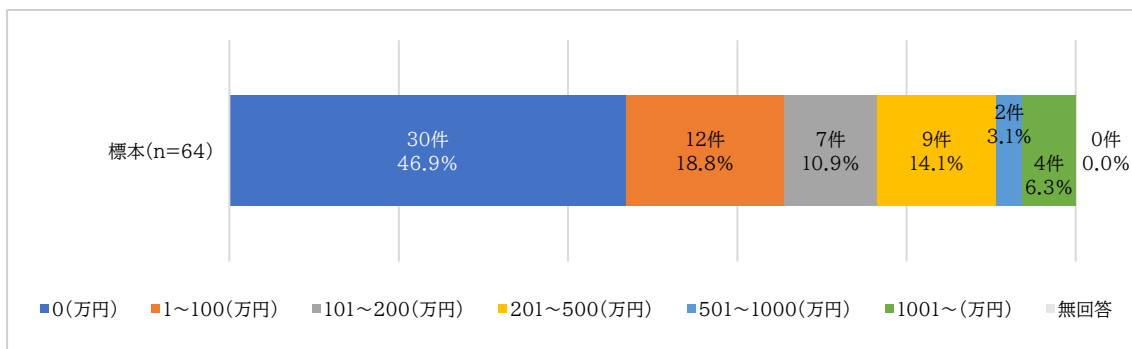


3-3-4 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)の総額について、「0(万円)」(46.9%)の割合が最も高く、次いで「1～100(万円)」(18.8%)、「201～500(万円)」(14.1%)である。「501～1000(万円)」(3.1%)の割合が最も低い。

RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)

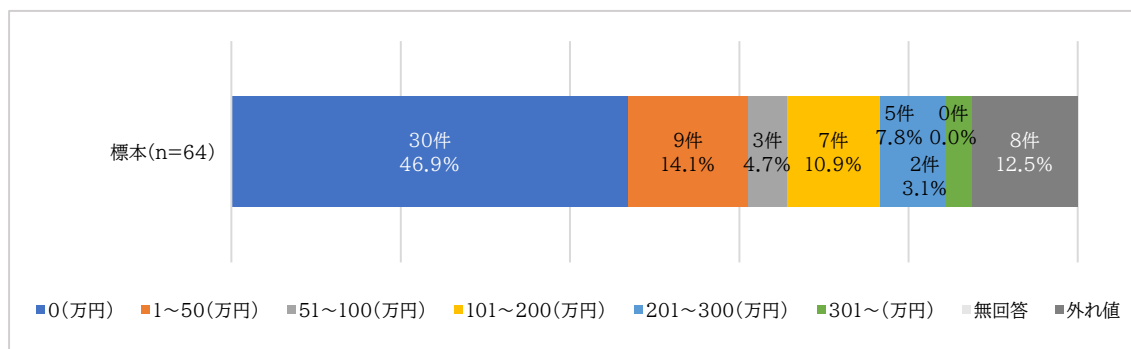
総額__万円 外れ値除去前



3-3-5 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)の総額について、「0(万円)」(46.9%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(14.1%)、「101～200(万円)」(10.9%)である。「301～(万円)」(3.1%)の割合が最も低い。

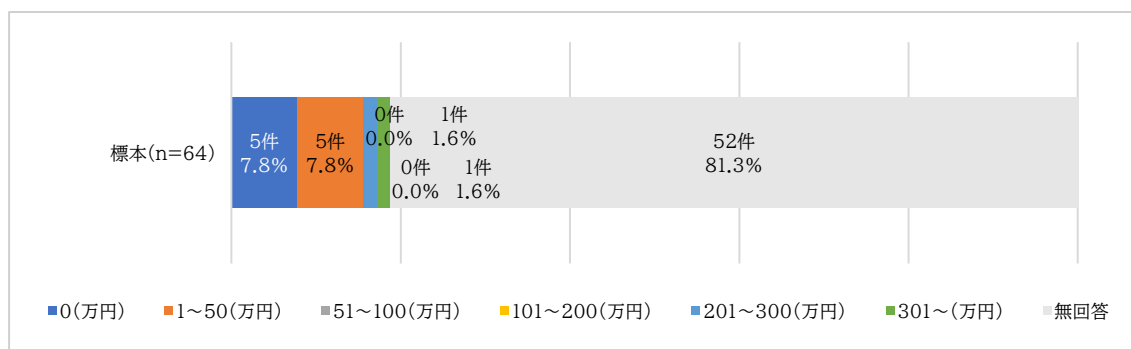
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-3-6 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連費用について、「0(万円)」(7.8%)、「1～50(万円)」(7.8%)の割合が高く、次いで「201～300(万円)」(1.6%)、「301～(万円)」(1.6%)である。

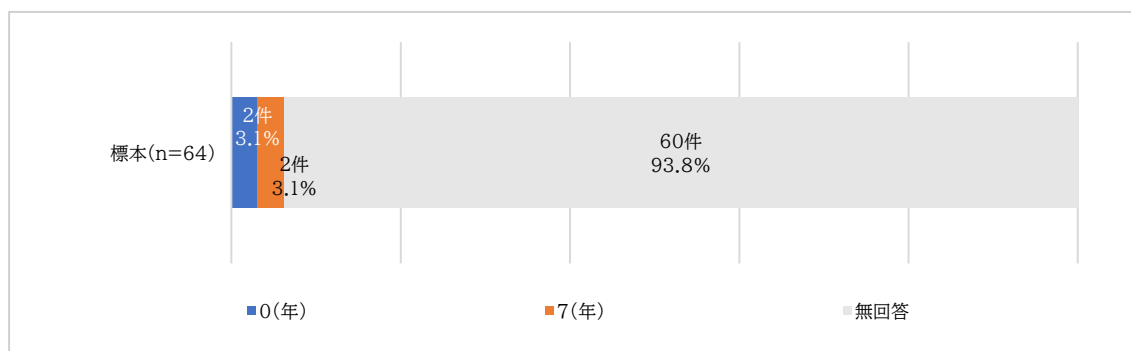
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
サーバー関連費用__万円



3-3-7 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数について、「0(年)」(3.1%)、「7(年)」(3.1%)の割合が同じである。

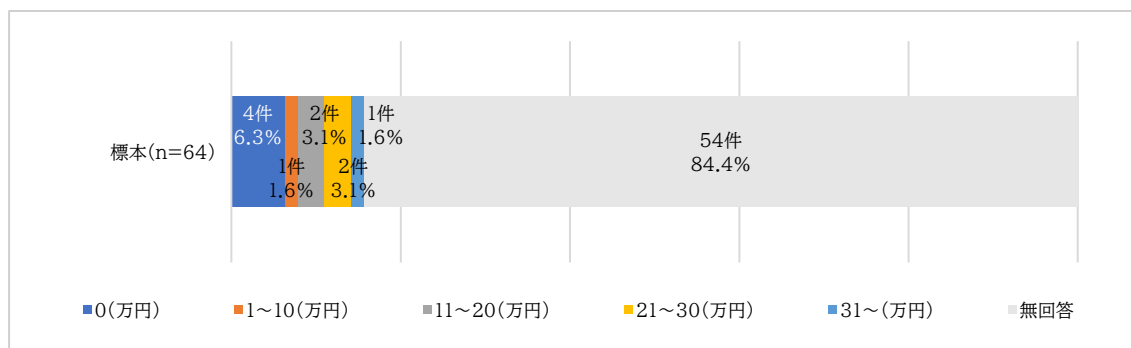
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
サーバー関連の想定耐用年数__年



3-3-8 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうち新規PC関連費用

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうち新規PC関連費用について、「0(万円)」(6.3%)の割合が最も高く、次いで「11～20(万円)」(3.1%)、「21～30(万円)」(3.1%)である。

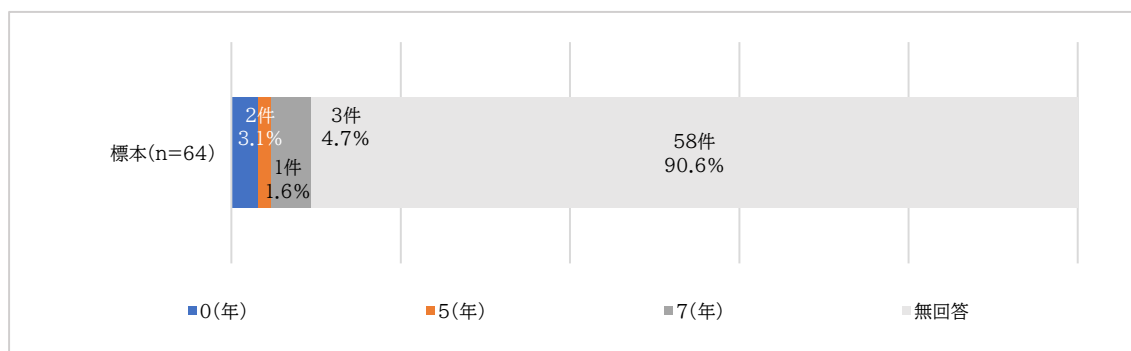
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
新規PC関連費用__万円



3-3-9 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)の想定耐用年数

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー関連の想定耐用年数について、「7(年)」(4.7%)の割合が高く、「5(年)」(1.6%)の割合が低い。

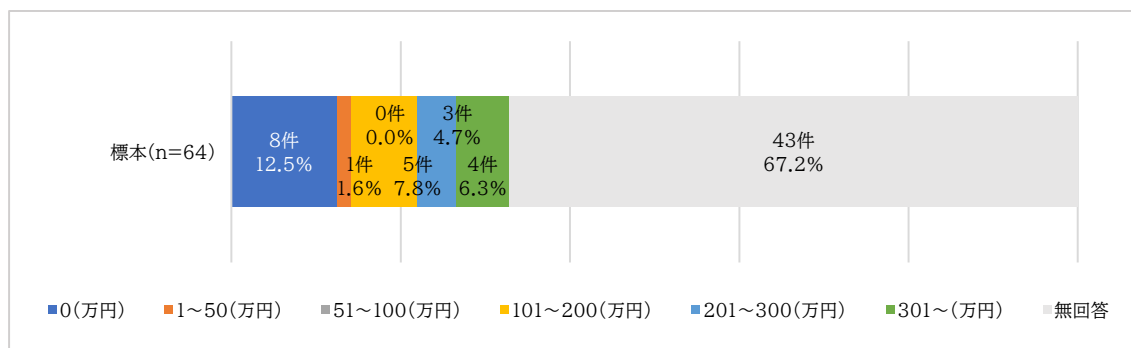
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
新規PC関連の想定耐用年数__年



3-3-10 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用について、「0(万円)」(12.5%)の割合が最も高く、次いで「101~200(万円)」(7.8%)、「301~(万円)」(6.3%)である。

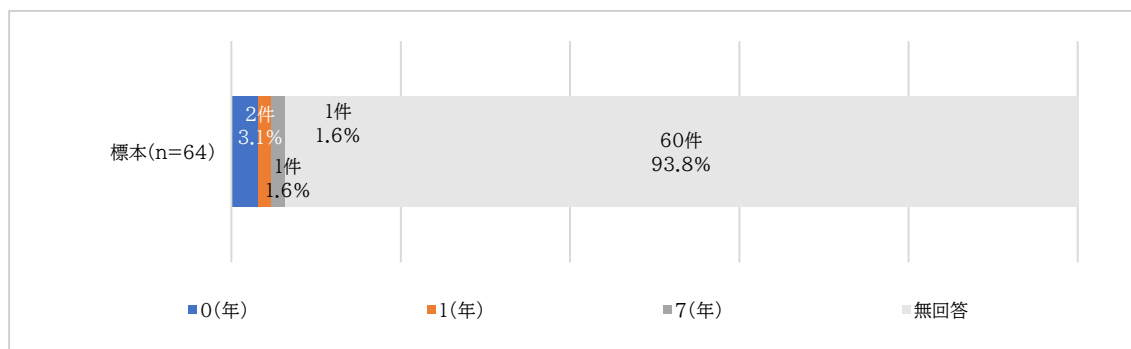
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連費用__万円



3-3-11 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数について、「0(年)」(3.1%)の割合が高く、次いで「1(年)」(1.6%)である。

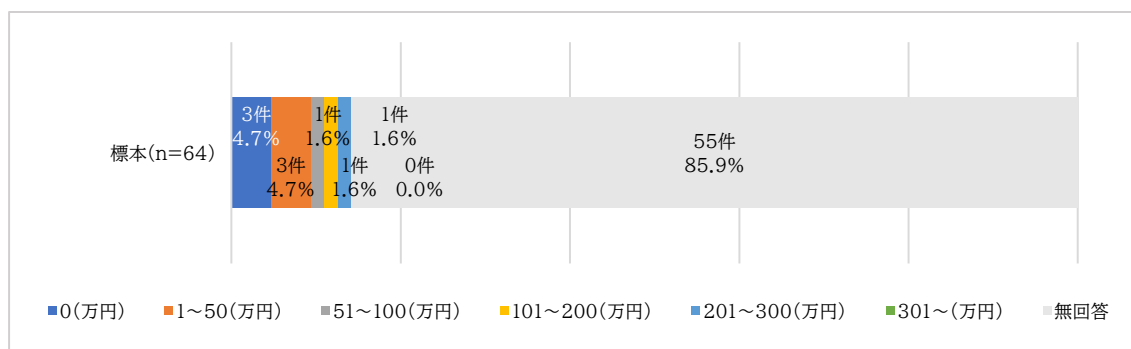
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連の再購入までの年数__年



3-3-12 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用

RPA(Robotic Process Automation)の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「0(万円)」(4.7%)、「1～50(万円)」(4.7%)の割合が高く、次いで「51～100(万円)」(1.6%)、「101～200(万円)」(1.6%)、「201～300(万円)」(1.6%)である。

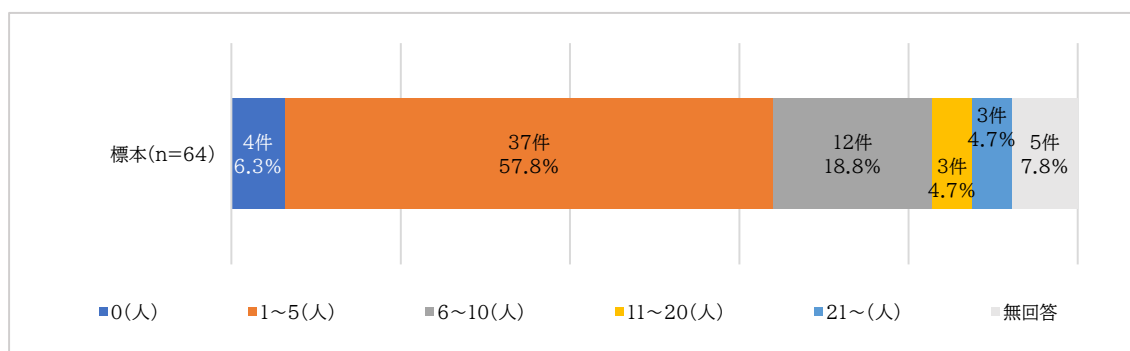
RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
その他費用__万円



3-3-13 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員について、「1～5(人)」(57.8%)の割合が最も高く、次いで「6～10(人)」(18.8%)である。「11～20(人)」(4.7%)、「21～(人)」(4.7%)の割合が低い。

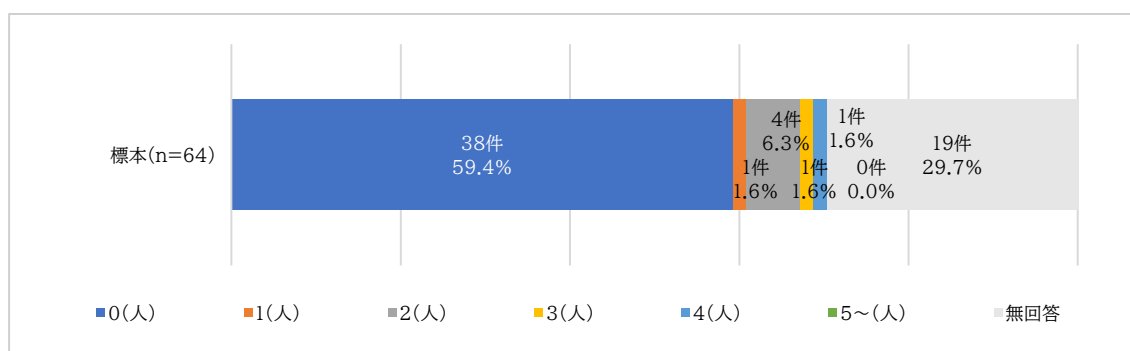
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i) 説明会・研修会参加業務の事務部門の対応人員__人



3-3-14 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員について、「0(人)」(59.4%)の割合が最も高く、次いで「2(人)」(6.3%)である。

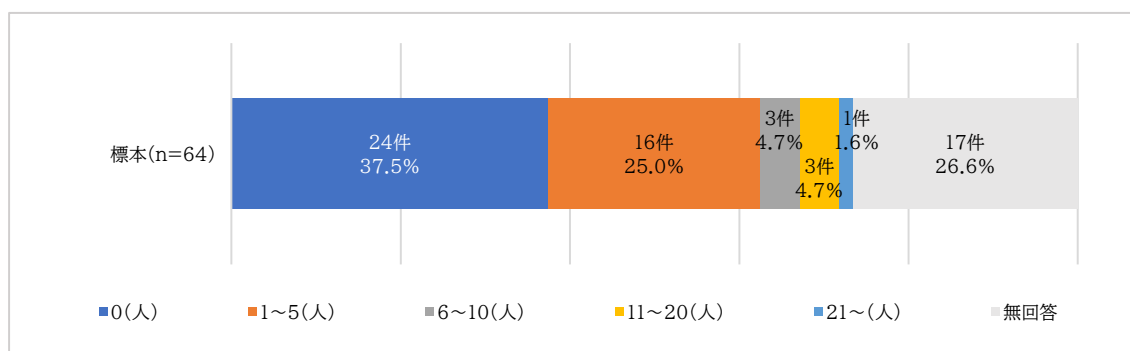
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i) 説明会・研修会参加業務の医師部門の対応人員__人



3-3-15 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員について、「0(人)」(37.5%)の割合が最も高く、次いで「1～5(人)」(25.0%)である。「21～(人)」(1.6%)の割合が最も低い。

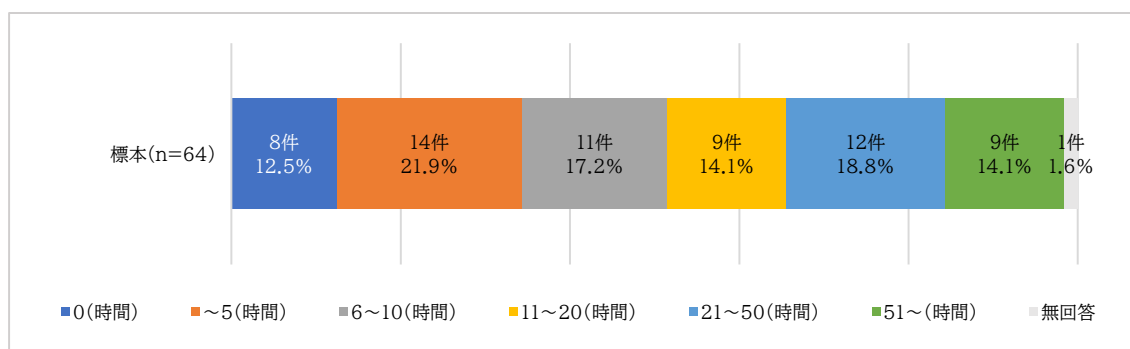
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i) 説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の対応人員__人



3-3-16 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計について、「～5(時間)」(21.9%)の割合が最も高く、次いで「21～50(時間)」(18.8%)、「6～10(時間)」(17.2%)である。「0(時間)」(12.5%)の割合が最も低い。

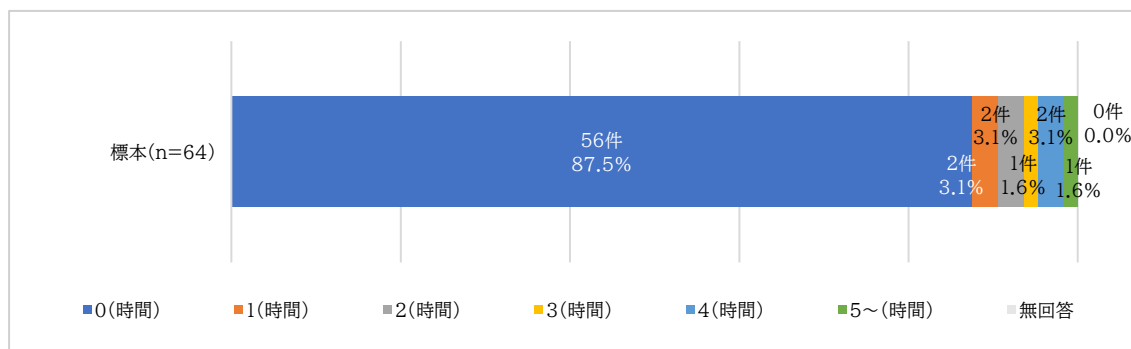
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務の事務部門の所要時間総計__時間



3-3-17 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計について、「0(時間)」(87.5%)の割合が最も高く、次いで「1(時間)」(3.1%)、「2(時間)」(3.1%)、「4(時間)」(3.1%)である。

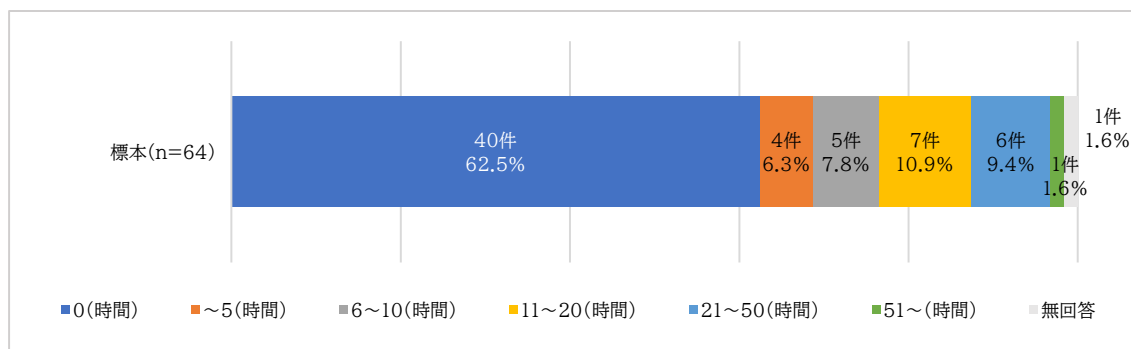
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務の医師部門の所要時間総計__時間



3-3-18 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計

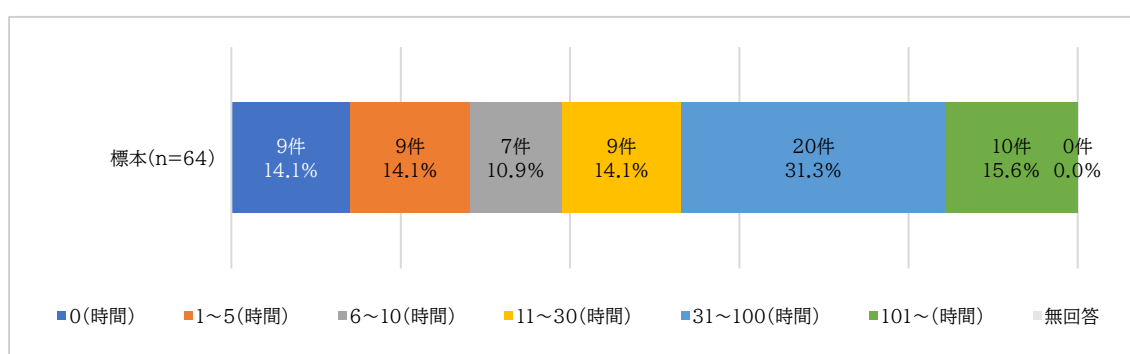
RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計について、「0(時間)」(62.5%)の割合が最も高く、次いで「11～20(時間)」(10.9%)、「21～50(時間)」(9.4%)である。「51～(時間)」(1.6%)の割合が最も低い。

RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)説明会・研修会参加業務のその他医療提供部門の所要時間総計__時間



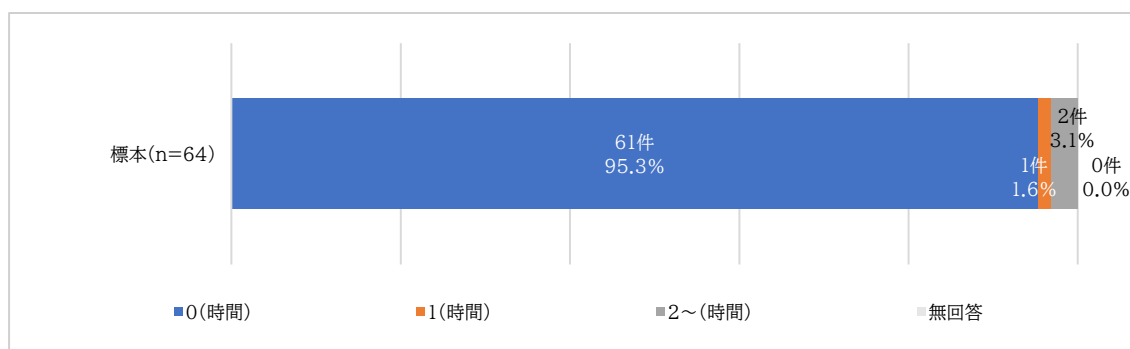
3-3-19 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計
RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計について、「31～100(時間)」(31.3%)の割合が最も高く、次いで「101～(時間)」(15.6%)である。「6～10(時間)」(10.9%)の割合が最も低い。

RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の事務部門の導入業務時間総計__時間



3-3-20 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計
RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(95.3%)の割合が最も高く、次いで「2～(時間)」(3.1%)、「1(時間)」(1.6%)である。

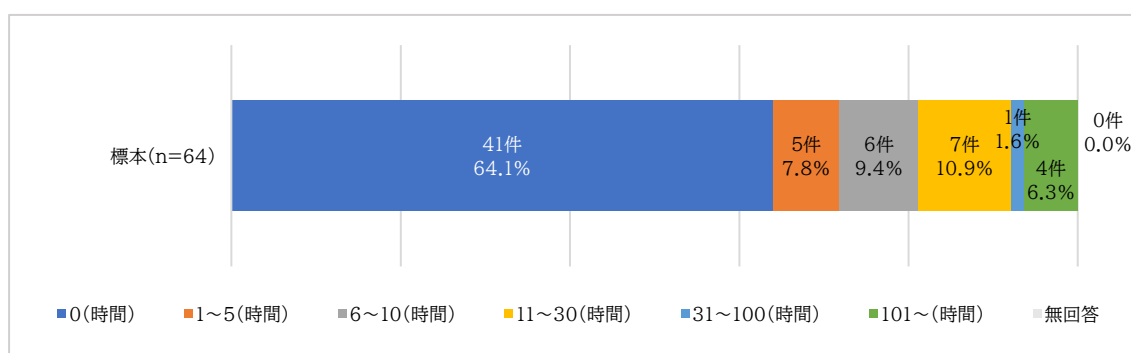
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務の医師部門の導入業務時間総計__時間



3-3-21 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(64.1%)の割合が最も高く、次いで「11～30(時間)」(10.9%)、「6～10(時間)」(9.4%)である。「31～100(時間)」(1.6%)の割合が最も低い。

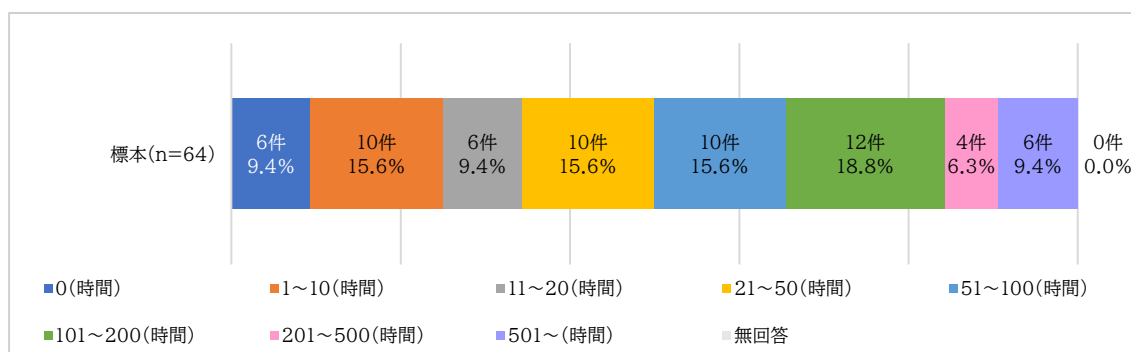
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(ii)説明会・研修会参加業務以外の業務のその他医療提供部門の導入業務時間総計__時間



3-3-22 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計について、「101～200(時間)」(18.8%)の割合が最も高く、次いで「1～10(時間)」(15.6%)、「21～50(時間)」(15.6%)、「51～100(時間)」(15.6%)である。「201～500(時間)」(6.3%)の割合が最も低い。

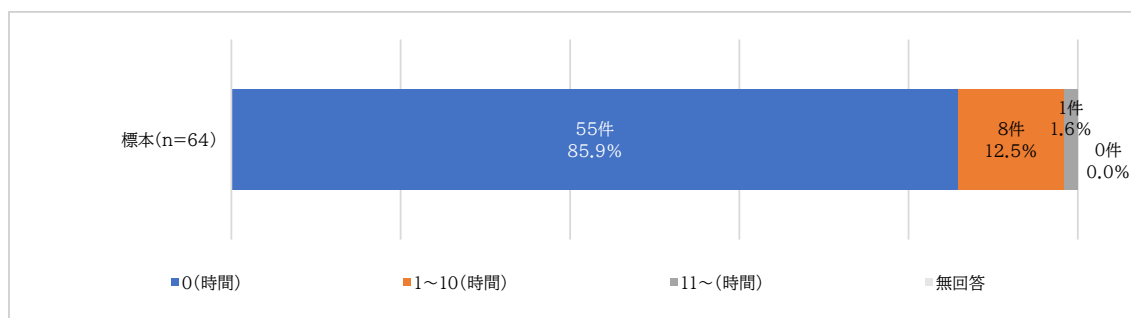
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計__時間 外れ値除去前



3-3-23 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(85.9%)の割合が最も高く、次いで「1~10(時間)」(12.5%)、「11~(時間)」(1.6%)である。

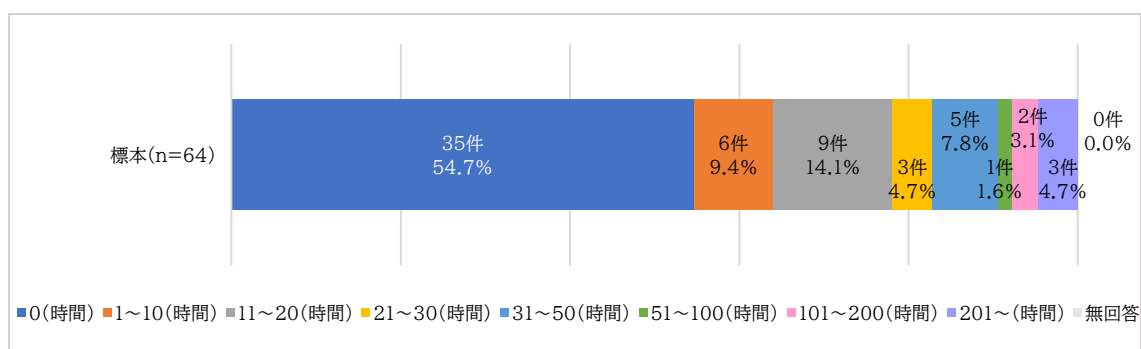
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計__時間 外れ値除去前



3-3-24 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(54.7%)の割合が最も高く、次いで「11~20(時間)」(14.1%)、「1~10(時間)」(9.4%)である。「51~100(時間)」(1.6%)の割合が最も低い。

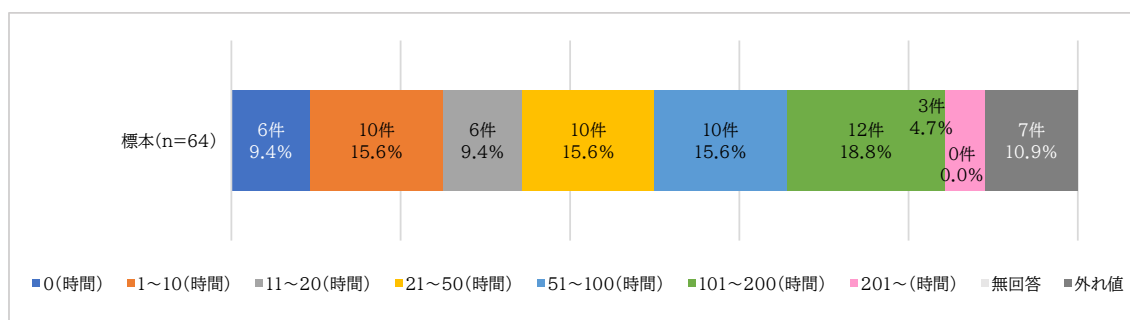
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計__時間 外れ値除去前



3-3-25 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の事務部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計について、「101～200(時間)」(18.8%)の割合が最も高く、次いで「1～10(時間)」(15.6%)、「21～50(時間)」(15.6%)、「51～100(時間)」(15.6%)である。「201～(時間)」(4.7%)の割合が最も低い。

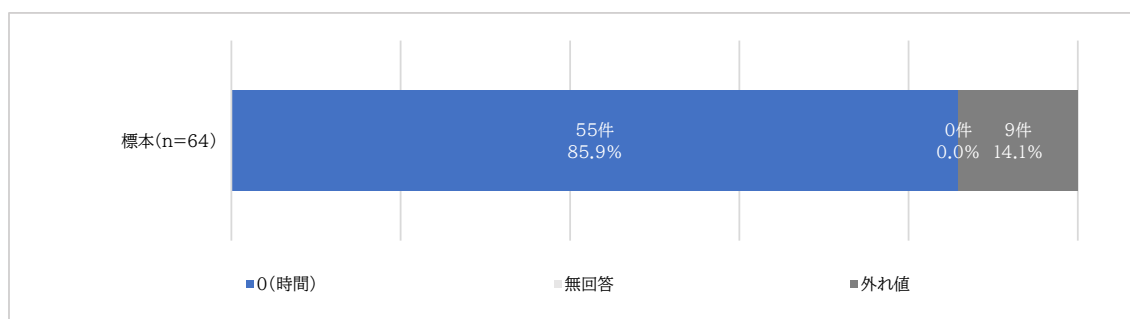
RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計__時間 外れ値除去後



3-3-26 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)

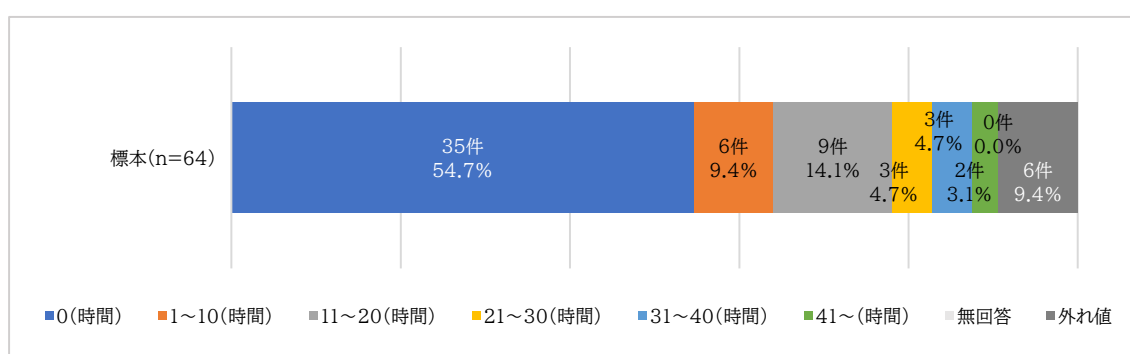
RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)の医師部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(85.9%)の割合が高い。

RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)の医師部門総計の合計 外れ値除去後



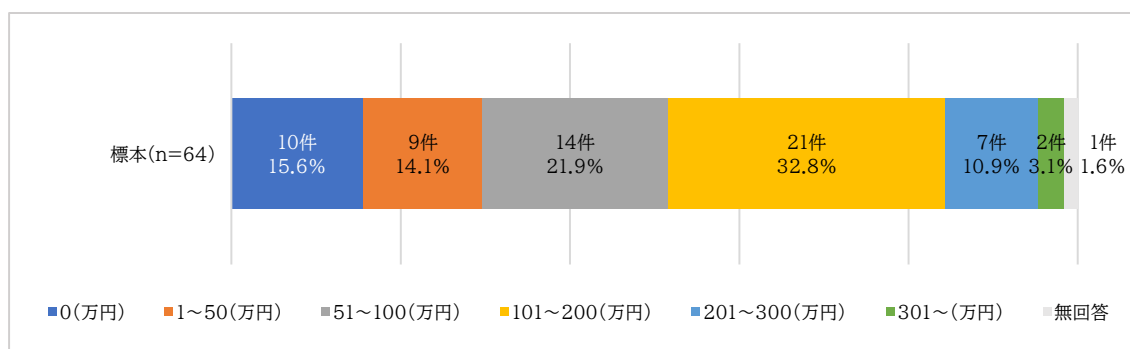
3-3-27 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員に関する(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計(外れ値除去後)
RPA(Robotic Process Automation)の院内での導入対応人員に関して、(i)と(ii)のその他医療提供部門の業務時間総計の合計について、「0(時間)」(54.7%)の割合が最も高く、次いで「11～20(時間)」(14.1%)、「1～10(時間)」(9.4%)である。「41～(時間)」(3.1%)の割合が最も低い。

RPA(Robotic Process Automation)③-2 院内での導入対応人員
(i)と(ii)のその他医療提供部門総計の合計 外れ値除去後



3-3-28 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)
RPA(Robotic Process Automation)の運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「101～200(万円)」(32.8%)の割合が最も高く、次いで「51～100(万円)」(21.9%)、「0(万円)」(15.6%)である。「301～(万円)」(3.1%)の割合が最も低い。

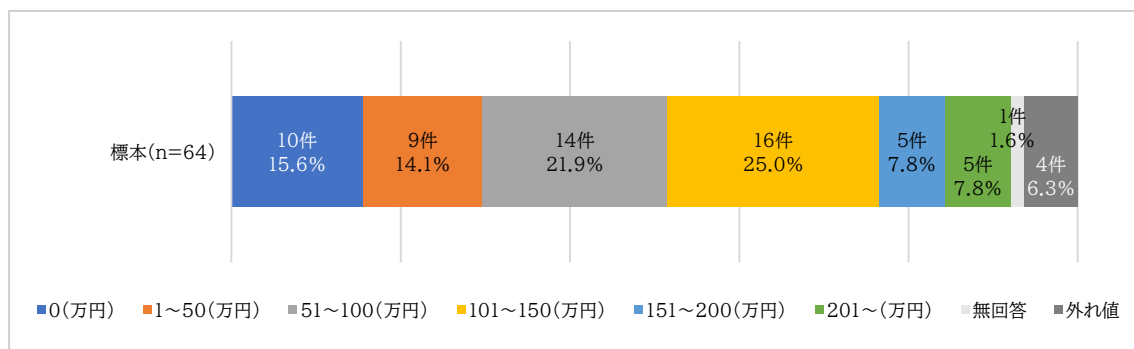
RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去前



3-3-29 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

RPA(Robotic Process Automation)の運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「101～150(万円)」(25.0%)の割合が最も高く、次いで「51～100(万円)」(21.9%)、「0(万円)」(15.6%)である。「151～200(万円)」(7.8%)、「201～(万円)」(7.8%)の割合が低い。

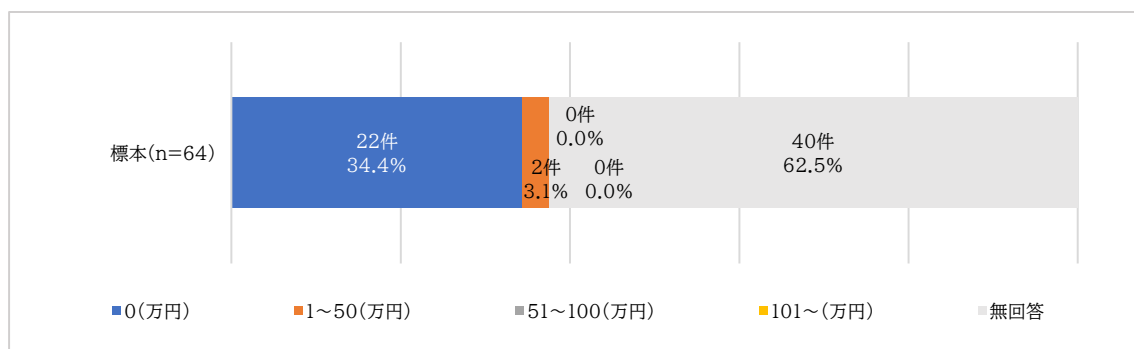
RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-3-30 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用

RPA(Robotic Process Automation)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちサーバー保守関連費用について、「0(万円)」(34.4%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(3.1%)である。

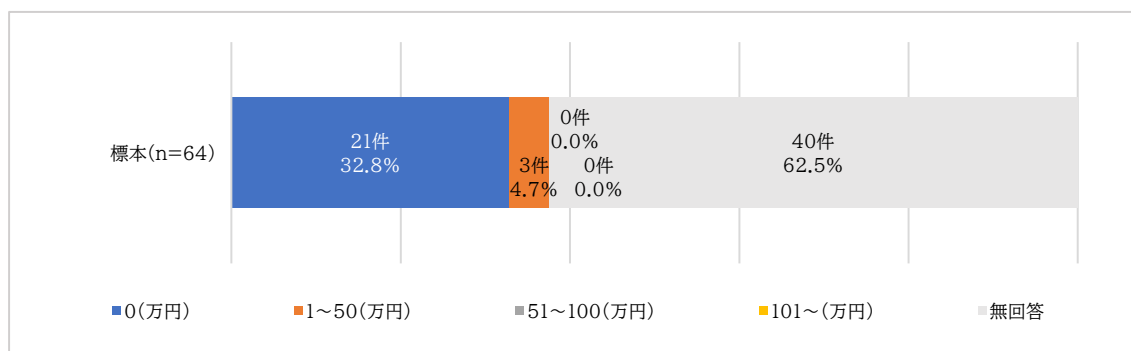
RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
サーバー保守関連費用__万円



3-3-31 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちPC関連費用

RPA(Robotic Process Automation)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちPC関連費用について、「0(万円)」(32.8%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(4.7%)である。

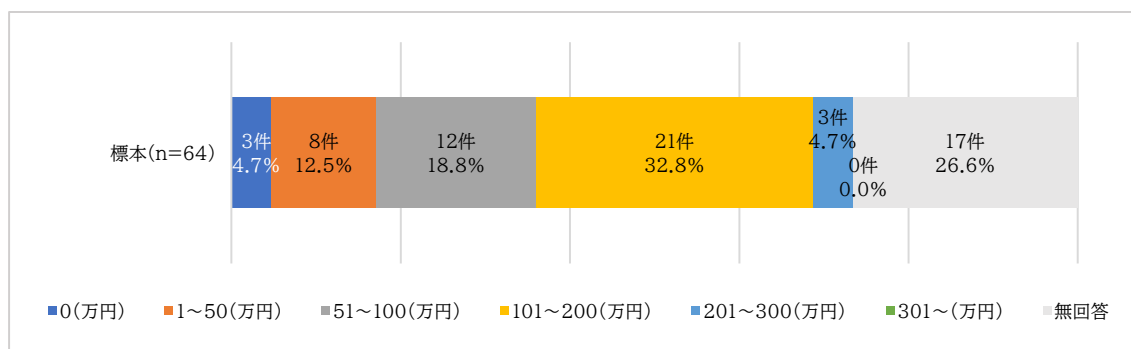
RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
PC関連費用__万円



3-3-32 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料

RPA(Robotic Process Automation)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料(ライセンス料・サブスクリプション料)について、「101～200(万円)」(32.8%)の割合が最も高く、次いで「51～100(万円)」(18.8%)である。「0(万円)」(4.7%)、「201～300(万円)」(4.7%)の割合が低い。

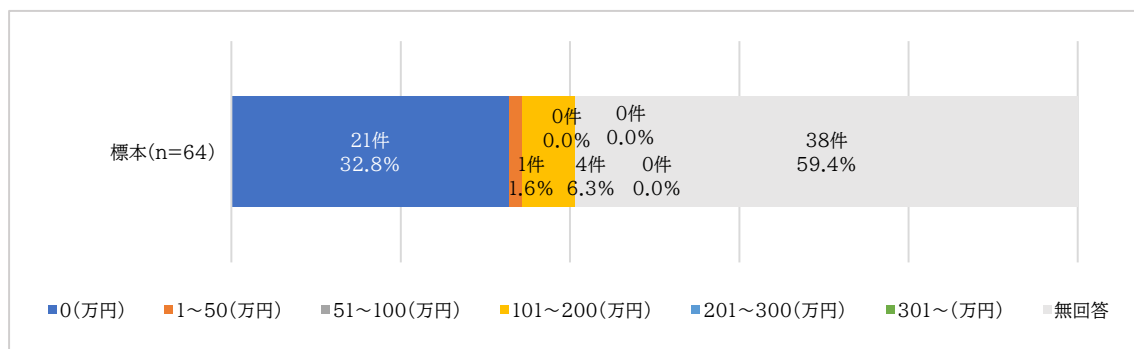
RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連利用料(ライセンス料・サブスクリプション料)__万円



3-3-33 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用

RPA(Robotic Process Automation)の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「0(万円)」(32.8%)の割合が最も高く、次いで「101～200(万円)」(6.3%)、「1～50(万円)」(1.6%)である。

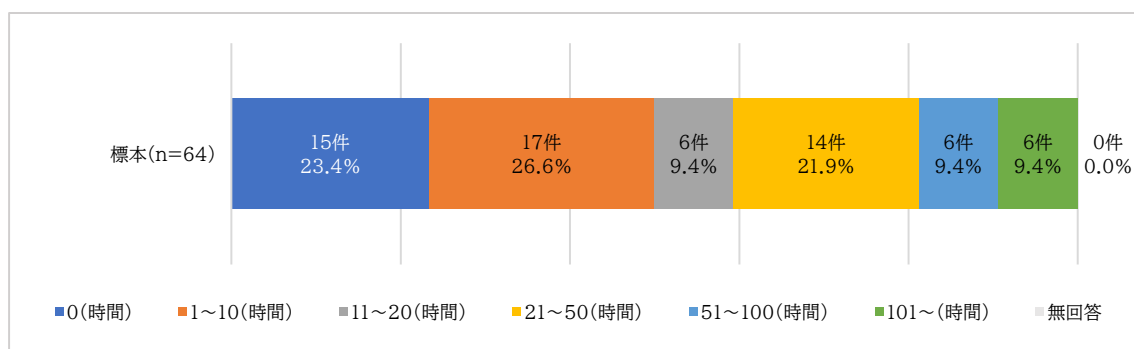
RPA(Robotic Process Automation)④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
その他費用__万円



3-3-34 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計について、「1～10(時間)」(26.6%)の割合が最も高く、次いで「0(時間)」(23.4%)、「21～50(時間)」(21.9%)である。「11～20(時間)」(9.4%)、「51～100(時間)」(9.4%)、「101～(時間)」(9.4%)の割合が低い。

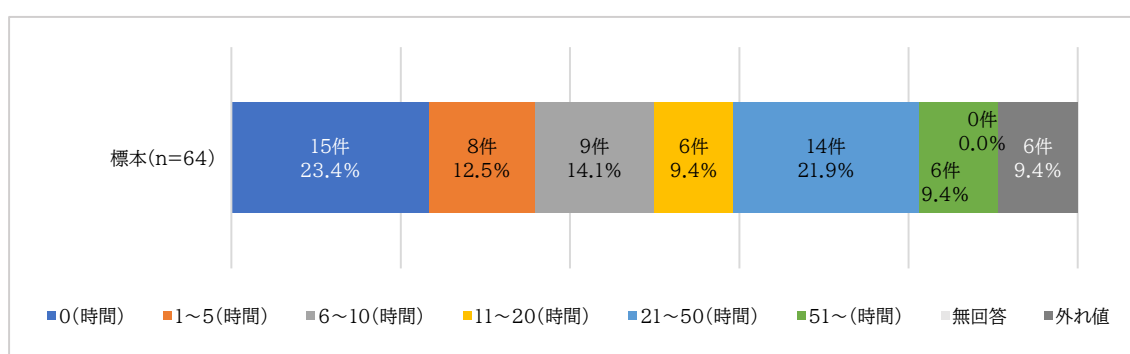
RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
事務部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-3-35 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
に関する事務部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)

RPA(Robotic Process Automation)の運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(23.4%)の割合が最も高く、次いで「21~50(時間)」(21.9%)、「6~10(時間)」(14.1%)である。「11~20(時間)」(9.4%)、「51~(時間)」(9.4%)の割合が低い。

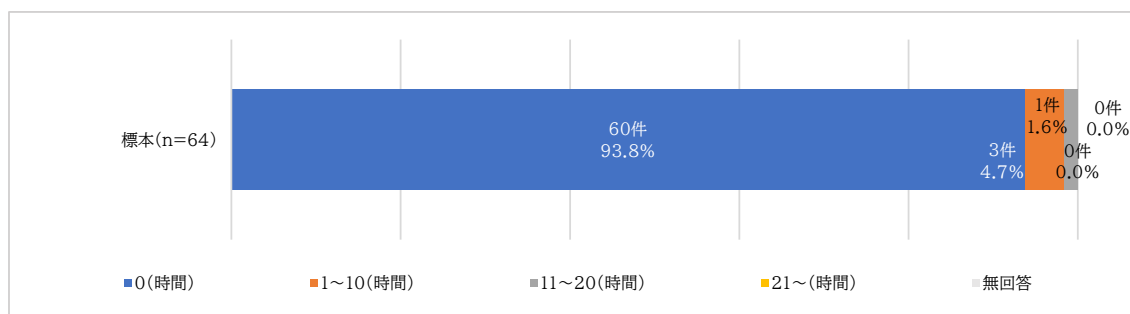
RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
事務部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去後



3-3-36 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
に関する医師部門の運用業務時間総計(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(93.8%)の割合が最も高く、次いで「1~10(時間)」(4.7%)、「11~20(時間)」(1.6%)である。

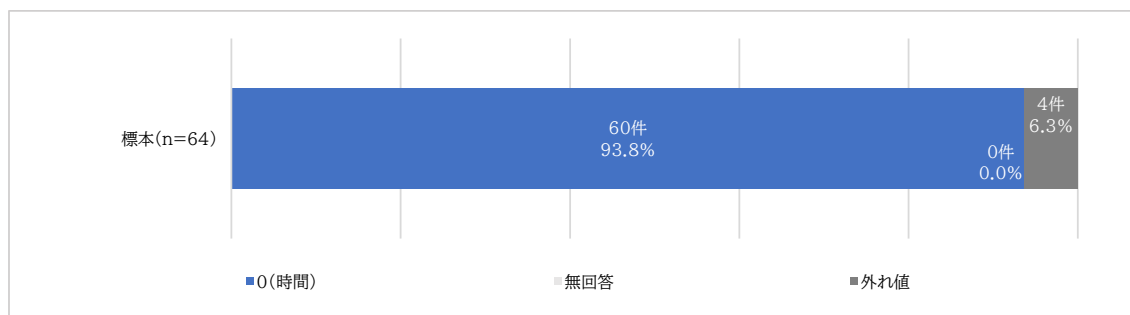
RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
医師部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-3-37 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)

RPA(Robotic Process Automation)の運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(93.8%)の割合が最も高い。

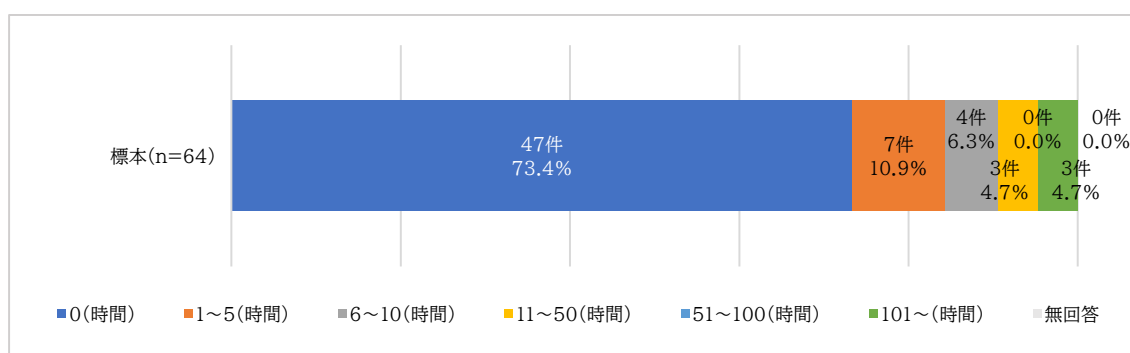
RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
医師部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去前 外れ値除去後



3-3-38 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計(外れ値除去前)

RPA(Robotic Process Automation)の運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(73.4%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(10.9%)、「6～10(時間)」(6.3%)である。

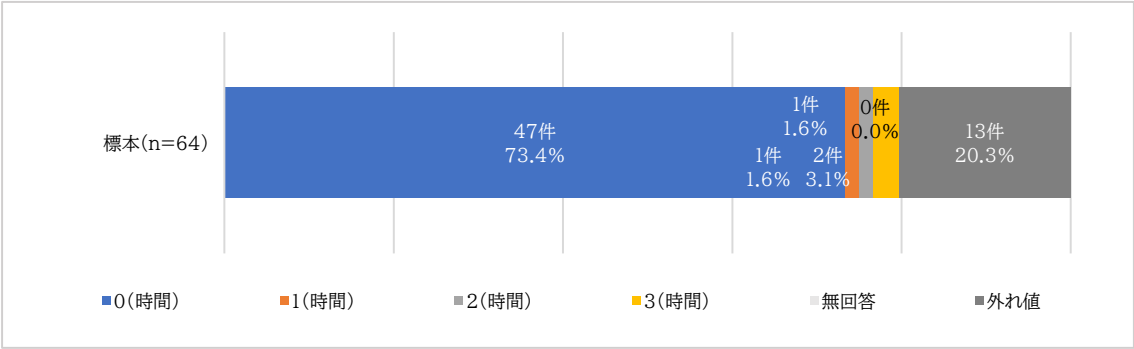
RPA(Robotic Process Automation)④-2 運用業務対応人員
その他医療提供部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-3-39 問2(3)RPA(Robotic Process Automation)④－2 運用業務対応人員
に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)

RPA(Robotic Process Automation)の運用業務対応人員に関するその他医療提供部門
の運用業務時間総計について、「0(時間)」(73.4%)の割合が最も高く、次いで「3(時間)」
(3.1%)である。

RPA(Robotic Process Automation)④－2 運用業務対応人員
その他医療提供部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去後

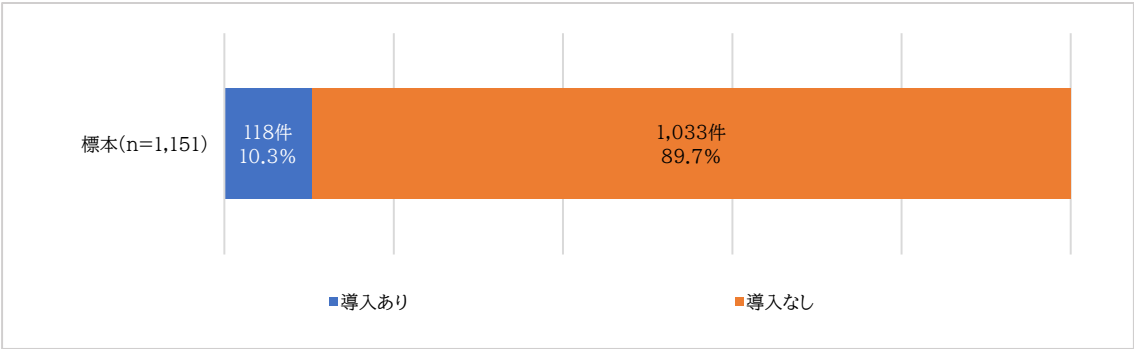


3-4 単純集計結果(4)

3-4-1 問2(4)動画等による患者への説明①導入有無について

動画等による患者への説明の導入有無について、「導入なし」(89.7%)の割合が高い。

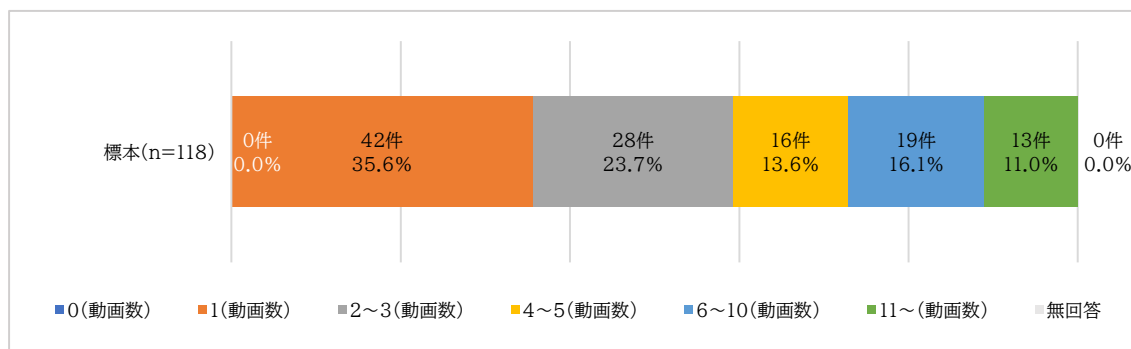
動画等による患者への説明①導入有無について



3-4-2 問2(4)動画等による患者への説明①導入有の場合の動画数について

動画等による患者への説明の導入有の場合の動画数について、「1(動画数)」(35.6%)の割合が最も高く、次いで「2～3(動画数)」(23.7%)、「6～10(動画数)」(16.1%)である。「11～(動画数)」(11.0%)の割合が最も低い。

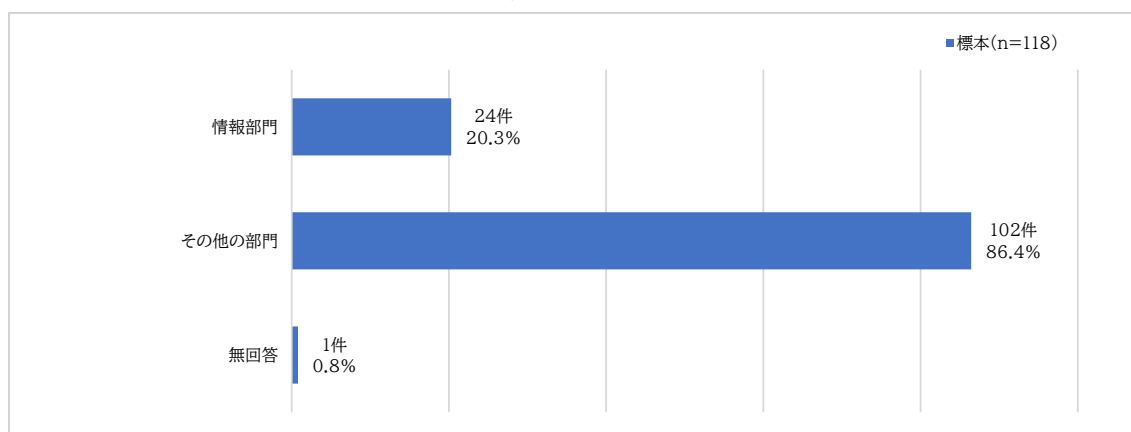
動画等による患者への説明① 導入有_動画数



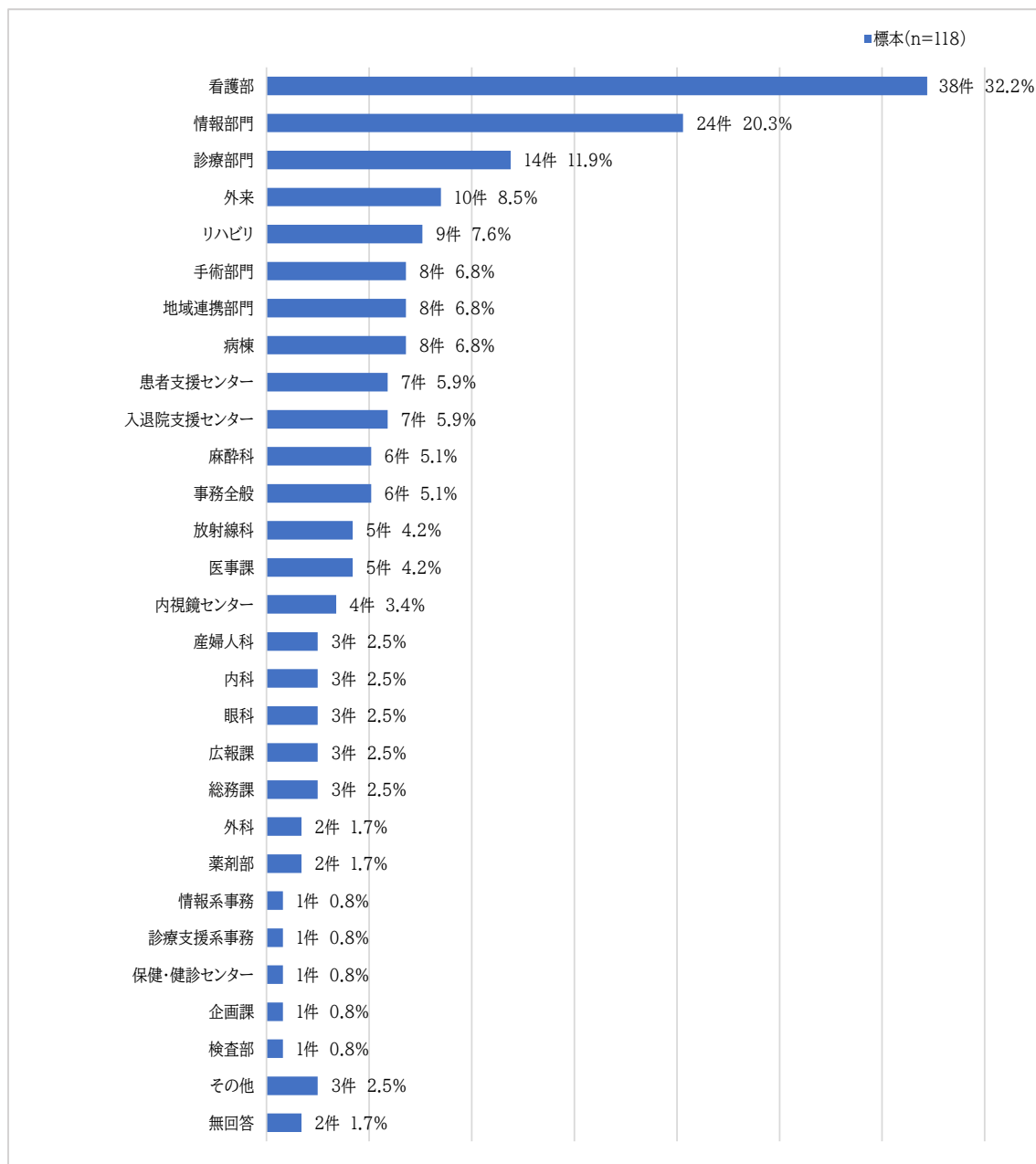
3-4-3 問2(4)動画等による患者への説明② 主たる利用部門について

動画等による患者への説明の主たる利用部門について、「情報部門」(20.3%)以外では、「その他の部門」の回答内容のうち、「看護部」や「診療部門」が多かった。

動画等による患者への説明②主たる利用部門について ※複数回答



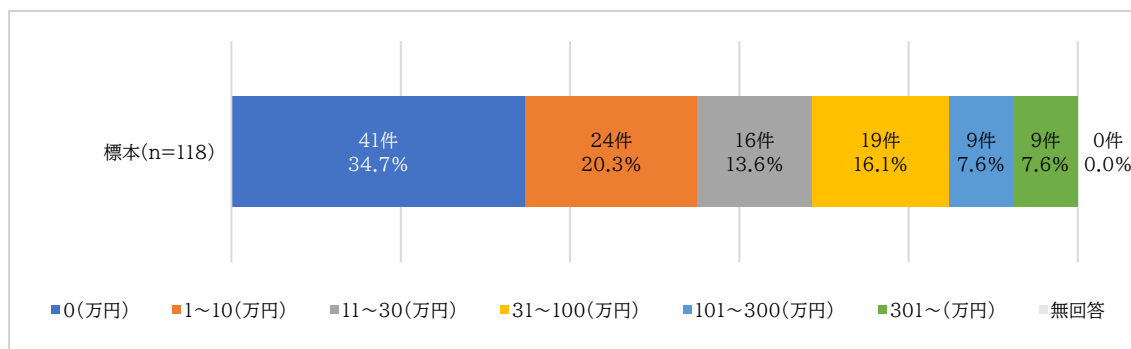
動画等による患者への説明②主たる利用部門について(その他部門名含む)



3-4-4 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)総額について、「0(万円)」(34.7%)の割合が最も高く、次いで「1～10(万円)」(20.3%)である。「101～300(万円)」(7.6%)、「301～(万円)」(7.6%)の割合が低い。

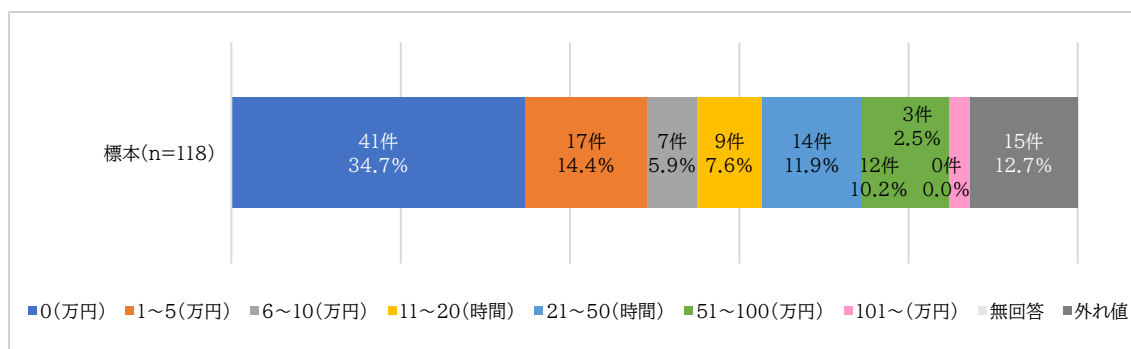
動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去前



3-4-5 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)総額について、「0(万円)」(34.7%)の割合が最も高く、次いで「1～5(万円)」(14.4%)、「21～50(時間)」(11.9%)である。「101～(万円)」(2.5%)の割合が最も低い。

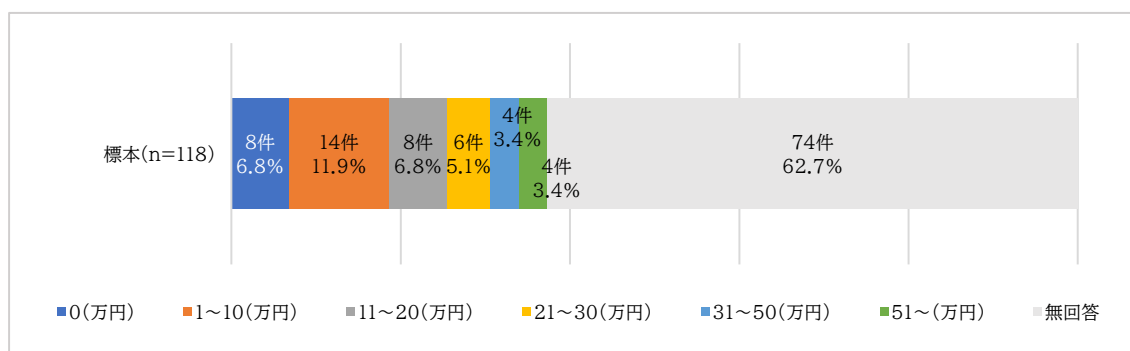
動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-4-6 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット関連費用

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット関連費用について、「1～10(万円)」(11.9%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(6.8%)、「11～20(万円)」(6.8%)である。「31～50(万円)」(3.4%)、「51～(万円)」(3.4%)の割合が低い。

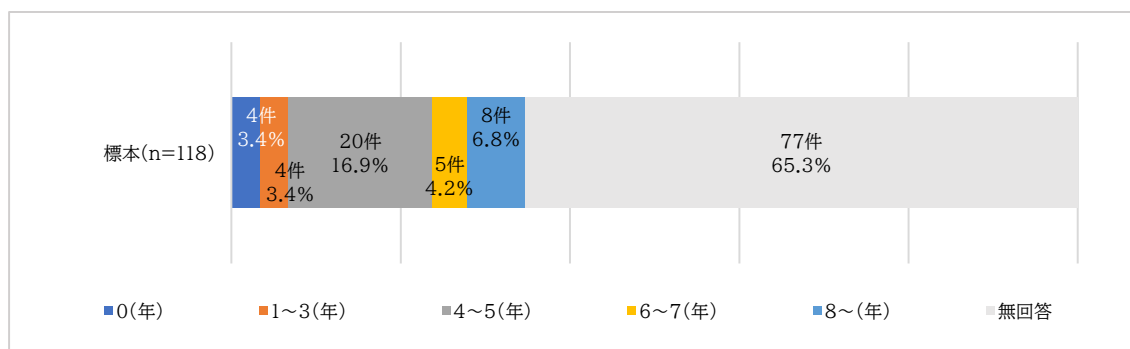
動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
タブレット関連費用__万円



3-4-7 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット関連の想定耐用年数

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット関連の想定耐用年数について、「4～5(年)」(16.9%)の割合が最も高く、「0(年)」(3.4%)、「1～3(年)」(3.4%)の割合が低い。

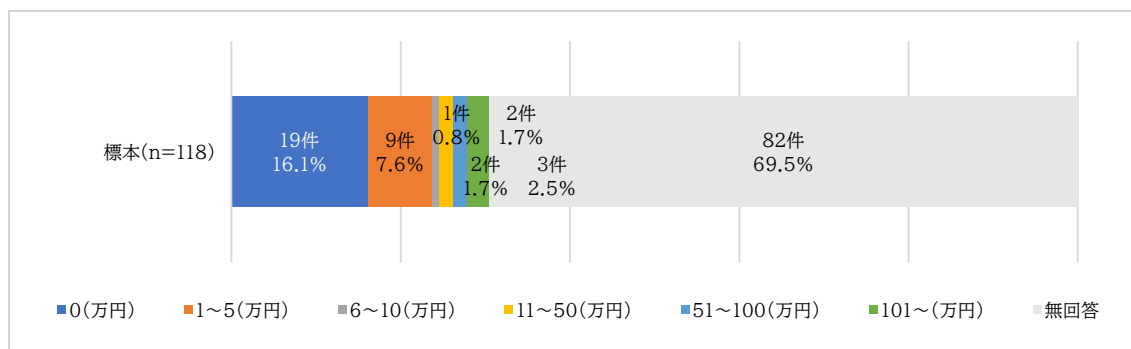
3-1-104 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
タブレット関連の想定耐用年数__年



3-4-8 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連費用について、「0(万円)」(16.1%)の割合が最も高く、次いで「1～5(万円)」(7.6%)、「101～(万円)」(2.5%)である。「6～10(万円)」(0.8%)の割合が最も低い。

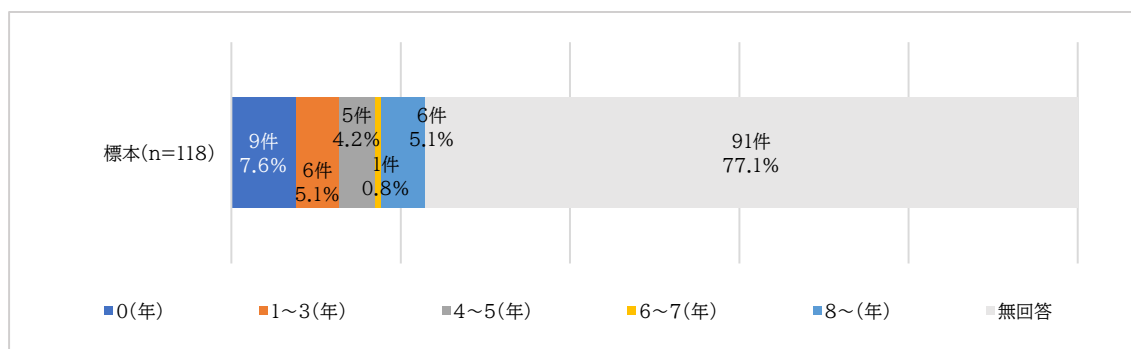
動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連費用__万円



3-4-9 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連の再購入までの年数について、「0(年)」(7.6%)の割合が最も高く、「6～7(年)」(0.8%)の割合が最も低い。

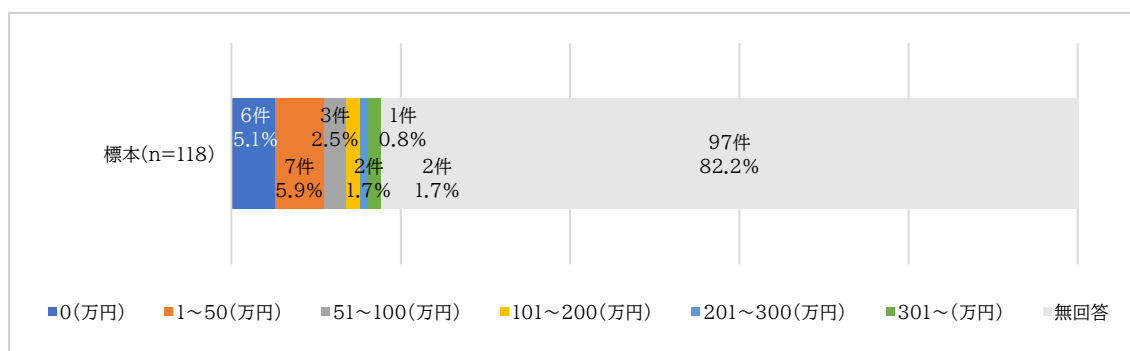
動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連の再購入までの年数__年



3-4-10 問2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用

動画等による患者への説明の導入費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「1～50(万円)」(5.9%)の割合が最も高く、次いで「0(万円)」(5.1%)、「51～100(万円)」(2.5%)である。「201～300(万円)」(0.8%)の割合が最も低い。

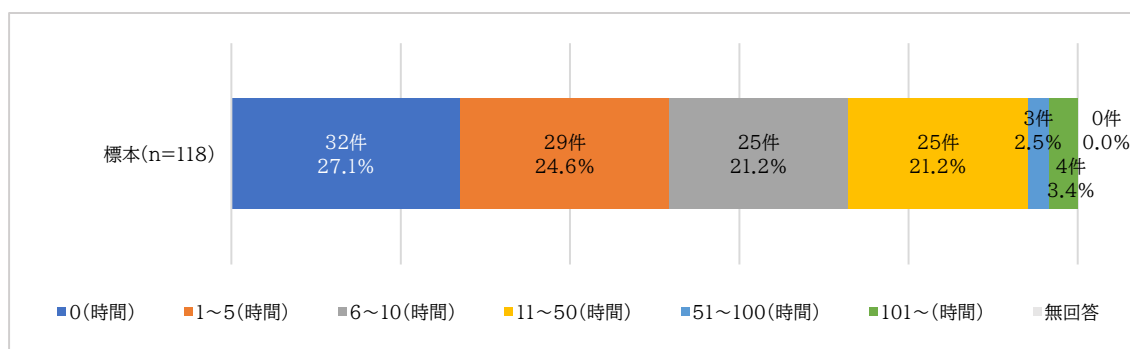
動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)
その他費用__万円



3-4-11 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する事務部門の導入業務時間総計(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の院内での導入対応人員に関する事務部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(27.1%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(24.6%)、「6～10(時間)」(21.2%)、「11～50(時間)」(21.2%)である。「51～100(時間)」(2.5%)の割合が最も低い。

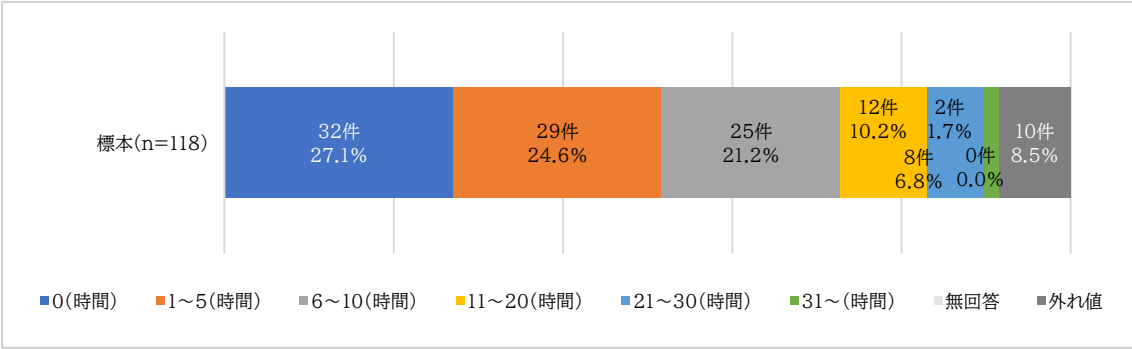
動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員
事務部門の導入業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-4-12 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する事務部門の導入業務時間総計(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の院内での導入対応人員に関する事務部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(27.1%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(24.6%)、「6～10(時間)」(21.2%)である。「31～(時間)」(1.7%)の割合が最も低い。

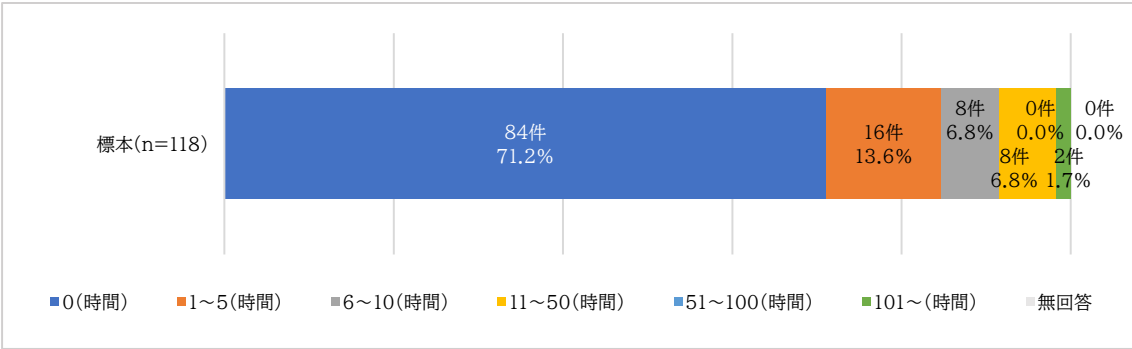
動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員
事務部門の導入業務時間総計__時間 外れ値除去後



3-4-13 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する医師部門の導入業務時間総計(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の院内での導入対応人員に関する医師部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(71.2%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(13.6%)、「6～10(時間)」(6.8%)、「11～50(時間)」(6.8%)である。

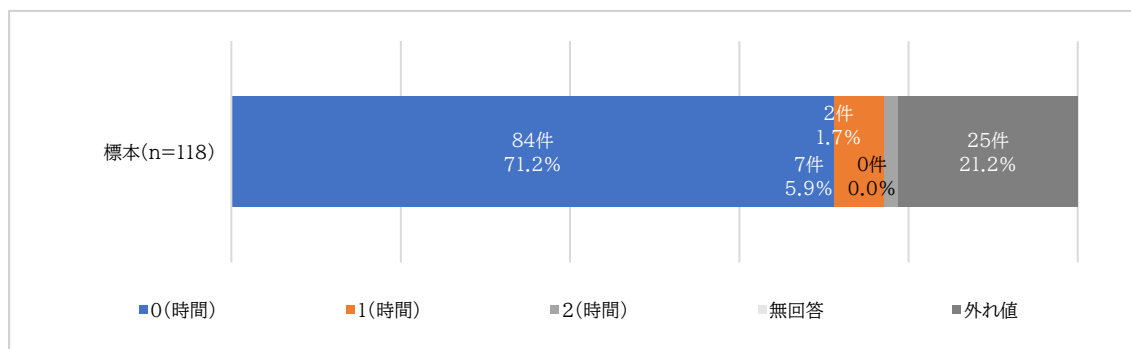
動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員
医師部門の導入業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-4-14 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関する医師部門の導入業務時間総計(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の院内での導入対応人員に関する医師部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(71.2%)の割合が最も高く、次いで「1(時間)」(5.9%)、「2(時間)」(1.7%)である。

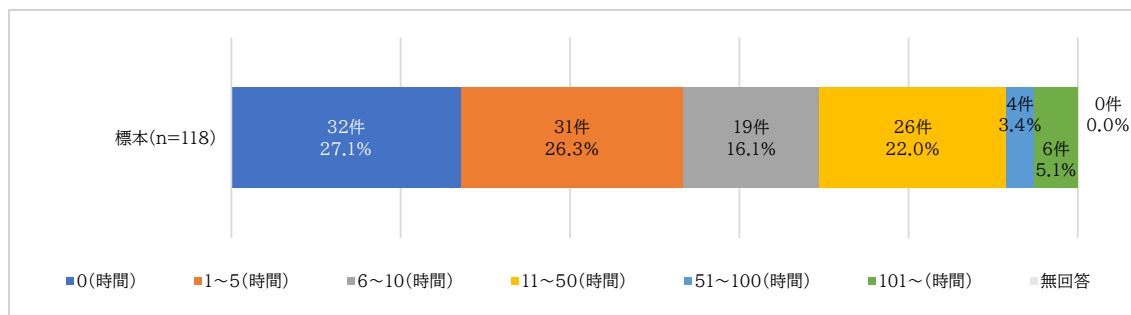
動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員
医師部門の導入業務時間総計__時間 外れ値除去後



3-4-15 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関するその他医療提供部門の導入業務時間総計(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の院内での導入対応人員に関するその他医療提供部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(27.1%)の割合が最も高く、次いで「1~5(時間)」(26.3%)、「11~50(時間)」(22.0%)である。「51~100(時間)」(3.4%)の割合が最も低い。

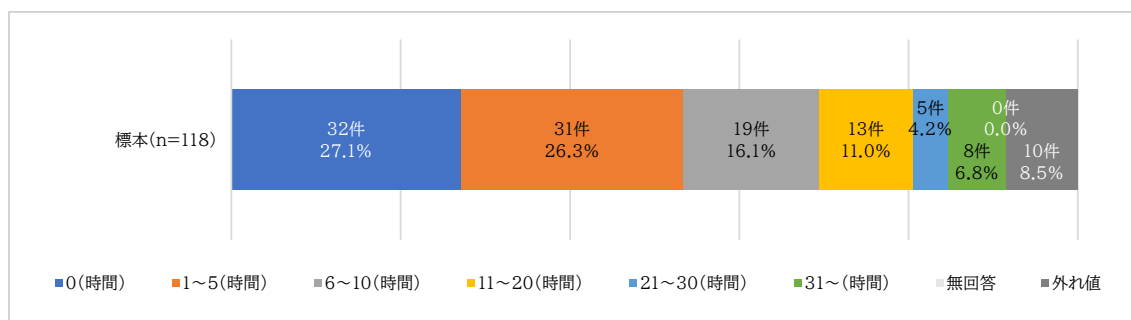
動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員
その他医療提供部門の導入業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-4-16 問2(4)動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関するその他医療提供部門の導入業務時間総計(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の院内での導入対応人員に関するその他医療提供部門の導入業務時間総計について、「0(時間)」(27.1%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(26.3%)、「6～10(時間)」(16.1%)である。「21～30(時間)」(4.2%)の割合が最も低い。

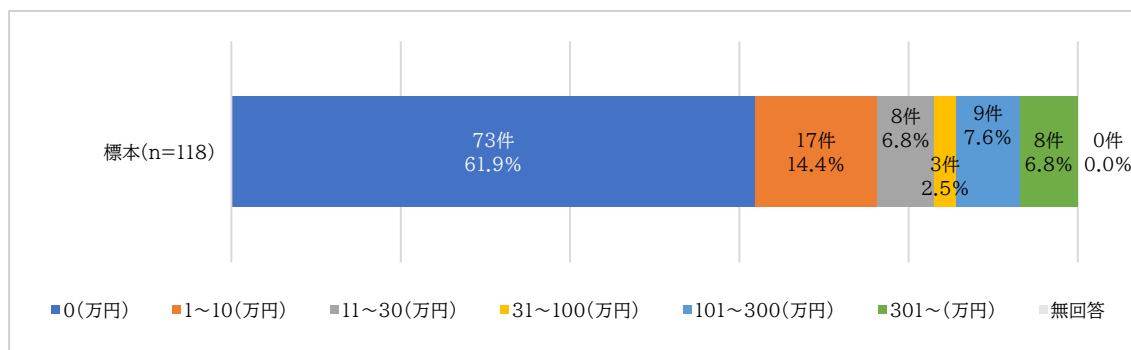
動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員
その他医療提供部門の導入業務時間総計__時間 外れ値除去後



3-4-17 問2(4)動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「0(万円)」(61.9%)の割合が最も高く、次いで「1～10(万円)」(14.4%)、「101～300(万円)」(7.6%)である。「31～100(万円)」(2.5%)の割合が最も低い。

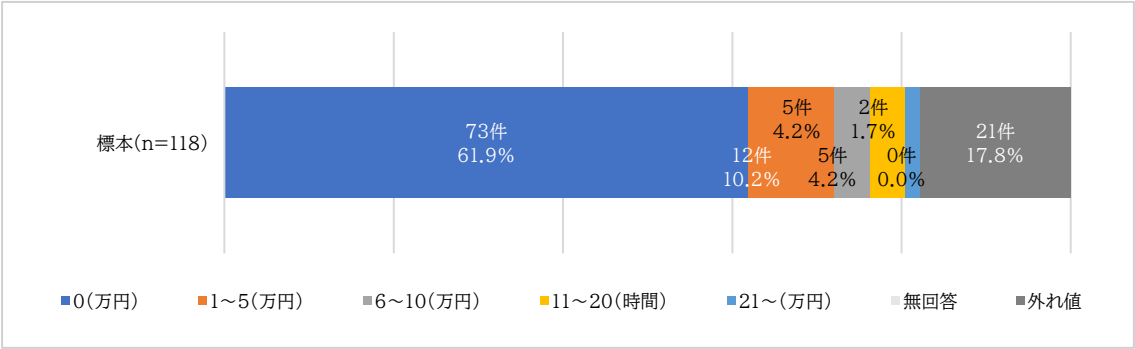
動画等による患者への説明④-1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去前



3-4-18 問2(4)動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の運用費用(ハード・ソフト関連)総額について、「0(万円)」(61.9%)の割合が最も高く、次いで「1～5(万円)」(10.2%)である。「21～(万円)」(1.7%)の割合が最も低い。

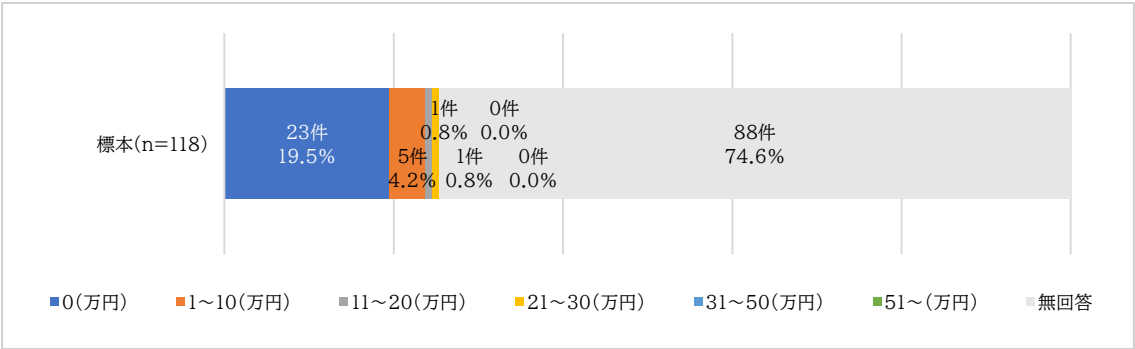
動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)
総額__万円 外れ値除去後



3-4-19 問2(4)動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守関連費用

動画等による患者への説明の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちタブレット保守関連費用について、「0(万円)」(19.5%)の割合が最も高く、次いで「1～10(万円)」(4.2%)、「11～20(万円)」(0.8%)、「21～30(万円)」(0.8%)である。

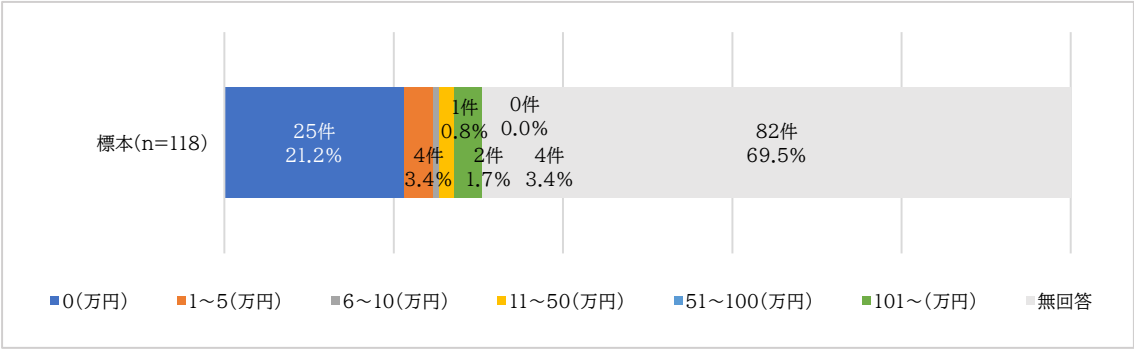
動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)
タブレット保守関連費用__万円



3-4-20 問2(4)動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料

動画等による患者への説明の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちソフト・アプリ関連利用料(ライセンス料・サブスクリプション料)について、「0(万円)」(21.2%)の割合が最も高く、次いで「1～5(万円)」(3.4%)、「101～(万円)」(3.4%)である。

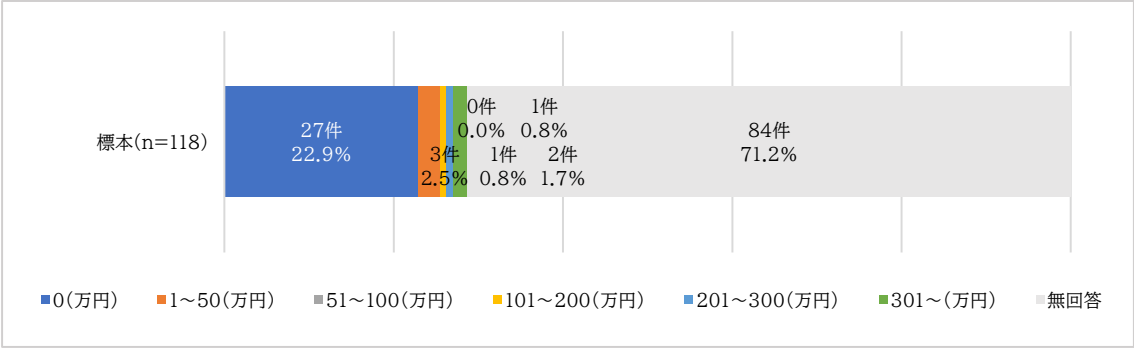
動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)
ソフト・アプリ関連利用料(ライセンス料・サブスクリプション料)__万円



3-4-21 問2(4)動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用

動画等による患者への説明の運用費用(ハード・ソフト関連)のうちその他費用について、「0(万円)」(22.9%)の割合が最も高く、次いで「1～50(万円)」(2.5%)、「301～(万円)」(1.7%)である。

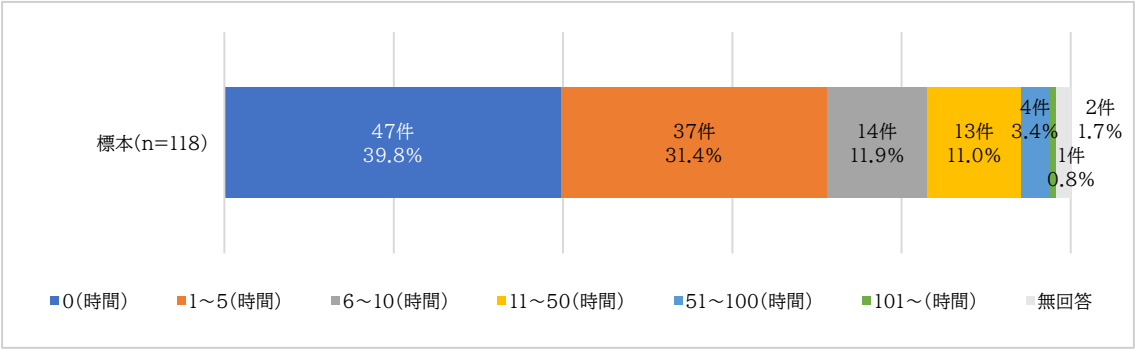
動画等による患者への説明④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)
その他費用__万円



3-4-22 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(39.8%)の割合が最も高く、次いで「1~5(時間)」(31.4%)、「6~10(時間)」(11.9%)である。「101~(時間)」(0.8%)の割合が最も低い。

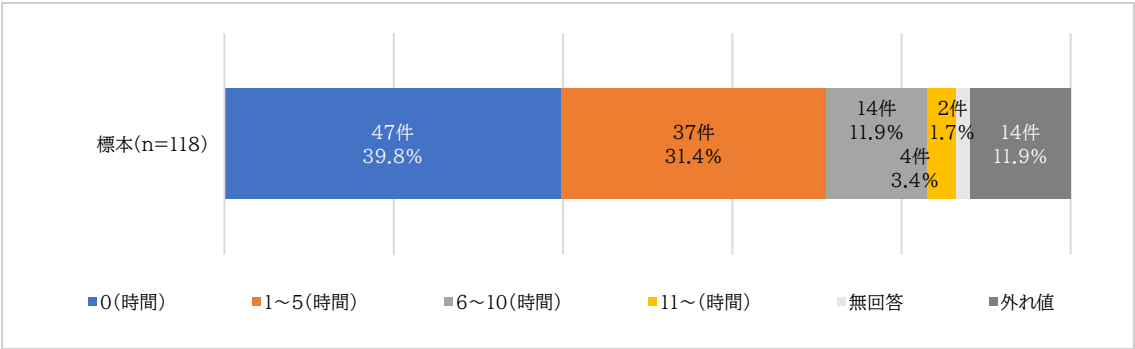
動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員
事務部門の運用業務時間総計_時間 外れ値除去前



3-4-23 問2(4)動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の運用業務対応人員に関する事務部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(39.8%)の割合が最も高く、次いで「1~5(時間)」(31.4%)である。「11~(時間)」(3.4%)の割合が最も低い。

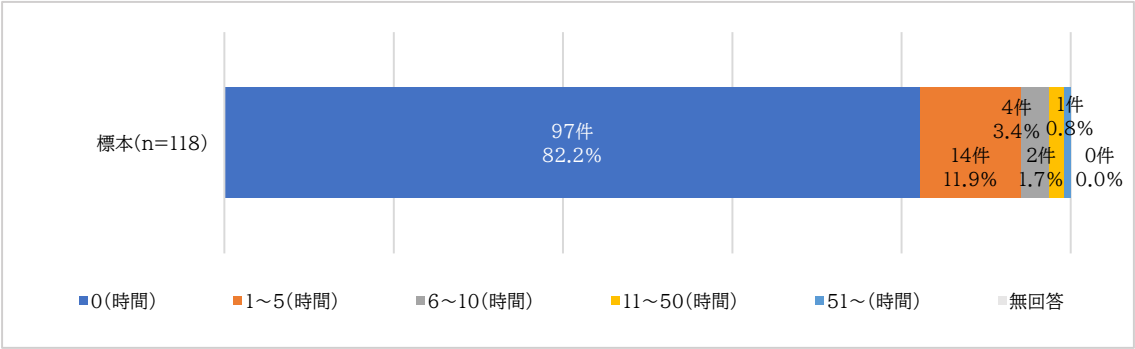
動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員
事務部門の運用業務時間総計_時間 外れ値除去後



3-4-24 問2(4)動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(82.2%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(11.9%)である。「51～(時間)」(0.8%)の割合が最も低い。

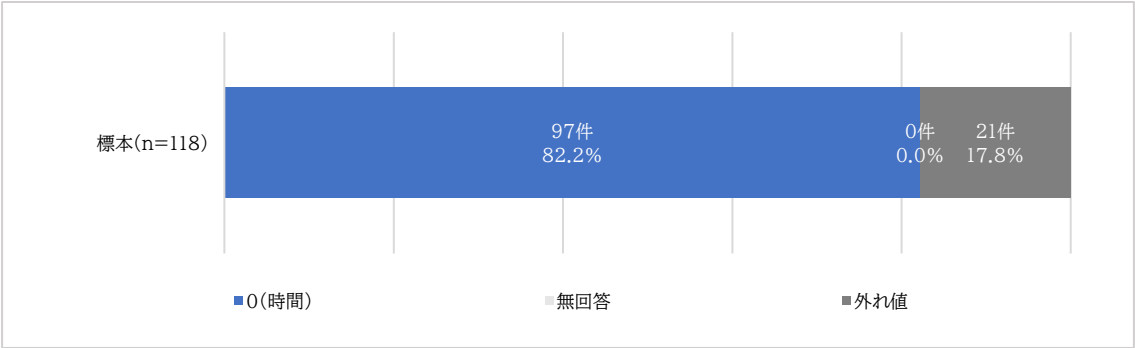
動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員
医師部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-4-25 問2(4)動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の運用業務対応人員に関する医師部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(82.2%)の割合が高い。

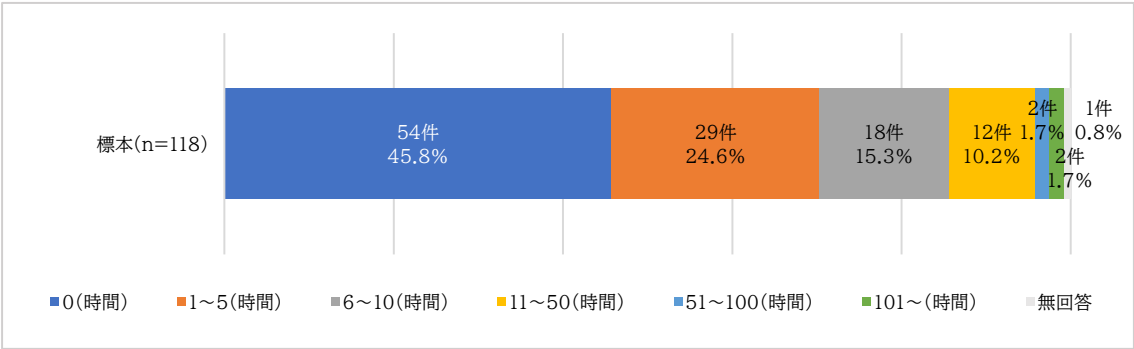
動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員
医師部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去後



3-4-26 問2(4)動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計(外れ値除去前)

動画等による患者への説明の運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(45.8%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(24.6%)、「6～10(時間)」(15.3%)である。「51～100(時間)」(1.7%)、「101～(時間)」(1.7%)の割合が低い。

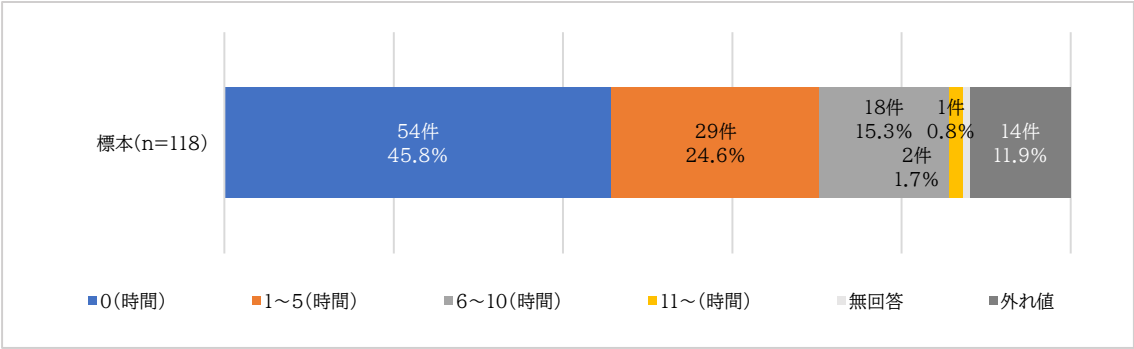
動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員
その他医療提供部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去前



3-4-27 問2(4)動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計(外れ値除去後)

動画等による患者への説明の運用業務対応人員に関するその他医療提供部門の運用業務時間総計について、「0(時間)」(45.8%)の割合が最も高く、次いで「1～5(時間)」(24.6%)である。「11～(時間)」(1.7%)の割合が最も低い。

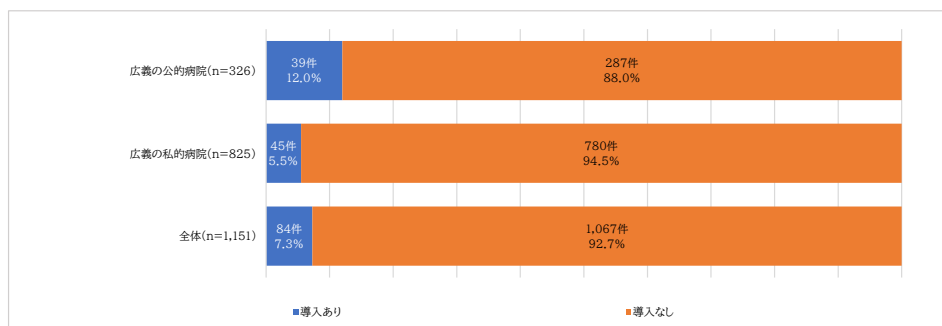
動画等による患者への説明④－2 運用業務対応人員
その他医療提供部門の運用業務時間総計__時間 外れ値除去後



3-5 クロス集計結果

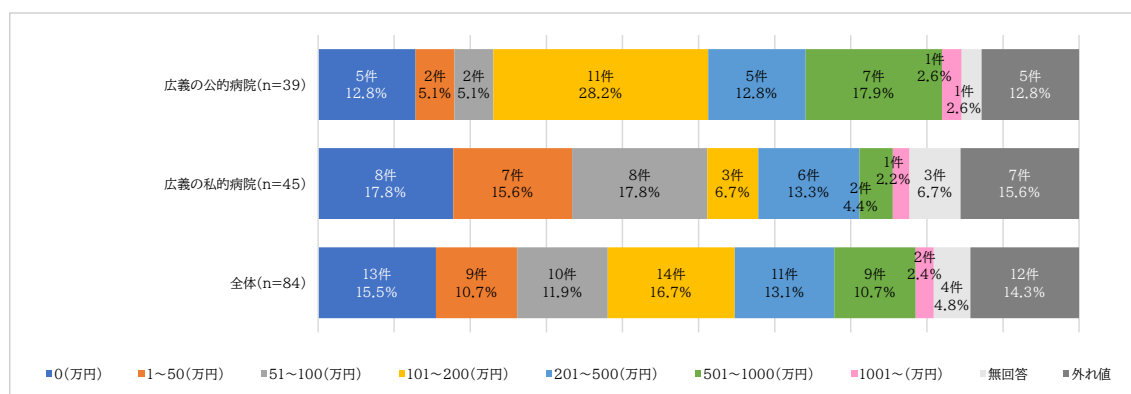
3-5-1 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院では「導入あり」の割合が12.0%であり、広義の私的病院では「導入あり」の割合が5.5%である。



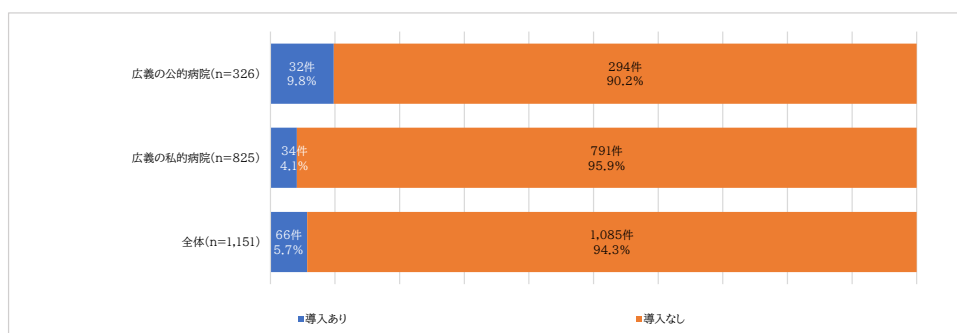
3-5-2 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院において、「101～200(万円)」の割合が28.2%と高い。広義の私的病院において、「0(万円)」、「51～100(万円)」の割合が17.8%と高い。



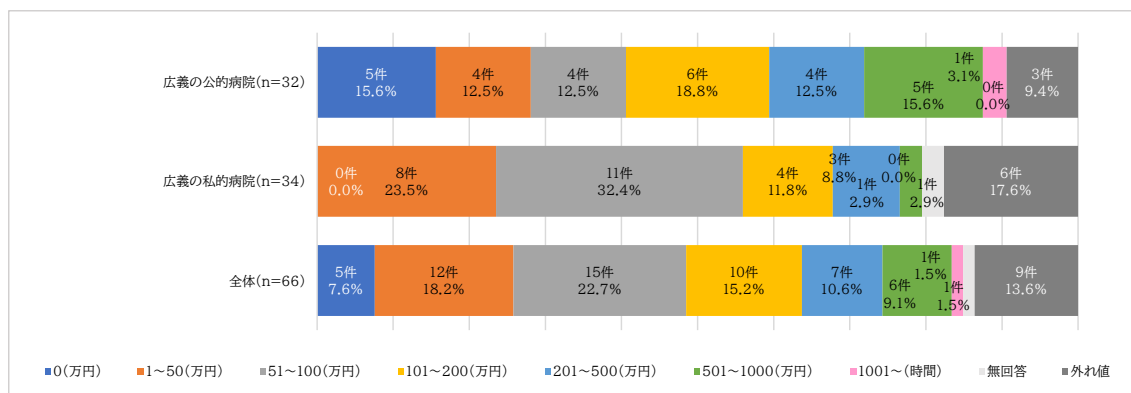
3-5-3 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院では「導入あり」の割合が9.8%であり、広義の私的病院では「導入あり」の割合が4.1%である。



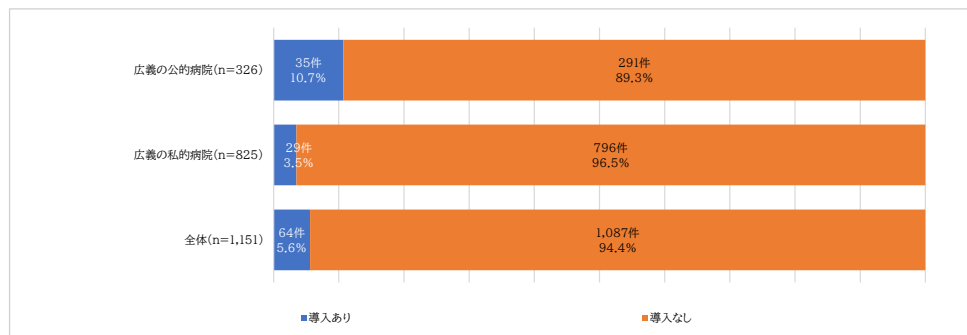
3-5-4 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院において、「101～200(万円)」の割合が18.8%と最も高い。広義の私的病院において、「51～100(万円)」の割合が32.4%と最も高い。



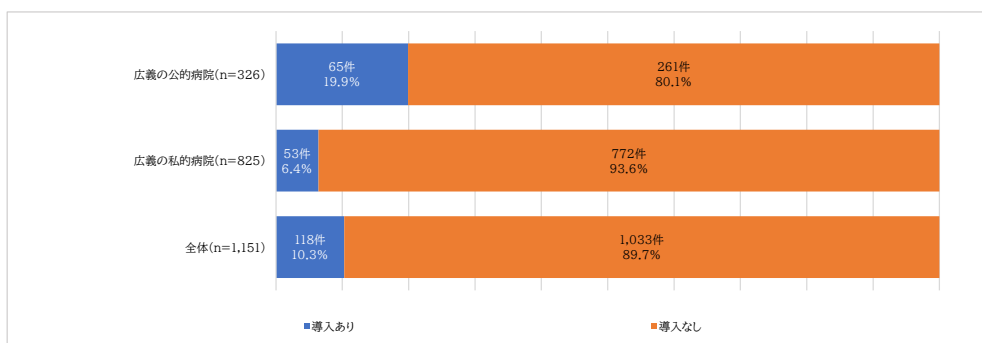
3-5-5 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院では「導入あり」の割合が10.7%であり、広義の私的病院では「導入あり」の割合が3.5%である。



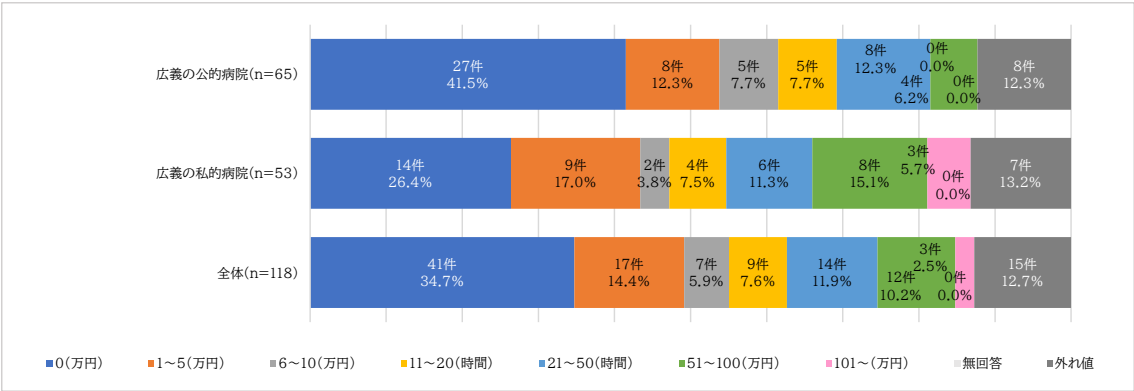
3-5-6 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院では「導入あり」の割合が19.9%であり、広義の私的病院では「導入あり」の割合が6.4%である。



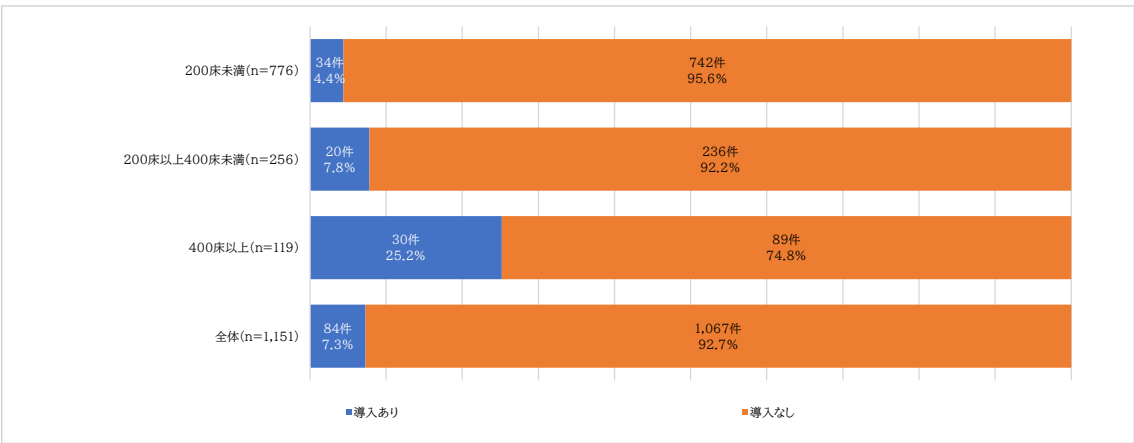
3-5-7 問 2(4)動画等による患者への説明③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(1)開設主体

【開設主体】別にみると、広義の公的病院において、「0(万円)」の割合が41.5%と最も高い。広義の私的病院において、「0(万円)」の割合が26.4%と最も高い。



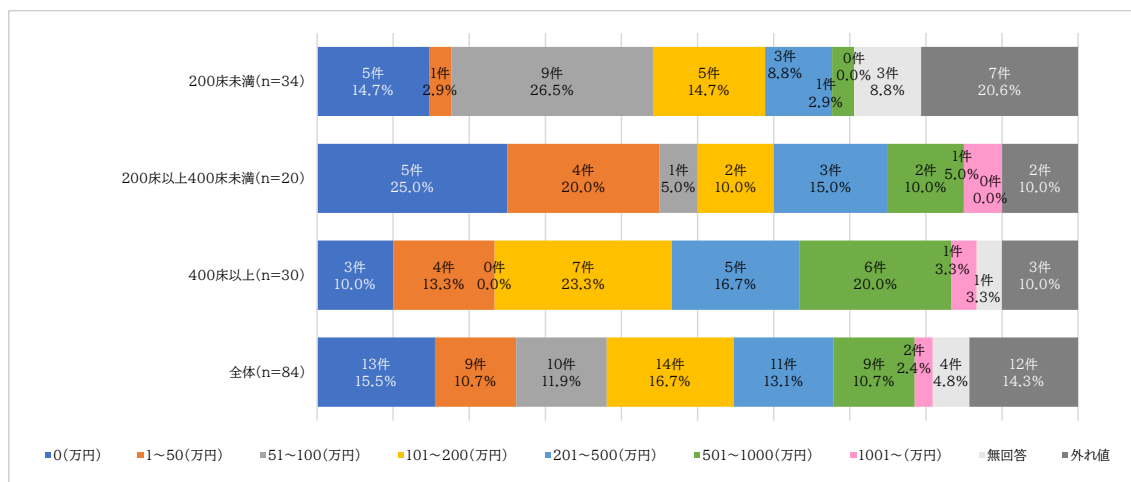
3-5-8 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において「導入あり」の割合が4.4%、200床以上400床未満において「導入あり」の割合が7.8%、400床以上において「導入あり」の割合が25.2%である。



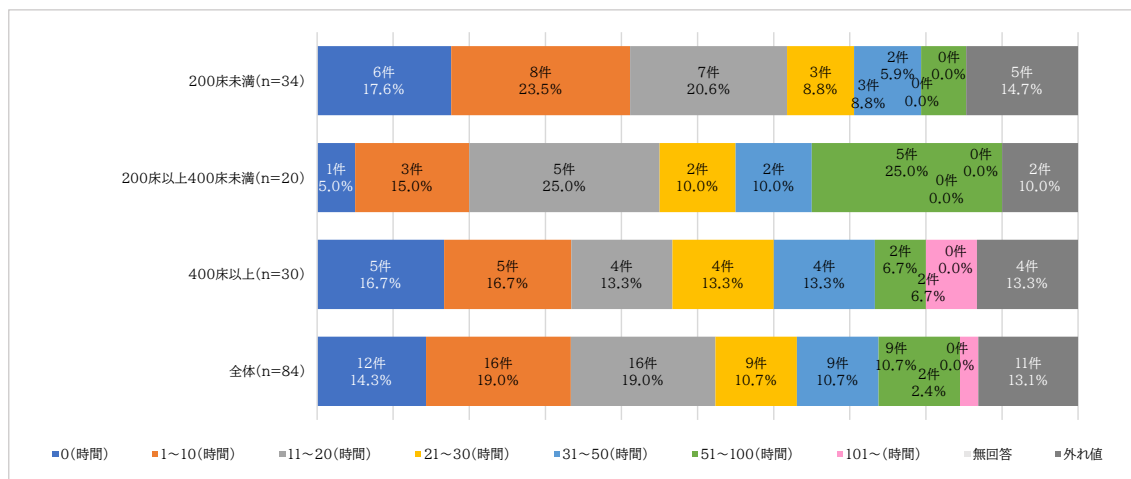
3-5-9 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において、「51～100(万円)」の割合が 26.5%と最も高い。200床以上400床未満において、「0(万円)」の割合が 25.0%で最も高い。400床以上において、「101～200(万円)」の割合が 23.3%と最も高い。



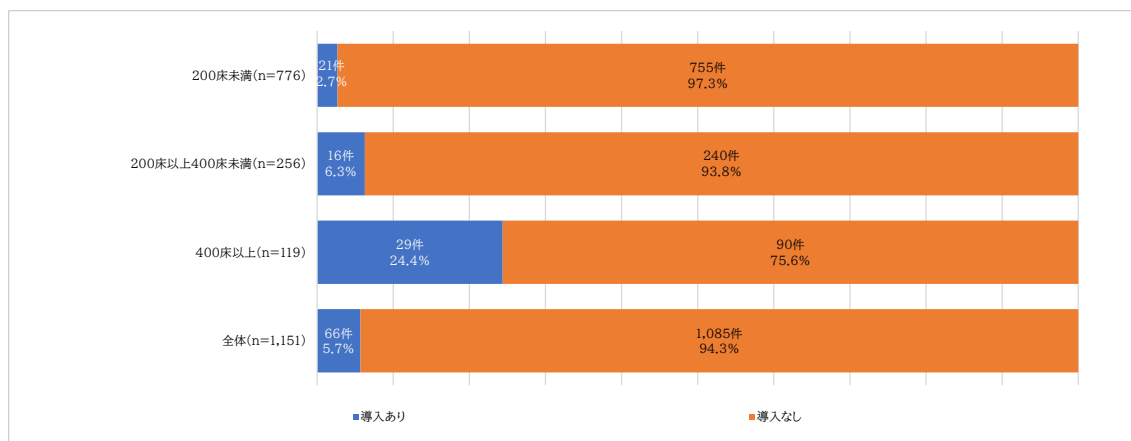
3-5-10問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-2 院内での導入対応人員の(i)と(ii)のその他医療提供部門総計の合計(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において、「1～10(時間)」の割合が 23.5%と最も高い。200床以上400床未満において、「11～20(時間)」、「51～100(時間)」の割合が 25.0%と高い。400床以上において、「0(時間)」、「1～10(時間)」の割合が 16.7%と高い。



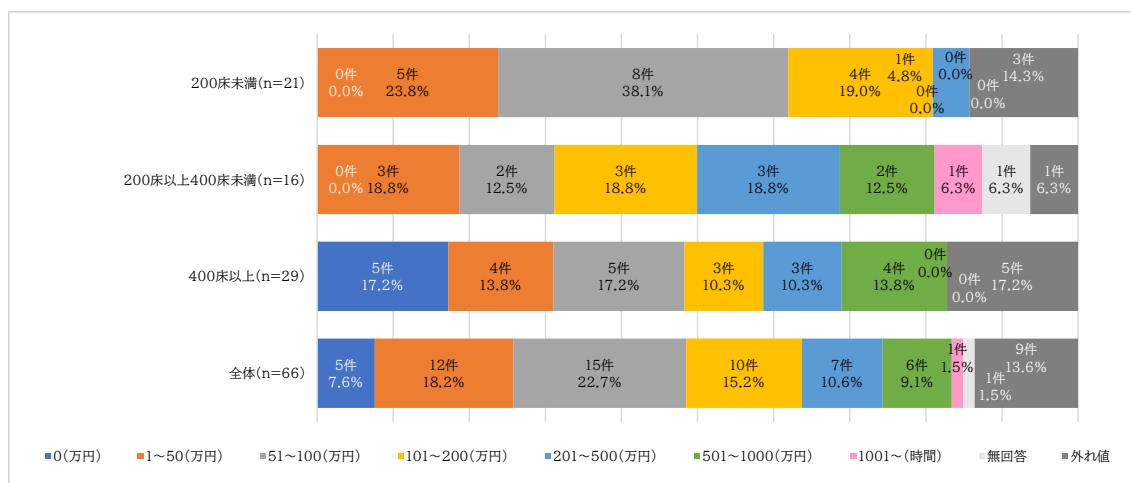
3-5-11 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において「導入あり」の割合が2.7%、200床以上400床未満において「導入あり」の割合が6.3%、400床以上において「導入あり」の割合が24.4%である。



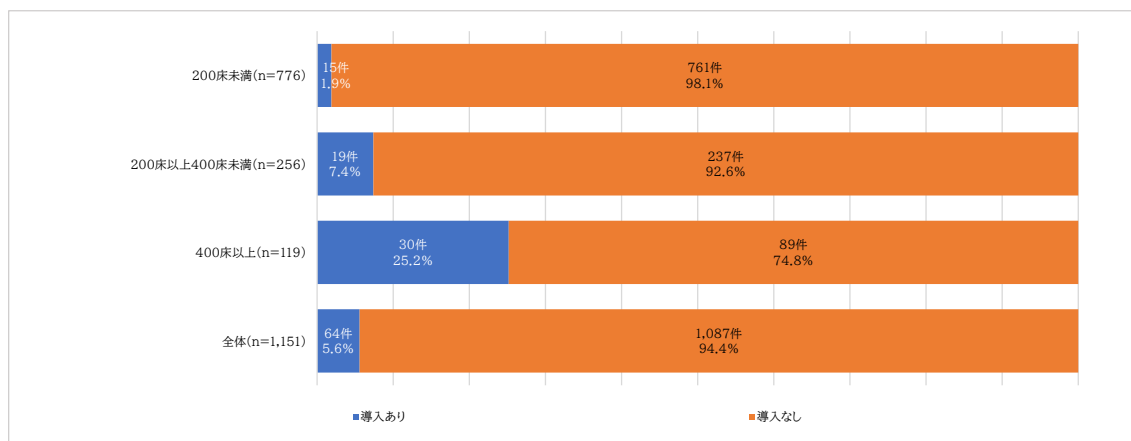
3-5-12 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において、「51～100(万円)」の割合が38.1%で最も高い。200床以上400床未満において、「1～50(万円)」、「101～200(万円)」、「201～500(万円)」の割合が18.8%で高い。400床以上において、「0(万円)」、「51～100(万円)」の割合が17.2%と高い。



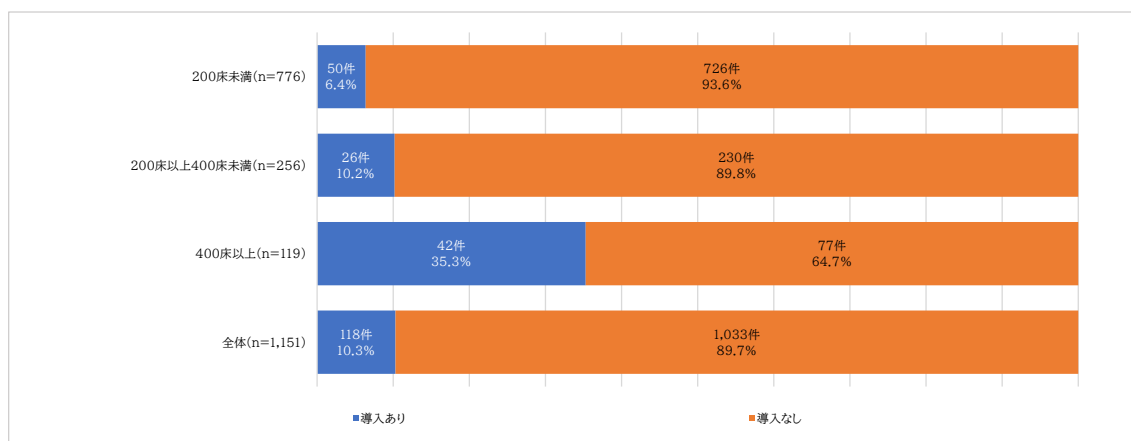
3-5-13 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について ×
問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において「導入あり」の割合が1.9%、200床以上400床未満において「導入あり」の割合が7.4%、400床以上において「導入あり」の割合が25.2%である。



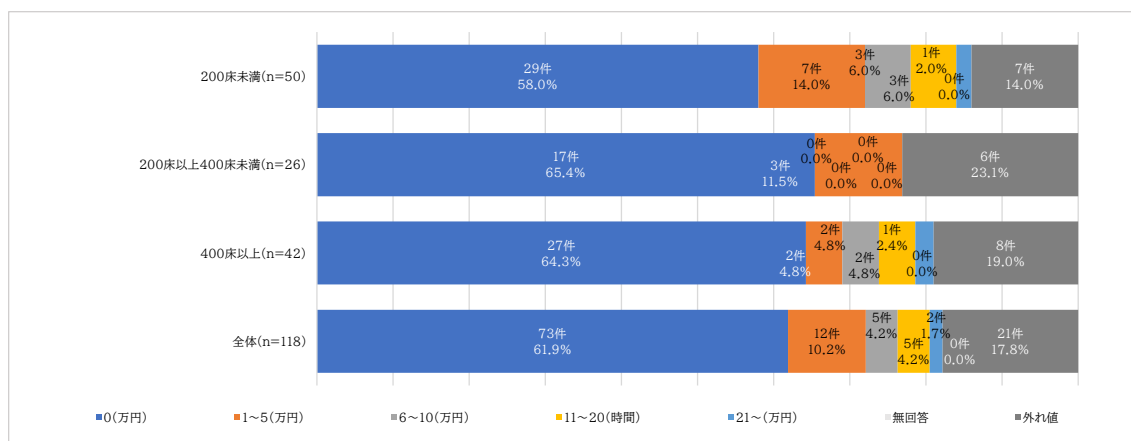
3-5-14 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において「導入あり」の割合が6.4%であり、200床以上400床未満において「導入あり」の割合が10.2%であり、400床以上において「導入あり」の割合が35.3%である。



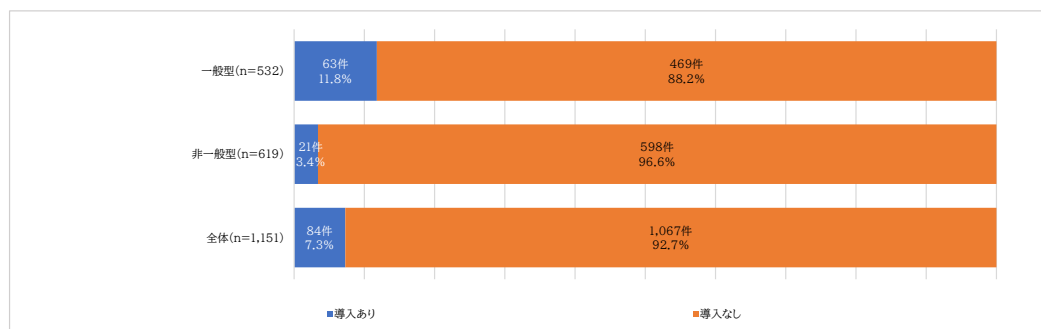
3-5-15 問 2(4)動画等による患者への説明④－1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(2)総稼働病床数

【総稼働病床数】別にみると、200床未満において、「0(万円)」の割合が58.0%と最も高い。また、200床以上400床未満において、「0(万円)」の割合が65.4%と最も高く、400床以上において、「0(万円)」の割合が64.3%と最も高い。



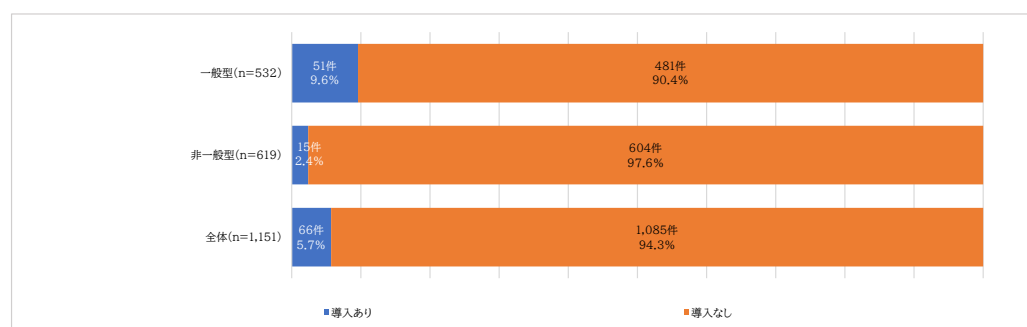
3-5-16 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型

【稼働病床数一般型】別にみると、一般型において、「導入あり」の割合が11.8%であり、非一般型において、「導入あり」の割合は3.4%である。



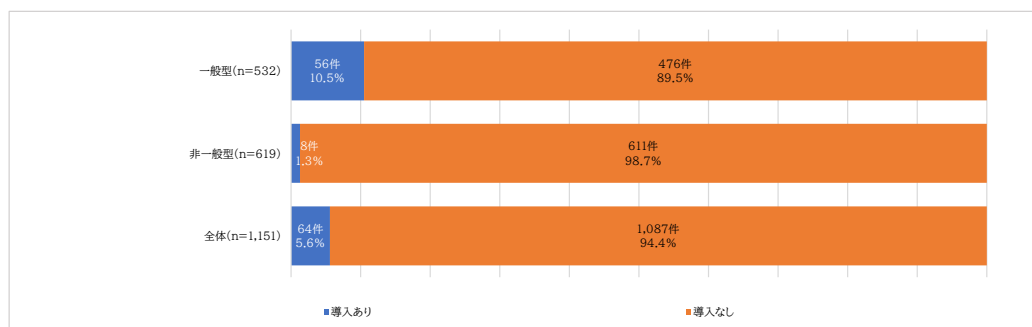
3-5-17 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型

【稼働病床数一般型】別にみると、一般型において、「導入あり」の割合が9.6%であり、非一般型において、「導入あり」の割合は2.4%である。



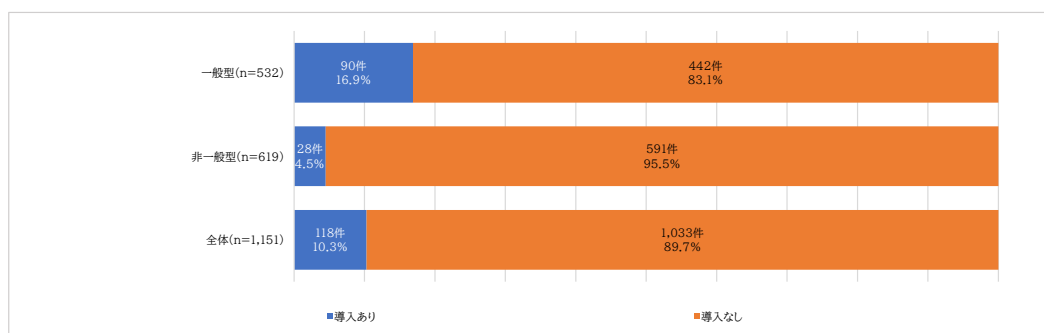
3-5-18 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型

【稼働病床数一般型】別にみると、一般型において、「導入あり」の割合が10.5%であり、非一般型において、「導入あり」の割合は1.3%である。



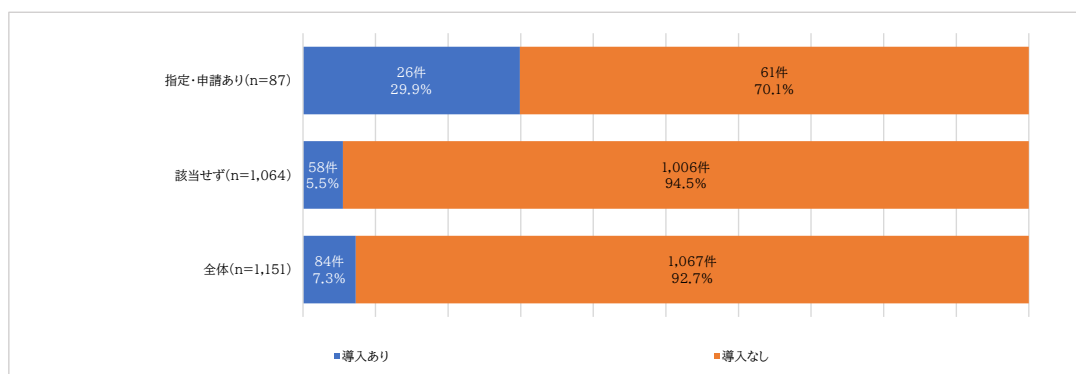
3-5-19 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(2)一般型・非一般型

【稼働病床数一般型】別にみると、一般型において、「導入あり」の割合が16.9%であり、非一般型において、「導入あり」の割合は4.5%である。



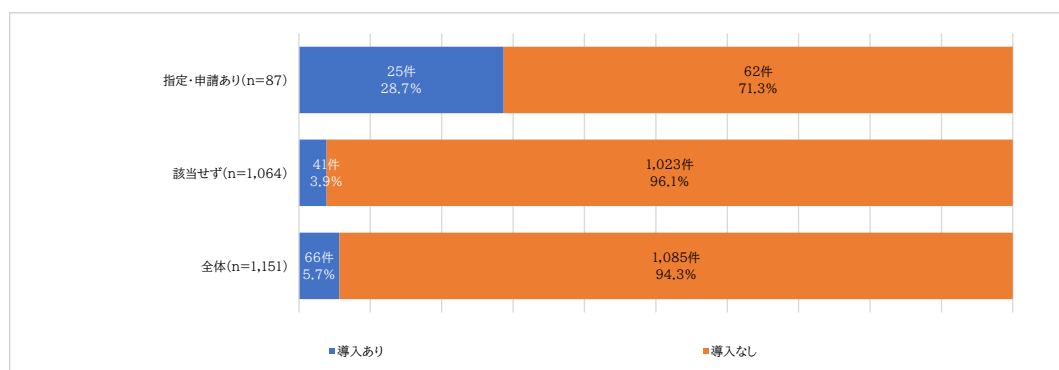
3-5-20 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定

【特定労務管理対象医療機関の指定】別にみると、指定・申請ありにおいて、「導入あり」の割合が29.9%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が5.5%である。



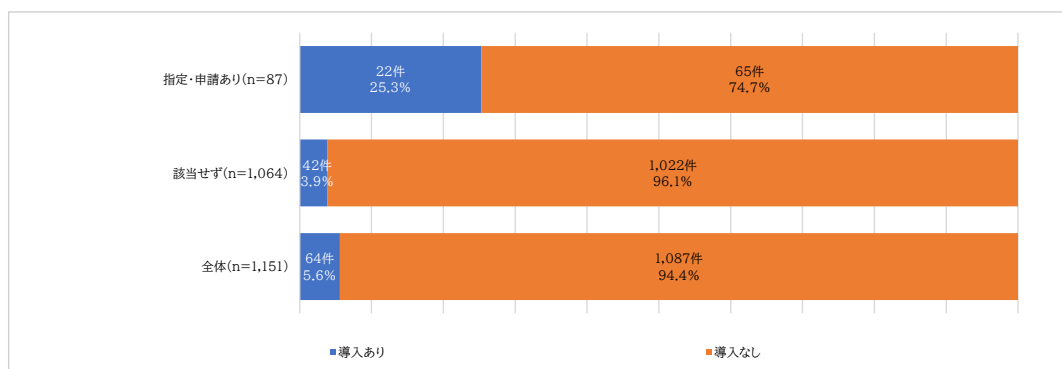
3-5-21 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定

【特定労務管理対象医療機関の指定】別にみると、指定・申請ありにおいて、「導入あり」の割合が28.7%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が3.9%である。



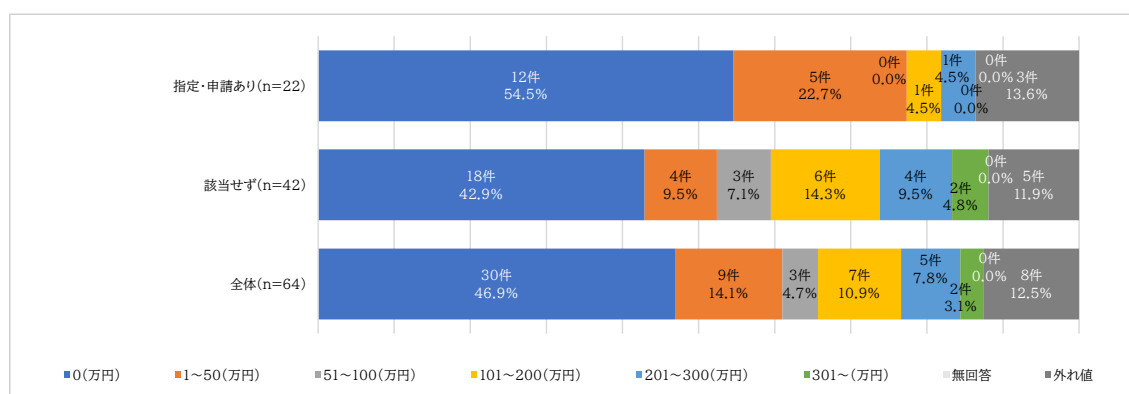
3-5-22 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定

【特定労務管理対象医療機関の指定】別にみると、指定・申請ありにおいて、「導入あり」の割合が25.3%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が3.9%である。



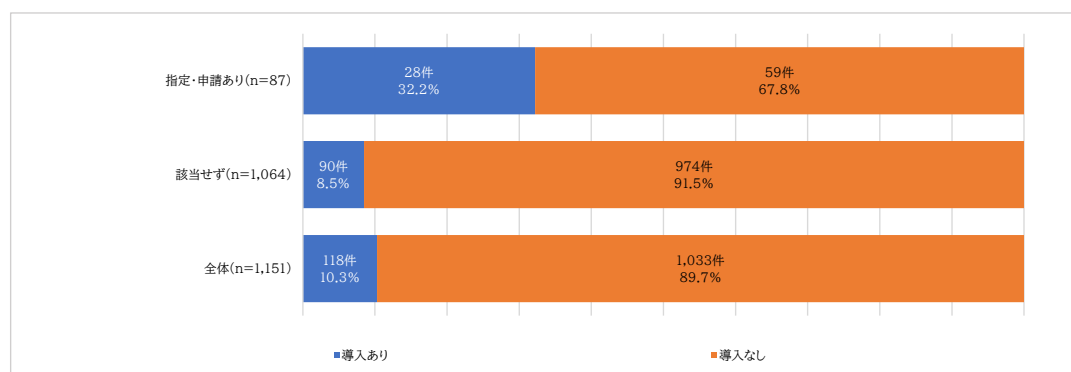
3-5-23 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定

【特定労務管理対象医療機関の指定】別にみると、指定・申請ありにおいて、「0(万円)」の割合が54.5%と最も高い。該当せずにおいて、「0(万円)」の割合が42.9%と最も高い。



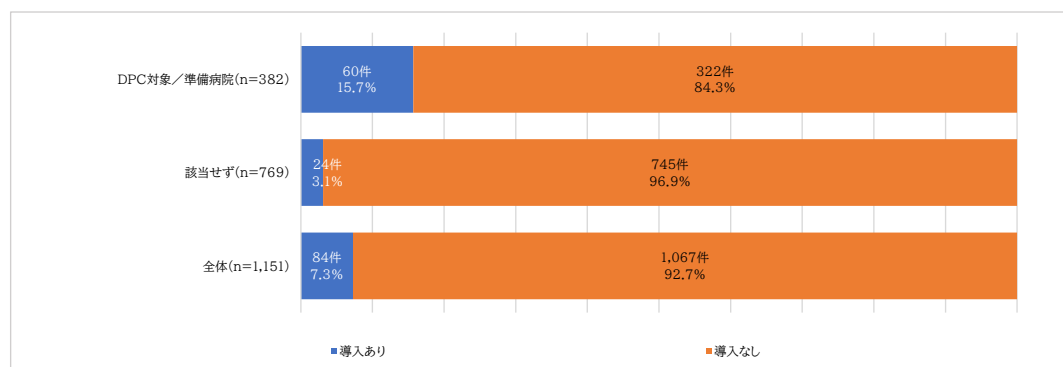
3-5-24 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(3)特定労務管理対象医療機関の指定

【特定労務管理対象医療機関の指定】別にみると、指定・申請ありにおいて、「導入あり」の割合が32.2%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が8.5%である。



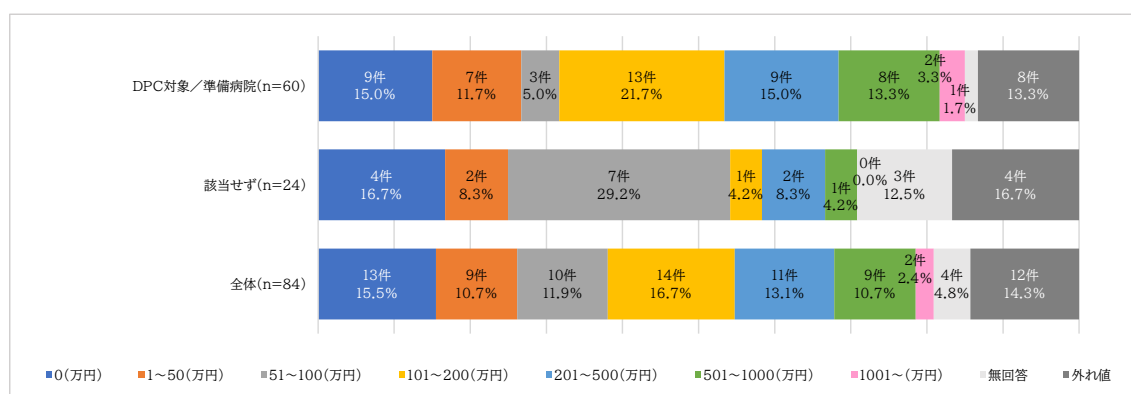
3-5-25 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況

【DPC対応状況について】別にみると、DPC対象／準備病院において、「導入あり」の割合が15.7%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が3.1%である。

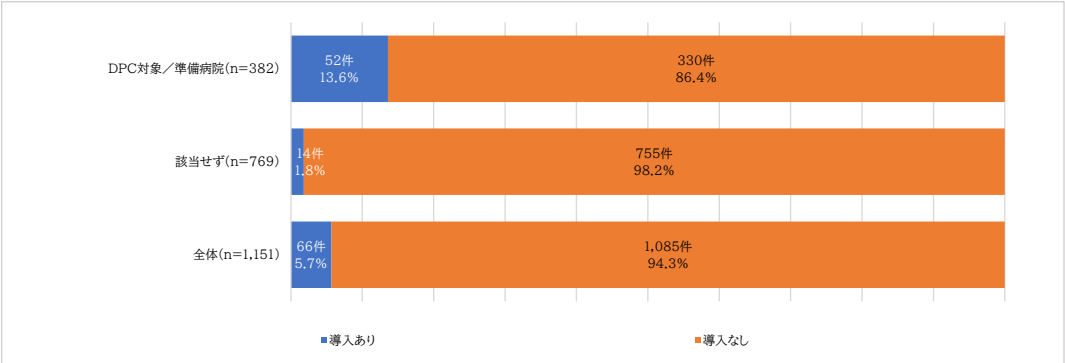


3-5-26 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)に総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(4)DPC 対応状況

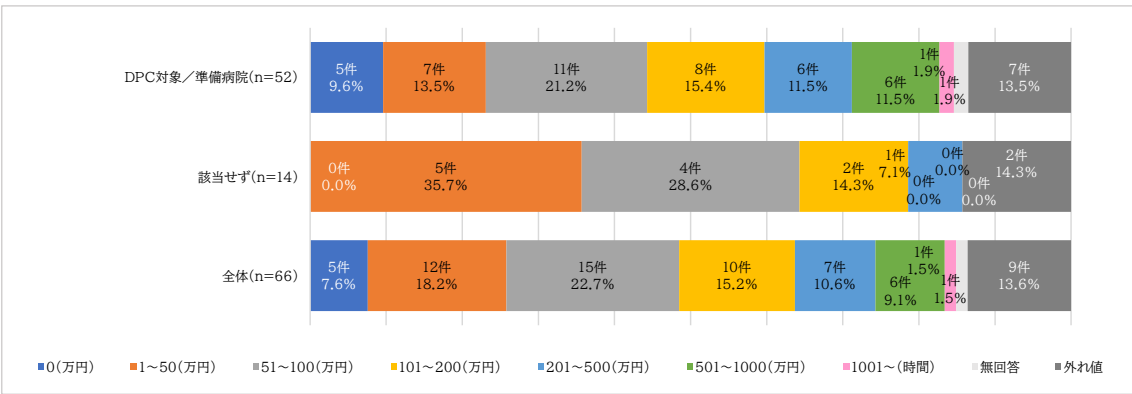
【DPC対応状況について】別にみると、DPC対象／準備病院において、「101～200(万円)」の割合が21.7%と高い。該当せずにおいて、「51～100(万円)」の割合が29.2%と高い。



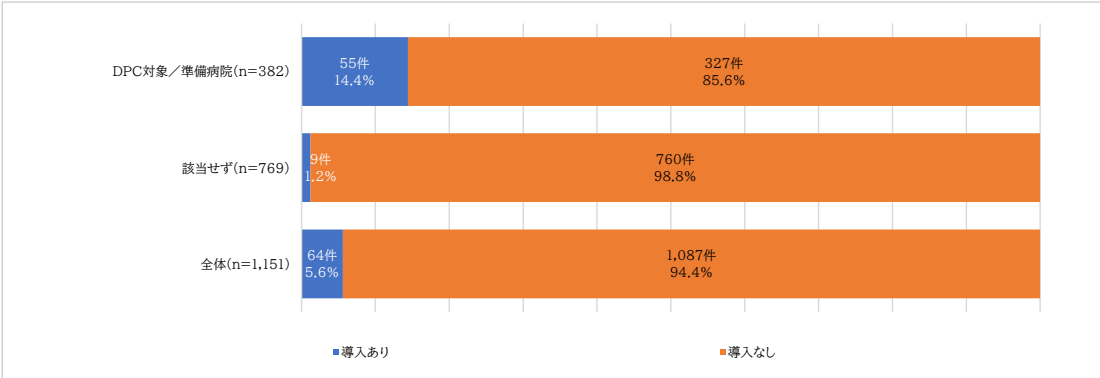
3-5-27 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況
【DPC対応状況について】別にみると、DPC対象／準備病院において、「導入あり」の割合が13.6%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が1.8%である。



3-5-28 問 2(2)音声入力システム③-1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(4)DPC 対応状況
【DPC対応状況について】別にみると、DPC対象／準備病院において、「51～100(万円)」の割合が21.2%と最も高い。該当せずにおいて、「1～50(万円)」の割合が35.7%と最も高い。

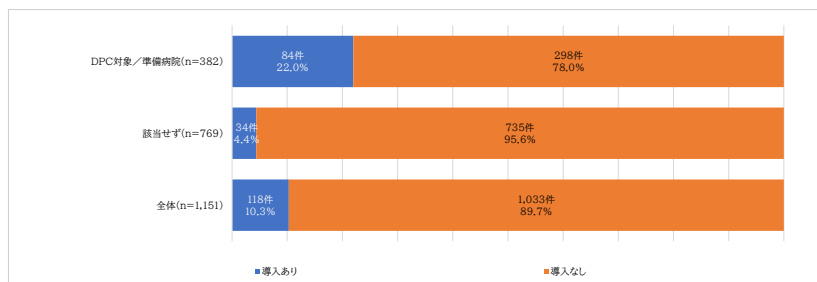


3-5-29 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況
【DPC対応状況について】別にみると、DPC対象／準備病院において、「導入あり」の割合が14.4%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が1.2%である。



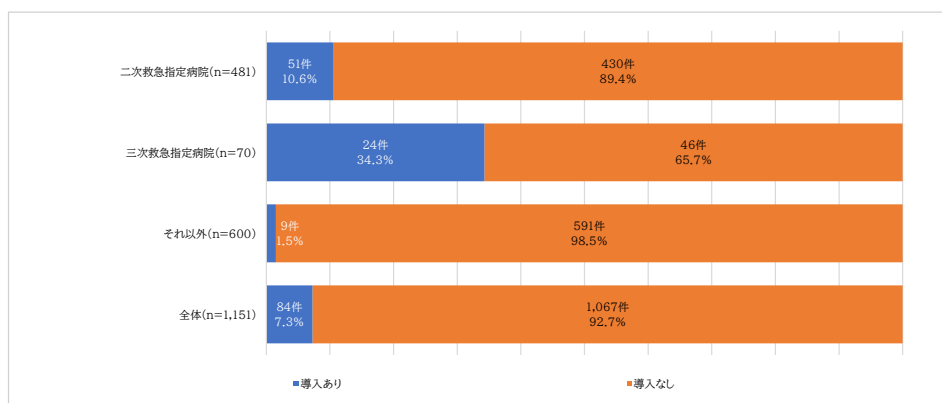
3-5-30 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(4)DPC 対応状況

【DPC対応状況について】別にみると、DPC対象／準備病院において、「導入あり」の割合が22.0%であり、該当せずにおいて、「導入あり」の割合が4.4%である。



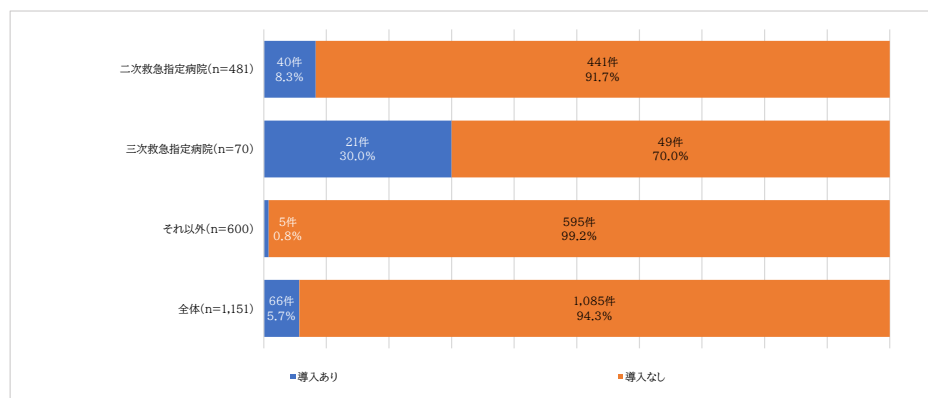
3-5-31 問 2(1)電子問診システム(AI問診含む)① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院

【救急指定病院について】別にみると、三次救急指定病院において、「導入あり」が34.3%である。二次救急指定病院において、「導入あり」の割合が10.6%であり、それ以外において、「導入あり」が1.5%である。



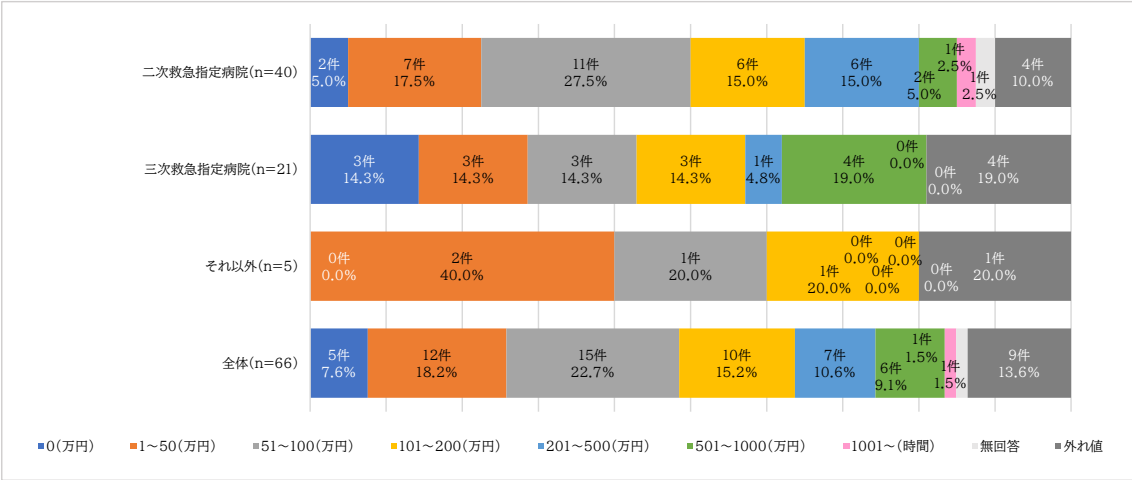
3-5-32 問 2(2)音声入力システム① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院

【救急指定病院について】別にみると、三次救急指定病院において、「導入あり」の割合が30.0%である。二次救急指定病院において、「導入あり」の割合が8.3%であり、それ以外において、「導入あり」が0.8%である。



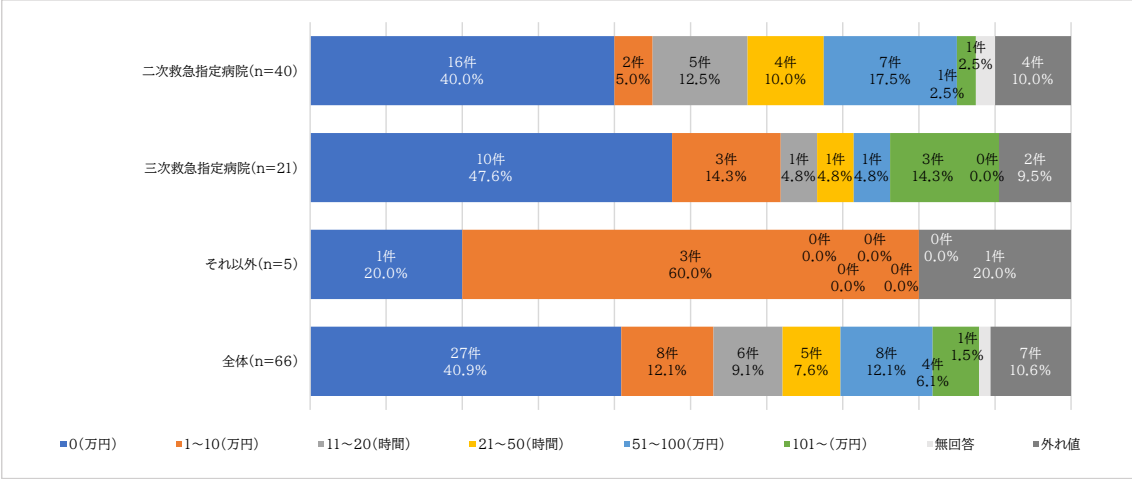
3-5-33 問 2(2)音声入力システム③ー1 導入費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(5)救急指定病院

【救急指定病院について】別にみると、二次救急指定病院において、「51～100(万円)」の割合が27.5%と最も高い。三次救急指定病院において、「501～1000(万円)」の割合が19.0%と最も高い。



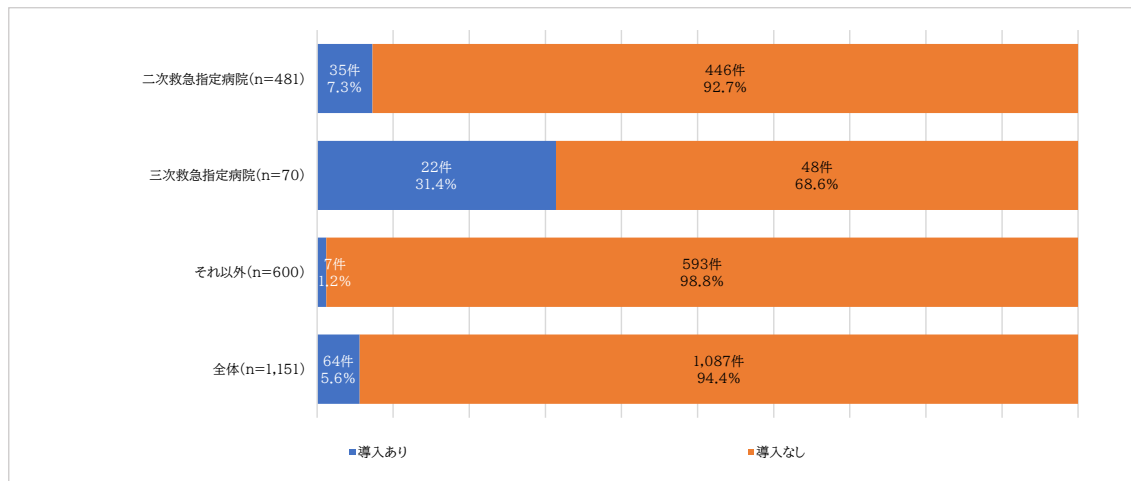
3-5-34 問 2(2)音声入力システム④ー1 運用費用(ハード・ソフト関連)総額__万円(外れ値除去後) × 問 1(5)救急指定病院

【救急指定病院について】別にみると、二次救急指定病院において、「0(万円)」の割合が40.0%と最も高い。三次救急指定病院において、「0(万円)」の割合が47.6%と最も高い。



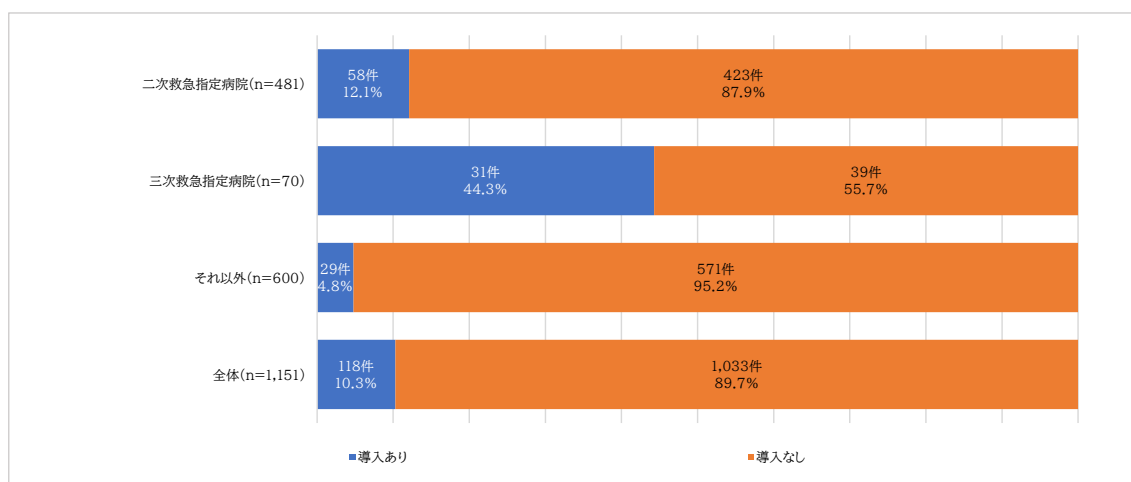
3-5-35 問 2(3)RPA(Robotic Process Automation)① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院

【救急指定病院について】別にみると、三次救急指定病院において、「導入あり」の割合が 31.4% である。二次救急指定病院において、「導入あり」の割合が 7.3%であり、それ以外において、「導入あり」が 1.2%である。



3-5-36 問 2(4)動画等による患者への説明① 導入有無について × 問 1(5)救急指定病院

【救急指定病院について】別にみると、三次救急指定病院において、「導入あり」の割合が 44.3%である。二次救急指定病院において、「導入あり」の割合が 12.1%であり、それ以外において、「導入あり」が 4.8%である。



4. 検定結果

χ^2 乗検定 公的病院・私的病院

	n 数	χ^2 乗値	自由度	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム (A I 問診含む) ① 導入有無について	1151	14.631	1	0.00013072	有	○
(2) 音声入力システム① 導入有無について	1151	14.019	1	0.00018096	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ① 導入有無について	1151	23.203	1	1.458E-06	有	○
(4) 動画等による患者への説明① 導入有無について	1151	46.383	1	9.7257E-12	有	○

χ^2 乗検定 総稼働病床数 3 区分

	n 数	χ^2 乗値	自由度	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム (A I 問診含む) ① 導入有無について	1151	65.937	2	4.0266E-15	有	○
(2) 音声入力システム① 導入有無について	1151	89.744	2	3.2527E-20	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ① 導入有無について	1151	108.632	2	2.5756E-24	有	○
(4) 動画等による患者への説明① 導入有無について	1151	93.344	2	5.3784E-21	有	○

χ^2 乗検定 一般型・非一般型

	n 数	χ^2 乗値	自由度	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム (A I 問診含む) ① 導入有無について	1151	30.193	1	2.1019E-08	有	○
(2) 音声入力システム① 導入有無について	1151	27.159	1	3.9121E-08	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ① 導入有無について	1151	46.456	1	1.8736E-07	有	○
(4) 動画等による患者への説明① 導入有無について	1151	47.765	1	9.3712E-12	有	○

χ二乗検定 特定労務管理対象医療機関の指定について

	n 数	χ二乗値	自由度	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム (A I 問診含む) ① 導入有無について	1151	70.971	1	3.6257E-17	有	○
(2) 音声入力システム① 導入有無について	1151	92.117	1	8.1683E-22	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ① 導入有無について	1151	69.745	1	6.7478E-17	有	○
(4) 動画等による患者への説明① 導入有無について	1151	49.201	1	2.3101E-12	有	○

χ二乗検定 DPC対応状況について

	n 数	χ二乗値	自由度	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム (A I 問診含む) ① 導入有無について	1151	59.757	1	1.0733E-14	有	○
(2) 音声入力システム① 導入有無について	1151	65.655	1	5.3719E-16	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ① 導入有無について	1151	85.038	1	2.9264E-20	有	○
(4) 動画等による患者への説明① 導入有無について	1151	85.613	1	2.1888E-20	有	○

χ二乗検定 救急指定病院について

	n 数	χ二乗値	自由度	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム (A I 問診含む) ① 導入有無について	1151	112.939	2	2.9903E-25	有	○
(2) 音声入力システム① 導入有無について	1151	108.847	2	2.3133E-24	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ① 導入有無について	1151	113.956	2	1.7975E-25	有	○
(4) 動画等による患者への説明① 導入有無について	1151	108.975	2	2.1698E-24	有	○

分散分析（等分散を仮定しないWelch検定） 1要因（総稼動病床数 3区分）

	n 数	統計 ^a	自由度1	自由度2	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム（A 問診含む）③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）の事務部門総計の合計	75	.151	2	39.617	.861	無	×
(1) 電子問診システム（A 問診含む）③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）の医師部門総計の合計	74	.980	2	41.543	.384	無	×
(1) 電子問診システム（A 問診含む）③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）のその他医療提供部門総計の合計	73	2.516	2	36.766	.095	有	○
(1) 電子問診システム（A 問診含む）④-2 運用業務対応人員に関して 事務部門 システム保守、トラブル対応、その他業務の総計の合計	52	1.001	2	32.092	.379	無	×
(1) 電子問診システム（A 問診含む）④-2 運用業務対応人員に関して 医師部門 トラブル対応、その他業務の総計の合計	22	.012	2	2.722	.988	無	×
(1) 電子問診システム（A 問診含む）④-2 運用業務対応人員に関して その他医療提供部門 トラブル対応、その他業務の総計の合計	36	1.882	2	15.498	.185	無	×
(2) 音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）の事務部門総計の合計	58	.204	2	31.225	.816	無	×
(2) 音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）の医師部門総計の合計	56	1.372	2	33.490	.268	無	×
(2) 音声入力システム③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）のその他医療提供部門総計の合計	54	1.504	2	24.108	.242	無	×
(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関して 事務部門 システム保守、トラブル対応、その他業務の総計の合計	24	.004	2	10.066	.996	無	×
(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関して 医師部門 トラブル対応、その他業務の総計の合計	8	.209	1	1.499	.705	無	×
(2) 音声入力システム④-2 運用業務対応人員に関して その他医療提供部門 トラブル対応、その他業務の総計の合計	9	.197	2	2.394	.833	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）の事務部門総計の合計	57	.333	2	30.398	.719	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）の医師部門総計の合計 ^b	55	-	-	-	-	-	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-2 院内での導入対応人員に関して（i）と（ii）のその他医療提供部門総計の合計	58	.690	2	28.797	.510	無	×
(3) RPA（ROBOTIC PROCESS AUTOMATION）④-2 運用業務対応人員に関して 事務部門__総計	58	.392	2	31.681	.679	無	×
(3) RPA（ROBOTIC PROCESS AUTOMATION）④-2 運用業務対応人員に関して 医師部門__総計 ^b	60	-	-	-	-	無	×
(3) RPA（ROBOTIC PROCESS AUTOMATION）④-2 運用業務対応人員に関して その他医療部門__総計	51	1.011	2	18.530	.383	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関して 事務部門__総計	108	.835	2	61.670	.439	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関して 医師部門__総計	93	1.711	2	45.588	.192	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-2 院内での導入対応人員に関して その他医療部門__総計	108	.472	2	55.682	.626	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関して 事務部門__総計	102	1.125	2	46.736	.333	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関して 医師部門__総計 ^b	97	-	-	-	-	-	×
(4) 動画等による患者への説明④-2 運用業務対応人員に関して その他医療部門__総計	103	.193	2	59.692	.825	無	×

a. 漸近的 F 分布

b. 少なくとも 1 つのグループに 0 分散があるため、平均値同等性の耐久検定は実行できません。

分散分析（等分散を仮定しないWelch検定） 1要因（総稼動病床数 3区分）							
	n数	統計 ^a	自由度1	自由度2	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム（AⅠ問診含む）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	68	3.550	2	33.977	.040	有	○
(1) 電子問診システム（AⅠ問診含む）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	70	.324	2	42.409	.725	無	×
(2) 音声入力システム③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	4.302	2	25.416	.025	有	○
(2) 音声入力システム④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	58	.376	2	35.290	.689	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	1.662	2	29.210	.207	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	59	.195	2	32.691	.824	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	103	2.045	2	46.334	.141	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	97	6.508	2	50.761	.003	有	○
a. 漸近的 F 分布							
分散分析（等分散を仮定しないWelch検定） 1要因（救急指定病院について）							
	n数	統計 ^a	自由度1	自由度2	有意確率	有意差	グラフ掲載
(1) 電子問診システム（AⅠ問診含む）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	68	.885	2	9.179	.445	無	×
(1) 電子問診システム（AⅠ問診含む）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	70	.050	2	12.558	.952	無	×
(2) 音声入力システム③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	5.498	2	27.347	.010	有	○
(2) 音声入力システム④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	58	7.687	2	32.565	.002	有	○
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	2.089	2	25.116	.145	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	59	.046	2	16.138	.956	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	103	1.206	2	55.042	.307	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	97	.090	2	52.681	.914	無	×
a. 漸近的 F 分布							

t検定（等分散を仮定しないWelch検定） 公的病院・私的病院

	2つの母平均の差の検定								有意差	グラフ掲載
	n 数	t	df	有意確率 (両側)	平均値の差	差の 標準誤差	差の 95% 信頼区間			
							下限	上限		
(1) 電子問診システム（A I 問診含む）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	68	1.966	54.883	.054	156.165	79.451	-3.066	315.395	有	○
(1) 電子問診システム（A I 問診含む）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	70	.676	67.666	.501	16.299	24.100	-31.795	64.394	無	×
(2) 音声入力システム③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	1.927	43.320	.061	121.520	63.060	-5.626	248.666	有	○
(2) 音声入力システム④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	58	-.101	54.352	.920	-1.069	10.618	-22.354	20.216	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	-.152	45.755	.880	-4.427	29.136	-63.084	54.230	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	59	-.385	55.484	.702	-7.467	19.418	-46.375	31.440	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	103	-2.593	65.489	.012	-18.261	7.042	-32.323	-4.199	有	○
(4) 動画等による患者への説明④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	97	-.116	89.367	.908	-.122	1.054	-2.217	1.972	無	×

t検定（等分散を仮定しないWelch検定） 一般型・非一般型

	2つの母平均の差の検定								有意差	グラフ掲載
	n 数	t	df	有意確率 (両側)	平均値の差	差の 標準誤差	差の 95% 信頼区間			
							下限	上限		
(1) 電子問診システム（A I 問診含む）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	68	1.325	41.641	.192	97.505	73.604	-51.073	246.083	無	×
(1) 電子問診システム（A I 問診含む）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	70	-1.002	20.660	.328	-33.699	33.620	-103.687	36.289	無	×
(2) 音声入力システム③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	.651	17.182	.524	56.662	87.096	-126.946	240.270	無	×
(2) 音声入力システム④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	58	-1.196	24.831	.846	-2.162	11.042	-24.911	20.586	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	.380	7.633	.714	16.857	44.387	-86.361	120.075	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	59	-5.571	8.038	.583	-21.495	37.612	-108.158	65.168	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	103	1.662	73.792	.101	9.977	6.002	-1.983	21.937	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	97	-.275	39.029	.785	-.346	1.260	-2.894	2.201	無	×

t検定（等分散を仮定しないWelch検定） 特定労務管理対象医療機関の指定について

	2つの母平均の差の検定								有意差	グラフ掲載
	n 数	t	df	有意確率 (両側)	平均値の差	差の 標準誤差	差の 95% 信頼区間			
							下限	上限		
(1) 電子問診システム（A I 問診含む）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	68	.408	46.643	.685	34.197	83.784	-134.389	202.783	無	×
(1) 電子問診システム（A I 問診含む）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	70	-.871	38.491	.389	-24.353	27.969	-80.949	32.242	無	×
(2) 音声入力システム③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	1.043	30.861	.305	77.033	73.829	-73.569	227.635	無	×
(2) 音声入力システム④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	58	.578	35.106	.567	6.770	11.714	-17.008	30.548	無	×
(3) RPA (Robotic Process Automation) ③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	-2.025	51.065	.048	-51.331	25.346	-102.214	-.449	有	○
(3) RPA (Robotic Process Automation) ④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	59	1.016	32.381	.317	22.287	21.934	-22.370	66.944	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	103	.750	33.914	.458	6.767	9.017	-11.560	25.094	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	97	-.547	37.378	.587	-691	1.261	-3.246	1.864	無	×

t検定（等分散を仮定しないWelch検定） DPC対応状況について

	2つの母平均の差の検定								有意差	グラフ掲載
	n 数	t	df	有意確率 (両側)	平均値の差	差の 標準誤差	差の 95% 信頼区間			
							下限	上限		
(1) 電子問診システム（AI 問診含む）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	68	2.217	50.671	.031	153.765	69.343	14.531	292.999	有	○
(1) 電子問診システム（AI 問診含む）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	70	.200	27.394	.843	6.136	30.696	-56.805	69.077	無	×
(2) 音声入力システム③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	2.615	47.107	.012	131.061	50.123	30.231	231.890	有	○
(2) 音声入力システム④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して、総額__万円	58	1.339	24.550	.193	14.025	10.472	-7.562	35.613	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	56	.030	8.681	.977	1.375	46.280	-103.907	106.657	無	×
(3) RPA（Robotic Process Automation）④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	59	-.078	12.335	.939	-1.684	21.572	-48.544	45.176	無	×
(4) 動画等による患者への説明③-1 導入費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	103	1.182	75.098	.241	7.932	6.709	-5.432	21.297	無	×
(4) 動画等による患者への説明④-1 運用費用（ハード・ソフト関連）に関して総額__万円	97	-1.169	59.469	.866	-1.189	1.115	-2.420	2.042	無	×